

原田英語の

英熟語・イディオム問題集

Vol.4　発展編　MASTER

知っている人だけが得をする、最難関のイディオム

選択肢ごとの解説　紛らわしい表現の見分け方　書き込み確認テスト　赤シート対応　索引つき

対象　最難関・長文・会話文

レベル　最難関・長文で得をする

747問

FEATURES

この問題集の特長

1 入試に出る熟語を、出る順に全部

原田英語の英熟語・イディオム大全の出る順ランク C（最難関・長文・会話文レベル）の熟語 747 個を、分類ごと・出る順に並べました。

2 意味ではなく「使い方」を問う 4 択

入試で本当に問われる前置詞の選択・紛らわしい表現との選び分け・語法の誤りを、すべてオリジナルの問題で。

3 なぜ他の選択肢はダメなのかまで解説

正解の理由だけでなく、ひっかけの選択肢がなぜ入らないかまで。紛らわしい表現との「見分け方」も付けました。

4 同じ熟語を 2 回、違う形で確かめる

各章の最後に、例文の空所に 1 語を書き込む確認テスト。4 択で選べても書けない熟語をなくします。

5 赤シートで何度でも

正解と答えの熟語は赤字。赤シートを重ねればそのまま繰り返し使えます。チェック欄は 3 回分。

747	747	7	C
4 択問題	書き込み問題	章	出る順ランク

シリーズ全 4 巻（レベル別）

Vol.1	Vol.2	Vol.3	Vol.4
基礎編	標準編	難関編	発展編
共通テスト・日東駒専・中堅国公立	GMARCH・関関同立・国公立	早慶上智・難関国公立	最難関・長文・会話文
ランク S	ランク A	ランク B	この本

各熟語の語源・イメージ・会話例・音声は、サイト「原田英語の英熟語・イディオム大全」（haradaeigo.com/eijukugo/）で、索引の熟語名から探せます。問題と例文はすべてオリジナルで、過去問をそのまま載せたものではありません。

HOW TO USE

この本の使い方

ページの左に問題、右に解答と解説があります。右側を赤シートや手で隠して解きましょう。

◂問題（右を隠して解く）

0024 □□□

My parents will be ＿＿＿＿ for two weeks, so I'll have the house to myself.

① over　② away
③ up　④ in

解答・解説▸

② be away 留守にしている；（遠くに）出かけている

訳 両親が 2 週間留守にするので、家を独り占めできる。

解説 2 週間家を離れているので「留守にしている」の be away。それで家を独り占めできる。over は「終わって」、up は「起きて・（期限が）切れて」で、人が家にいない意味にならない。in は「在宅して」で正反対。

区別 **be away ⇔ be out** be out は近所への外出など「ちょっと出ている」。be away は旅行・出張などで何日も戻らない。見分け方：期間が長い・遠くなら away。

0001 通し番号（索引から引ける）

赤字 正解・熟語・意味（赤シートで消える）

解説 正解の理由と、他の選択肢がダメな理由

注意 入試での出方（区別がない熟語）

□□□ 解けたら印。3 回分

訳 問題文の日本語訳

区別 紛らわしい表現との意味の違いと見分け方

1. **1 回目：1 章ずつ解く。**迷った問題は、当たっても □ に印を付けずに残す。
2. **解説を読む。**正解の理由より「他の選択肢がダメな理由」を声に出して説明できるかを確かめる。
3. **章の最後の確認テスト。**例文の空所に 1 語を書き込む。書けなかった熟語の番号に戻る。
4. **2 回目・3 回目。**□ に印が付いていない問題だけを解き直す。3 つ全部に印が付けば合格。

学習の目安

1 日のペース	10 問	20 問	30 問
1 周にかかる日数	**75** 日	**38** 日	**25** 日
3 周（2・3 周目は半分の時間）	**150** 日	**75** 日	**50** 日

準拠アプリ

この本と同じ番号の問題を、スマホで解けます（無料）

haradaeigo.com/eijukugo/book/4/　4 択・書き込みテスト・苦手だけの復習・3 回正解で「合格」のチェック表

CONTENTS

目次

1 **句動詞（動詞＋前置詞・副詞）** No.0001〜0178
look after・put off・come up with など、動詞に前置詞や副詞がくっついた熟語。入試の熟語問題の主役です。

2 **動詞が中心の熟語・語法** No.0179〜0283
take part in・make up one's mind・deprive A of B など、動詞を中心にした決まった形。前置詞の選択問題が頻出。

3 **be＋形容詞＋前置詞** No.0284〜0327
be afraid of・be aware of・be likely to など。前置詞の違いで意味が変わるものが狙われます。

4 **前置詞句・副詞句・接続詞的な熟語** No.0328〜0386
in spite of・as a matter of fact・no sooner ~ than など。長文読解と整序問題で効きます。

5 **会話文で出るイディオム** No.0387〜0476
Feel free to ~. / Beats me. / I'm all ears. など、会話文問題で問われる決まり文句。

6 **比喩のイディオムとことわざ** No.0477〜0712
break the ice・a piece of cake・Practice makes perfect. など、字面からは想像しにくい比喩の表現。

7 **口語・スラング（原田英語 用語集）** No.0713〜0747
海外ドラマや SNS で毎日のように使われる口語。入試の会話文や長文に出るものだけを選んでいます。

＋ **確認テスト（書き込み式）**
各章の最後。例文の空所に 1 語を書き込む

＋ **索引（アルファベット順）**
熟語から問題番号を引く

CHAPTER 1

句動詞（動詞＋前置詞・副詞）

look after・put off・come up with など、動詞に前置詞や副詞がくっついた熟語。入試の熟語問題の主役です。　No.0001〜0178（178 問）

問題

0001 □□□

The two sides met again to iron _____ their differences before signing the contract.

① up　② off
③ away　④ out

解答・解説（赤シートで隠せます）

④ iron out ～

（問題・食い違いなど）を解決する；～を調整する

訳 契約に署名する前に、双方は意見の違いを調整するため再び会った。

解説 「（意見の違い）を調整・解決する」は iron out。しわを伸ばしてすっかり平らにするイメージの out。iron up / iron off / iron away という句動詞はない。iron out differences は交渉の場面の定番の組み合わせ。

区別 **iron out ～ ⇔ work out ～** どちらも「解決する」だが、iron out は意見の違い・細かな問題を平らに整える響き。work out は計画・答えを「考え出す」、自動詞で「うまくいく」「運動する」と意味が広い。見分け方：differences や細部の不具合を整えるなら iron out が自然。

0002 □□□

Time is _____. Please stop writing and put down your pens.

① off　② down
③ on　④ up

④ be up 起きている；（時間が）終わる

訳 時間です。書くのをやめて、ペンを置いてください。

解説 試験の制限時間が終わったので Time is up.（時間切れです）。up は「すっかり使い切って」の意味。Time is off / down / on という言い方はなく、off（離れて）、down（下へ）、on（継続中）では時間切れの意味にならない。

区別 **be up ⇔ be over** be over は「（行事・期間などが）終わっている」（The game is over.）。試験などの制限時間が「切れた」は Time is up. と言い、Time is over. は不自然とされる。見分け方：持ち時間・期限なら up、出来事なら over。

0003 □□□

After the long flight, we _____ a small hotel near the airport and went straight to bed.

① checked in on　② checked out of
③ checked into　④ checked off

③ check into ~
（ホテルなど）にチェックインする；～を調べる

訳 長いフライトの後、私たちは空港近くの小さなホテルにチェックインして、すぐに寝た。

解説 ホテルに入ってそのまま寝たので checked into（～にチェックインした）。checked out of は「～をチェックアウトした」でホテルを出たことになり、went straight to bed と合わない。checked in on は「（人の様子）を見に行く」、checked off は「（リストの項目）に印を付ける」で、ホテルを目的語にしない。

区別 **check into ~ ⇔ check in** check in は場所を言うなら at が必要（check in at the front desk / at the hotel）。check into ~ は into の後ろに直接場所を置く。見分け方：場所の前の前置詞が at なら check in、前置詞なしで続くなら check into。

0004 □□□

Our team practiced hard all year and _____ second in the national contest.

① came by　② came across
③ came about　④ came in

④ come in 入る；到着する

訳 私たちのチームは 1 年間一生懸命練習して、全国大会で 2 位になった。

解説 順位を続けて「～着になる」は come in ＋順位（came in second）。came across は「偶然出会う・見つける」で目的語が必要。came about は「（出来事が）起こる」で主語にチームは来ない。came by は「立ち寄る・手に入れる」で、順位を表さない。

区別 **come in ⇔ come into ~** come in の in は副詞で後ろに名詞を取らない（Come in.）。部屋などの場所を続けるなら come into the room。見分け方：直後に場所の名詞があれば into。

0005 □□□

Your coat is open, and it's freezing outside. You should _____ before you go out.

① do it down　② do up it
③ undo it　④ do it up

④ do up ~ （ボタン・ファスナー）を留める；～を改装する

訳 コートの前が開いているし、外はすごく寒いよ。出かける前に留めたほうがいいよ。

解説 前が開いたコートを「留める」は do up ~。目的語が代名詞 it のときは do it up と間に挟むので、do up it は語順の誤り。undo it は「外す」で寒い場面と逆。do down という形で「留める」意味にはならない。

区別 **do up ~ ⇔ undo ~** undo ~ は「（ボタン・結び目）を外す・ほどく」「元に戻す」。do up ~ は「留める・締める」。反対を do down と言わない点が狙われる。

0006 ☐☐☐

The hotel price looked cheap, but they _____ a cleaning fee of 5,000 yen at the end.

① added to　② added on
③ added up to　④ took off

② add on ~ ～を追加する；～を付け足す

訳 そのホテルの料金は安く見えたが、最後に 5,000 円の清掃料が上乗せされた。

解説 「安く見えたが、最後に清掃料 5,000 円を付け足した」なので、追加の料金を足す added on。added to は「～を増やす」で、清掃料そのものが増える意味になってしまう。added up to は「合計～になる」で主語 they と合わない。took off は「差し引いた」で、but の流れと逆。

区別 **add on ~ ⇔ add to ~** add to ~ は「（量・程度）を増す」で、目的語は増える側（add to the problem＝問題を大きくする）。add on は「追加の物を付け足す」で、目的語は足す物。見分け方：何かを大きくするなら add to、部品や料金を足すなら add on。

0007 ☐☐☐

My father gets angry if I _____ back when he tells me to do my homework.

① call　② get
③ give　④ answer

④ answer back 口答えする

訳 宿題をしなさいと言われたときに私が口答えすると、父は怒る。

解説 宿題をしろと言われて口ごたえすると父が怒る、という文なので answer back（口答えする）。get back は「戻る」、give back は「（物を）返す」で目的語が必要、call back は「折り返し電話する」で、どれも口答えの意味にならない。talk back でも同じ意味になる。

区別 **answer back ⇔ get back to ~** answer back は「生意気に言い返す」という否定的な行為。get back to A は「（後で）A に返事・連絡をする」で、礼儀正しい折り返し。見分け方：反抗なら answer back、折り返しの連絡なら get back to。

0008 ☐☐☐

A: Can I take next Friday off? B: I'm not sure. Let me _____ with the manager first.

① check　② ask
③ call　④ contact

① check with ~ ～に問い合わせる；～に確認する

訳 A：来週の金曜日に休みを取ってもいいですか。　B：分からないな。まずマネージャーに確認させて。

解説 「マネージャーに確認する」は check with ~。ask・call・contact はいずれも他動詞で、ask the manager / call the manager / contact the manager のように前置詞なしで目的語をとるため、with の前には置けない。

区別 **check with ~ ⇔ check on ~** check with A は「A（人）に確認をとる」、check on A は「A（人・物）の様子を見る・状態を確かめる」。見分け方：相手に聞くなら with、様子を見に行くなら on。

0009 □□□

I hate going to the dentist, but I'd rather just get it over ———— than worry about it for weeks.

① to ② from
③ with ④ by

③ get ~ over with （嫌なこと）を済ませてしまう

訳 歯医者に行くのは大嫌いだが、何週間も心配しているより、さっさと済ませてしまいたい。

解説 get it over with で「嫌なことをさっさと済ませる」。over の後ろに with が必要で、from・to・by では成り立たない。get over ~（立ち直る）とは with の有無で意味が変わる点に注意。歯医者という嫌なことを早く済ませたい文脈にも合う。

区別 **get ~ over with ⇔ get over ~** get over ~ は「（病気・ショック）から立ち直る・（困難）を乗り越える」で with を取らない。get A over with は「（嫌なこと）を済ませる」。見分け方：with が付いて「早く終わらせたい」なら over with、回復・克服なら get over。

0010 □□□

A: Have you finished your homework yet? Did you study for the test? Did you... B: Please ———— off a little, Mom! I'm doing it now.

① back ② put
③ take ④ show

① back off 後ろに下がる；手を引く

訳 A：もう宿題は終わったの？ テスト勉強はした？ それから…… B：お母さん、少し放っておいてよ！ 今やっているところなんだから。

解説 次々と口出しする母に「少し放っておいて」と言っているので back off（干渉をやめる）。put off は「延期する」、take off は「離陸する・脱ぐ」、show off は「見せびらかす」で、口出しをやめてほしい場面に合わない。

区別 **back off ⇔ back down** back off は「（相手から）離れる・干渉をやめる」、back down は「（議論・対立で）主張を引っ込める・譲歩する」。見分け方：近づく・口出しをやめるなら back off、言い争いで折れるなら back down。

0011 □□□

I didn't expect much from the movie, but I was completely blown ———— by the ending.

① away ② up
③ out ④ off

① blow away ~ ～を吹き飛ばす；～を感動させる

訳 その映画にはあまり期待していなかったが、結末にはすっかり圧倒された。

解説 期待していなかったのに結末に「圧倒された・感動した」ので be blown away by ~。blown up は「爆破された・（写真が）引き伸ばされた」、blown out は「（火が）吹き消された」、blown off は「すっぽかされた」で、感動の意味にならない。

区別 **blow away ~ ⇔ blow up** blow up は「爆発する・爆破する」「（怒りで）かっとなる」「（風船を）ふくらませる」。blow away は「吹き飛ばす・圧倒する」。見分け方：爆発・激怒なら up、感動・圧倒なら away。

0012 ☐☐☐

My parents didn't like the idea of my studying abroad at first, but I managed to bring them ＿＿＿＿ to it.

① around　② about
③ up　④ off

① bring A around
（人）を説得する；（人）の意識を回復させる

訳 最初、両親は私の留学に反対だったが、私は何とか説得して賛成してもらった。

解説 最初は反対していた両親を説得して同意させたので bring A around to ~。bring about は「（物事）を引き起こす」で人を目的語にとらない。bring up は「育てる・（話題を）持ち出す」、bring off は「やってのける」で、説得の意味にならない。

区別 **bring A around ⇔ come around** come around は自動詞で「（人が）考えを変える・意識を取り戻す」、bring A around は他動詞で「（人に）考えを変えさせる・意識を取り戻させる」。見分け方：目的語の人がいれば bring、主語自身が変わるなら come。

0013 ☐☐☐

The opening of the huge shopping mall drove many small local shops ＿＿＿＿ of business.

① out　② away
③ off　④ down

① drive out ~　~を追い出す

訳 巨大なショッピングモールの開店で、地元の小さな店の多くが廃業に追い込まれた。

解説 drive A out of business で「A を廃業に追い込む」。out of ~（~の外へ）と組むので out。away・off・down は of business とつながらない。大型ショッピングモールの開店で地元の小さな店が次々廃業した、という文脈に合う。

区別 **drive out ~ ⇔ drive away ~** drive out は「（中にいるものを）外へ追い出す」と、場所・組織の内側からの排除に重点。drive away は「（近づくものを）遠ざける・追い払う」。見分け方：家や市場から締め出すなら out、客や虫を寄せつけないなら away。

0014 ☐☐☐

I called the ticket office many times, but I couldn't get ＿＿＿＿ to them because the line was always busy.

① through　② across
③ along　④ over

① get through to ~　~に電話が通じる；~に理解させる

訳 チケット売り場に何度も電話したが、いつも話し中でつながらなかった。

解説 何度電話しても話し中でつながらなかったので「電話が通じる」の get through to ~。get across は「（考えを）理解させる」で、普通は get an idea across to A と伝える内容が必要。get along は「仲良くやる」、get over は「乗り越える・立ち直る」で、電話がつながる意味にならない。

区別 **get through to ~ ⇔ get through ~** get through ~（to なし）は「（困難・試験など）を切り抜ける・終える」。get through to ~ は「（人）に連絡がつく・理解させる」。見分け方：to の後ろが人なら連絡・理解、困難や仕事が目的語なら切り抜ける。

0015 □□□

Red wine and fish don't usually go ＿＿＿ well, so the waiter recommended white wine.

① together ② with
③ along ④ along with

① go together 調和する；よく合う

訳 赤ワインと魚は普通あまり合わないので、ウエーターは白ワインを勧めた。

解説 主語が red wine and fish の 2 つで、後ろに目的語がないので go together（互いに合う）。go with は目的語が必要（Red wine goes with meat.）。go along は「進む・同行する」で調和の意味にならず、go along with は目的語が要るうえ「同調する」の意味になる。

区別 **go together ⇔ go with ~** go together は「（A と B が）互いに合う」で主語が複数、目的語なし。go with ~ は「（A が）B に合う」で目的語をとる。見分け方：and で 2 つ並べて主語にするなら go together。

0016 □□□

The jacket is a little big for Tom now, but he will soon grow ＿＿＿ it.

① out of ② up
③ over ④ into

④ grow into ~
成長して～になる；（成長して服など）が合うようになる

訳 そのジャケットは今のトムには少し大きいが、すぐに成長して体に合うようになるだろう。

解説 「今は大きいが」と対比しているので、成長して服が体に合うようになる grow into。grow out of は「成長して（服が）小さくなり着られなくなる」で、今大きい服にはすぐには当てはまらない。grow up は自動詞で目的語 it を取れない。grow over は「（草などが）～を覆って生える」で意味が合わない。

区別 **grow into ~ ⇔ grow up** grow up は自動詞で目的語を取らず「大人になる・育つ」。grow into は後ろに変化の結果や体に合っていく物を置く。見分け方：後ろに名詞が続くなら grow into。

0017 □□□

The government cut taxes quickly in order to head ＿＿＿ an economic crisis.

① off ② for
③ up ④ into

① head off ~ ～を阻止する；～を食い止める

訳 政府は経済危機を食い止めるため、素早く減税を行った。

解説 減税は危機を「起こる前に食い止める」ための手なので head off（= prevent）。head for は「～に向かって進む」、head into は「～に突入する」で、どちらも自分から危機へ進む意味になり in order to と合わない。head up は「（組織・計画）を率いる」で危機には使えない。

区別 **head off ~ ⇔ put off ~** put off は「延期する」で、予定を後ろへずらすだけ。head off は悪い事態が起きないよう先に手を打って防ぐ。見分け方：危機・争いなどを未然に防ぐなら head off。

0018 □□□

Don't interrupt me. Please ———— before you decide.

① hear out me　② hear me from
③ hear me out　④ hear out to me

③ hear A out （人）の話を最後まで聞く

訳 口をはさまないで。決める前に私の話を最後まで聞いてください。

解説 人の話を最後まで聞くは hear A out で、代名詞 me は必ず hear と out の間に置く。hear out me は代名詞の位置が誤り。hear me from は from の目的語がなく成り立たない。hear out to me は to が不要で、listen to と混ぜたひっかけ。

区別 **hear A out ⇔ hear from ~** hear from ~ は「（人）から連絡・便りがある」。hear A out は目の前の人の話を途中で遮らずに聞き終える。見分け方：手紙・電話の送り手なら from、話を最後まで聞くなら out。

0019 □□□

With three small children, it is not easy for him to hold ———— a full-time job.

① up　② down
③ off　④ out

② hold down ~ ～を押さえつける；（物価など）を抑える

訳 小さな子どもが 3 人いるので、彼がフルタイムの仕事を続けるのは簡単ではない。

解説 「（仕事）を辞めずに続ける」は hold down a job。hold up は「遅らせる・持ち上げる」、hold off は「（敵など）を寄せつけない・先に延ばす」、hold out は「差し出す・持ちこたえる」で、どれも仕事を続ける意味にならない。

区別 **hold down ~ ⇔ hold up ~** hold up は「持ち上げる・（交通などが）遅らせる・（強盗が）襲う」。hold down は「下へ押さえる・低く保つ・（職を）保つ」。見分け方：下へ・低くなら down、上へ・止めるなら up。

0020 □□□

After strong protests, the company backed away ———— its plan to close the factory.

① from　② to
③ with　④ at

① back away 後ずさりする；（計画などから）手を引く

訳 強い抗議を受けて、その会社は工場を閉鎖する計画から手を引いた。

解説 「（計画など）から手を引く」は back away from ~ で、from は「～から離れて」。to は向かう先、with は一緒・手段、at は一点を表し、どれも away（離れて）と合わない。back away from は動作の「後ずさり」にも計画の撤回にも同じ形で使う。

区別 **back away ⇔ back up** back up は「（車を）バックさせる・後押しする・裏付ける・（データの）控えを取る」。back away は向き合ったまま後ろへ離れる、計画から手を引く。見分け方：from ~ を続けて「～から離れる」なら back away。

0021 □□□

A: Hello, this is Ken Mori from ABC Company. Is Ms. Tanaka ＿＿＿＿? B: I'm sorry, she's out for lunch. Can I take a message?

① at　② on
③ over　④ in

④ be in 在宅している；（会社に）いる

訳 A：もしもし、ABC 社の森健です。田中さんはいらっしゃいますか。 B：申し訳ありません、田中はただいま昼食で外出しております。ご伝言を承りましょうか。

解説 電話で相手が会社に「いるか」を尋ねるのは Is ~ in?（in は「中に＝在社して」）。返事の she's out（外出中）と対になる。at は後ろに場所の名詞が必要で、ここで文が終わってしまう。on は番組や予定が「行われている」、over は「終わって」の意味で、人がいるかどうかを尋ねる形にならない。

区別 **be in ⇔ be out** be out は「外出している」「流行遅れだ」で、be in の反対。電話で不在を伝える定番。見分け方：中にいる・はやっているなら in、外にいる・すたれたなら out。

0022 □□□

A: The weather looks bad. Is the barbecue still ＿＿＿＿? B: Yes, it hasn't been canceled. See you at six.

① off　② in
③ up　④ on

④ be on
（番組・映画が）放送中だ・上映中だ；予定どおり行われる

訳 A：天気が悪そうだね。バーベキューは予定どおりやるの？ B：うん、中止にはなっていないよ。6 時に会おう。

解説 「（行事が）予定どおり行われる」は be on。B が「中止になっていない」と答えているので on。off は「中止になって」で返事と食い違う。in は「在宅して・流行して」、up は「起きて・（時間が）終わって」で、行事の予定には使わない。

区別 **be on ⇔ be off** be off は「中止になっている・（電気が）消えている・出かける」で、be on の反対。見分け方：予定が生きていれば on、取りやめなら off。

0023 □□□

I don't know a good dentist, but I'll ask ＿＿＿＿ and let you know.

① after　② for
③ around　④ out

③ ask around あちこち尋ねて回る

訳 いい歯医者は知らないけれど、周りに聞いて回って知らせるよ。

解説 目的語なしで「（周りの人に）あちこち尋ねて回る」のは ask around。ask after ~ は「～の安否を尋ねる」、ask for ~ は「～を求める」、ask ~ out は「～をデートに誘う」で、どれも目的語が必要なので and の前で区切れない。

区別 **ask around ⇔ ask after ~** ask after ~ は「～の安否・様子を尋ねる」（She asked after your mother.）。ask around は目的語を取らず、大勢に聞いて回る。見分け方：人の様子を気づかうなら ask after。

0024 ☐☐☐

My parents will be ＿＿＿＿ for two weeks, so I'll have the house to myself.

① over　② away
③ up　④ in

② be away 留守にしている；（遠くに）出かけている

訳 両親が 2 週間留守にするので、家を独り占めできる。

解説 2 週間家を離れているので「留守にしている」の be away。それで家を独り占めできる。over は「終わって」、up は「起きて・（期限が）切れて」で、人が家にいない意味にならない。in は「在宅して」で正反対。

区別 **be away ⇔ be out** be out は近所への外出など「ちょっと出ている」。be away は旅行・出張などで何日も戻らない。見分け方：期間が長い・遠くなら away。

0025 ☐☐☐

Most meteors burn ＿＿＿＿ in the atmosphere, so they never reach the ground.

① down　② up
③ in　④ over

② burn up 燃え尽きる；～を燃やし尽くす

訳 ほとんどの流星は大気圏で燃え尽きるので、地上に届くことはない。

解説 地上に届く前に大気中で「すっかり燃えて無くなる」ので burn up（up＝すっかり）。burn down は建物などが「焼け落ちる」に使う。burn in や burn over は、燃え尽きる意味の決まった句動詞ではない。

区別 **burn up ⇔ burn down** burn down は建物などが「焼け落ちる」（down＝崩れ落ちる）。burn up は物が燃え尽きて無くなる、エネルギーを使い切る。見分け方：家・建物なら burn down。

0026 ☐☐☐

Unused vacation days can be carried ＿＿＿＿ to the next year.

① over　② out
③ off　④ away

① carry over ～ ～を持ち越す；～を繰り越す

訳 使わなかった休暇の日数は、翌年に繰り越すことができる。

解説 残った休暇を「次の年へ持ち越す」ので carry over（over＝向こうへ）。carry out は「実行する」、carry off は「持ち去る・（賞を）さらう」、carry away は受け身で「夢中になる」で、どれも to the next year と結びついて繰り越す意味にならない。

区別 **carry over ～ ⇔ put off ～** put off は予定そのものを「延期する」。carry over は今期の残り（休暇・お金・作業）を次の期に回す。見分け方：残った分を次に回すなら carry over。

0027 ☐☐☐

You have ten minutes left. Please check ＿＿＿＿ your answers before you hand in your paper.

① off　② in
③ over　④ up

③ check over ～ ～を点検する；～を見直す

訳 残り 10 分です。答案を提出する前に、答えを見直してください。

解説 提出前に答え全体を見直すので check over（over＝全体にわたって）。check off は「（リストの項目に）済みの印をつける」、check in は「（ホテルなどで）手続きをする」で、答えの見直しにならない。check up は check up on ～（～を調べる）の形で使い、answers を直接目的語に取らない。

区別 **check over ～ ⇔ check out ～** check out は「（興味のある物を）見てみる」「ホテルを出る」。check over は誤りや異常がないか全体を点検する。見分け方：間違い探しの見直しなら check over。

0028 □□□

The new policy has come ＿＿＿＿ heavy criticism from teachers.

① in for　② down on
③ up with　④ out with

① come in for ~ （非難など）を受ける

訳 その新しい方針は、教員たちから厳しい批判を受けている。

解説 主語の方針が批判を「受けている」ので come in for criticism。come down on ~ は「～を厳しく叱る」で、叱る側が主語になる。come up with ~ は「（案）を思いつく」、come out with ~ は「（意見）を口に出す・（製品）を出す」で、方針が主語では成り立たない。

区別 **come in for ~ ⇔ come down on ~** come down on ~ は「～を厳しく叱る」で、叱る側が主語。come in for criticism は批判される側が主語。見分け方：主語が非難を受けるなら come in for。

0029 □□□

A: We're going camping this weekend. Do you want to come? B: Sure, count me ＿＿＿＿!

① out　② on
③ up　④ in

④ count A in （人）を仲間に入れる

訳 A：今週末キャンプに行くんだけど、来る？　B：もちろん、私も入れて！

解説 Sure（もちろん）と誘いに乗っているので、参加を表す Count me in.。Count me out. は「私は抜ける」で Sure と食い違う。count on は count on me（私を頼りにして）の語順で、count me on とは言わない。count up は「合計する」。

区別 **count A in ⇔ count on ~** count on ~ は「～を頼りにする」で、on の後ろに人・物を置く（You can count on me.）。count A in は A を仲間に入れる。語順も count me in / count on me と違う。

0030 □□□

Interest in the new video game cuts ＿＿＿＿ age groups; both children and grandparents love it.

① down　② off
③ across　④ in

③ cut across ~
～を横切って近道する；（境界・区分）を越えて広がる

訳 その新しいテレビゲームへの関心は年齢層を越えて広がっていて、子どもも祖父母も夢中になっている。

解説 子どもも祖父母も好き＝年齢の区分を越えて広がっているので cut across（across＝横切って）。cut down は「減らす・切り倒す」、cut off は「切り離す・遮断する」で、年齢層を切り離す意味になり後半と矛盾する。cut in は「割り込む・口をはさむ」。

区別 **cut across ~ ⇔ come across ~** come across ~ は「～に偶然出会う・見つける」。cut across は「横切る・区分を越えて広がる」。見分け方：偶然見つけるなら come、区分を越えるなら cut。

0031 □□□

After missing a month of classes, she dropped _____ and had to take extra lessons to keep up.

① behind ② out
③ in ④ off

① drop behind （他より）遅れる

訳 1か月授業を休んだ後、彼女は遅れてしまい、ついていくために補習を受けなければならなかった。

解説 授業を休んで「遅れ」、ついていくために補習を受けたので drop behind（= fall behind）。drop out は「中退する・脱落する」で、ついていこうとする後半と合わない。drop in は「ふらりと立ち寄る」、drop off は「うとうとする」。

区別 **drop behind ⇔ drop out (of ~)** drop out は「中退する・脱落する」で、やめてしまうこと。drop behind はまだ続けているが遅れている。見分け方：やめたなら out、遅れているだけなら behind。

0032 □□□

He spread rumors about her to get back _____ her for breaking up with him.

① to ② on
③ from ④ at

④ get back at ~ ～に仕返しをする

訳 彼は、別れを告げられた仕返しをするために、彼女についてのうわさを広めた。

解説 別れたことへの「仕返し」としてうわさを広めたので get back at（at＝相手を狙って）。get back to ~ は「（後で）～に連絡する・～に戻る」で仕返しの意味がない。get back on や get back from ~（～から戻る）も、人に仕返しする意味にならない。

区別 **get back at ~ ⇔ get back to ~** get back to ~ は「（後で）～に連絡する・（作業など）に戻る」。get back at ~ は「仕返しをする」。見分け方：仕返しなら at、連絡・再開なら to。

0033 □□□

He lost his job and got behind _____ his rent.

① at ② for
③ with ④ to

③ get behind （予定・支払いが）遅れる；～を支持する

訳 彼は仕事を失い、家賃の支払いが遅れた。

解説 「（支払い・仕事が）遅れる」は get behind with ~（on ~ も可）。at は場所・一点、for は目的・理由、to は方向を表し、どれも get behind と組んで「～が滞る」の意味にならない。

区別 **get behind ⇔ fall behind** fall behind (with ~) も「遅れる」で意味はほぼ同じ。ただし fall behind に「支持する」の意味はない。見分け方：「～を応援する」なら get behind だけ。

0034 □□□

After two days on the run, the thief gave _____ up to the police.

① himself ② him
③ his ④ oneself

① give oneself up to ~
～に身をゆだねる・没頭する；（警察）に自首する

訳 2日間逃げ回った後、泥棒は警察に自首した。

解説 「（警察）に自首する」は give oneself up to ~ で、主語 the thief に合わせて himself。him だと泥棒以外の人を警察に引き渡す意味になる。his は後ろに名詞が必要。oneself は辞書の形で、実際の文では主語に合わせて変える。

区別 **give oneself up to ~ ⇔ give up ~** give up ~ は「～をあきらめる・やめる」。give oneself up to ~ は自分自身を相手に渡す＝身をゆだねる・自首する。見分け方：oneself が入っていれば「自分を差し出す」。

0035 ☐☐☐

If you get lost, just _____ a police officer and ask for directions.

① approach to　② go up to
③ come up with　④ go up

② go up to ~ ～に近づく；～まで達する

訳 道に迷ったら、近くの警察官のところへ行って道を聞けばいいよ。

解説 「（人）に近づく・歩み寄る」は go up to ~。approach は他動詞なので approach a police officer と to を付けず、approach to は誤り。come up with は「（案）を思いつく」。go up だけでは「上がる」で、人を目的語に取れない。

区別 **go up to ~ ⇔ come up to ~** come up to ~ は（話し手の方へ）「近づいてくる」「（基準）に達する」。go up to ~ は自分から相手の方へ「近づいていく」。見分け方：こちらへ来るなら come。

0036 ☐☐☐

It's getting late, so I think I'm going to head _____. See you tomorrow!

① for　② up
③ into　④ out

④ head out 出かける；出発する

訳 遅くなってきたから、そろそろ帰るね。また明日！

解説 別れ際に「そろそろ出る（帰る）」と言っているので head out。head for ~ や head into ~ は行き先・入る先の名詞が必要で、ここで文を終えられない。head up は「（組織など）を率いる」で目的語が必要。

区別 **head out ⇔ head for ~** head for ~ は行き先を後ろに置いて「～へ向かう」。head out は目的語なしで「（ここを）出る」。見分け方：行き先を言わずに文が終わるなら head out。

0037 ☐☐☐

The actor hit _____ at the newspaper, saying its story about him was completely false.

① on　② upon
③ off　④ back

④ hit back 反撃する；やり返す

訳 その俳優は、自分に関する記事は全くのうそだと言って、新聞に反撃した。

解説 記事に「全くのうそだ」と言い返しているので hit back at ~（～に反撃する）。hit on［upon］~ は「（案）を思いつく」で at を続けない。off は hit it off（気が合う）の off と混ぜたひっかけで、反撃の意味にならない。

区別 **hit back ⇔ hit on［upon］~** hit on ~ は「（案）を思いつく」、口語では「～を口説く」。hit back は「反撃する」。見分け方：アイデアなら hit on、言い返す・やり返すなら hit back。

0038 □□□

A dog that answers _____ the name of Max has been found near the station.

① to　② for
③ by　④ with

① answer to ~
～に報告義務がある；（説明・特徴）に一致する

訳 マックスと呼ぶと反応する犬が、駅の近くで見つかった。

解説 ペットなどが「～という名前で呼ばれる（呼ぶと反応する）」は answer to the name of ~。for は answer for ~（～の責任を負う）で名前には使わない。by は go by the name of ~（～という名で通っている）と混ぜたひっかけで、answer とは組まない。with も answer と結びつかない。

区別 **answer to ~ ⇔ answer for ~** answer for ~ は「～の責任を負う・～の償いをする」（You'll answer for this!）。answer to ~ は「～に報告する・～に一致する・～という名で呼ばれる」。見分け方：責任なら for、相手・名前・特徴なら to。

0039 □□□

Don't drink that milk — it smells sour. I think it's _____.

① out　② over
③ away　④ off

④ be off 出かける；（予定が）中止になる

訳 その牛乳は飲まないで。酸っぱい匂いがする。傷んでいると思うよ。

解説 酸っぱい匂いがする牛乳は「傷んでいる」ので be off（良い状態から離れている）。out は「切れて・品切れで」で、目の前にある牛乳には合わない。over は「終わって」、away は「留守で・離れた所に」で、食べ物の状態を表さない。

区別 **be off ⇔ be on** be on は「（予定が）行われる・（番組が）放送中・（電気が）ついている」で、be off の反対。見分け方：生きている・動いているなら on、取りやめ・切れているなら off。

0040 □□□

You're welcome to bring _____ a friend to the party.

① about　② along
③ up　④ out

② bring along ~ ～を連れてくる；～を持ってくる

訳 パーティーには、お友達を連れてきても構いませんよ。

解説 招待の場面で「（友達）を一緒に連れてくる」は bring along（along＝一緒に）。bring about は「（変化など）を引き起こす」、bring up は「育てる・（話題）を持ち出す」、bring out は「（製品）を出す・（良さ）を引き出す」で、人を連れてくる意味にならない。

区別 **bring along ~ ⇔ take along ~** take along は（話し手のいる所から別の場所へ）「連れていく・持っていく」。bring along は（話し手・聞き手のいる所へ）「連れてくる・持ってくる」。bring と take の方向の違いがそのまま残る。

0041 □□□

We all chipped _____ to buy our teacher a farewell gift.

① off　② away
③ out　④ in

④ chip in （お金・力を）出し合う；口をはさむ

訳 私たちはみんなでお金を出し合って、先生にお別れのプレゼントを買った。

解説 みんなで少しずつお金を出し合ったので chip in。chip away は chip away at ~（~を少しずつ削る・崩す）の形で使う。chip off は「（表面が）欠ける・はがれる」、chip out は「出し合う」の意味の句動詞ではない。

区別 **chip in ⇔ pitch in** pitch in は主に「（作業を）みんなで手伝う・協力する」。chip in はお金を出し合う場面によく使う。両方とも「みんなで少しずつ」の発想。

0042 □□□

I need to clean _____ the refrigerator; there's old food in the back that smells bad.

① over　② after
③ out　④ away

③ clean out ~
~の中をすっかりきれいにする；~を一文無しにする

訳 冷蔵庫の中をすっかりきれいにしなきゃ。奥に古い食べ物があって嫌な匂いがする。

解説 奥の古い食べ物を出して中を空にするので clean out（out＝中身を外へ）。clean over や clean after は決まった句動詞ではない（clean up after ~ なら「~の後片付けをする」）。clean away は「（汚れ）を取り除く」で、冷蔵庫そのものを目的語にできない。

区別 **clean out ~ ⇔ clean up ~** clean up は散らかった場所やごみを「片付ける・掃除する」。clean out は入れ物の中身を出して空にしてきれいにする。見分け方：引き出し・冷蔵庫の中を空にするなら clean out。

0043 □□□

The landlord gave us one week to clear _____ of the apartment.

① out　② up
③ in　④ over

① clear out ~の中を片付ける；（急いで）出て行く

訳 大家は、アパートを引き払って出て行くまでに 1 週間の猶予をくれた。

解説 of the apartment と続き「（部屋を空けて）出て行く」なので clear out of ~。clear up は「片付ける・（天気が）晴れる・（問題を）解決する」で of を続けない。clear in や clear over は決まった句動詞にない。

区別 **clear out ⇔ clear up** clear up は「（天気が）晴れる・（問題・誤解）を解決する・片付ける」。clear out は中身を出して空にする、出て行く。見分け方：of ~ が続いて「~から出て行く」なら clear out。

0044 ☐☐☐

The old book was so fragile that it _____ when I opened it.

① took apart　② came apart
③ came across　④ set apart

② come apart　ばらばらになる；崩れる

訳 その古い本はとてももろくなっていて、開いたらばらばらになった。

解説 本が自然に「ばらばらになった」ので自動詞の came apart。took apart は「（人が）～を分解した」という他動詞で目的語が必要。came across は「～に偶然出会った」、set apart は「～を区別する・取っておく」で、どちらも目的語が必要。

区別 **come apart ⇔ take ~ apart**　take ~ apart は人が主語の他動詞で「～を分解する」。come apart は物が主語の自動詞で「（自然に）ばらばらになる」。見分け方：目的語があれば take apart。

0045 ☐☐☐

The company plans to _____ a new smartphone next spring.

① come out with　② come out
③ come in for　④ come across

① come out with ~
（新製品）を出す；（意見・事実）を口に出す

訳 その会社は来春、新しいスマートフォンを発売する予定だ。

解説 会社が主語で「（新製品）を出す」なので come out with ~。come out は製品が主語で「発売される」という自動詞なので、後ろに a new smartphone を置けない。come in for は「（非難など）を受ける」、come across は「～に偶然出会う」で、製品を出す意味にならない。

区別 **come out with ~ ⇔ come up with ~**　come up with ~ は「（案・答え）を思いつく・考え出す」。come out with ~ は「（製品）を世に出す・（言葉）を口に出す」。見分け方：頭の中で考えるなら up、外へ出すなら out。

0046 ☐☐☐

I've already bought the milk, so you can cross it _____ the shopping list.

① out　② off
③ over　④ away

② cross off ~　（リストから）～を線を引いて消す

訳 牛乳はもう買ったから、買い物リストから消していいよ。

解説 「B（リスト）から A を線を引いて消す」は cross A off B で、off が「（リストから）離れて」を表す。cross out は「（間違いなど）を線で消す」で、後ろに the shopping list をそのまま続けられない。over や away は cross と組んでリストから消す意味にならない。

区別 **cross off ~ ⇔ check off ~**　check off は項目に✓印をつけて「済み」にするだけで、消さない。cross off は線を引いてリストから消す。見分け方：✓なら check off、横線・×なら cross off。

0047 □□□

Cut _____ the carrots into small pieces and add them to the soup.

① down　② off
③ out　④ up

④ cut up ~ ～を細かく切る

訳 にんじんを細かく切って、スープに入れてください。

解説 into small pieces（細かく）と続くので、「すっかり細かく切る」の cut up。cut down は「（木を）切り倒す・減らす」、cut off は「切り取る・遮断する」、cut out は「切り抜く・やめる」で、細かく刻む意味にならない。

区別 **cut up ~ ⇔ cut down ~** cut down は「（木）を切り倒す・（量）を減らす」（cut down on sugar）。cut up は細かく刻む。見分け方：into small pieces が続けば cut up。

0048 □□□

There were too many mistakes in your essay. You'll have to do it _____.

① away　② without
③ over　④ up

③ do over ~ ～をやり直す；～を改装する

訳 作文に間違いが多すぎます。やり直さなければいけませんね。

解説 間違いが多いので「もう一度やる」do it over（over＝もう一度）。do away with は「～を廃止する」で、it の後ろに away を置く形にならない。do without は「～なしで済ます」、do up は「（ボタンなど）を留める・飾る」で、作文のやり直しの意味にならない。

区別 **do over ~ ⇔ do away with ~** do away with ~ は「（制度・規則）を廃止する」。do over は「やり直す」。見分け方：なくすなら do away with、もう一度するなら do over。

0049 □□□

The wind was so strong that our bicycles fell _____ in the parking lot.

① out　② over
③ off　④ through

② fall over 転ぶ；倒れる

訳 風がとても強かったので、駐輪場で自転車が倒れた。

解説 強風で立っていた自転車が「倒れた」ので fall over。fall out は「（歯・髪が）抜ける・仲たがいする」、fall off は「（～から）落ちる」で落ちる元が必要、fall through は「（計画が）だめになる」で、どれも自転車が倒れる意味にならない。

区別 **fall over ⇔ fall out (with ~)** fall out は「（歯・髪が）抜け落ちる」「（～と）仲たがいする」。fall over は「転ぶ・倒れる」。見分け方：with＋人が続けば仲たがい。

0050 □□□

As soon as I get through _____ my homework, I'll call you.

① to　② for
③ at　④ with

④ get through with ~ ～を終える；～を済ませる

訳 宿題を終えたらすぐに電話するね。

解説 「（仕事など）を終える」は get through with ~。to を使う get through to ~ は「（電話が）～につながる・～に分からせる」で、宿題には使わない。for や at は get through と組んで「終える」の意味にならない。

区別 **get through with ~ ⇔ get through to ~** get through to ~ は「（電話が）～につながる」「（人）に分からせる」。get through with ~ は「～を終える」。見分け方：人・電話の相手なら to、仕事なら with。

0051 □□□

The children are too quiet. I wonder what they're getting ＿＿＿ to.

① out ② up
③ along ④ off

② get up to ~ （いたずらなど）をする；～に達する

訳 子どもたちが静かすぎる。何かいたずらをしているんじゃないかしら。

解説 静かすぎる子どもたちが「（いたずらなど）をしている」のではと心配しているので get up to ~。get out to、get along to、get off to は「いたずらをする」意味の句動詞にならない（get along with なら「仲良くする」、get off to a good start なら「好調な出だしを切る」）。

区別 **get up to ~ ⇔ be up to ~** be up to ~ は「～をたくらんでいる」「～次第だ」（It's up to you.）。get up to ~ は「（いたずらなど）を実際にする」。

0052 □□□

Half of the class went down ＿＿＿ the flu last week.

① on ② from
③ with ④ by

③ go down with ~ （病気）にかかる

訳 先週、クラスの半分がインフルエンザにかかった。

解説 「（病気）にかかる」は go down with ~（= come down with ~）で、with の後ろに病名を置く。from は suffer from ~（～で苦しむ）の from と混ぜたひっかけ。on や by も go down と組んで病気にかかる意味にならない。

区別 **go down with ~ ⇔ go down well with ~** go down well with＋人 は「～に受けが良い・気に入られる」。with の後ろが人なら評判、病名なら「病気にかかる」。

0053 □□□

When you've read this notice, please hand it ＿＿＿ to the next person.

① on ② in
③ out ④ up

① hand on ~ ～を次に回す；～を伝える

訳 このお知らせを読んだら、次の人に回してください。

解説 読んだお知らせを「次の人へ回す」ので hand on（on＝先へ）。hand in は「（先生などに）提出する」、hand out は「（大勢に）配る」で、次の一人に回す意味にならない。hand up は回覧する意味の決まった句動詞ではない。

区別 **hand on ~ ⇔ hand in / hand out** hand in は「（先生・上司に）提出する」、hand out は「（大勢に）配る」。hand on は「次の人へ回す・伝える」。in（中へ）、out（外へ）、on（先へ）の方向で整理する。

0054 □□□

Even during the hard times, the family held ＿＿＿ and supported one another.

① apart ② together
③ back ④ off

② hold together まとまる；結束する

訳 苦しい時期でも、家族は結束して互いに支え合った。

解説 「互いに支え合った」と続くので、ばらばらにならず結束した held together。apart は「離れて」で、hold apart とは普通言わず意味も逆。held back は「ためらった・控えた」、held off は「先に延ばした・寄せつけなかった」で、家族の結束を表さない。

区別 **hold together ⇔ fall apart** fall apart は「ばらばらに崩れる」で、反対の意味。hold together はばらばらにならずにまとまっている。

0055 ☐☐☐

He was laid _____ with a bad cold for a week and couldn't go to school.

① up　② off
③ out　④ down

① be laid up (with ~)　（病気で）寝込んでいる

訳 彼はひどい風邪で 1 週間寝込み、学校に行けなかった。

解説 ひどい風邪で 1 週間「寝込んだ」ので be laid up with ~。be laid off は「（会社から）解雇される」で風邪とは結びつかない。be laid out は「（計画などが）並べられる・設計される」、be laid down は「（規則が）定められる」で、病気で寝込む意味にならない。

区別 **be laid up (with ~) ⇔ be laid off**　be laid off は「（会社から一時的に）解雇される」。be laid up は「病気で寝込んでいる」。見分け方：with＋病名なら up、会社・仕事の話なら off。

0056 ☐☐☐

She lost her job and her home in the same month, but she's bearing _____ remarkably well.

① with　② up
③ out　④ down

② bear up　持ちこたえる；くじけない

訳 彼女は同じ月に職と家を失ったが、驚くほどくじけずに耐えている。

解説 つらい状況に「くじけずに耐えている」ので bear up。bear with ~ は「（人）を我慢して待つ」で目的語が必要。bear out ~ は「（説など）を裏付ける」で目的語が必要。bear down は「（相手に）迫る・ぐっと力を入れる」で、耐える意味ではない。

区別 **bear up ⇔ bear with ~**　bear with＋人 は「（人）を我慢して待つ・大目に見る」（Please bear with me.＝少々お待ちください）。bear up は自分がくじけずに耐える。見分け方：目的語の人がいれば bear with。

0057 ☐☐☐

Nobody thought the small team could win the championship, but they managed to bring it _____.

① off　② up
③ down　④ back

① bring off ~　（難しいこと）をやってのける

訳 その小さなチームが優勝できるとは誰も思わなかったが、彼らは見事にやってのけた。

解説 誰もできないと思った優勝を「うまくやってのけた」ので bring it off（＝ pull it off）。bring up は「（話題）を持ち出す・育てる」、bring down は「倒す・下げる」、bring back は「戻す・思い出させる」で、やり遂げる意味にならない。

区別 **bring off ~ ⇔ bring about ~**　bring about ~ は「（変化・事故など）を引き起こす」。bring off ~ は「（難しいこと）をやってのける」。見分け方：結果を生み出す原因なら about、成功させるなら off。

0058 □□□

As each student arrived, the teacher checked his or her name ———— the list.

① out ② up
③ off ④ over

③ check off ~ （リストの項目）に印をつけて確認する

訳 生徒が一人ずつ到着するたびに、先生は名簿のその生徒の名前に印をつけた。

解説 到着した生徒の名前に印をつけて確認するので check A off the list（off＝リストから済みにする）。check out は「調べる・（ホテルを）出る」、check up は check up on ~（～を調べる）の形、check over は「点検する」で、the list を後ろに直接続けて「リストの名前に印をつける」形にはならない。

区別 **check off ~ ⇔ cross off ~** cross off は線を引いて項目をリストから消す。check off は✓印をつけて確認するだけ。見分け方：✓なら check off、横線・×なら cross off。

0059 □□□

The principal came down hard ———— students who were late for school.

① with ② to
③ for ④ on

④ come down on ~ ～を厳しく叱る；～を罰する

訳 校長は、遅刻した生徒を厳しく叱った。

解説 「～を厳しく叱る・罰する」は come down (hard) on ~ で、on は「～にのしかかって」。with を使う come down with ~ は「（病気）にかかる」で、生徒を目的語にしても意味をなさない。to や for は come down と組んで叱る意味にならない。

区別 **come down on ~ ⇔ come down with ~** come down with＋病名 は「（病気）にかかる」。come down on＋人 は「～を厳しく叱る」。前置詞一つで意味が全く変わる。

0060 □□□

A: We're planning to climb Mt. Fuji overnight. Want to join us? B: No, thanks. Count me ———— . I hate the cold.

① in ② out
③ on ④ off

② count A out （人）を仲間から外す；～を数えて出す

訳 A：夜通しで富士山に登る計画なんだけど、一緒に来る？ B：いや、遠慮しとく。私は抜けるよ。寒いのは大嫌いなんだ。

解説 No, thanks と誘いを断っているので Count me out.（私は抜ける）。Count me in. は「参加する」で No, thanks と食い違う。count on は count on me（私を頼りにして）の語順で使う。count off は「番号を数えて並ぶ・分ける」で、断る言葉ではない。

区別 **count A out ⇔ count A in** count A in は「A を仲間に入れる」で、Count me in.（参加する）は Count me out.（抜ける）の反対。誘いへの返事で in と out を取り違えないこと。

0061 □□□

We listened as the sound of the footsteps slowly died ———— down the hallway.

① of ② off
③ away ④ from

③ die away （音・風などが）次第に消える

訳 廊下の向こうへ足音がゆっくり遠ざかって消えていくのを、私たちは聞いていた。

解説 足音が廊下の向こうへ「次第に遠ざかって消える」ので die away（away＝遠くへ）。die of と die from は「（病気・原因）で死ぬ」で、後ろに原因の名詞が必要。die off は「（生物が）次々に死んでいく」で、音には使わない。

区別 **die away ⇔ die out** die out は「（種族・習慣が）絶滅する・すたれる」で、最後の一つまでいなくなる。die away は音などが弱まって消える。見分け方：生き物・習慣なら out、音・風なら away。

0062 □□□

Tomatoes are botanically fruits, but in cooking they usually fall _____ the category of vegetables.

① under ② behind
③ through ④ apart

① fall under ~

～に分類される；（支配・影響）の下に入る

訳 トマトは植物学上は果物だが、料理では普通、野菜の部類に入る。

解説 「～の部類に入る・分類される」は fall under ~（the category という傘の下に入る）。fall behind は「遅れる」、fall through は「（計画が）だめになる」、fall apart は「ばらばらになる」で、分類の意味にならない。なお fall into the category of ~ も同じ意味で使える。

区別 **fall under ~ ⇔ fall into ~** fall into ~ も「～に分類される」（fall into three groups）。ただし fall into には「（穴・習慣・困難）に陥る」の意味もある。支配・管轄の下に入るなら fall under。

0063 □□□

Ken and I were best friends in elementary school, but we gradually grew _____ after his family moved to Osaka, and now we rarely talk.

① up ② apart
③ out ④ over

② grow apart （人と）疎遠になる

訳 ケンと私は小学校のころは親友だったが、彼の家族が大阪に引っ越してから次第に疎遠になり、今ではめったに話さない。

解説 「親友だったが、今はめったに話さない」とあるので、気持ちが離れていく grew apart。grew up は「成長した」で、but の対比や「話さない」につながらない。grow out は grow out of ~（成長して～が合わなくなる）の形で使い、単独では意味をなさない。grow over は「（草などが）覆う」で人間関係には使わない。

区別 **grow apart ⇔ break up (with ~)** break up は恋人・夫婦が「別れる」というある時点のはっきりした出来事。grow apart は気持ちが少しずつ離れていく過程。見分け方：別れ話・決断なら break up、年月をかけた自然な変化なら grow apart。

0064 □□□

We don't have a final plan yet, but we _____ a few ideas for the school festival at yesterday's meeting.

① kicked off ② kicked around
③ kicked out ④ kicked in

② kick around ~

（考えなど）をあれこれ検討する；～をこき使う

訳 まだ最終的な計画はないが、昨日の会議で文化祭のアイデアをいくつかあれこれ出し合った。

解説 「まだ最終案はない」段階でアイデアを気軽に出し合ったので kicked around。kick off は「（試合・会議などを）始める」で、目的語は meeting や campaign。kick out は「追い出す」で人が目的語。kick in は「（薬などが）効き始める」「（お金を）出し合う」でアイデアには使わない。

区別 **kick around ~ ⇔ think over ~** think over は一人でじっくり考えて結論を出すこと。kick around は複数の人で気軽に意見を出し合う段階で、まだ結論は出ていない。見分け方：会議・仲間でのブレインストーミングなら kick around。

0065 □□□

Before he retired, Mr. Sato made ＿＿＿＿ his shop to his eldest daughter.

① up　② out
③ over　④ for

③ make over ~ （財産など）を譲る；~を作り変える

訳 引退する前に、佐藤さんは店を長女に譲った。

解説 make over A to B で「A を B に譲る」。財産である店が娘のものに移るので over。make up は「作り上げる・仲直りする」で to B（譲る相手）を取らない。make out は make out a check to ~（~宛てに小切手を切る）の形で、店は目的語にならない。make for は「~の方へ向かう」で意味が合わない。

区別 **make over ~ ⇔ hand over ~** hand over は「（物を）手渡す」「（権限・責任を）引き渡す」で日常的に幅広く使う。make over は財産を正式に「譲渡する」かたい表現。見分け方：鍵や書類を渡すなら hand over、土地や家の名義を移すなら make over。

0066 □□□

We arrived at the platform just as the train was pulling ＿＿＿＿, so we didn't have to wait at all.

① out　② in
③ off　④ down

② pull in （列車が）到着する；（車が）わきに寄る

訳 私たちがホームに着いたちょうどそのとき列車が入ってきたので、全く待たずに済んだ。

解説 「全く待たずに済んだ」ので列車がちょうど到着した pulling in。pulling out は「発車する」で、それなら乗り遅れて次を待つことになる。pull off は「（道路から）それる・（難しいことを）やってのける」、pull down は「取り壊す」で列車の到着にならない。

区別 **pull in ⇔ pull out** 反対の意味で「（列車が）発車する・（車が）出ていく」。見分け方：駅に入ってくるなら in、出ていくなら out。pull out of ~ は「（計画・大会から）手を引く」の意味もある。

0067 □□□

A: So, will you join our team? We need your answer soon. B: It's a big decision. Can I ＿＿＿＿ it and let you know tomorrow?

① sleep in　② sleep off
③ sleep on　④ sleep through

③ sleep on ~ ~について一晩考える

訳 A：それで、うちのチームに入ってくれる？　早めに返事が欲しいんだ。　B：大事な決断だから、一晩考えて明日返事してもいいかな？

解説 大事な決断なので返事を翌日まで待ってもらう＝一晩考える sleep on it。sleep in は「遅くまで寝ている」で目的語を取らない。sleep off は「（頭痛・疲れなど）を寝て治す」で、決断は治すものではない（語順も sleep it off）。sleep through は「（物音など）に気づかず寝続ける」。

区別 **sleep on ~ ⇔ sleep in** sleep in は休日などに「（わざと）遅くまで寝ている」で、目的語を取らない。sleep on ~ は「~について一晩考える」で目的語が要る。

0068 □□□

Your speech was good, but you need to _____ your pronunciation if you want to win the contest.

① work out　② work off
③ work for　④ work at

④ work at ~ ～に懸命に取り組む

訳 スピーチはよかったが、コンテストで勝ちたいなら発音を磨く努力をする必要がある。

解説 発音を上達させるために「努力して取り組む」のは work at。work out は「（答えを）導き出す・運動する」で、発音を磨く意味にならない。work off は「（運動して）ストレス・体重を減らす」で、発音を減らすことになってしまう。work for は「～のために働く・～に勤める」で文意に合わない。

区別 **work at ~ ⇔ work on ~** work on は「（作品・課題）に取りかかる・手を加える」で幅広く使う。work at は「努力して上達させる」ニュアンスが強い。どちらも使える文も多いが、「勤め先」を表すなら at（work at a hospital）。

0069 □□□

I took quick notes during the experiment, and tonight I need to write them _____ as a proper report for my teacher.

① down　② off
③ back　④ up

④ write up ~
（報告書など）をまとめて書く；～を清書する

訳 実験中は簡単なメモを取っただけなので、今夜それを先生に出すきちんとした報告書にまとめなければならない。

解説 メモをもとにきちんとした報告書に「仕上げる」ので write up。write down は「（聞いたこと・思いつき）を書き留める」で、すでに書いてあるメモには合わない。write off は「（借金を）帳消しにする・見限る」、write back は「返事を書く」で、報告書にまとめる意味にならない。

区別 **write up ~ ⇔ write down ~** write down はその場で聞いたこと・思いついたことを紙に書き留める。write up はメモなどをもとに整った文章に仕上げる。見分け方：電話番号・単語なら down、報告書・論文なら up。

0070 □□□

The old wooden boat hit the rocks and broke _____ into several pieces.

① apart　② out
③ in　④ away

① break apart ばらばらになる；～をばらばらにする

訳 その古い木造の船は岩にぶつかり、ばらばらに壊れていくつにも分かれた。

解説 岩にぶつかって「いくつかの部分に割れた」ので broke apart（apart＝離れ離れに）。break out は「（戦争・火事が）起こる」、break in は「押し入る・口をはさむ」、break away は「（～から）逃げる・離脱する」で、into several pieces（いくつもの破片に）と結び付かない。

区別 **break apart ⇔ fall apart** fall apart は古さ・弱さで自然に崩れる（The old book is falling apart.）ほか、計画や人の心が崩れる比喩にも使う。break apart は衝撃・力で割れる。見分け方：古くて自然に壊れるなら fall apart、力が加わって割れるなら break apart。

0071 □□□

When reporters asked about the rumors, the actor just laughed and _____ the question, refusing to give any answer.

① brushed up　② brushed off
③ took up　④ called off

② brush off ~ ～を払い落とす；～をはねつける

訳 記者たちがうわさについて尋ねると、その俳優はただ笑って質問を軽くあしらい、何も答えようとしなかった。

解説 答えを拒んで質問を「軽く払いのけた」ので brushed off。brushed up は brush up (on) ~ で「（技能を）磨き直す」。took up は「（話題・問題）を取り上げる」で refusing to give any answer と矛盾する。called off は「（予定を）中止する」で質問には使わない。

区別 **brush off** ~ ⇔ **brush up (on)** ~ brush up (on) は「（忘れかけた技能・知識を）磨き直す」。brush off は「払いのける・相手にしない」。見分け方：語学・技術を学び直すなら up、批判・誘いを退けるなら off。

0072 □□□

This smartphone has a powerful camera _____ at the back, so you don't need to carry a separate one.

① built in　② built up
③ built on　④ built over

① build in ~ ～を組み込む；～を造り付けにする

訳 このスマートフォンには背面に高性能のカメラが内蔵されているので、別のカメラを持ち歩く必要はない。

解説 カメラがスマートフォンの中に「組み込まれている」ので built in（have A built in＝A が内蔵されている）。built up は「（徐々に）増やされた・築き上げられた」でカメラには合わない。built on は「～を土台にして」で後ろに土台の名詞が必要。built over は「（土地の上に）建物が建てられた」で、カメラには使わない。

区別 **build in** ~ ⇔ **build up** ~ build up は「（徐々に）増やす・強める・築き上げる」（build up strength / build up trust）。build in は「中に組み込む」。見分け方：量や力が増えるなら up、部品・機能を中に入れるなら in。

0073 □□□

The big dog next door barked and _____ me, so I ran home as fast as I could.

① looked after　② took after
③ asked after　④ came after

④ come after ~ ～の後に続く；～を追いかける

訳 隣の大きな犬がほえて追いかけてきたので、私は全速力で家まで走った。

解説 ほえて「追いかけてきた」から逃げたので came after（＝chased）。looked after は「世話をした」、took after は「（親に）似ている」、asked after は「（人の）安否を尋ねた」で、走って逃げる理由にならない。after を使う句動詞は意味の違いが入試で狙われる。

区別 **come after** ~ ⇔ **look after** ~ look after は「～の世話をする」。come after は「追いかける・後に続く」。after を使う句動詞は意味が全く違うので、動詞ごと覚える。

0074 □□□

It was only when I saw the empty classroom that the reality of graduation finally ＿＿＿＿ home to me.

① brought ② took
③ made ④ came

④ come home to ~
（事の重大さが）～に痛切に感じられる

訳 空っぽの教室を見たときになって初めて、卒業するという現実がようやく身に染みて分かった。

解説 主語が「卒業の現実」で、それが私に痛感されたので came home to me（自動詞）。brought は bring A home to B の形で「A を B に痛感させる」の他動詞なので、目的語がないこの文では使えない。took home は「持ち帰る」、made home という決まった言い方はなく、痛感の意味にならない。

区別 **come home to ~ ⇔ bring home to ~** bring home は「（出来事が人に）痛感させる」で他動詞。come home は「（事実が人に）身に染みる」で自動詞。主語と目的語の関係が逆になる。

0075 □□□

When the river was polluted by the factory, many fish ＿＿＿＿, although the species itself still survives in other rivers.

① died off ② died out
③ died down ④ died away

① die off （群れが）次々に死ぬ

訳 工場によって川が汚染されたとき、たくさんの魚が次々に死んだ。もっとも、その種そのものはほかの川でまだ生き残っている。

解説 多くの魚が次々に死んだが種は他の川で生き残っているので、全滅ではない died off。died out は「完全に絶滅した」で although 以下と矛盾する。died down は「（風・騒ぎが）静まる」、died away は「（音・光が）次第に消える」で生き物の死には使わない。

区別 **die off ⇔ die out** die out は種・習慣・言語が「完全に絶滅する・消える」。die off は大量に死ぬが種は残ることがある。見分け方：もう一匹もいないなら die out。

0076 □□□

You don't need to wear a suit tomorrow. It's a casual event, so feel free to ＿＿＿＿.

① dress up ② dress down
③ wear out ④ show off

② dress down 普段着を着る；（人）を叱りつける

訳 明日はスーツを着てくる必要はありません。気軽な集まりなので、遠慮なく普段着で来てください。

解説 スーツは不要で気軽な集まりなので、くだけた普段着を着る dress down。dress up は「着飾る・正装する」で逆の意味。wear out は「擦り減らす・疲れさせる」で目的語が要る。show off は「見せびらかす」で、服装の格を下げる意味ではない。

区別 **dress down ⇔ dress up** 反対の意味で「着飾る・正装する」。dress up as ~ は「～の仮装をする」。見分け方：パーティー・式なら dress up、気楽な場なら dress down。

0077 □□□

I'm too tired to go to a restaurant tonight. Let's _____ and cook something simple.

① eat out　② eat up
③ eat away　④ eat in

④ eat in 家で食事をする；店内で食べる

訳 今夜は疲れていてレストランに行く気になれない。家で食べることにして、何か簡単なものを作ろう。

解説 レストランには行かず家で作って食べるので eat in。eat out は「外食する」で逆の意味。eat up は「残さず平らげる」で、料理を作る前の提案としては合わない。eat away は「（少しずつ）むしばむ」で eat away at ~ の形で使う。

区別 **eat in ⇔ eat out** 反対の意味で「外食する」。見分け方：家・店内で食べるなら in、レストランへ出かけるなら out。

0078 □□□

His grades dropped after he _____ a group of older boys who skipped school every day.

① fell out with　② fell back on
③ came up with　④ fell in with

④ fall in with ~
~と偶然知り合う・付き合うようになる；~に同意する

訳 毎日学校をさぼる年上の少年たちと付き合うようになってから、彼の成績は下がった。

解説 学校をさぼる仲間と「付き合うようになった」ので成績が下がった、という流れなので fell in with。fell out with は「仲たがいした」で、それなら成績が下がる理由にならない。fell back on は「（いざというとき）~に頼る」、came up with は「（考え）を思いつく」で、人の集団とは合わない。

区別 **fall in with ~ ⇔ fall out with ~** 反対で「（~と）仲たがいする」。見分け方：輪の中に入るなら in、けんかして輪から出るなら out。

0079 □□□

When our teacher suddenly got sick, it fell _____ me, as class president, to run the meeting.

① to　② at
③ for　④ under

① fall to ~ ~の仕事・責任になる；（数値が）~まで下がる

訳 担任の先生が急に病気になったので、学級委員長である私が会議を進行する役目になった。

解説 It falls to A to do で「~するのは A の役目になる」。仕事が A のところに「たどり着く」到達点の to。at は地点、for は「~のために」、under は「~の下に・~に分類される」（fall under ~＝~に該当する）で、役目が回ってくる意味にならない。

区別 **fall to ~ ⇔ fall by ~** 数値の話で by は「差（どれだけ下がったか）」、to は「到達点（いくつになったか）」。見分け方：100 から 80 になったら fall by 20 / fall to 80。

0080 □□□

Since the pandemic, many companies have gone _____ to online meetings instead of meeting face to face.

① through ② off
③ over ④ by

③ go over to ~ ～に移る；（別の方式）に切り替える

訳 パンデミック以降、多くの会社が対面で会う代わりにオンライン会議に切り替えた。

解説 対面からオンラインへ方式を「切り替えた」ので gone over to（＝ switched to）。go through は「経験する・目を通す」、go off は「（警報が）鳴る・（食べ物が）腐る」、go by は「（時が）過ぎる」で、to ~ を続けて切り替えの意味にはならない。

区別 **go over to ~ ⇔ go over ~** to のない go over は「（答案・書類など）を見直す・よく調べる」。go over to は「～へ移る・切り替える」。見分け方：to の後ろに移る先があるかどうか。

0081 □□□

When the teacher asked for volunteers, most students rushed to the front, but Yuki _____ because she was shy.

① hung back ② hung up
③ hung out ④ hung over

① hang back しり込みする；ためらう

訳 先生が志願者を募ると、ほとんどの生徒は前へ駆け寄ったが、ユキは恥ずかしがり屋なのでしり込みした。

解説 他の生徒が前に出る中で、恥ずかしくて後ろにとどまったので hung back。hung up は「電話を切った」、hung out は「（友達と）ぶらぶら過ごした」で、恥ずかしさでためらう意味にならない。hung over は「～の上に垂れ込めた」の意味で目的語が要る（hungover は「二日酔いの」）。

区別 **hang back ⇔ hold back ~** hold back は他動詞で「（涙・感情・人）を抑える・妨げる」も表す。hang back は自動詞だけで、体ごと後ろに下がってためらっている様子。

0082 □□□

The fear of another earthquake still hangs _____ the town.

① on ② up
③ over ④ back

③ hang over ~
～に垂れ込める；（不安・脅威が）～にのしかかる

訳 また地震が来るのではという恐怖が、今もその町に重くのしかかっている。

解説 不安が町の上を覆って「のしかかっている」ので hang over。hang on ~ は「～次第である・～にしがみつく」で、恐怖が町に頼る意味になってしまう。hang up は「（電話を）切る・掛ける」、hang back は「しり込みする」で、目的語の町と結び付かない。

区別 **hang over ~ ⇔ hang on ~** hang on ~ は「～次第である（＝ depend on）」「～にしがみつく」。hang over ~ は「～の上を覆ってのしかかる」。

0083 □□□

It's getting dark. We should head back _____ before the last bus leaves.

① home ② to home
③ at home ④ into home

① head back 引き返す；帰途につく

訳 暗くなってきた。最終バスが出る前に家に帰ったほうがいい。

解説 home は「家へ」という副詞なので、前置詞を付けずに head back home。to home は home が副詞なので to が不要で誤り（head back to the hotel なら可）。at home は「家で」という場所で、移動を表す head back の後ろには合わない。into home も前置詞が余分で誤り。

区別 **head back ⇔ head for ~** head for は「（目的地）へ向かう」。head back は「元の場所へ戻る」。見分け方：初めて行く目的地なら head for、来た所へ戻るなら head back。

0084 □□□

Ms. Kato has been chosen to head _____ the new research team.

① up ② off
③ out ④ back

① head up ~ ～を率いる；～の長を務める

訳 加藤さんが新しい研究チームを率いる人に選ばれた。

解説 チームの長として「率いる」は head up ~（= lead ~）。head off は「～を阻止する・（～へ）出発する」、head out は「出かける」、head back は「引き返す」で、チームを目的語にして率いる意味にならない。

区別 **head up ~ ⇔ head off ~** head off は「～を阻止する・先回りして防ぐ」、自動詞で「出発する」。率いる意味はない。

0085 □□□

My grandfather is very traditional. He doesn't _____ young people dyeing their hair.

① hold on ② hold up
③ hold back ④ hold with

④ hold with ~ （否定文で）～に賛成する

訳 祖父はとても保守的で、若者が髪を染めることを快く思っていない。

解説 伝統を重んじる祖父が「若者が髪を染めること」に賛成しないので doesn't hold with（= doesn't approve of）。hold on は「待つ・しがみつく」で後ろに目的語を直接置けない。hold up は「遅らせる・強盗する」、hold back は「抑える」で、賛成・反対の意味にならない。

区別 **hold with ~ ⇔ approve of ~** 意味は同じ「～に賛成する」だが、approve of は肯定文でも普通に使える。hold with はほぼ not と一緒に使う。

0086 □□□

She knew she would never date him, but she kept accepting his gifts. Her friends said she was ＿＿＿＿ him on.

① letting ② taking
③ leading ④ bringing

③ lead on ~

～をだます；（気を持たせて）～をその気にさせる

訳 彼女は彼と付き合う気は全くないのに、彼からの贈り物を受け取り続けた。友人たちは、彼女は彼に気を持たせているだけだと言った。

解説 付き合う気がないのに贈り物を受け取り続け「気を持たせている」ので leading him on。letting him on は「（乗り物などに）乗せる」の意味で、let on（秘密を漏らす）なら目的語を取らない。taking him on は「（人）を雇う・（相手）に挑む」、bringing him on は「（選手を）出場させる」で文意に合わない。

区別 **lead on ~ ⇔ lead to ~** lead to は「（結果）につながる・～を引き起こす」で、主語は物事が多い。lead A on は人をだまして期待させること。

0087 □□□

We're planning a surprise party for Mom, so don't ＿＿＿＿ that you know anything about it.

① let down ② let off
③ let in ④ let on

④ let on （秘密を）漏らす；（知っていることを）人に言う

訳 お母さんのためにサプライズパーティーを計画しているから、何か知っているそぶりは見せないでね。

解説 that 節を続けて「（秘密を）漏らす・知っていると言う」のは let on。let down は「失望させる」で人を目的語にする。let off は「（罰を）免除する・（花火を）打ち上げる」、let in は「中に入れる」で、that 節を目的語にできない。

区別 **let on ⇔ let out ~** let out は名詞を直接目的語にできる（let out a secret / let out a scream）。let on は that 節や about ~ で「漏らす」。let out には「（人・動物を）外に出す」の意味もある。

0088 □□□

Don't leave your clothes ＿＿＿＿ around the room. Put them away.

① laying ② lain
③ lying ④ to lie

③ lie around

（物が）散らかっている；ごろごろして過ごす

訳 服を部屋に出しっぱなしにしないで。片付けなさい。

解説 leave O doing（O を～のままにしておく）の形で、自動詞 lie の現在分詞 lying を使う。laying は他動詞 lay（置く）の -ing 形で、目的語が必要になる。lain は lie の過去分詞で、leave O の後ろで「散らかったまま」の状態を表せない。leave O to do は「O に～を任せる」の意味で文意に合わない。

区別 **lie around ⇔ lay ~** lay は他動詞「～を置く・横たえる」（lay-laid-laid）で目的語が要る。lie around は自動詞なので目的語がなく、leave O lying around のように分詞で使う。

0089 □□□

Please don't _____ my computer while I'm out. I have important files on it.

① mess with　② mess around
③ get along with　④ make up with

① mess with ~ ～にちょっかいを出す；～をいじくる

訳 私が出かけている間、パソコンを勝手にいじらないで。大事なファイルが入っているから。

解説 留守中にパソコンを「勝手にいじる」のは mess with。mess around は「ふざける・ぶらぶらする」の自動詞で、物を目的語にするなら mess around with ~ が必要。get along with は「（人と）仲良くやる」、make up with は「（人と）仲直りする」で、パソコンには合わない。

区別 **mess with ~ ⇔ mess up ~** mess up は「～を台無しにする・散らかす」で、失敗の結果を表す。mess with は「余計な手を出す・いじる」行為。

0090 □□□

A: Excuse me, could you _____ a little so that I can sit down too? B: Sure, there's plenty of room.

① move on　② move out
③ move over　④ move in

③ move over （席などを）詰める；場所を空ける

訳 A：すみません、私も座れるように少し詰めてもらえますか。B：いいですよ、十分空いていますから。

解説 隣に座れるように「席を詰める・横にずれる」のは move over。move on は「次へ進む」、move out は「（家から）引っ越して出ていく」、move in は「引っ越してくる」で、座席を空ける意味にならない。

区別 **move over ⇔ move on** move on は「次（の話題・段階）へ進む」「（過去を）吹っ切る」。場所を空ける意味はない。

0091 □□□

My little brother never puts his toys away, and I'm tired of picking up _____ him.

① on　② after
③ with　④ behind

② pick up after ~ ～の後片付けをする

訳 弟はおもちゃを全然片付けないので、私は弟の後片付けをするのにうんざりしている。

解説 人が散らかした物を片付けるのは pick up after ~（after＝その人が去った後に）。on だと pick up on ~（～に気づく）になり、意味が違う。with は「～と一緒に」、behind は場所の「～の後ろで」で、後片付けの決まった表現にならない。

区別 **pick up after ~ ⇔ pick up ~** after のない pick up は「拾う」「（車で）迎えに行く」「（言葉・技術を）自然に身につける」。after が付くと「（人の）後片付けをする」。

0092 □□□

Although Ken said he was fine, his mother quickly picked up _____ the fact that he was upset.

① after　② on
③ with　④ off

② pick up on ~ ～に気づく；～を察する

訳 ケンは大丈夫だと言ったが、母親は彼が動揺していることにすぐ気づいた。

解説 言葉にされていない「動揺している」ことを察したので picked up on（～に気づく）。after だと pick up after ~（～の後片付けをする）で意味が違う。with・off は pick up と組んで「気づく」の意味を作らない。

区別 **pick up on ~ ⇔ pick up ~** on のない pick up は「（言語・習慣を）自然に身につける」「拾う」。pick up on は「（言葉にされない物事）に気づく」。

0093 □□□

I knew my friends were planning a surprise party, but I ＿＿＿＿ and acted surprised when I walked in.

① got along　② played down
③ played along　④ played up

③ play along (with ~)
（～に）調子を合わせる；（～に）協力するふりをする

訳 友達がサプライズパーティーを計画していると知っていたが、話を合わせて、部屋に入ったときに驚いたふりをした。

解説 知っていたのに驚いたふりをした＝本心ではないが調子を合わせた played along。got along は「仲良くやる・何とかやっていく」で演技の意味はない。play down は「（重要性を）軽く扱う」で目的語が要る。play up は「誇張する・（子どもが）騒ぐ」で文意に合わない。

区別 **play along (with ~) ⇔ go along with ~** go along with は「（提案・決定）に同意する・従う」で、本心から合わせることも多い。play along は本心ではないのに合わせて演じる。

0094 □□□

Nobody knows yet how the trade dispute between the two countries will ＿＿＿＿.

① play down　② set out
③ bring about　④ play out

④ play out （事態が）展開する；起こる

訳 二国間の貿易摩擦がどう展開するのかは、まだ誰にも分からない。

解説 how ~ will play out で「どう展開するか」。play down は「（問題などを）軽く扱う」で目的語が必要。set out は「出発する・（～に）取りかかる」、bring about は「～を引き起こす」で目的語が必要なうえ、事態の成り行きを表さない。

区別 **play out ⇔ play down ~** play down は「（問題・重要性を）軽く見せる・控えめに言う」で他動詞。play out は事態が展開していくこと。

0095 □□□

The army was ordered to ＿＿＿＿ from the border to avoid a war.

① pull through　② pull back
③ pull over　④ pull up

② pull back 撤退する；（計画などから）手を引く

訳 戦争を避けるため、軍は国境から撤退するよう命じられた。

解説 戦争を避けるために国境から「撤退する」ので pull back（from ~）。pull through は「（病気・危機を）乗り切る」、pull over は「（車を）路肩に寄せて止める」、pull up は「（車が）止まる」で、軍が国境から下がる意味にならない。

区別 **pull back ⇔ pull out (of ~)** pull out of は「（契約・大会・国から）完全に抜ける」。pull back は「（前線から）後退する・規模を縮める」で、完全な撤退とは限らない。

0096 □□□

Despite strong opposition from local residents, the city decided to push ＿＿＿＿ with its plan to build a new stadium.

① ahead　② back
③ away　④ off

① push ahead (with ~)
（～を）推し進める；（困難にもめげず）前進する

訳 地元住民の強い反対にもかかわらず、市は新しいスタジアムを建設する計画を推し進めることにした。

解説 Despite（～にもかかわらず）とあるので、反対を押し切って「推し進める」push ahead with。push back は「（予定を）延期する・押し返す」で with ~ を取らない。push away は「押しのける」で目的語が要る。push off は「（ボートで）岸を離れる・立ち去る」で計画には使わない。

区別 **push ahead (with ~)** ⇔ **push back ~** push back は「（予定を）後ろへずらす＝延期する」「押し返す」。push ahead は「前へ進める」で方向が逆。

0097 □□□

You're new, but that doesn't mean you have to let the older members ＿＿＿＿ you around.

① hand　② push
③ look　④ come

② push around ~ ～をこき使う；～にいばり散らす

訳 君は新人だが、だからといって先輩たちにいいようにこき使われる必要はない。

解説 let O do の形で「O に～させる」。先輩たちが新人を「こき使う」のは push A around。hand around は「（物を）順に回す」で人を目的語にしない。look around（見て回る）・come around（立ち寄る・考えを変える）は自動詞的で、you を目的語に取れない。

区別 **push around ~** ⇔ **push for ~** push for は「～を強く求める・要求する」（push for higher wages）。人をこき使う意味はない。

0098 □□□

We couldn't find a room in the city, so we ＿＿＿＿ at a small inn near the station.

① put off　② put out
③ put on　④ put up

④ put up at ~ （ホテルなど）に泊まる

訳 市内では部屋が見つからなかったので、私たちは駅の近くの小さな旅館に泊まった。

解説 部屋を探していて「旅館に泊まった」ので put up at ~（＝stay at ~）。put off は「延期する」、put out は「（火を）消す」、put on は「着る・（体重を）増やす」で、at ＋ 場所と組んで「泊まる」の意味にならない。

区別 **put up at ~** ⇔ **put up with ~** put up with は「～を我慢する」。at なら「～に泊まる」。前置詞一つで意味が大きく変わるので要注意。

0099 □□□

Before my job interview, I _____ the company's history so that I could answer questions confidently.

① read up on　② looked up to
③ read out　④ came up with

① read up on ~　~について詳しく調べる・勉強する

訳 就職の面接の前に、質問に自信を持って答えられるよう、その会社の歴史について詳しく調べておいた。

解説 面接に備えて資料を読み込み「詳しく調べておいた」ので read up on。looked up to は「尊敬した」で歴史には使わない。read out は「声に出して読み上げる」で準備の調べ物にならない。came up with は「（考え）を思いつく」で歴史を目的語にしない。

区別 **read up on ~ ⇔ look up ~**　look up は辞書・ネットで「一つの語・情報を調べる」。read up on は資料をたくさん読んで「ある分野について詳しくなる」。

0100 □□□

The emperor ruled _____ a huge empire that stretched from Asia to Europe.

① out　② over
③ off　④ away

② rule over ~　~を支配する；~を治める

訳 その皇帝は、アジアからヨーロッパにまで広がる巨大な帝国を支配した。

解説 皇帝が帝国を「支配した」ので ruled over（＝ governed）。ruled out は「（可能性を）除外した」で帝国を目的語にすると意味が通らない。rule off は「（線を引いて）区切る」、rule away という言い方はなく、統治の意味にならない。

区別 **rule over ~ ⇔ rule out ~**　rule out は「（可能性・案を）除外する」。支配の意味はない。見分け方：後ろが国・民なら over、可能性・選択肢なら out。

0101 □□□

I've been running _____ all day doing errands, and I haven't even had lunch yet.

① into　② over
③ across　④ around

④ run around　忙しく走り回る；（~と）遊び回る

訳 一日中用事で走り回っていて、まだお昼ご飯も食べていない。

解説 用事をこなして「あちこち走り回っている」ので running around（run around doing の形）。run into は「偶然会う・ぶつかる」、run across は「偶然見つける」で目的語が要る。run over は「（車が）ひく・（時間が）超過する」で、忙しく動き回る意味にならない。

区別 **run around ⇔ run into ~**　run into は「（人に）偶然会う」「（困難に）ぶつかる」。あちこち動き回る意味はない。

0102 □□□

A: Where are you? The meeting starts in five minutes. B: Sorry, I'm running _____. I'll be there in about fifteen minutes.

① ahead　② behind
③ away　④ off

② run behind　（予定より）遅れている

訳 A：どこにいるの？　会議があと 5 分で始まるよ。　B：ごめん、予定より遅れているんだ。15 分くらいで着くよ。

解説 あと 15 分かかる＝予定に遅れているので running behind（＝ running late）。running ahead は「予定より早く進んでいる」で逆。running away は「逃げている」、running off は「走り去る」で、遅刻の連絡にならない。

区別 **run behind ⇔ fall behind**　fall behind は「（勉強・支払い・仕事で）ついていけなくなる・遅れを取る」という変化。run behind は「（今日の予定・時間に）遅れている」状態。

0103 ☐☐☐

The plan to build a new airport ran up ＿＿＿＿ strong opposition from local farmers.

① with　② to
③ against　④ for

③ run up against ~

（困難など）に直面する；～にぶつかる

訳 新空港を建設する計画は、地元の農家の強い反対に直面した。

解説 反対という壁に「ぶつかった・直面した」の で ran up against（against＝ぶつかって）。with は come up with ~（思いつく）と混同させるひっかけで、run up with という表現はない。run up to ~ は「～に走り寄る」、for は「～を求めて」で、困難に直面する意味にならない。

区別 **run up against ~ ⇔ run up ~** against のない run up は「（借金・請求額を）ためる」「（旗を）掲げる」。困難に直面する意味は against が付いたときだけ。

0104 ☐☐☐

The government's new report ＿＿＿＿ several measures to reduce plastic waste.

① sets forth　② sets off
③ sets in　④ sets back

① set forth ~　～を述べる；～を発表する

訳 政府の新しい報告書は、プラスチックごみを減らすためのいくつかの対策を示している。

解説 報告書が対策を文書で「述べている・示している」の で sets forth。sets off は「出発する・（警報など）を鳴らす・引き起こす」、sets in は「（悪天候・季節が）始まる」で目的語を取らない、sets back は「遅らせる」で、文書が内容を示す意味にならない。

区別 **set forth ~ ⇔ set off** set off は日常語で「出発する」「（警報など）を鳴らす・引き起こす」。set forth は文書で考えを「述べる」かたい語。

0105 ☐☐☐

Ken hurt his ankle in practice, so he had to ＿＿＿＿ the next two games.

① sit back　② sit in
③ sit up　④ sit out

④ sit out ~

（試合など）に参加しない；～が終わるまで待つ

訳 ケンは練習で足首を痛めたので、次の 2 試合は休まなければならなかった。

解説 けがをしたので試合に「出ずに休む」sit out。sit back は「くつろぐ・傍観する」で目的語を取らない。sit in は「（会議などに）同席する」で、見学なら sit in on ~ の形になる。sit up は「起きている・背筋を伸ばして座る」で試合を目的語にできない。

区別 **sit out ~ ⇔ sit through ~** sit through は退屈なものを途中で抜けずに最後まで見る・聞く。sit out は活動に加わらずに休む。

0106 ☐☐☐

The speech was long and boring, but we had to sit ＿＿＿＿ all two hours of it because we were in the front row.

① out　② down
③ back　④ through

④ sit through ~
（退屈なもの）を最後まで座って見る・聞く

訳 そのスピーチは長くて退屈だったが、最前列にいたので、私たちは 2 時間ずっと座って聞いていなければならなかった。

解説 退屈なスピーチを途中で抜けずに「最後まで座って聞く」ので sit through。sit out は「（活動に）参加しないで休む」で、最前列で我慢して聞いた内容と逆。sit down（座る）・sit back（くつろぐ）は自動詞で、all two hours of it を目的語にできない。

区別 **sit through ~ ⇔ sit out ~** sit out は活動に参加せず休むこと。sit through はその場にいて最後まで我慢して見る・聞くこと。

0107 ☐☐☐

Let's start ＿＿＿＿ with a quick review of last week's lesson.

① off　② on
③ back　④ down

① start off （~で）始める；出発する

訳 まず先週の授業の簡単な復習から始めましょう。

解説 start off with ~ で「~から始める」（= begin with ~）。start on ~ は「（仕事など）に取りかかる」で、後ろに with は続かない。start back・start down は「始める」の意味を作らない。動名詞を使うなら start off by reviewing の形になる。

区別 **start off ⇔ set off** set off は主に「出発する」「（爆弾・警報を）作動させる」。「~で始める」には start off (with) が普通。

0108 ☐☐☐

Most of the students went home, but Mika ＿＿＿＿ after class to ask the teacher about the homework.

① stayed behind　② left behind
③ fell behind　④ stayed away

① stay behind 居残る；後に残る

訳 ほとんどの生徒は帰宅したが、ミカは宿題について先生に質問するため放課後に居残った。

解説 他の生徒が帰った後に「居残った」ので stayed behind。left behind は「（物・人）を置いていった」の他動詞で目的語が要る。fell behind は「（勉強などで）遅れを取った」、stayed away は「（~から）離れていた・欠席した」で、先生に質問するために残る意味にならない。

区別 **stay behind ⇔ leave behind ~** leave behind は他動詞で「（物・人）を置いていく・置き忘れる」。stay behind は自分がその場に残る自動詞。

0109 ☐☐☐

Although he had planned to retire at 65, Mr. Tanaka agreed to stay ＿＿＿＿ as president for two more years.

① up　② off
③ on　④ over

③ stay on （予定より長く）残る；留任する

訳 田中さんは 65 歳で引退するつもりだったが、更に 2 年間社長として留任することに同意した。

解説 引退予定を延ばしてそのまま「留任する」ので stay on（as ~）。stay up は「（夜遅くまで）起きている」、stay off は「（~を）控える・近づかない」、stay over は「（よその家に）泊まる」で、役職に残り続ける意味にならない。

区別 **stay on ⇔ stay up** stay up は「（夜遅くまで）寝ずに起きている」。stay on は予定や任期を延ばして残り続ける。

0110 ☐☐☐

My parents get angry if I stay _____ after ten without calling them.

① in　② up
③ on　④ out

④ stay out 外出したままでいる；（～に）関わらない

訳 電話をせずに 10 時過ぎまで外にいると、両親は怒る。

解説 電話をせずに夜遅くまで「外にいる」と怒られるので stay out。stay in は「家にいる」で連絡の必要がない。stay up は「（寝ずに）起きている」で、家にいるなら電話する必要はない。stay on は「（予定より長く）残る・留任する」で、門限の話には合わない。

区別 **stay out ⇔ stay in** 反対の意味で「家にいる・外出しない」。見分け方：家の中なら in、外なら out。

0111 ☐☐☐

The man _____ to let the elderly woman with a heavy bag get on the bus first.

① stepped in　② stepped aside
③ stepped up　④ stepped on

② step aside わきへよける；（地位を）譲る

訳 その男性は脇へよけて、重いかばんを持った年配の女性を先にバスに乗せてあげた。

解説 女性を先に乗せるために「脇へよけた」ので stepped aside。stepped in は「中に入った・介入した」で道を譲る意味にならない。stepped up は「進み出た・（努力を）強めた」、stepped on は「～を踏んだ」で目的語が要り、文意にも合わない。

区別 **step aside ⇔ step down** step down は「（役職から）辞任する」で、上の地位から降りる。step aside は脇に退いて他の人に譲ることで、道を空ける動作にも使う。

0112 ☐☐☐

When you're stuck on a difficult problem, it sometimes helps to step _____ and look at the big picture.

① up　② back
③ in　④ on

② step back 一歩下がる；（距離を置いて）冷静に考える

訳 難しい問題で行き詰まったときは、一歩引いて全体を見るとうまくいくことがある。

解説 行き詰まったときに「一歩引いて」全体を見るので step back（距離を置いて冷静になる）。step up は「進み出る・（努力を）強める」で、全体を眺める動作と逆。step in は「介入する」、step on は「踏む」で目的語が要る。

区別 **step back ⇔ step up** step up は「進み出る」「（努力・取り締まりを）強める」。step back は距離を取って冷静になる。

0113 ☐☐☐

A: I think I'll go home now. B: Why don't you _____ for a while? The band is going to play one more song.

① stick around　② stick out
③ stick to　④ stick up

① stick around （そのあたりで）待つ；しばらくとどまる

訳 A：そろそろ家に帰ろうかな。　B：もう少しいたら？　バンドがもう 1 曲演奏するよ。

解説 帰ろうとする相手に「もう少しここにいたら」と勧めているので stick around。stick out は「突き出る・目立つ」、stick to は「（規則・計画）を守る」で目的語が要る、stick up は「突き出る・（stick up for ~ で）擁護する」で、その場にとどまる意味にならない。

区別 **stick around ⇔ stick to ~** stick to は「（規則・計画・決心）を守る・やり通す」で目的語が要る。stick around は自動詞でその場にとどまる。

0114 □□□

In difficult times, a family must _____ and help each other.

① stick with　② stick together
③ stick out　④ break up

② stick together 団結する；助け合う

訳 困難なときこそ、家族は団結して助け合わなければならない。

解説 困難なときに家族が「団結して」助け合うので stick together（主語は複数の人の集まり）。stick with は「～と一緒にいる・～をやり通す」で目的語が必要。stick out は「目立つ・突き出る」、break up は「解散する・別れる」で help each other と矛盾する。

区別 **stick together ⇔ stick with ～** stick with は「（特定の人・方法）から離れない・やり通す」で目的語が要る。stick together は複数の主語が互いに離れない。

0115 □□□

On our way to London, we _____ in Dubai for two nights and did some sightseeing.

① stopped over　② stopped by
③ got over　④ held over

① stop over （旅の途中で）立ち寄る；途中下車する

訳 ロンドンへ行く途中、私たちはドバイに 2 泊して観光をした。

解説 目的地ロンドンへ向かう途中でドバイに「2 泊した」ので stopped over（旅の途中で滞在する）。stop by は「（家・店などに）ちょっと立ち寄る」で、都市に 2 泊する滞在には使わない。got over は「（困難・病気を）乗り越えた」、held over は「延期した・（上映を）延長した」で文意に合わない。

区別 **stop over ⇔ stop by** stop by は「（家・店・事務所に）ちょっと立ち寄る」で短い訪問。stop over は旅の途中で都市などに滞在する（泊まることも多い）。

0116 □□□

Good teachers never _____ their students. They treat them with respect.

① talk down to　② talk back to
③ look up to　④ catch up with

① talk down to ～ ～を見下した話し方をする

訳 よい先生は決して生徒を見下した話し方をしない。生徒に敬意をもって接する。

解説 「敬意をもって接する」と対比されるので、見下した話し方をする talk down to を never で否定する。talk back to は「口答えする」で、目下の人が目上に対して使う。look up to は「尊敬する」で、never と組むと後の文と矛盾する。catch up with は「追いつく」で文意に合わない。

区別 **talk down to ～ ⇔ look down on ～** look down on は「～を見下す・軽蔑する」で心の態度。talk down to はそれが話し方に出ること。

0117 □□□

Many families in the village were _____ apart by the war, and some never saw each other again.

① tore ② torn
③ teared ④ tearing

② tear apart ~ ～を引き裂く；～をばらばらにする

訳 その村の多くの家族は戦争によって引き裂かれ、二度と会えなかった人たちもいた。

解説 be 動詞＋過去分詞の受け身なので、tear-tore-torn の過去分詞 torn。tore は過去形で were の後に置けない。teared は「涙を流す」の tear（発音 [tɪər]）の過去形で、引き裂く意味の tear には使わない。tearing だと「引き裂いている」の進行形になり、by the war と合わない。

区別 **tear apart ~ ⇔ tear up ~** tear up は紙などを「細かく破る」。tear apart は一つのものを二つ以上に引き離すことで、家族・国を分裂させる比喩にも使う。

0118 □□□

If you _____ and pack your bag the night before, you won't be in a rush in the morning.

① think back ② think twice
③ think ahead ④ think aloud

③ think ahead 先のことを考える；先を読む

訳 先のことを考えて前の晩にかばんの準備をしておけば、朝慌てずに済む。

解説 前の晩に準備しておく＝先回りして考える think ahead。think back は「（過去を）振り返る」で逆向き。think twice は「（行動する前に）考え直す」で、やめるかどうか迷う場面に使う。think aloud は「考えを口に出しながら考える」で準備とは関係ない。

区別 **think ahead ⇔ think back (to ~)** think back は「（過去を）振り返る・思い出す」で時間の向きが逆。見分け方：将来に備えるなら ahead、昔を思い出すなら back（think back to ~）。

0119 □□□

If you buy this laptop today, the store will throw _____ a free carrying case.

① in ② away
③ up ④ off

① throw in ~ ～をおまけに付ける；（言葉）を差しはさむ

訳 今日このノートパソコンを買えば、店がおまけにキャリーケースを無料で付けてくれる。

解説 パソコンを買うと「おまけで付ける」ので throw in。throw away は「捨てる」で、店が無料のケースを捨てるのでは意味が通らない。throw up は「吐く」、throw off は「振り払う・（人を）混乱させる」で、おまけの意味にならない。

区別 **throw in ~ ⇔ throw away ~** throw away は「捨てる」「（機会を）無駄にする」。throw in は「おまけとして一緒に入れる」で、物を手放す方向が逆。

0120 □□□

It took me almost two weeks to throw _____ the bad cold I caught on the trip.

① out ② off
③ up ④ in

② throw off ~ ～を振り払う；（病気など）を治す

訳 旅行中に引いたひどい風邪を治すのに、2 週間近くかかった。

解説 風邪を体から「振り払う＝治す」ので throw off（＝ get rid of / shake off）。throw out は「（物を）捨てる・追い出す」で病気には普通使わない。throw up は「吐く」、throw in は「おまけで付ける」で、風邪を治す意味にならない。

区別 **throw off ~ ⇔ throw out ~** throw out は「（不要な物を）捨てる」「（人を）追い出す」「（案を）却下する」。病気を治す意味では throw off を使う。

0121 □□□

People are finally waking up _____ the dangers of plastic waste in the ocean.

① at　② from
③ to　④ with

③ wake up to ~ ～に気づく；～を自覚する

訳 人々はようやく、海のプラスチックごみの危険性に気づき始めている。

解説 wake up to ~ で「～に気づく」。to は気づく対象への到達を表す。from は wake up from a dream（夢から覚める）のように抜け出す元を表し、危険性からは目覚めない。at・with は wake up と組んで「気づく」の意味にならない。

区別 **wake up to ~ ⇔ come home to ~** come home to は事実が主語で「（人に）痛感される」。wake up to は人が主語で「～に気づく」。主語と目的語の関係が逆。

0122 □□□

He has been late five times this month, and my patience is beginning to wear _____.

① thin　② light
③ narrow　④ empty

① wear thin
（我慢・興味などが）尽きかける；すり減って薄くなる

訳 彼は今月 5 回も遅刻していて、私の我慢も限界に近づきつつある。

解説 「我慢が擦り減って尽きかける」は wear thin で決まった言い方（thin は補語の形容詞）。light・narrow・empty は wear と組んで「我慢が尽きかける」の意味にならない。我慢の限界は My patience is running out. / running short. とも言えるので一緒に覚える。

区別 **wear thin ⇔ wear out** wear out は「（物が）擦り切れて使えなくなる」「（人を）疲れ果てさせる」で、他動詞にもなる。wear thin は我慢・言い訳が限界に近づく。

0123 □□□

Please wipe the mud _____ your shoes before you come in.

① out　② up
③ off　④ away

③ wipe off ~ ～をふき取る

訳 中に入る前に、靴の泥を拭き取ってください。

解説 wipe A off B で「B から A を拭き取る」。off は前置詞として「～から離れて」を表すので、後ろに your shoes を置ける。out・up・away は副詞なので、そのまま your shoes を続けられない（away なら away from が必要）。

区別 **wipe off ~ ⇔ wipe out ~** wipe out は「（町・生物などを）全滅させる・一掃する」で、規模が大きく破壊的。wipe off は表面の汚れを拭き取るだけ。

0124 □□□

It took a long time, but with the help of a counselor, she slowly worked ＿＿＿＿ her grief after losing her father.

① through　② for
③ into　④ over

① work through ~

（問題・感情）に取り組んで乗り越える；～をこなす

訳 長い時間がかかったが、カウンセラーの助けを借りて、彼女は父を亡くした悲しみを少しずつ乗り越えていった。

解説 悲しみに時間をかけて向き合い「乗り越えた」ので worked through。work for は「～のために働く・～に勤める」、work into は「～に（徐々に）入れ込む」、work over は「（人を）痛めつける・（文書を）手直しする」で、悲しみを乗り越える意味にならない。

区別 **work through ~ ⇔ work out** work out は結果として「うまくいく・解決する」（自動詞も可）。work through は難しい過程を一歩ずつ進んで乗り越えること。

0125 □□□

Ken ＿＿＿＿ his homework and played video games all night, so he got a zero.

① blew up　② blew out
③ put on　④ blew off

④ blow off ~

～を吹き飛ばす；（約束・授業など）をすっぽかす

訳 ケンは宿題をすっぽかして一晩中ゲームをしていたので、0 点を取った。

解説 宿題をやらずにゲームをして 0 点になったので、宿題を「すっぽかした」blew off。blew up は「爆発した・激怒した」で宿題を目的語にすると意味が通らない。blew out は「（ろうそくなどを）吹き消した」、put on は「着た・（劇を）上演した」で文意に合わない。

区別 **blow off ~ ⇔ put off ~** put off は「（予定を）延期する」で、いずれはやる。blow off はやるべきことを無視してすっぽかす。

0126 □□□

Tom said he had read the book, but the teacher caught him ＿＿＿＿ by asking a simple question about the ending.

① up　② on
③ out　④ off

③ catch A out

（人）のうそ・誤りを見破る；（人）の不意を突く

訳 トムはその本を読んだと言ったが、先生は結末について簡単な質問をして、彼のうそを見破った。

解説 質問で「うそを見破った」ので caught him out。catch A up は（英）「A に追いつく」で質問とは合わない。catch on は「流行する・理解する」で人を目的語にしない。off は caught him off guard（不意を突いた）なら使えるが、off だけでは文が成り立たない。

区別 **catch A out ⇔ catch up with ~** catch up with は「～に追いつく」「（遅れを）取り戻す」で、見破る意味はない。catch A out は人のうそ・間違いを見破ること。

0127 □□□

Her lack of work experience may count _____ her when the company chooses a new manager.

① on ② for
③ against ④ in

③ count against ~ ～に不利に働く

訳 会社が新しいマネージャーを選ぶとき、彼女に職務経験がないことが不利に働くかもしれない。

解説 「経験不足」というマイナス要素が評価で彼女に不利になるので count against。count on は「～を当てにする」で人が主語になり、lack of experience は当てにする主体になれない。count for は count for much / nothing（重要である・ない）の形で使う。in は count A in（A を仲間に入れる）の形で、この文には合わない。

区別 **count against ~ ⇔ count on ~** count on は「～を当てにする・頼りにする」で人が主語。count against は物事が主語で「～に不利になる」。

0128 □□□

The children are _____ the days until summer vacation.

① counting on ② counting down
③ counting in ④ counting out

② count down

秒読みをする；（日数を）指折り数えて待つ

訳 子どもたちは夏休みまでの日数を指折り数えて待っている。

解説 楽しみな夏休みまで残りの日数を「指折り数えて待つ」のは count down the days until ~。count on は「～を当てにする」、count A in は「A を仲間に入れる」、count out は「（お金を）数えて出す・（人を）除外する」で、日数が減っていくのを待つ意味にならない。

区別 **count down ⇔ count up ~** count up は「（一つずつ）数え上げる・合計する」で数が増えていく。count down は残りの数を減らしていく。

0129 □□□

We were late, so we cut _____ the park to get to the station faster.

① through ② down
③ off ④ out

① cut through ~

～を突っ切る；（困難・手続き）を切り抜ける

訳 遅れていたので、駅に早く着けるように公園を突っ切った。

解説 早く着くために公園の中を「突っ切った」ので cut through。cut down は「切り倒す・減らす」、cut off は「切り離す・（供給を）止める」、cut out は「切り取る・（習慣を）やめる」で、公園を通る近道の意味にならない。

区別 **cut through ~ ⇔ cut down ~** cut down は「（木を）切り倒す」「（量を）減らす」（cut down on sugar）。通り抜ける意味はない。

0130 □□□

The teacher _____ the test papers to each student face down.

① dealt with ② dealed out
③ dealt in ④ dealt out

④ deal out ~ ～を配る；（罰など）を与える

訳 先生はテスト用紙を裏返しにして生徒一人ひとりに配った。

解説 用紙を一人ひとりに「配った」ので dealt out（to ~ で配る相手）。deal は不規則動詞で過去形は dealt なので dealed は誤り。dealt with は「処理した・扱った」で to each student と組まない。dealt in は「（商品を）扱って商売した」で文意に合わない。

区別 **deal out ~ ⇔ deal with ~** deal with は「（問題を）処理する」「（人・会社と）取引する」。配る意味はない。

0131 □□□

It was raining hard when the delivery man arrived, so my mother asked him ＿＿＿＿ to wait in the kitchen until the rain stopped.

① out　② off
③ in　④ after

③ ask A in （人）を中に招き入れる

訳 配達の人が来たとき雨が激しく降っていたので、母は雨がやむまで台所で待つよう彼を中に招き入れた。

解説 雨の中、台所で待ってもらうために「中に招き入れた」のでasked him in。asked him out は「（デートなどに）誘い出した」で、台所で待つ内容と合わない。ask A off という言い方はなく、asked after him は「彼の安否を尋ねた」の意味で to wait 以下とつながらない。

区別 **ask A in ⇔ ask A out** ask A out は「A を（食事・デートに）誘い出す」。ask A in は玄関先にいる人を中へ上げる。

0132 □□□

The angry dog suddenly came ＿＿＿＿ me, barking loudly, so I climbed onto a wall.

① across　② by
③ into　④ at

④ come at ～ ～に襲いかかる；（問題）に取り組む

訳 怒った犬がほえながら突然私に向かってきたので、私は塀によじ登った。

解説 ほえながら「襲いかかってきた」ので塀に逃げた＝came at（at は狙う相手）。came across は「偶然出会った・見つけた」で逃げる理由にならない。came by は「立ち寄った・手に入れた」、came into は「（部屋などに）入った・（財産を）相続した」で、人を目的語にして襲う意味にならない。

区別 **come at ～ ⇔ come across ～** come across は「偶然見つける・出会う」で、襲う意味はない。at は「狙い」なので、相手めがけて向かってくるのが come at。

0133 □□□

Many pop singers have crossed ＿＿＿＿ into acting, starring in movies and TV dramas.

① out　② off
③ over　④ through

③ cross over
（向こう側へ）渡る；（別の分野・立場へ）移る

訳 多くのポップ歌手が俳優業に進出し、映画やテレビドラマで主演している。

解説 歌手から俳優という別の分野へ「移る」は cross over (into ~)。cross out は「線を引いて消す」で目的語が要る。cross off は「（リストから）線を引いて消す」、cross through は「（線を引いて）消す」で、分野を越える意味にならない。

区別 **cross over ⇔ cross out ～** cross out は「（間違いなどに）線を引いて消す」で、移る意味はない。over は境界を越える、out は消して外に出す、と副詞で区別する。

0134 ☐☐☐

My long commute ＿＿＿＿ the time I can spend with my children.

① cuts into　② cuts in
③ cuts up　④ cuts across

① cut into ~ ～に食い込む；（時間・利益など）を減らす

訳 長い通勤時間のせいで、子どもと過ごせる時間が減っている。

解説 通勤時間が子どもと過ごす時間に「食い込んで減らしている」ので cuts into。cut in は「（列・会話に）割り込む」の自動詞で、目的語を直接取れない。cuts up は「細かく切る」、cuts across は「横切る・（境界を越えて）広がる」で、時間を減らす意味にならない。

区別 **cut into ~ ⇔ cut in** cut in は自動詞で「（列・会話に）割り込む」。cut into ~ は時間・利益などを目的語に取って「減らす」。

0135 ☐☐☐

Rising food prices are slowly eating ＿＿＿＿ our family's savings.

① in　② into
③ out　④ over

② eat into ~ （貯金・時間など）に食い込む；～を減らす

訳 食料品の値上がりで、わが家の貯金は少しずつ減っている。

解説 値上がりが貯金に「食い込んで少しずつ減らしている」ので eating into。eat in は「家で食事をする」、eat out は「外食する」で、どちらも自動詞なので貯金を目的語にできない。eat over という言い方はなく、減らす意味にならない。

区別 **eat into ~ ⇔ eat up ~** eat up は「（全部）平らげる・使い尽くす」。eat into は「（一部を）少しずつ削る」。

0136 ☐☐☐

We didn't figure ＿＿＿＿ so many people coming, so we ran out of food at the party.

① out　② for
③ up　④ on

④ figure on ~ ～を予想する；～を当てにする

訳 こんなに多くの人が来るとは予想していなかったので、パーティーで料理が足りなくなった。

解説 「こんなに大勢来るとは思わなかった」ので didn't figure on（～を予想する）。figure out は「（答え・理由を）理解する」で、A doing を続けて予想の意味にはならない。figure for という言い方はなく、figure up は「合計する」で文意に合わない。

区別 **figure on ~ ⇔ figure out ~** figure out は「（答え・理由を）理解する・解き明かす」。figure on は「予想する・計算に入れる」。

0137 ☐☐☐

The new science room has been fitted ＿＿＿＿ with the latest equipment.

① in　② on
③ out　④ off

③ fit out ~ ～に（必要なものを）装備する

訳 新しい理科室には最新の設備が備え付けられた。

解説 be fitted out with ~ で「～が備え付けられている」（＝ be equipped with ~）。fit in は「（集団に）溶け込む」で、fit in with ~ は「～と調和する」の意味になり、設備には合わない。on・off は fit と組んで「装備する」の意味にならない。

区別 **fit out ~ ⇔ fit in (with ~)** fit in は「（集団に）溶け込む」、fit in with は「～と調和する・合う」。装備の意味はない。

0138 ☐☐☐

The suspect's story doesn't hang _____. First he said he was at home, then he said he was at a café.

① out ② around
③ on ④ together

④ hang together （話などが）つじつまが合う；まとまる

訳 容疑者の話はつじつまが合わない。最初は家にいたと言い、次にカフェにいたと言った。

解説 話の内容が食い違っている＝「つじつまが合わない」のでdoesn't hang together。hang out は「（友達と）遊ぶ・ぶらぶらする」、hang around は「うろつく・待つ」、hang on は「待つ・しがみつく」で、話の筋が通るという意味にならない。

区別 **hang together ⇔ hang out** hang out は「（友達と）遊ぶ・ぶらぶら過ごす」。話のつじつまの意味はない。

0139 ☐☐☐

After the game, the angry coach hit _____ at the referee for his unfair decisions.

① on ② out
③ off ④ up

② hit out at ～ ～を激しく非難する；～に殴りかかる

訳 試合後、怒った監督は不公平な判定をしたとして審判を激しく非難した。

解説 不公平な判定に怒り、審判を「激しく非難した」ので hit out at。hit on は「（考えを）思いつく・（人に）言い寄る」で at を続けない。hit off は hit it off（意気投合する）の形で使い、hit up は「（人に）頼む・連絡する」の口語で、非難の意味にならない。

区別 **hit out at ～ ⇔ hit on ～** hit on は「（考えを）ふと思いつく」「（人に）言い寄る」。非難の意味はない。

0140 ☐☐☐

It's not good for your health to hold _____ your anger all the time. Try talking to someone about it.

① out ② in
③ up ④ on

② hold in ～ （感情）を抑える；～をこらえる

訳 怒りをいつも抑え込んでいるのは健康によくない。誰かに話してみよう。

解説 怒りを外に出さず「抑え込む」のは hold in。hold out は「持ちこたえる・（手を）差し出す」、hold up は「持ち上げる・遅らせる」、hold on は「待つ・しがみつく」で、感情を内に閉じ込める意味にならない。

区別 **hold in ～ ⇔ hold back ～** hold back は「（涙・感情）をこらえる」のほか「（人・進歩）を妨げる」「ためらう」も表す。hold in は感情を内側に閉じ込めておく感じ。

0141 ☐☐☐

The coach was so angry after the loss that he _____ the players in the locker room.

① lay into ② laid down
③ laid aside ④ laid into

④ lay into ～ ～を激しく非難する；～に殴りかかる

訳 試合に負けて激怒した監督は、ロッカールームで選手たちを激しく叱りつけた。

解説 怒った監督が選手を「激しく叱りつけた」ので laid into（lay-laid-laid の過去形）。lay は自動詞 lie（横になる）の過去形なので、lay into では「叱りつけた」にならない。laid down は「（物を）置いた・（規則を）定めた」、laid aside は「脇へ置いた・取っておいた」で、人を叱る意味にならない。

区別 **lay into ～ ⇔ lay off ～** lay off は「（従業員を）一時解雇する」「（口語で）やめる」。叱る意味はない。

0142 ☐☐☐

I'll let you in _____ a little secret: the teacher is going to give us a surprise quiz tomorrow.

① with ② on
③ at ④ for

② let A in on ~

A に～（の秘密）を教える；A を～に加える

訳 ちょっとした秘密を教えてあげる。先生は明日、抜き打ちの小テストをするんだって。

解説 let A in on B で「A に B（の秘密）を教える」。on は「～の件について」を表す。with・at・for は let A in の後ろに置いても「秘密を教える」の意味にならない。on がなければ let you in は「君を中に入れる」になる。

区別 **let A in on ~ ⇔ let A in** on のない let A in は「A を（家・部屋に）入れる」。秘密を教えるには on ~ が要る。

0143 ☐☐☐

Two boys started fighting in the hallway, and a teacher had to pull them _____.

① apart ② through
③ over ④ down

① pull apart ~ ～を引き離す；～をばらばらにする

訳 2 人の男子が廊下でけんかを始めたので、先生が 2 人を引き離さなければならなかった。

解説 けんかしている 2 人を「引き離す」のは pull A apart。pull through は「（病気・危機を）乗り切る」、pull over は「（車を）路肩に寄せる」、pull down は「引き下ろす・取り壊す」で、けんかを止める意味にならない。

区別 **pull apart ~ ⇔ take apart ~** take apart は部品ごとに丁寧に分解する（直すため・調べるため）。pull apart は力で引っぱって引き離す・ばらばらにする。

0144 ☐☐☐

She has put in _____ a transfer to the Osaka office so she can live closer to her parents.

① to ② for
③ with ④ on

② put in for ~ ～を申し込む；～を申請する

訳 彼女は両親の近くに住めるよう、大阪支社への異動を申請した。

解説 異動を「申請した」ので put in for（＝ apply for）。for は「～を求めて」。to・with・on は put in と組んで申請の意味にならない（a transfer to ~ の to は「～への異動」で、put in の直後には来ない）。

区別 **put in for ~ ⇔ put in ~** for のない put in は「（時間・労力を）注ぐ」「（書類を）提出する」。何を求めるかを言うなら put in for ~。

0145 □□□

Don't read too much ＿＿＿＿ his short reply. He's probably just busy.

① out　② up
③ into　④ over

③ read into ~

～を深読みする；～に（本来ない意味を）読み込む

訳 彼の短い返信を深読みしすぎないで。多分忙しいだけだよ。

解説 read too much into ~ で「～を深読みしすぎる」。into は「（ない意味を）中へ読み込む」。read out は「読み上げる」、read up は「（～について）詳しく調べる（read up on）」、read over は「ざっと目を通す・読み直す」で、too much と組んで深読みの意味にならない。

区別 **read into ~ ⇔ read between the lines** read between the lines は書かれていない本当の意味を正しく読み取ること（よい意味）。read too much into は、ないものまで読み取ってしまう深読み。

0146 □□□

A: You paid for my lunch yesterday, right? Let me ＿＿＿＿ with you now. B: Thanks. It was 1,200 yen.

① settle up　② settle down
③ settle in　④ set up

① settle up 勘定を清算する；借りを返す

訳 A：昨日のお昼代、払ってくれたよね？ 今清算させて。 B：ありがとう。1,200 円だったよ。

解説 立て替えてもらったお昼代を「清算する」ので settle up（with ~）。settle down は「落ち着く・身を固める」、settle in は「（新しい環境に）慣れる」、set up は「設立する・準備する」で、お金を払う意味にならない。

区別 **settle up ⇔ settle down** settle down は「落ち着く・静かになる」「（結婚して）身を固める」。お金の意味はない。

0147 □□□

Instead of ＿＿＿＿ around all day watching TV, why don't you go outside and play?

① sitting up　② setting
③ seating　④ sitting

④ sit around 何もせずにぶらぶらする

訳 一日中テレビを見てだらだら座っていないで、外に出て遊んだら？

解説 sit around doing で「～しながらぶらぶら過ごす」。setting は他動詞 set（置く）、seating は他動詞 seat（座らせる）の -ing 形で、目的語がないこの文では使えない。sitting up は「（寝ずに）起きている・背筋を伸ばす」で、後ろに around は続かない。

区別 **sit around ⇔ sit back** sit back は「（椅子に深く座って）くつろぐ」「（何もせず）傍観する」。sit around は何もしないで時間を無駄に過ごす批判的な言い方。

0148 □□□

Parents are welcome to sit in ＿＿＿＿ classes during open-school week.

① for　② on
③ at　④ with

② sit in on ~ （授業・会議）を見学する；～を傍聴する

訳 学校公開週間には、保護者の皆さんの授業見学を歓迎します。

解説 授業を「見学する」は sit in on ~。sit in for ~ は「～の代理を務める」で後ろは人なので、classes とは合わない。at・with は sit in と組んで見学の意味にならない。

区別 **sit in on ~ ⇔ sit in for ~** sit in for は「（人）の代理を務める」で、for の後ろは人。sit in on は授業・会議を見学する。

0149 □□□

My aunt _____ the city's education committee, so she helps decide school policies.

① sits on　② sits in on
③ sits for　④ sits through

① sit on ~

（委員会など）の一員である；（書類など）を握りつぶす・放置する

訳 叔母は市の教育委員会の委員を務めているので、学校の方針を決める手伝いをしている。

解説 方針を決める側に加わっているので、委員会の「一員である」sits on（＝ serves on）。sits in on は「（会議を）見学・傍聴する」で、決定には加われない。sits for は「（試験を）受ける・（肖像画の）モデルになる」、sits through は「最後まで座って見る」で文意に合わない。

区別 **sit on ~ ⇔ sit in on ~** sit in on は外から見学するだけで決定には加わらない。sit on は正式なメンバーとして加わる。

0150 □□□

I was so tired that I slept _____ the earthquake and didn't notice anything until the next morning.

① in　② through
③ off　④ over

② sleep through ~

～の間ずっと眠っている；～に気づかず眠り続ける

訳 とても疲れていたので、地震の間もずっと眠っていて、翌朝まで何も気づかなかった。

解説 地震に気づかずに「眠り続けた」ので slept through（through＝最初から最後まで）。sleep in は「（わざと）遅くまで寝る」で目的語を取らない。sleep off は「（頭痛・疲れ）を寝て治す」、sleep over は「（よその家に）泊まる」で、地震を目的語にできない。

区別 **sleep through ~ ⇔ sleep in** sleep in は休日などに意図して遅くまで寝ること。sleep through ~ は音や出来事に気づかずに寝続けること。

0151 □□□

I spent the weekend sorting _____ my old clothes and gave the ones I didn't need to charity.

① into　② out of
③ through　④ off

③ sort through ~ ～を（一つ一つ）調べて整理する

訳 週末は古い服を一着ずつ調べて仕分け、要らないものを慈善団体に寄付した。

解説 たくさんの服を一つずつ見て「仕分けた」ので sorting through。sort A into B は「A を B（グループ）に分ける」の形で、into の後ろには分ける先が来るので my old clothes とは合わない。out of・off は sort と組んで「整理する」の意味にならない。

区別 **sort through ~ ⇔ sort out ~** sort out は「（問題を）解決する」「（物を）整理して片付ける」で結果に重点。sort through は山の中を一つずつ見ていく過程。

0152 ☐☐☐

The police are asking anyone who saw the accident to step ＿＿＿＿ with information.

① aside　② back
③ down　④ forward

④ step forward 名乗り出る；進み出る

訳 警察は、事故を目撃した人は誰でも情報を持って名乗り出るよう呼びかけている。

解説 目撃者に「名乗り出る」よう求めているので step forward。step aside は「脇へよける・（地位を）譲る」、step back は「一歩下がる・距離を置く」、step down は「辞任する」で、情報提供者として前に出る意味にならない。

区別 **step forward ⇔ step up** step up は「（責任を引き受けて）立ち上がる」「（努力を）強める」で、step up efforts のように他動詞もある。step forward は目撃者・志願者が名乗り出ること。

0153 ☐☐☐

She ＿＿＿＿ a page from her notebook and wrote her phone number on it.

① tore up　② tore down
③ tore off　④ tore apart

③ tear off ～ ～を引きちぎる；～を破り取る

訳 彼女はノートから１ページを破り取り、そこに自分の電話番号を書いた。

解説 ページをノートから「破り取って」そこに番号を書いたので tore off。tore up は「ずたずたに破いた」で、その紙に番号は書けない。tore down は「（建物を）取り壊した」、tore apart は「引き裂いた・ばらばらにした」で文意に合わない。

区別 **tear off ～ ⇔ tear up ～** tear up は紙全体を細かく破る（捨てるため・怒りで）。tear off は一部をちぎり取る。

0154 ☐☐☐

Guests arrived earlier than expected, so I ＿＿＿＿ a quick salad with what I had in the fridge.

① threw together　② threw away
③ threw up　④ threw off

① throw together ～ （料理など）を手早く作る；～を急ごしらえする

訳 お客さんが予想より早く来たので、冷蔵庫にあるもので手早くサラダを作った。

解説 ありあわせの物で「手早く作った」ので threw together。threw away は「捨てた」、threw up は「吐いた」、threw off は「振り払った・脱ぎ捨てた」で、料理を作る意味にならない。

区別 **throw together ～ ⇔ put together ～** put together は「（部品を）組み立てる」「（考えを）まとめる」で、手間をかけることもある。throw together は短時間で雑に作る。

0155 ☐☐☐

He doesn't want to tie himself ＿＿＿＿ to one place, so he changes jobs every few years.

① up　② out
③ down　④ off

③ tie down ～ ～を縛り付ける；～を束縛する

訳 彼は一つの場所に縛られたくないので、数年ごとに仕事を変えている。

解説 tie oneself down to ～ で「～に自分を縛り付ける」。一つの場所に縛られたくないので down。tie up は「縛る・（仕事で）手が離せなくさせる」で、tie oneself up to one place という形にはならない。out・off は束縛の意味を作らない（tie off は「（ひもの端を）結んで留める」）。

区別 **tie down ～ ⇔ tie up ～** be tied up は「（仕事で）手が離せない・忙しい」という一時的な状態。be tied down は「（家族・仕事・場所に）縛られて自由がない」という長期的な状態。

0156 □□□

It started to pour, so we _____ the storm in a small café before walking home.

① waited for　② waited out
③ waited on　④ waited up

② wait out ~ （嵐など）がやむまで待つ

訳 土砂降りになったので、私たちは小さなカフェで嵐が過ぎるのを待ってから歩いて帰った。

解説 すでに降り出した嵐が「過ぎるまで待った」ので waited out。waited for は「（これから来るもの）を待った」で、もう始まっている嵐には合わない。waited on は「（客に）給仕した」、waited up は「（人の帰りを）寝ずに待った（wait up for ~）」で文意に合わない。

区別 **wait out ~ ⇔ wait for ~** wait for は「（来るもの・起こること）を待つ」。wait out は「（今起きている嫌なこと）が終わるまで待つ」。

0157 □□□

Don't worry about the paint on your shirt. It's water-based, so it will wash _____ easily.

① up　② down
③ off　④ over

③ wash off ~

~を洗い落とす；（汚れなどが）洗って落ちる

訳 シャツに付いたペンキは心配しないで。水性だから簡単に洗い落とせるよ。

解説 自動詞の wash off で「（汚れが）洗って落ちる」。wash up は「（手や顔・皿を）洗う」で汚れが主語にならない。wash down は「（食べ物を飲み物で）流し込む・（車などを）水で洗い流す」、wash over は「（波・感情が）押し寄せる」で、ペンキが落ちる意味にならない。

区別 **wash off ~ ⇔ wash up** wash up は（米）「手や顔を洗う」、（英）「皿を洗う」。汚れそのものを主語にして「落ちる」とは言わない。

0158 □□□

I go running after school to work _____ the stress of studying for exams.

① at　② for
③ up　④ off

④ work off ~

（ストレス・体重など）を（運動して）発散する・減らす；（借金）を働いて返す

訳 私は試験勉強のストレスを発散するために、放課後にランニングをしている。

解説 走ってストレスを「発散する」ので work off。work at は「~に懸命に取り組む」でストレスを目的語にすると意味が逆になる。work for は「~のために働く」、work up は「（食欲・やる気など）をかき立てる」（work up an appetite）で、ストレスを減らす意味にならない。

区別 **work off ~ ⇔ work out** work out は自動詞で「運動する・鍛える」（I work out at the gym.）。work off は他動詞で、発散・消費する対象を目的語に取る。

0159 □□□

After the show, hundreds of viewers wrote _____ to the TV station to complain about the ending.

① back ② off
③ out ④ in

④ write in

（テレビ局・新聞などに）投書する；手紙を出す

訳 その番組の後、何百人もの視聴者が結末について苦情を言うためにテレビ局に投書した。

解説 視聴者がテレビ局に「投書した」ので wrote in (to ~)。wrote back は「返事を書いた」で、局から先に手紙が来ていないこの場面に合わない。write off は「（借金を）帳消しにする・見限る」、write out は「（全部）書き出す・清書する」で、投書の意味にならない。

区別 **write in ⇔ write back** write back は「（もらった手紙に）返事を書く」。write in は読者・視聴者の側から番組や新聞社へ送る。

0160 □□□

A powerful typhoon is bearing _____ on the southern islands, and residents have been told to evacuate.

① up ② out
③ with ④ down

④ bear down on ~

~に迫ってくる；~を厳しく抑えつける

訳 強い台風が南の島々に迫っており、住民に避難の指示が出ている。

解説 台風が島々に「迫ってくる」は bear down on ~。bear up は「（困難に）耐える」で on ~ を続けない。bear out は「（主張）を裏付ける」、bear with は「（人）に我慢して付き合う」で、迫る意味にならない。

区別 **bear down on ~ ⇔ bear with ~** bear with は「（人）に我慢して付き合う」で、Please bear with me.（少々お待ちください）が定番。迫る意味はない。

0161 □□□

The new research has brought _____ some surprising results about how we sleep.

① over ② back
③ forth ④ through

③ bring forth ~ ~を生み出す；~を発表する

訳 その新しい研究は、私たちの眠り方について驚くような結果をいくつか生み出した。

解説 研究が新しい結果を「生み出した」ので brought forth（forth＝外へ）。bring over は「（人・物を）連れて・持ってくる」、bring back は「戻す・思い出させる」、bring through は「（病気・危機を）乗り越えさせる」で、結果を生み出す意味にならない。

区別 **bring forth ~ ⇔ bring about ~** bring about は変化・事故などを「引き起こす」原因に焦点。bring forth は新しい物・考えを「世に出す・生み出す」。

0162 □□□

The old song called _____ memories of my high school days.

① for　② forth
③ off　④ in

② call forth ~ ～を呼び起こす；～を引き起こす

訳 その懐かしい歌は、高校時代の思い出を呼び起こした。

解説 歌が思い出を「呼び起こした」ので called forth。call for は「～を求める・必要とする」で、歌が思い出を要求するのではない。call off は「中止する」、call in は「（人を）呼び入れる・立ち寄る」で、記憶を呼び起こす意味にならない。

区別 **call forth ~ ⇔ call for ~** call for は「～を求める・必要とする」（This job calls for patience.）。call forth は「呼び起こす」。

0163 □□□

Could you clear the books _____ the table so we can have dinner?

① up　② out
③ away　④ off

④ clear off ~ ～の上を片付ける；（命令で）立ち去る

訳 夕飯にするから、テーブルの上の本を片付けてくれる？

解説 clear A off B で「B（の上）から A を片付ける」。off は前置詞として「～から離して」を表し、後ろに the table を置ける。up・away は副詞なので後ろに直接 the table を続けられない（away なら away from が必要）。out も「～の中から」なら out of が必要。

区別 **clear off ~ ⇔ clear up** clear up は「（部屋全体を）片付ける」「（天気が）晴れる」「（誤解を）解く」。clear off は表面の上の物をどける。

0164 □□□

After the election, the teacher counted _____ the votes and announced the new class president.

① down　② on
③ up　④ in

③ count up ~ ～を数え上げる；～を合計する

訳 選挙の後、先生は票を数え上げて新しい学級委員長を発表した。

解説 票を一つずつ数えて「合計した」ので counted up。count down は「（残り時間を）秒読みする」で票には使わない。count on は「～を当てにする」、count in は「（人を）仲間に入れる」で、票を数える意味にならない。

区別 **count up ~ ⇔ count on ~** count on は「～を当てにする・頼りにする」で、数える意味はない。count up は票・お金などを一つずつ数えて合計する。

0165 □□□

That ten-kilometer hike in the heat really did me _____. I slept for twelve hours.

① out　② up
③ over　④ in

④ do A in （人）をくたくたに疲れさせる；（人）を殺す

訳 暑い中での 10 キロのハイキングで本当にくたくたになった。12 時間も眠ってしまった。

解説 ハイキングで「くたくたに疲れさせた」ので did me in。do A up は「（ボタンを）留める・飾り立てる」、do A out of B は「A から B をだまし取る」で of が必要、do A over は「（英口語）A を殴る・（部屋を）荒らす」で、疲れの意味にならない。

区別 **do A in ⇔ wear A out** wear A out も「A を疲れさせる」で同じ意味だが、物を「擦り減らす」にも使う。do A in は人にだけ使う口語。

0166 ☐☐☐

At dinner, my uncle held _____ on politics for over an hour, and nobody else could say a word.

① out ② back
③ forth ④ off

③ hold forth 長々と話す；一席ぶつ

訳 夕食の席で叔父は政治について 1 時間以上も長々と語り、ほかの誰も一言も話せなかった。

解説 1 時間以上話し続けて誰も口をはさめなかったので held forth（on ～＝～について長々と話す）。held out は「持ちこたえた・（手を）差し出した」、held back は「控えた・ためらった」で、話し続けた内容と逆。held off は「（～を）延期した・寄せ付けなかった」で文意に合わない。

区別 **hold forth ⇔ speak up** speak up は「（遠慮せず）はっきり意見を言う」「大きな声で話す」でよい意味。hold forth は聞かれてもいないのに長々と持論を語る。

0167 ☐☐☐

After the scandal, the actor decided to _____ low for a few months and avoid the media.

① lie ② lay
③ lying ④ lain

① lie low 身を潜める；目立たないようにする

訳 スキャンダルの後、その俳優は数か月間は身を潜めて、マスコミを避けることにした。

解説 decide to の後ろは動詞の原形で、「身を潜める」は自動詞 lie を使った lie low。lay は他動詞「～を置く」の原形で目的語がないので、入試では誤り（口語では lay low も耳にするが、正式には lie）。lying・lain は原形ではないので to の後ろに置けない。

区別 **lie low ⇔ lay ～** lay は他動詞「～を置く・横たえる」で目的語が要る。身を潜めるのは自動詞 lie で lie low。会話では lay low も耳にするが、入試では lie low を選ぶ。

0168 ☐☐☐

Ken fell off the stage during the school play, and his friends still won't let him live it _____.

① down ② up
③ out ④ over

① live down ～
（不名誉など）を人に忘れてもらう；（汚名）をそそぐ

訳 ケンは学芸会で舞台から落ち、友達は今でもその話を持ち出して、彼に忘れさせてくれない。

解説 失敗をいつまでも言われて「忘れてもらえない」ので won't let him live it down。live it up は「派手に楽しむ」で、失敗の話とつながらない。live out は「（夢を）実現する・（余生を）過ごす」、live over は「（過去を）もう一度生きる」の意味で、恥を忘れてもらう意味にならない。

区別 **live down ～ ⇔ live up to ～** live up to は「（期待・評判）に添う」。live down は失敗・恥を人に忘れてもらう。

0169 □□□

Although they were exhausted, the climbers pushed ＿＿＿＿ and reached the top before sunset.

① off　② on
③ back　④ over

② push on
（疲れても）先へ進み続ける；（仕事を）続ける

訳 疲れ切っていたが、登山者たちは進み続け、日没前に頂上に着いた。

解説 Although（～だが）とあるので、疲れていても「進み続けた」pushed on。pushed off は「（舟で）岸を離れた・立ち去った」、pushed back は「押し返した・（予定を）遅らせた」、pushed over は「押し倒した」で、頂上まで進み続ける意味にならない。

区別 **push on ⇔ push back ～** push back は「（予定を）遅らせる」「押し返す」。push on は前へ進み続ける。

0170 □□□

He ran out ＿＿＿＿ his wife and children when they needed him most.

① on　② of
③ from　④ with

① run out on ～ ～を見捨てる；～から逃げ出す

訳 彼は妻と子どもたちが一番彼を必要としていたときに、家族を見捨てて出ていった。

解説 家族が一番必要としていたときに「見捨てた」ので ran out on。run out of ～ は「～を使い果たす」で人を目的語にすると意味が通らない。ran out from という決まった表現はなく、ran out with は「～と一緒に出ていった」で when they needed him most とつながらない。

区別 **run out on ～ ⇔ run out of ～** run out of は「～を使い果たす・切らす」で、後ろは物。run out on は人を見捨てる。

0171 □□□

I had a terrible headache, so I went to bed early to sleep it ＿＿＿＿.

① off　② on
③ in　④ over

① sleep off ～ （頭痛・疲れなど）を眠って治す

訳 ひどい頭痛がしたので、寝て治そうと早めに床に就いた。

解説 頭痛を「眠って治す」ので sleep it off（off＝体から離す）。sleep on it は「一晩考える」で語順も sleep on it になる。sleep in は「（わざと）遅くまで寝る」、sleep over は「（よその家に）泊まる」で、目的語 it を間に入れて使えない。

区別 **sleep off ～ ⇔ sleep on ～** sleep on は「～について一晩考える」で、語順は sleep on it。sleep off は不調を寝て治すことで、語順は sleep it off。

0172 □□□

After his party lost the election, the prime minister announced that he would stand ＿＿＿＿ as leader.

① by　② down
③ out　④ for

② stand down 辞任する；退く

訳 党が選挙で負けた後、首相は党首を辞任すると発表した。

解説 選挙に負けた後で「辞任する」ので stand down（＝ step down / resign）。stand by は「待機する・（人を）支える」、stand out は「目立つ」、stand for は「～を表す・（英）～に立候補する」で、辞任の意味にならない。

区別 **stand down ⇔ stand by** stand by は「待機する」「（人）を支える・味方する」。辞任の意味はない。

0173 ☐☐☐

The suspect's story doesn't tie _____ with what the witnesses said, so the police think he is lying.

① down ② on
③ off ④ in

④ tie in with ~ ～と一致する；～と関連がある

訳 容疑者の話は目撃者たちの証言と一致しないので、警察は彼がうそをついていると考えている。

解説 話が証言と「一致しない」ので doesn't tie in with（= isn't consistent with）。tie down は「縛り付ける・束縛する」で with ~ と組んで一致の意味にならない。tie on は「（ひもで）結び付ける」、tie off は「（ひもの端を）結んで留める」で、話の食い違いを表せない。

区別 **tie in with ~ ⇔ fit in with ~** fit in with は「（集団・予定）にうまく溶け込む・合う」で人にも使う。tie in with は話・データが「一致する」。

0174 ☐☐☐

At first I didn't like my new roommate, but I soon _____ him.

① warmed to ② warmed up
③ looked down on ④ got over

① warm to ~ ～を好きになる；～に乗り気になる

訳 最初は新しいルームメイトが好きではなかったが、すぐに好感を持つようになった。

解説 「最初は好きではなかったが」と but で対比しているので、だんだん好きになる warmed to。warmed up は「準備運動をした・暖まった」で人を直接目的語にしない（warm up to ~ なら可）。looked down on は「見下した」で but の対比にならない。got over は「（失恋・病気から）立ち直った」で、好きになる意味ではない。

区別 **warm to ~ ⇔ warm up** warm up は「準備運動をする」「暖まる・温める」。好きになる意味で使うなら warm up to ~ と to が要る。

0175 ☐☐☐

The thieves broke into the shop at night and made _____ with all the cash in the register.

① up ② away
③ out ④ over

② make away with ~ ～を持ち逃げする；～を殺す

訳 泥棒たちは夜に店に押し入り、レジの現金をすべて持ち逃げした。

解説 店に押し入って現金を「持ち逃げした」ので made away with（= made off with）。make up with は「（人と）仲直りする」、make out with は（米口語）「（人と）いちゃつく」で、現金を目的語にして盗む意味にならない。make over は「（財産を）譲る・作り変える」で with ~ とは組まない。

区別 **make away with ~ ⇔ do away with ~** do away with は「（制度・規則を）廃止する」で、盗む意味はない。make away with は物を持って逃げること。動詞 do / make の違いに注意。

0176 □□□

A man tried to push ＿＿＿＿ at the front of the line, but the people waiting told him to go to the back.

① out　② in
③ off　④ up

② push in （列に）割り込む

訳 男が列の先頭に割り込もうとしたが、待っていた人たちは後ろに並ぶよう言った。

解説 列の前に「割り込もう」としたので後ろへ行けと言われた＝push in。push out は「押し出す」で目的語が要る。push off は「（英口語）立ち去る・（舟を）出す」、push up は「押し上げる」で、列に割り込む意味にならない。

区別 **push in ⇔ push through ~** push through は「（人混み）をかき分けて進む」「（法案）を押し通す」。列に割り込む意味はない。

0177 □□□

He washed the pill ＿＿＿＿ with a glass of water.

① off　② out
③ up　④ down

④ wash down ~
（食べ物・薬）を飲み物で流し込む；～を水で洗い流す

訳 彼はコップ１杯の水で錠剤を流し込んだ。

解説 錠剤を水で「流し込んだ」ので wash A down with B（down＝喉の下へ）。wash off は「（汚れを）洗い落とす」、wash out は「（中を）洗い流す・（雨で）中止にする」、wash up は「（手や皿を）洗う」で、薬を飲み込む意味にならない。

区別 **wash down ~ ⇔ wash off ~** wash off は「（汚れを）洗い落とす」。wash down は飲み物で食べ物・薬を喉の下へ流し込む。

0178 □□□

As the evening wore ＿＿＿＿, the guests began to leave one by one.

① on　② off
③ out　④ down

① wear on （時が）ゆっくり過ぎる

訳 夜が更けるにつれて、客は一人また一人と帰り始めた。

解説 As ~ wore on で「（時が）過ぎるにつれて」。on は時間の継続を表す。wear off は「（薬の効果・痛みが）薄れる」、wear out は「擦り減る・疲れ果てる」、wear down は「擦り減る・（相手を）根負けさせる」で、主語の the evening と組まない。

区別 **wear on ⇔ wear off** wear off は「（薬の効果・痛み・目新しさが）薄れて消える」。時が過ぎる意味は wear on。

確認テスト1　句動詞｜日本語に合うように、空所に1語を書き込もう（答えは赤字）

0001 イベントが始まる前に、いくつかの問題を解決しておく必要がある。
We need to **iron** out a few problems before the event starts.

0002 期末試験の勉強で一晩中起きていた。
I was **up** all night studying for the final exam.

0003 私たちは海辺の近くの小さなホテルにチェックインした。
We checked **into** a small hotel near the beach.

0004 私たちのチームは今年の全国大会で3位になった。
Our team came **in** third at the national contest this year.

0005 出かける前にコートのボタンを留めなさい。外はとても寒いから。
Do **up** your coat before you go. It's freezing outside.

0006 ホテルは10パーセントのサービス料を上乗せした。
The hotel added **on** a service charge of ten percent.

0007 子どものころ、私は両親に口答えすることを決して許されなかった。
When I was a child, I was never allowed to answer **back** to my parents.

0008 上司に確認して、明日ご連絡します。
I'll check **with** my boss and get back to you tomorrow.

0009 一番難しい宿題を先にやって、さっさと済ませてしまおう。
Let's do the hardest homework first and get it **over** with.

0010 下がって、考える余裕をちょうだい！
Back **off** and give me some space to think!

0011 強い風で机の上の書類が全部吹き飛ばされた。
The strong wind blew **away** all the papers on my desk.

0012 何時間もかかったが、ついに父を説得して私たちの計画に賛成させた。
It took hours, but we finally brought my father **around** to our plan.

0013 大型スーパーが多くの地元の小さな店を追い出してきた。
Large supermarkets have driven **out** many small local shops.

0014 ホテルに電話してみたが、誰にもつながらなかった。
I tried calling the hotel, but I couldn't get **through** to anyone.

0015 赤ワインとチーズはとてもよく合う。
Red wine and cheese go **together** very well.

0016 その小さな会社は世界的な企業に成長した。
The small company grew **into** a global business.

0017 政府は危機を食い止めるために素早く行動した。
The government acted quickly to head **off** a crisis.

0018 決める前に、私の話を最後まで聞いてください。
Please hear me **out** before you make a decision.

0019 全日制で勉強しながら仕事を続けるのは難しい。
It's hard to hold **down** a job while studying full-time.

0020 少年はほえる犬からゆっくりと後ずさりした。
The boy slowly backed **away** from the barking dog.

0021 お父さんはご在宅ですか。お話ししたいのですが。
Is your father **in**? I'd like to speak to him.

0022 今夜はニュースの後に何か面白いテレビ番組がある？
Is there anything interesting **on** TV tonight after the news?

0023 誰か君の財布を見つけていないか、あちこち聞いてみるよ。
I'll ask **around** and see if anyone has found your wallet.

0024 両親は来週出張で家を空ける。
My parents will be **away** on a business trip next week.

0025 1時間走ると、たくさんのカロリーを消費できる。
Running for an hour can burn **up** a lot of calories.

0026 使わなかった休暇は翌年に繰り越せる。
Unused vacation days can be carried **over** to next year.

0027 テストを提出する前に答えを見直してください。
Please check **over** your answers before you hand in the test.

0028 その新しい法律は多くの批判を受けた。
The new law came in **for** a lot of criticism.

0029 ビーチに行くなら、私も入れて！
If you're going to the beach, count me **in**!

0030 この問題はあらゆる年齢層・社会階層にまたがっている。
This problem cuts **across** all age groups and social classes.

0031 長い登りの途中で、私は他の人たちから遅れた。
I dropped **behind** the others during the long climb.

0032 彼は自分を笑った少年に仕返しをしたかった。
He wanted to get **back** at the boy who had laughed at him.

0033 病気の間に宿題が遅れてしまった。
I got **behind** with my homework while I was ill.

0034 1週間逃げ回った末、泥棒は警察に自首した。
After a week on the run, the thief gave himself **up** to the police.

0035 小さな女の子が歌手に近寄ってサインをねだった。
A little girl went **up** to the singer and asked for an autograph.

0036 渋滞を避けるために早めに出発した方がいい。
We should head **out** early to avoid the traffic.

0037 その政治家はテレビのインタビューで批判者に反撃した。
The politician hit **back** at his critics in a TV interview.

0038 この会社では、すべての部長が社長に直接報告する立場にある。
In this company, every manager answers **to** the president directly.

0039 今から図書館に出かけるから、またあとでね。
I'm **off** to the library now, so see you later.

0040 パーティーには遠慮なく友達を連れてきてね。
Feel free to bring **along** a friend to the party.

0041 クラス全員でお金を出し合って先生へのプレゼントを買った。
Everyone in the class **chipped** in to buy a present for the teacher.

0042 日曜日はずっと車庫の中を片付けていた。
I spent all Sunday cleaning **out** the garage.

0043 冬物の服を入れる場所を作るために、押し入れを片付ける必要がある。
We need to clear **out** the closet to make room for winter clothes.

0044 その古い本は私の手の中でばらばらになった。
The old book came **apart** in my hands.

0045 その会社は今年の秋に新しい電話を発売する。
The company is coming out **with** a new phone this fall.

0046 私は招待客のリストから彼女の名前を線で消した。
I crossed her name **off** the guest list.

0047 調理の前に野菜を細かく切ってください。
Cut **up** the vegetables into small pieces before cooking.

0048 作文が間違いだらけだったので、やり直さなければならなかった。
My essay was full of mistakes, so I had to do it **over** .

0049 猫がテーブルに飛び乗ったとき、花瓶が倒れた。
The vase fell **over** when the cat jumped on the table.

0050 宿題が終わったら電話してね。
Call me when you get **through** with your homework.

0051 私が出かけている間、子どもたちは何をしていたの？
What did the kids get ___up___ to while I was out?

0052 先週クラスの半分がインフルエンザにかかった。
Half the class went down ___with___ the flu last week.

0053 この通知を読んだら、次の人に回してください。
Please read this notice and hand it ___on___ to the next person.

0054 その家族は何年もの困難な時期を団結して乗り越えた。
The family held ___together___ through many difficult years.

0055 父はインフルエンザで1週間寝込んでいた。
My father was ___laid___ up with the flu for a week.

0056 彼女は新しい仕事のプレッシャーによく耐えた。
She bore ___up___ well under the pressure of her new job.

0057 彼女がそんな難しい取引をやってのけるとは誰も思っていなかった。
Nobody believed she could bring ___off___ such a difficult deal.

0058 彼女は荷造りしながらリストの項目に一つずつ印をつけた。
She checked ___off___ each item on the list as she packed.

0059 先生はカンニングをした生徒を厳しく叱った。
The teacher came down hard ___on___ students who cheated.

0060 今夜はパーティーに行くには疲れすぎているから、私は抜きにして。
I'm too tired for the party tonight, so count me ___out___ .

0061 足音はゆっくりと遠くへ消えていった。
The sound of the footsteps slowly died ___away___ in the distance.

0062 この事件は地元警察の管轄に入る。
This case falls ___under___ the control of the local police.

0063 年を取るにつれて、二人の友人は次第に疎遠になった。
As they got older, the two friends slowly grew ___apart___ .

0064 私たちは文化祭のアイデアをあれこれ出し合った。
We kicked ___around___ some ideas for the school festival.

0065 彼は亡くなる前に家を息子に譲った。
He made ___over___ the house to his son before he died.

0066 列車は時間ちょうどに駅に到着した。
The train pulled ___in___ at the station right on time.

0067 大事な決断なので、一晩考えさせて。
It's a big decision, so let me sleep ___on___ it.

0068 発音に一生懸命取り組めば、すぐに上達するよ。
If you work ___at___ your pronunciation, you'll improve quickly.

0069 月曜日までに理科のレポートを書き上げなければならない。
I have to write ___up___ my science report by Monday.

0070 その古い船は高波でばらばらになった。
The old boat broke ___apart___ in the heavy waves.

0071 彼女は中に入る前にコートの雪を払い落とした。
She brushed ___off___ the snow from her coat before entering.

0072 新しい電話には裏側に高性能なカメラが内蔵されている。
The new phone has a powerful camera built ___in___ at the back.

0073 警察は車を盗んだ男を追いかけた。
The police came ___after___ the man who stole the car.

0074 事態の危険さがようやく私たちに身に染みて分かった。
The danger of the situation finally came ___home___ to us.

0075 湖が汚染されると、多くの魚が次々と死んだ。
Many fish died ___off___ when the lake became polluted.

0076 金曜日には、この会社の社員は普段着で働いてよい。
On Fridays, workers at this company are allowed to dress ___down___ .

0077 今夜はレストランに行かずに家で食べよう。
Let's eat ___in___ tonight instead of going to a restaurant.

0078 彼は高校時代に悪い仲間と付き合うようになった。
He fell ___in___ with a bad crowd during high school.

0079 片付けの仕事は一番若いメンバーに回ってきた。
The job of cleaning up fell ___to___ the youngest members.

0080 多くの企業がオンライン会議に切り替えた。
Many companies have gone ___over___ to online meetings.

0081 ほかの人たちが前へ駆け出す中、彼は不安そうに後ろに残った。
While the others rushed forward, he hung ___back___ nervously.

0082 戦争の脅威が何年もその国にのしかかっていた。
The threat of war hung ___over___ the country for years.

0083 暗くなってきたから、ホテルに戻った方がいい。
It's getting dark, so we'd better head ___back___ to the hotel.

0084 彼女は新しい研究チームを率いる役に選ばれた。
She was chosen to head ___up___ the new research team.

0085 祖父は若者が髪を染めることを良く思っていない。
My grandfather doesn't hold **with** young people dyeing their hair.

0086 彼は金持ちのふりをして彼女をその気にさせた。
He led her **on** by pretending he was rich.

0087 彼女のためにサプライズパーティーを計画していることは言わないでね。
Don't let **on** that we are planning a surprise party for her.

0088 部屋に服を脱ぎ散らかしたままにしないで。
Don't leave your clothes lying **around** the room.

0089 私がいない間、パソコンをいじらないで。
Don't mess **with** my computer while I'm out.

0090 座れるように少し詰めてもらえますか。
Could you move **over** a little so I can sit down?

0091 弟の後片付けをするのにはうんざりだ。
I'm tired of picking up **after** my little brother.

0092 彼女は部屋の張り詰めた空気にすぐ気づいた。
She quickly picked **up** on the tension in the room.

0093 彼の話は信じなかったが、調子を合わせておいた。
I didn't believe his story, but I played **along** with it.

0094 事態がどう展開するかは誰にも分からない。
Nobody knows how the situation will play **out** .

0095 軍は国境から撤退するよう命じられた。
The army was ordered to pull **back** from the border.

0096 市は新しい競技場を建てる計画を推し進めた。
The city pushed **ahead** with its plan to build a new stadium.

0097 新人だからといって、誰にもこき使われてはだめだ。
Don't let anyone push you **around** just because you're new.

0098 私たちは駅の近くの小さなホテルに泊まった。
We put up **at** a small hotel near the station.

0099 旅行の前に京都の歴史をよく調べた。
I read **up** on the history of Kyoto before my trip.

0100 その王は40年間国を治めた。
The king ruled **over** the country for forty years.

0101 一日中、用事であちこち走り回っていた。
I've been running **around** all day doing errands.

0102 ごめん、遅れてる。10分で着くよ。
Sorry, I'm running **behind** . I'll be there in ten minutes.

0103 その計画は地元住民の強い反対にぶつかった。
The project ran up **against** strong opposition from local residents.

0104 その報告書は廃棄物を減らすためのいくつかの計画を示している。
The report sets **forth** several plans to reduce waste.

0105 彼はひざを痛めて次の試合を欠場しなければならなかった。
He hurt his knee and had to sit **out** the next game.

0106 私たちは2時間の演説を最後まで聞かされた。
We had to sit **through** a two-hour speech.

0107 まず先週の授業の簡単な復習から始めよう。
Let's start **off** with a quick review of last week's lesson.

0108 先生に質問するため、授業の後に残った。
I stayed **behind** after class to ask the teacher a question.

0109 会議の後、彼はさらに1週間ロンドンに残った。
He stayed **on** in London for another week after the conference.

0110 両親は10時以降の外出を許してくれない。
My parents don't let me stay **out** after ten.

0111 彼は年配の女性を通すためにわきへよけた。
He stepped **aside** to let the older woman pass.

0112 時には一歩引いて全体像を見ることが必要だ。
Sometimes you need to step **back** and look at the big picture.

0113 ショーの後も残って、役者たちに会っていって。
Stick **around** after the show and meet the actors.

0114 良い友達はつらいときにいつも支え合う。
Good friends always stick **together** when times are hard.

0115 オーストラリアへ行く途中、シンガポールに立ち寄った。
We stopped **over** in Singapore on our way to Australia.

0116 良い先生は決して生徒を見下した話し方をしない。
Good teachers never talk **down** to their students.

0117 戦争はその小さな村の多くの家族を引き裂いた。
The war tore many families **apart** in that small village.

0118 上手なチェスの選手は常に数手先を読んでいる。
A good chess player always thinks **ahead** several moves.

0119 このパソコンを買えば、マウスを無料で付けてくれる。
If you buy this computer, they'll throw ___in___ a free mouse.

0120 風邪を治すのに1週間かかった。
It took me a week to throw ___off___ my cold.

0121 人々はようやくプラスチックごみの危険性に気づき始めている。
People are finally waking ___up___ to the dangers of plastic waste.

0122 2時間待って、私の我慢も限界に近づいていた。
After waiting for two hours, my patience was beginning to wear ___thin___ .

0123 食べ終わったらテーブルをふいてください。
Please wipe ___off___ the table after you eat.

0124 時間はかかったが、私たちは一緒に問題を乗り越えた。
It took time, but we worked ___through___ our problems together.

0125 彼は宿題をほったらかして一晩中ゲームをした。
He blew ___off___ his homework and played video games all night.

0126 宿題についてうそをついたとき、先生は彼のうそを見破った。
The teacher caught him ___out___ when he lied about his homework.

0127 経験不足が面接で彼に不利に働くかもしれない。
His lack of experience may count ___against___ him in the interview.

0128 広場の全員が年の最後の10秒を秒読みした。
Everyone in the square counted ___down___ the last ten seconds of the year.

0129 早く学校に着くために公園を突っ切った。
We cut ___through___ the park to get to school faster.

0130 先生はクラスにテスト用紙を配った。
The teacher dealt ___out___ the test papers to the class.

0131 雨が降っていたので、彼女は配達員を少しの間中に招き入れた。
It was raining, so she asked the delivery man ___in___ for a minute.

0132 その犬が大声でほえながら突然襲いかかってきた。
The dog suddenly came ___at___ me, barking loudly.

0133 多くのポップ歌手が俳優業へ転身している。
Many pop singers have crossed ___over___ into acting.

0134 長い通勤時間が家族と過ごせる時間に食い込んでいる。
The long commute cuts ___into___ the time I can spend with my family.

0135 食料品の値上がりで、わが家の貯金が少しずつ減っている。
Rising food prices are slowly eating ___into___ our family's savings.

0136 イベントにこんなに大勢来るとは予想していなかった。
We didn't figure **on** so many people coming to the event.

0137 その船は長い航海に向けて装備が整えられた。
The ship was fitted **out** for a long voyage.

0138 彼の話はつじつまが合わないので、信じられない。
His story doesn't hang **together**, so I don't believe him.

0139 試合後、監督は審判を激しく非難した。
The coach hit **out** at the referee after the game.

0140 怒りをいつも抑え込んでいるのは健康に良くない。
It's not healthy to hold **in** your anger all the time.

0141 試合に負けた後、コーチは選手たちを激しく叱りつけた。
The coach laid **into** the players after they lost the game.

0142 その秘密を私にも教えてくれない？
Can you let me **in** on the secret?

0143 子どもたちは中に何があるのか見ようとおもちゃをばらばらにした。
The children pulled **apart** the toy to see what was inside.

0144 彼女は東京支社への転勤を申し出た。
She put in **for** a transfer to the Tokyo office.

0145 彼の短い返事を深読みしすぎないで。
Don't read too much **into** his short reply.

0146 レストランを出る前に精算しよう。
Let's settle **up** before we leave the restaurant.

0147 一日中ごろごろしていないで、外で遊びなさい！
Don't just sit **around** all day. Go outside and play!

0148 今週は保護者の方の授業見学を歓迎します。
Parents are welcome to sit **in** on classes this week.

0149 母は町の教育委員会の委員を務めている。
My mother sits **on** the town's education committee.

0150 地震の間ずっと寝ていて、何も感じなかった。
I slept **through** the earthquake and didn't feel a thing.

0151 古い服を整理して、一部を慈善団体に寄付した。
I sorted **through** my old clothes and gave some to charity.

0152 事故について情報を持って名乗り出た人はまだいない。
No one has stepped **forward** with information about the accident.

0153 彼女は紙を1枚破り取って、そこに電話番号を書いた。
She tore **off** a piece of paper and wrote her number on it.

0154 冷蔵庫にあるもので手早く夕食を作った。
I threw **together** a quick dinner with what was in the fridge.

0155 彼は正社員の仕事に縛られたくないと思っている。
He doesn't want to be tied **down** by a full-time job.

0156 私たちは嵐がやむまで小さなカフェで待った。
We waited **out** the storm in a small café.

0157 中に入る前に泥を洗い落としなさい。
Wash **off** the mud before you come inside.

0158 ストレスを発散するために放課後ジョギングをしている。
I go jogging after school to work **off** stress.

0159 多くの視聴者がその番組に苦情の手紙を送った。
Many viewers wrote **in** to complain about the program.

0160 巨大な嵐がその小さな漁村に迫っていた。
A huge storm was bearing **down** on the small fishing village.

0161 新しい研究によって驚くべき結果が生まれた。
The new research has brought **forth** some surprising results.

0162 その古い写真は子ども時代の思い出を呼び起こした。
The old photograph called **forth** memories of my childhood.

0163 トランプができるように、彼女はテーブルの上を片付けた。
She cleared **off** the table so we could play cards.

0164 先生は票を数え上げて、勝者を発表した。
The teacher counted **up** the votes and announced the winner.

0165 昨日の長いハイキングで本当にくたくたになった。
That long hike really did me **in** yesterday.

0166 夕食の席で、おじは1時間も政治について熱弁をふるった。
At dinner, my uncle held **forth** on politics for an hour.

0167 スキャンダルの後、その歌手はしばらく目立たないようにすることにした。
After the scandal, the singer decided to lie **low** for a while.

0168 彼は舞台で大失敗をして、ずっとそれを言われ続けた。
He made a big mistake on stage and could never live it **down** .

0169 疲れていたが、登山者たちは頂上まで進み続けた。
Although they were tired, the climbers pushed **on** to the top.

0170 彼は息子が赤ん坊の頃に家族を見捨てた。
He ran out **on** his family when his son was a baby.

0171 彼は頭痛を眠って治そうと早めに寝た。
He went to bed early to sleep **off** his headache.

0172 首相は選挙での敗北後に辞任した。
The prime minister stood **down** after the election defeat.

0173 彼の話は目撃者の証言と一致しない。
His story doesn't tie **in** with what the witness said.

0174 最初は彼が好きではなかったが、すぐに打ち解けた。
At first I didn't like him, but I soon warmed **to** him.

0175 誰かが金庫のお金を全部持ち逃げした。
Someone made **away** with all the money in the safe.

0176 男が列の先頭に割り込もうとした。
A man tried to push **in** at the front of the line.

0177 彼はコップ1杯の水で錠剤を流し込んだ。
He washed **down** the pill with a glass of water.

0178 夜が更けるにつれ、客たちは帰り始めた。
As the night wore **on**, the guests began to leave.

CHAPTER 2

動詞が中心の熟語・語法

take part in・make up one's mind・deprive A of B など、動詞を中心にした決まった形。前置詞の選択問題が頻出。 No.0179〜0283（105 問）

問題

0179 □□□

My parents told me not to associate _____ those boys who often skip school.

① to ② for
③ with ④ by

解答・解説（赤シートで隠せます）

③ associate with ~ ～と付き合う；～と交際する

訳 両親は私に、よく学校をサボるあの少年たちとは付き合うなと言った。

解説 associate with ~ で「～と付き合う」。付き合う相手は with で示す。associate to / for / by という形はなく、to は方向、for は目的、by は手段・行為者を表すため、交際の相手を示せない。他動詞で使う associate A with B でも前置詞は with。

区別 **associate with ~ ⇔ associate A with B** associate A with B は「A を B と結びつけて考える・A で B を連想する」（I associate summer with the beach.）。associate with A は「A と付き合う」で目的語がない。見分け方：associate の直後に名詞（A）があれば連想、すぐ with なら付き合い。

0180 □□□

The constant noise from the construction site nearly drove me _____ madness.

① for ② at
③ to ④ with

③ drive A to B A を B（の状態）に追いやる

訳 工事現場からの絶え間ない騒音に、私は気が狂いそうになった。

解説 drive A to B で「A を B の状態に追いやる」。madness（狂気）という到達点を to で示す。for は目的・理由、at は一点、with は手段・付帯を表し、「～の状態まで追い込む」という到達の意味にならない。形容詞を使うなら drove me mad と前置詞なしになる。

区別 **drive A to B ⇔ drive A crazy** drive A crazy / mad は後ろに形容詞を置く第 5 文型で、前置詞は要らない。drive A to B は B に名詞（madness, despair）を置き、to が必要。見分け方：後ろが形容詞なら to なし、名詞なら to。

0181 □□□

She is endowed _____ a beautiful voice and has sung in concerts since she was a child.

① with ② by
③ for ④ of

① endow A with B A に B（才能など）を授ける

訳 彼女は美しい声に恵まれていて、子どものころからコンサートで歌ってきた。

解説 endow A with B の受け身 be endowed with ~ で「～に恵まれている」。授けられる物は with で示す（provide A with B と同じ型）。by は受け身の行為者を示すが、a beautiful voice は授ける側ではない。for / of はこの動詞と組まない。

区別 **endow A with B ⇔ provide A with B** provide A with B は「A に B（物資・情報など）を与える・供給する」で、人が物を渡す一般的な表現。endow A with B は生まれつきの才能や資質を授ける、という硬い表現。見分け方：才能・天賦の資質なら endow、物やサービスなら provide。

0182 □□□

She works at the community center, where she instructs elderly people _____ the use of smartphones.

① to ② in
③ with ④ for

② instruct A in B　A に B を教える

訳 彼女は地域センターで働いていて、そこでお年寄りにスマートフォンの使い方を教えている。

解説 instruct A in B で「A に B を教える」。教える分野（スマートフォンの使い方）は in で示す。to は instruct A to do（〜するよう指示する）の形で動詞の原形が続くもので、名詞 the use は続かない。with / for はこの動詞と組んで教える内容を表さない。

区別 **instruct A in B ⇔ instruct A to do** instruct A to do は「A に〜するよう指示する・命じる」（order と同じ）。instruct A in B は「A に B（の技能）を教える」。見分け方：後ろが動詞の原形なら to do（指示）、技能や科目の名詞なら in（教える）。

0183 □□□

I intended to _____ the report yesterday, but I was too busy.

① have finished ② had finished
③ having finished ④ be finishing

① intended to have done

…するつもりだったのに（実際はしなかった）

訳 昨日その報告書を仕上げるつもりだったのに、忙しすぎてできなかった。

解説 intended to have done で「〜するつもりだったのに（しなかった）」。to の後ろは原形なので have finished。having finished / had finished は to の後ろに置けない。be finishing は進行の意味で「仕上げるつもりだったができなかった」にならない。

区別 **intended to have done ⇔ had intended to do** had intended to do も「…するつもりだったのに」と同じ意味で、意図した時点が過去より前であることを過去完了で示す。intended to have done は完了不定詞で同じ内容を表す。書き換え問題で対応させる。

0184 □□□

Before the interview, the reporters armed themselves _____ a list of difficult questions.

① with ② by
③ for ④ in

① arm A with B　A に B を持たせる；A を B で武装させる

訳 インタビューの前に、記者たちは難しい質問のリストを用意して臨んだ。

解説 arm A with B で「A に B を持たせる・備えさせる」。持たせる物（質問のリスト）は with で示す（provide A with B と同じ型）。by は手段・行為者、for は目的、in は中身・範囲を表し、arm と組んで持たせる物を示さない。

注意 供給系 A with B の仲間。be armed with（〜で武装している・〜を備えている）の受け身が多い。比喩で知識・情報を持たせる意味もある。

0185 □□□

Since she was a child, she has aspired _____ a career in medicine.

① for ② at
③ to ④ on

③ aspire to ~ ～を熱望する；～を目指す

訳 彼女は子どものころから、医療の仕事に就くことを目指してきた。

解説 aspire to ~ で「～を熱望する・目指す」。目標は到達点を表す to で示す。for は long for（～を切望する）などで使うが aspire とは普通組まない。at / on も aspire と組んで目標を示さない。

区別 **aspire to ~ ⇔ inspire A to do** inspire A to do は「A を奮い立たせて～させる」で、他人にやる気を与える他動詞。aspire to は「自分が～を目指す」で、自動詞。見分け方：目指す本人が主語なら aspire to、影響を与える側が主語なら inspire。

0186 □□□

I don't want to burden you _____ my personal problems. You already have enough to worry about.

① by ② for
③ on ④ with

④ burden A with B A に B（重荷）を負わせる

訳 あなたに私の個人的な問題で負担をかけたくありません。あなたにはもう十分心配事があるのですから。

解説 burden A with B で「A に B（負担）を負わせる」。負わせる物は with で示す（load A with B と同じ型）。by は手段や行為者、for は目的を表し、負担の中身を示さない。on は put a burden on A（A に負担をかける）のように名詞 burden の後で使う形で、動詞 burden you の後ろには来ない。

注意 be burdened with（～を背負わされている）。名詞 burden（a heavy burden＝重い負担）。

0187 □□□

The president was strongly condemned _____ his failure to act during the crisis.

① to ② of
③ for ④ with

③ condemn A for B B のことで A を（強く）非難する

訳 大統領は、危機の際に行動しなかったことで強く非難された。

解説 condemn A for B で「B のことで A を非難する」。非難の理由（危機の際に行動しなかったこと）は for で示す（blame A for B と同じ型）。to は condemn A to B（A に B の刑を宣告する）の形で、刑罰や運命が続くので、ここでは合わない。of / with は condemn と組まない。

区別 **condemn A for B ⇔ condemn A to B** condemn A to B は「A に B（の刑・運命）を宣告する・追いやる」（be condemned to death ＝死刑を宣告される）。condemn A for B は「B を理由に A を非難する」。見分け方：刑や運命なら to、理由なら for。

0188 □□□

My little brother delights _____ teasing me when our parents aren't around.

① in ② at
③ with ④ on

① delight in ~ ～を大いに楽しむ；～を喜ぶ

訳 弟は両親がいないときに私をからかって楽しむ。

解説 自動詞 delight in ~ で「～を楽しむ」。楽しむ中身（からかうこと）は in で示す（take pleasure in と同じ）。at / with は形容詞 be delighted at / with（～に喜んでいる）の形で使い、動詞 delights の後ろには来ない。on も delight と組まない。

区別 **delight in ~ ⇔ be delighted with ~** be delighted with / at は「～を喜んでいる」で、受け身の形容詞。delight in は自動詞で「～を（いつも）楽しむ」。見分け方：be 動詞があれば delighted with / at、be がなく主語の直後に動詞として使うなら delight in。

0189 ☐☐☐

Can you differentiate a crocodile _____ an alligator? They look very similar.

① with ② to
③ of ④ from

④ differentiate A from B　A を B と区別する

訳 クロコダイルとアリゲーターを区別できますか。とてもよく似ています。

解説 differentiate A from B で「A を B と区別する」（distinguish A from B と同じ）。with は compare A with B（比べる）の形で使い、区別の意味にならない。to / of も differentiate と組んで区別する相手を示さない。and を使うなら differentiate between A and B の形になる。

区別 **differentiate A from B ⇔ differentiate between A and B** between A and B の形は「A と B の間で区別する」で、A と B が並ぶ。differentiate A from B は A が目的語になり、B を from で示す。見分け方：and があれば between、from があれば A を直後に置く。

0190 ☐☐☐

Children under 12 are exempt _____ the entrance fee to the museum.

① of ② from
③ for ④ off

② exempt A from B　A に B を免除する

訳 12 歳未満の子どもは、博物館の入館料が免除される。

解説 be exempt from ~ で「～を免除されている」。免除される義務・料金は分離を表す from で示す。of は free of charge（無料で）などで使うが exempt とは組まない。for は目的、off は「離れて」の副詞・前置詞で、exempt と組んで免除の対象を示さない。

区別 **exempt A from B ⇔ free A from B**　free A from B は「A を B から解放する」で、束縛・苦しみからの解放に広く使う。exempt A from B は義務・税・規則などを「免除する」と、制度上の扱いに限られる。

0191 ☐☐☐

The typhoon inflicted serious damage _____ the small fishing town.

① with ② from
③ on ④ for

③ inflict A on B　B に A（打撃・苦痛など）を与える

訳 台風はその小さな漁村に深刻な被害を与えた。

解説 inflict A on B で「B に A（損害）を与える」。被害を受ける側は on（upon）で示す（impose A on B と同じ型）。with は手段、from は起点、for は目的を表し、損害を受ける側を示せない。

区別 **inflict A on B ⇔ impose A on B**　impose A on B は「B に A（税・規則・考え）を課す・押し付ける」。inflict A on B は「B に A（損害・苦痛）を与える」。見分け方：制度や意見なら impose、傷やダメージなら inflict。

0192 □□□

After one mistake, he was unfairly labeled ＿＿＿＿ a liar by his classmates.

① for　② to
③ as　④ by

③ label A as B　A に B というレッテルを貼る

訳 一度の間違いで、彼はクラスメートから不当にうそつき呼ばわりされた。

解説 label A as B で「A に B というレッテルを貼る」。受け身 be labeled as ~。for / to は label と組んでレッテルの中身を示さない。by は受け身の行為者を示し、後ろの by his classmates がそれに当たるので、a liar の前に置くと「うそつきによって」になってしまう。

区別 **label A as B ⇔ regard A as B**　regard A as B は「A を B とみなす」で、中立的な判断。label A as B は「A に B というレッテルを貼る」で、一方的・不当な決めつけの響きが強い。どちらも as を使う型。

0193 □□□

Before moving day, we loaded the truck ＿＿＿＿ boxes and furniture.

① into　② with
③ on　④ by

② load A with B　A に B を積む；A を B でいっぱいにする

訳 引っ越しの日の前に、私たちはトラックに箱と家具を積み込んだ。

解説 動詞の直後が入れ物（the truck）なので、積む物は with で示す load A with B。into / on は積む物が目的語のとき（load boxes into / onto the truck）に場所を示す前置詞で、the truck の後ろには使えない。by は手段で、積む物を示さない。

区別 **load A with B ⇔ load B into / onto A**　load B into A は積む物（B）が目的語で、積む場所を into / onto で示す。load A with B は積む場所（A）が目的語で、積む物を with で示す。見分け方：動詞の直後が入れ物なら with、荷物なら into / onto。

0194 □□□

Because of the long commute, many students now opt ＿＿＿＿ online classes.

① for　② to
③ in　④ on

① opt for ~　~を選ぶ

訳 通学時間が長いため、今では多くの学生がオンライン授業を選んでいる。

解説 opt for ~ で「~を選ぶ」。選ぶ対象の名詞（online classes）は for で示す。to は opt to do（~することを選ぶ）の形で後ろに動詞の原形が必要なので、名詞は続かない。opt in は「参加を選ぶ」で、後ろに名詞を直接続けない（opt in to ~）。on は opt と組まない。

区別 **opt for ~ ⇔ opt out of ~**　opt out of は「~から抜ける・~に参加しないことを選ぶ」（opt out of the program）。opt for は「~を選ぶ」。見分け方：参加しない・やめることを選ぶなら opt out of、ある物を選ぶなら opt for。

0195 ☐☐☐

He didn't want to smoke, but his friends pressured him ＿＿＿＿ trying a cigarette.

① to　② for
③ from　④ into

④ pressure A into ~ing　A に圧力をかけて～させる

訳 彼はたばこを吸いたくなかったが、友人たちが圧力をかけて彼に 1 本吸わせた。

解説 後ろが trying（動名詞）なので pressure A into ~ing（圧力をかけて～させる）。to を使うなら pressure him to try と動詞の原形が必要。for は理由・目的で、行動させる意味にならない。from は prevent A from ~ing のように「させない」方向で、文の意味と逆になる。

区別 **pressure A into ~ing ⇔ pressure A to do**　pressure A to do も「A に～するよう圧力をかける」で意味はほぼ同じだが、to の後ろは動詞の原形。into の後ろは動名詞。見分け方：空所の後ろが ~ing なら into、原形なら to。

0196 ☐☐☐

The judge sentenced the man ＿＿＿＿ five years in prison for robbery.

① for　② with
③ to　④ at

③ sentence A to B　A に B の刑を言い渡す

訳 裁判官はその男に強盗の罪で懲役 5 年の刑を言い渡した。

解説 sentence A to B で「A に B の刑を言い渡す」。刑罰（5 年の懲役）は到達点の to で示す。for は刑の理由（for robbery）を示すのに使われていて、刑罰そのものの前には置かない。with / at は sentence と組んで刑を示さない。

区別 **sentence A to B ⇔ convict A of B**　convict A of B は「A に B の有罪判決を下す」で、B は罪名（murder, theft）。sentence A to B は「A に B の刑を言い渡す」で、B は刑罰。見分け方：罪の名前なら convict of、刑の重さなら sentence to。

0197 ☐☐☐

After a long battle, she triumphed ＿＿＿＿ her illness and returned to the stage.

① on　② over
③ at　④ with

② triumph over ~　～に打ち勝つ

訳 長い闘病の末、彼女は病気に打ち勝ち、舞台に戻ってきた。

解説 triumph over ~ で「～に打ち勝つ・克服する」。相手の上に立つイメージの over を使う（prevail over / get over と同じ）。on / at / with は triumph と組んで打ち勝つ相手を示さない。

区別 **triumph over ~ ⇔ prevail over ~**　prevail over も「～に打ち勝つ・～より優勢である」だが、「（考えや勢力が）広く勝る」の意味が強い。triumph over は困難や敵を苦労の末に打ち負かす、勝利の喜びが強い。どちらも over を取る。

0198 ☐☐☐

The con man cheated the old woman ＿＿＿＿ her life savings.

① into　② away
③ out of　④ over

③ cheat A out of B　A をだまして B を奪う

訳 その詐欺師は老婦人をだまして、彼女の老後の蓄えを奪った。

解説 cheat A out of B で「A をだまして B を奪う」。持っていた貯金から外へ出させるので out of。into は deceive A into ~ing のように「だまして～させる」の形で、後ろは行動を表す動名詞になる。away は副詞で後ろに名詞を直接続けられず、over も cheat と組んで奪う物を示さない。

区別 **cheat A out of B ⇔ deceive A into ~ing**　deceive A into ~ing は「A をだまして～させる」で、ある行動をさせる。cheat A out of B は「A をだまして B を奪う」で、持ち物を取り上げる。前置詞 into（中へ＝させる）と out of（外へ＝奪う）が逆向き。

0199 □□□

After hours of questioning, the man finally confessed ＿＿＿＿ stealing the money.

① for　② on
③ to　④ of

③ confess to ~ ～を白状する；～を認める

訳 何時間もの取り調べの後、男はついにお金を盗んだことを白状した。

解説 confess to ~ing で「～したことを白状する」。to は前置詞なので後ろは動名詞 stealing。for / on / of は confess と組んで認める内容を示さない。for は「理由」、of は「～について」の意味になり、白状の対象を表せない。

区別 **confess to ~ ⇔ admit (to) ~ing** admit も「認める」だが、confess より軽く、罪に限らず事実を認める（admit making a mistake）。confess は罪や恥ずかしいことを打ち明ける重い言葉。どちらも後ろに動名詞が来る（to ~ing の形もある）。

0200 □□□

Farmers in this area have to contend ＿＿＿＿ long periods of dry weather every summer.

① with　② for
③ to　④ at

① contend with ~ ～と争う；（困難）に立ち向かう

訳 この地域の農家は、毎年夏に長く続く乾燥した天気に立ち向かわなければならない。

解説 contend with ~ で「（困難）に立ち向かう・対処する」。日照りという困難は with で示す（cope with と同じ）。contend for は「（賞など）を求めて争う」で、乾燥した天気を求めることになり意味が通らない。to / at は contend と組まない。

区別 **contend with ~ ⇔ contend for ~** contend for は「（賞・地位）を求めて争う」（contend for the title）。contend with は「（困難など）と戦う・対処する」。見分け方：手に入れたい目標なら for、立ちはだかる問題なら with。

0201 □□□

His parents tried to dissuade him ＿＿＿＿ quitting school, but he didn't listen.

① to　② into
③ of　④ from

④ dissuade A from ~ing
A を説得して～するのをやめさせる

訳 両親は彼に学校を辞めないよう説得しようとしたが、彼は聞かなかった。

解説 dissuade A from ~ing で「A を説得して～するのをやめさせる」。行動から引き離す from を使う。to は persuade A to do（～させる）の形で、後ろは動詞の原形なので quitting とは続かない。into は talk A into ~ing（説得して～させる）の形で意味が逆。of は dissuade と組まない。

区別 **dissuade A from ~ing ⇔ persuade A to do** persuade A to do は「A を説得して～させる」（persuade him to stay）。dissuade A from ~ing は「説得して～をやめさせる」。見分け方：させるなら persuade ＋ to do、やめさせるなら dissuade ＋ from ~ing。

0202 □□□

After retiring from teaching, she embarked _____ a new career as a writer.

① in　② on
③ for　④ to

② embark on ~ （事業など）に乗り出す；~を始める

訳 教師を退職した後、彼女は作家として新しい仕事に乗り出した。

解説 embark on ~ で「（新しい仕事など）に乗り出す」。取り組む物事は on（upon）で示す。for は embark for ~（~へ向けて出発する）の形で行き先を示すので、a new career とは組まない。in / to も embark と組んで新しい取り組みを示さない。

区別 **embark on ~ ⇔ embark for ~** embark for は「（船・飛行機で）~へ向けて出発する」で、for の後ろは行き先。embark on は「（事業など）に乗り出す」で、on の後ろは取り組む物事。見分け方：場所なら for、計画や仕事なら on。

0203 □□□

He was expelled _____ school for cheating on the final exam.

① out　② from
③ off　④ of

② expel A from B A を B から追放する；A を退学させる

訳 彼は期末試験でカンニングをして退学になった。

解説 expel A from B の受け身 be expelled from ~ で「~から追放される・退学になる」。追い出される起点は from で示す。out は副詞で、後ろに名詞を続けるには out of が必要。off / of も expel と組んで追い出される場所を示さない。

区別 **expel A from B ⇔ suspend A from B** suspend A from B は「A を B から一時的に停止処分にする（停学にする）」。expel A from B は「（永久に）追放する・退学させる」。見分け方：期間限定の処分なら suspend、完全に追い出すなら expel。

0204 □□□

Stop giving your little sister a hard _____. She's doing her best.

① day　② way
③ time　④ work

③ give A a hard time A を困らせる；A につらく当たる

訳 妹を困らせるのはやめなさい。あの子は精一杯頑張っているんだから。

解説 「頑張っている妹を困らせるのはやめて」なので give A a hard time。a hard day は「大変な一日」で give A a hard day という形はない。a hard way は the hard way（苦労して）の形で使う。hard work は「重労働」で、give A a hard work とは言わない。

区別 **give A a hard time ⇔ have a hard time ~ing** have a hard time ~ing は「~するのに苦労する」で、主語が苦労する本人。give A a hard time は「A を困らせる」で、主語が困らせる側。見分け方：give なら他人を困らせる、have なら自分が苦労する。

0205 □□□

His hard work did not go _____; he was promoted to manager last month.

① noticed　② unnoticed
③ unnoticing　④ noticing

② go unnoticed 気づかれないままである

訳 彼の努力は見過ごされなかった。先月、部長に昇進したのだ。

解説 昇進した＝努力が「見過ごされなかった」なので did not go unnoticed。go noticed という形はなく、did not go noticed では「気づかれなかった」となり昇進と矛盾する。unnoticing / noticing は「気づいている（側）」の現在分詞で、努力が主語の文では意味が通らない。

注意 go unpunished / go unanswered など go ＋ un-過去分詞の型。

0206 □□□

I had ———— with my neighbor about the noise last night, and now we're not speaking to each other.

① a word ② words
③ word ④ the word

② have words with ~ ～と口論する

訳 昨夜、騒音のことで隣の人と口論になり、今ではお互い口をきいていない。

解説 その結果お互い口をきいていないので「口論した」の have words with。have a word with は「ちょっと話す」で、口をきかなくなる結果と合わない。word（冠詞なし単数）は「知らせ」の意味になり、have word with とは言わない。the word も have と組んで口論の意味にならない。

区別 **have words with ~ ⇔ have a word with ~** have a word with は「～とちょっと話す・内々に話す」（Can I have a word with you?）。have words with は「～と口論する」。見分け方：a word（単数）なら短い話、words（複数・冠詞なし）なら口論。

0207 □□□

In his speech, the president hinted ———— the possibility of a tax increase next year.

① to ② on
③ for ④ at

④ hint at ~ ～をほのめかす

訳 演説の中で、大統領は来年の増税の可能性をほのめかした。

解説 hint at ~ で「～をほのめかす」。ほのめかす内容は目標を表す at で示す（aim at と同じ）。to は「～に向かって」で、hint to A は「A にヒントを与える」相手の意味になり、内容を示さない。on / for も hint と組んでほのめかす内容を示さない。

区別 **hint at ~ ⇔ take a hint** take a hint は「ほのめかしを察する」で、hint は名詞。hint at は「ほのめかす」という動詞の使い方。言う側が hint at、受け取る側が take a hint、と立場で区別する。

0208 □□□

———— your tongue! You shouldn't say such rude things to your grandmother.

① Hold ② Lose
③ Twist ④ Catch

① hold one's tongue 黙っている

訳 黙りなさい！ おばあちゃんにそんな失礼なことを言ってはいけません。

解説 失礼なことを言った相手を「黙りなさい」と叱るのは Hold your tongue!。lose one's tongue は「（驚いて）口がきけなくなる」で、命令文にしても意味が通らない。twist / catch は tongue と組んで「黙れ」の意味にならない（tongue twister は早口言葉）。

区別 **hold one's tongue ⇔ bite one's tongue** bite one's tongue は「言いたいことをぐっとこらえる」で、我慢する苦しさに重点がある。hold one's tongue は「黙っている」で、単に話さない状態や、黙れという命令に使う。

0209 ☐☐☐

The government is taking strong measures to keep rising prices in ＿＿＿＿.

① touch　② mind
③ shape　④ check

④ keep ~ in check ～を抑える；～を食い止める

訳 政府は物価の上昇を抑えるため、強力な対策を取っている。

解説 上がる物価を「抑える」ので keep ~ in check。keep in touch は「連絡を取り合う」、keep ~ in mind は「～を心に留める」、keep in shape は「体調を保つ」で、どれも物価を抑える意味にならない。

区別 **keep ~ in check ⇔ keep ~ in touch** keep in touch (with A) は「（A と）連絡を取り合う」で、人との関係を言う。keep ~ in check は何かを「抑える」。どちらも keep ~ in ＋名詞の形だが、名詞で意味が決まる。

0210 ☐☐☐

Please ＿＿＿＿ your bed before you leave for school. Your room is a mess.

① put　② set
③ take　④ make

④ make the bed ベッドを整える

訳 学校へ行く前にベッドを整えなさい。部屋がめちゃくちゃよ。

解説 「ベッドを整える」は make one's bed。make には「（使える状態に）整える」の意味がある。put your bed は「ベッドを置く」で後ろに場所が必要。set は set the table（食卓を整える）で使うが、ベッドには使わない。take your bed は「ベッドを持って行く」で意味が通らない。

区別 **make the bed ⇔ go to bed** go to bed は「寝る（床に就く）」で、無冠詞の bed。make the bed は「ベッドを整える」で、冠詞や所有格が付く。見分け方：寝る行動なら go to bed、家事なら make the bed。

0211 ☐☐☐

The principal presided ＿＿＿＿ the graduation ceremony and gave a short speech.

① on　② to
③ over　④ for

③ preside over ~ ～の司会をする；～を統括する

訳 校長は卒業式を取り仕切り、短いスピーチをした。

解説 preside over ~ で「～の司会をする・取り仕切る」。全体を上から見渡す over を使う。on / to / for は preside と組んで取り仕切る対象を示さない。

注意 名詞 president（大統領・社長）は「前に座る人」。preside at ~ ともいう。＝ chair / be in charge of。

0212 ☐☐☐

My son is running a ＿＿＿＿, so he has to stay home from school today.

① cold　② headache
③ fever　④ flu

③ run a fever 熱が出る

訳 息子は熱があるので、今日は学校を休んで家にいなければならない。

解説 run a fever で「熱が出る」。run と組むのは fever（や temperature）。cold は catch / have a cold、headache は have a headache、flu は catch / have the flu で使い、run a ~ とは言わない。

区別 **run a fever ⇔ catch a cold** catch a cold は「風邪をひく」で、cold には run を使わない。run a fever は「熱が出る」。動詞と名詞の組み合わせが決まっている（catch a cold / run a fever / have a headache）。

0213 ☐☐☐

The view from the top of the mountain was so beautiful that it took my breath ＿＿＿＿.

① off　② away
③ out　④ up

② take one's breath away
（驚き・美しさで）息をのませる

訳 山頂からの眺めはあまりに美しく、思わず息をのんだ。

解説 景色の美しさに「息をのんだ」ので take one's breath away。away は「奪い去る」。take off は「脱ぐ・離陸する」、take out は「取り出す」、take up は「取り上げる・始める」で、breath と組んで感動の意味にならない。

区別 **take one's breath away ⇔ catch one's breath** catch one's breath は「（走った後などに）一息つく・呼吸を整える」。take one's breath away は「（感動で）息をのませる」。見分け方：疲れて休むなら catch、感動なら take ~ away。

0214 ☐☐☐

Many people living in big cities yearn ＿＿＿＿ a quiet life in the countryside.

① to　② for
③ at　④ of

② yearn for ~ ～を切望する；～に憧れる

訳 大都会に住む多くの人が、田舎での静かな暮らしに憧れている。

解説 yearn for ~ で「～を切望する」。求める対象の名詞は for で示す（long for と同じ）。to は yearn to do の形で後ろに動詞の原形が必要なので、a quiet life とは続かない。at / of は yearn と組まない。

区別 **yearn for ~ ⇔ long for ~** long for も「～を切望する」で意味はほぼ同じ。yearn for はより深い、しみじみとした憧れの響きがあり、文学的。どちらも for を取り、to do の形も取れる。

0215 ☐☐☐

This clear mountain river abounds ＿＿＿＿ fish, so many people come here to go fishing.

① of　② at
③ in　④ to

③ abound in ~ ～に富む；～がたくさんいる

訳 この澄んだ山の川には魚がたくさんいるので、多くの人が釣りをしにやって来る。

解説 abound in ~ で「～に富む・～がたくさんいる」。豊富な物は in（または with）で示す（be rich in と同じ）。of は be full of で使うが abound とは組まない。at / to も abound と組まない。

区別 **abound in ~ ⇔ be rich in ~** be rich in も「～に富む」で意味は同じだが、形容詞の構文。abound in は動詞で、主語に場所も豊富な物も置ける。どちらも in を使う。

0216 ☐☐☐

The old castle walls bear witness ＿＿＿＿ the city's long and violent history.

① for　② of
③ to　④ on

③ bear witness to ~ ～を証言する；～の証拠となる

訳 古い城壁は、その都市の長く激しい歴史を物語っている。

解説 bear witness to ~ で「～の証拠となる・～を証言する」。証拠となる内容は to で示す（testify to と同じ）。for / of / on は bear witness と組まない。for は「～のために」で、証拠の内容を示せない。

注意 主語に物が来て「～を物語る」と訳すことが多い。

0217 ☐☐☐

A: Do you think Tom will arrive on time? B: I wouldn't bet _____ it. He's late almost every day.

① at ② to
③ on ④ in

③ bet on ~ ～に賭ける；～を確信する

訳 A：トムは時間どおりに来ると思う？ B：当てにはできないね。彼はほぼ毎日遅刻するから。

解説 「ほぼ毎日遅刻する」と続けているので、「当てにならない」の I wouldn't bet on it.。賭ける対象は on で示す。at / to / in は bet と組んで賭けの対象を示さない。

区別 **bet on ~ ⇔ You bet.** You bet. は「もちろん・どういたしまして」という返事で、目的語を取らない。bet on ~ は「～に賭ける・当てにする」。見分け方：返事の決まり文句なら You bet.、対象があれば bet on。

0218 ☐☐☐

No one said a word for several minutes after the bad news. Finally, the teacher broke the _____ and spoke.

① record ② rules
③ law ④ silence

④ break the silence 沈黙を破る

訳 悪い知らせの後、何分も誰も一言も話さなかった。ついに先生が沈黙を破って話し始めた。

解説 何分も誰も話さなかった後、先生が話し始めたので break the silence（沈黙を破る）。break the record は「記録を破る」、break the rules / the law は「規則・法律を破る」で、黙っていた場面の後に話し出す意味にならない。

区別 **break the silence ⇔ break the ice** break the ice は「（初対面の）緊張をほぐす・場を和ませる」。break the silence は「（長い）沈黙を破る」。見分け方：初対面の気まずさを和らげるなら ice、黙っている状態を終わらせるなら silence。

0219 ☐☐☐

This bookstore mainly _____ young readers, so most of its books are comics and light novels.

① appeals ② caters
③ caters with ④ caters to

④ cater to ~ ～の要求を満たす；～に応える

訳 この書店は主に若い読者向けなので、本のほとんどは漫画とライトノベルだ。

解説 「若い読者の好みに応える」は自動詞 cater に to を付けた caters to ＋客。前置詞なしの caters は「（宴会の）料理を仕出しする」の意味になり、読者を目的語にできない。caters with という形はない。appeals も自動詞で appeal to ~（～の心に訴える）と to が必要なので、appeals young readers は誤り。

区別 **cater to ~ ⇔ cater for ~** cater for ~ はイギリス英語で、cater to ~ とほぼ同じ「～の要求を満たす」。アメリカ英語では cater to が普通。入試では to / for 以外の前置詞（with / at）や、前置詞を落とした形を選ばせるひっかけに注意。

0220 □□□

Many critics characterized the singer's new album ＿＿＿＿ her best work so far.

① with　② by
③ to　④ as

④ characterize A as B

A を B と特徴づける；A を B と評する

訳 多くの評論家は、その歌手の新しいアルバムをこれまでで最高の作品だと評した。

解説 「A を B だと評する」は characterize A as B。by は受け身の be characterized by ~（～を特徴とする）で特徴を示すときに使い、能動文で評価を表す B の前には置けない。to / with は characterize と組む形がない。

区別 **characterize A as B ⇔ be characterized by ~** be characterized by ~ は「～を特徴とする」で、by の後ろは特徴（性質・要素）。be characterized as B は「B だと評される」で、as の後ろは評価・分類。見分け方：中身・要素なら by、レッテル・評価なら as。

0221 □□□

She fainted from the heat, and when she came to ＿＿＿＿, she was lying on a bed in the nurse's office.

① her　② herself
③ itself　④ hers

② come to oneself 意識を取り戻す；我に返る

訳 彼女は暑さで気を失い、意識を取り戻したときには保健室のベッドに寝ていた。

解説 主語 she に合わせた再帰代名詞 herself を置いて came to herself（意識を取り戻した）。her だと「（別の）彼女のところへ来た」となり意識の回復にならない。itself は主語と一致しない。hers は所有代名詞で「彼女のもの」となり意味が通らない。

区別 **come to oneself ⇔ come to one's senses** come to one's senses は「（愚かな考えから）分別を取り戻す・目を覚ます」の意味で使うことが多い。come to oneself は「（気絶から）意識を取り戻す」「我に返る」。見分け方：気絶・ぼんやりからの回復なら come to oneself、間違った考えを改めるなら come to one's senses。

0222 □□□

Before smartphones, few people could ＿＿＿＿ carrying a computer in their pocket.

① imagine of　② conceive of
③ conceive　④ think

② conceive of ~ ～を想像する；～を思いつく

訳 スマートフォンが出る前は、ポケットにコンピューターを入れて持ち歩くことを想像できる人はほとんどいなかった。

解説 「～を想像する」で動名詞を続けるなら conceive of ~ing。imagine は他動詞なので of は不要（imagine carrying なら正しい）で、imagine of は誤り。of のない conceive は「（計画など）を思いつく」で、動名詞を直接続けない。think も「想像する」なら think of ~ と of が必要。

区別 **conceive of ~ ⇔ conceive ~（他動詞）** of なしの conceive ~ は「（計画・考え）を思いつく・考案する」（conceive a plan）。conceive of ~ は「～を（頭の中で）想像する」。見分け方：can't と組んで「想像もできない」なら of。

0223 □□□

Kate has no one to _____ when she has a problem, so she often writes about her worries in her diary.

① confide in　② confide
③ confide with　④ confide at

① confide in ~　～に秘密を打ち明ける；～を信頼する

訳 ケイトには困ったときに打ち明けられる人がいないので、よく日記に悩みを書いている。

解説 「悩みを打ち明ける相手」は confide in ＋人で、ここでは no one to confide in（打ち明ける相手が誰もいない）の形。confide だけでは自動詞で相手を示せない。with / at は confide と組まず、相手は in で示す（秘密を目的語にするなら confide A to B）。

区別 **confide in ~ ⇔ confide A to B**　confide A to B は他動詞で「A（秘密）を B（人）に打ち明ける」。confide in ~ は「（人）を信頼して打ち明ける」で、in の後ろが人。見分け方：秘密が目的語なら to ＋人、人を直接続けるなら in。

0224 □□□

The man was _____ of stealing a car and was sent to prison for two years.

① charged　② convicted
③ blamed　④ sentenced

② convict A of B　A に B の有罪判決を下す

訳 その男は車を盗んだ罪で有罪判決を受け、2 年間刑務所に送られた。

解説 of ＋罪を続けて「～の罪で有罪になる」は be convicted of。charge は charge A with B と with を使う。blame は blame A for B（B のことで A を責める）と for を使う。sentence は sentence A to B（A に B の刑を言い渡す）と to ＋刑罰を続ける。

区別 **convict A of B ⇔ accuse A of B**　accuse A of B は「A を B の罪で訴える・責める」で、まだ有罪かどうか決まっていない段階。convict A of B は裁判で「有罪と決める」。見分け方：the court / the jury が主語で判決なら convict、疑い・非難なら accuse。

0225 □□□

The fake email deceived many people _____ their bank account numbers.

① for giving　② to give
③ from giving　④ into giving

④ deceive A into ~ing　A をだまして～させる

訳 その偽のメールにだまされて、多くの人が銀行の口座番号を教えてしまった。

解説 deceive A into ~ing（A をだまして～させる）の形で into giving。deceive は to 不定詞を続けないので to give は誤り。from giving は prevent / stop A from ~ing の形で「～させない」となり、意味が逆。for giving は deceive と組まない。

区別 **deceive A into ~ing ⇔ talk A into ~ing**　talk A into ~ing は「A を説得して～させる」で、だます意味はない。deceive A into ~ing はうそで信じこませて行動させる。反対の「説得して～するのをやめさせる」は talk A out of ~ing。

0226 ☐☐☐

The view from the top of the mountain was amazing. These photos don't _____ justice to it at all.

① do　② make
③ give　④ bring

① do justice to ~　～を正当に評価する；～の真価を表す

訳 山頂からの眺めは素晴らしかった。これらの写真では、その良さが全く伝わらない。

解説 「～の良さを十分に表す」は do justice to ~ と動詞 do を使う決まった形で、否定で「本当の良さを表していない」となる。make / give は justice と組んでこの意味にならない。bring は bring A to justice（A を裁判にかける）の形で犯人に使う。

区別 **do justice to ~ ⇔ bring A to justice**　bring A to justice は「A（犯人）を裁判にかける・裁きを受けさせる」。do justice to ~ は「～を正当に評価する・良さを十分に表す」。どちらも justice だが、bring は犯罪者、do は良いものの評価に使う。

0227 ☐☐☐

I'm happy to lend you my notes, but I draw the line _____ doing your homework for you.

① between　② on
③ to　④ at

④ draw the line (at ~)
（～で）一線を画す；（～は）断る

訳 ノートを貸すのはいいけど、君の代わりに宿題をするのはお断りだ。

解説 「～のところで一線を引く＝～は断る」は draw the line at ~ で、at の後ろに動名詞 doing を置く。between は draw a line between A and B（A と B を区別する）の形で、A and B の二つが必要。on / to はこの熟語と組まない。

区別 **draw the line (at ~) ⇔ draw a line between A and B**　draw a line between A and B は「A と B の間に線を引く＝区別する」。draw the line at ~ は「～のところで線を引く＝それ以上は許さない」。見分け方：between A and B なら区別、at ~ なら拒否の限度。

0228 ☐☐☐

Ken played a mean trick on me last week, but I'll _____ him for it someday.

① take revenge　② get back
③ get even with　④ break even with

③ get even with ~　～に仕返しをする

訳 先週ケンにひどいいたずらをされたけど、いつかその仕返しをしてやる。

解説 「A に B のことで仕返しする」は get even with A for B。get back は get back at ~ と at が必要。take revenge も take revenge on ~ と on が必要で、どちらも前置詞が欠けている。break even は「収支がとんとんになる」で人への仕返しにならない。

区別 **get even with ~ ⇔ get back at ~ / take revenge on ~**　get back at ~ も「～に仕返しする」で意味は同じだが前置詞は at。take revenge on ~ は on。get even with は with。意味が同じなので、入試では前置詞の取り違えが問われる。

0229 ☐☐☐

Complaining about the rules will _____ you nowhere. Talk to the teacher instead.

① get　② make
③ give　④ put

① get nowhere　うまくいかない；成果がない

訳 規則に文句を言っても何にもならないよ。代わりに先生に相談しなさい。

解説 「A は B にとって何の役にも立たない」は A get(s) B nowhere で、動詞は get。make は make ＋人＋形容詞（make you happy）の形で、nowhere を続けて「役に立たない」とは言わない。give / put も nowhere と組んでこの意味にならない。

区別 **get nowhere ⇔ go nowhere**　go nowhere は「（物事が）進展しない」で、主語に計画・議論が来やすい（The talks went nowhere.）。get nowhere は主語に人が来るのが普通。「A は B の役に立たない」という get B nowhere の形は get だけ。

0230 ☐☐☐

That was a wonderful speech, everyone. Let's _____ Ms. Tanaka a big hand!

① take　② lend
③ make　④ give

④ give A a big hand　A に盛大な拍手を送る

訳 皆さん、素晴らしいスピーチでした。田中さんに盛大な拍手をお送りしましょう！

解説 「A に盛大な拍手を送る」は give A a big hand で、動詞は give。lend は lend A a hand（A に手を貸す）で手伝いの意味になり、拍手には使わない。make / take は A a big hand の形を取らない。スピーチの後の場面なので拍手と分かる。

区別 **give A a big hand ⇔ give A a hand**　give A a hand (with ~) は「A を手伝う」（Can you give me a hand with this box?）。give A a big hand は「A に盛大な拍手を送る」。見分け方：with ＋作業が続けば手伝い、発表・演奏の後で big が付けば拍手。

0231 ☐☐☐

The police believe that the gang leader _____ the robbery, though he wasn't there himself.

① had his hands full of
② handed in
③ had a hand in
④ gave a big hand to

③ have a hand in ~　～に関わる；～に一役買う

訳 警察は、そのギャングのボスは現場にはいなかったものの、強盗に関わっていたとみている。

解説 自分は現場にいなくても強盗に「関わっていた」ので had a hand in。handed in は「～を提出した」。had his hands full は「手がふさがって忙しい」で with を伴い、of は使わない。gave a big hand to は「～に盛大な拍手を送った」で、強盗との関わりを表さない。

区別 **have a hand in ~ ⇔ give A a hand**　give A a hand は「A（人）を手伝う」。have a hand in ~ は「～（物事）に関与している」。前者は人を手伝う動作、後者は出来事への関わり。

0232 □□□

He broke my umbrella, and then he had the ＿＿＿＿ to ask me if he could borrow another one!

① nerves　② nerve
③ sense　④ mind

② have the nerve to do

ずうずうしくも～する；～する勇気がある

訳 彼は私の傘を壊したうえに、ずうずうしくも別の傘を借りてもいいかと聞いてきた！

解説 傘を壊したのにまた借りようとする厚かましさにあきれているので had the nerve to（ずうずうしくも～した）。複数の nerves は get on A's nerves（いらいらさせる）などで使い、have the nerves to とは言わない。had the sense to は「～する分別があった」と褒める言い方で、文脈と逆。have the mind to do という決まった形はない。

区別 **have the nerve to do ⇔ have the courage to do** have the courage to do は「～する勇気がある」で良い意味だけ。have the nerve to do は良い意味もあるが、「ずうずうしくも～する」と非難する場面で多い。見分け方：あきれ・怒りの文脈なら nerve。

0233 □□□

The bear may look friendly, but you should keep your ＿＿＿＿ from it.

① distant　② distance
③ distances　④ away

② keep one's distance (from ~)　（～と）距離を置く

訳 そのクマは人なつっこく見えるかもしれないが、近づかないようにすべきだ。

解説 「～と距離を置く」は keep one's distance from ~ で、your の後ろは名詞の単数 distance。distant は形容詞で your の後ろに名詞なしでは置けない。複数の distances にはしないのが決まった形。away は副詞で、keep away from it なら正しいが your の後ろには置けない。

区別 **keep one's distance (from ~) ⇔ keep A at a distance** keep A at a distance は「A（人）を遠ざけておく」で、目的語 A が距離を置かれる側。keep one's distance from A は自分が A から離れている。冠詞 a と前置詞 at も含めて形が問われる。

0234 □□□

Our school doesn't usually allow late submissions, but the teacher ＿＿＿＿ for Yuki because she had been sick.

① took an exception　② took exception
③ made exception　④ made an exception

④ make an exception　例外を認める

訳 うちの学校は普通、提出の遅れを認めないが、先生はユキが病気だったので例外を認めた。

解説 「（A を）例外扱いする」は make an exception (for A)。exception は数えられる名詞なので an が必要で、made exception は誤り。take exception (to ~) は「～に異議を唱える・腹を立てる」で意味が違い、took an exception という形も使わない。

区別 **make an exception ⇔ take exception to ~** take exception to ~ は「～に腹を立てる・異議を唱える」で、例外とは関係のない意味。make an exception は「例外を認める」。動詞 make / take で意味が全く変わる。

0235 ☐☐☐

The children made ＿＿＿＿ that the big cardboard box was a spaceship.

① believe　② believed
③ to believe　④ believing

① make believe (that) S V ～のふりをする

訳 子どもたちは、大きな段ボール箱を宇宙船に見立てて遊んだ。

解説 「～のふりをする」は make believe (that) S V で、make の後ろの believe は使役の後ろの原形のまま。時制は made で表すので believed にはしない。to believe / believing もこの決まった形にならない。

区別 **make believe (that) S V ⇔ pretend (that)** pretend (that) S V も「～のふりをする」でほぼ同じ意味。pretend は pretend to do（～するふりをする）と to 不定詞も取れるが、make believe は普通 to do を続けない。

0236 ☐☐☐

The new school system was modeled ＿＿＿＿ the one in Finland.

① to　② on
③ by　④ with

② model A on B B を手本にして A を作る

訳 その新しい学校制度は、フィンランドの制度を手本にして作られた。

解説 「B を手本にして作られた」は be modeled on B（after も可）。to / with は model と組んで手本を示さない。by を使うと「フィンランドの制度によって作られた」と作った主体になり、制度が何かを作ることになって意味が通らない。

区別 **model A on B ⇔ base A on B** base A on B は「A を B に基づかせる」で、B は事実・データ・原作などの根拠。model A on B は B を「お手本・ひな形」にして似せて作る。どちらも on なので、前置詞はまとめて覚えられる。

0237 ☐☐☐

At the ceremony, the fans paid tribute ＿＿＿＿ the retiring player with a long standing ovation.

① for　② to
③ at　④ on

② pay tribute to ～ ～に敬意を表する；～をたたえる

訳 式典では、ファンが長いスタンディングオベーションで引退する選手に敬意を表した。

解説 「～に敬意を表する」は pay tribute to ～。貢ぎ物を「～に払う」と考えて、相手を to で示す（pay attention to ～ と同じ型）。for は敬意の理由（for his hard work）を示すときに使い、たたえる相手の前には置かない。at / on はこの熟語と組まない。

区別 **pay tribute to ～ ⇔ pay attention to ～** pay attention to ～（～に注意を払う）も pay ＋名詞＋to の同じ型。pay tribute to は敬意、pay a visit to は訪問。pay の後ろの名詞で意味が決まり、前置詞はどれも to。

0238 □□□

In most fairy tales, good eventually prevails _____ evil.

① in　② on
③ over　④ at

③ prevail over ~　～に打ち勝つ；～より優勢である

訳 たいていのおとぎ話では、最後には善が悪に打ち勝つ。

解説 「～に打ち勝つ」は自動詞 prevail に over（～の上に）を付けた prevail over ~。on は prevail on A to do（A を説得して～させる）の形で、後ろに to do が必要。in は prevail in ~（～で広まっている）と場所や分野を示し、負ける相手は示さない。at も相手を示さない。

区別 **prevail over ~ ⇔ prevail on A to do**　prevail on (upon) A to do は「A を説き伏せて～させる」（= persuade A to do）。prevail over ~ は「～に勝つ」。前置詞 on / over で意味が変わり、on のときは後ろに to do が続く。

0239 □□□

Some criminals _____ elderly people who live alone, calling them and pretending to be their grandchildren.

① prey　② pray for
③ prey on　④ pray on

③ prey on ~　～を捕食する；～を食い物にする

訳 一人暮らしの高齢者を食い物にする犯罪者もいて、電話をかけて孫のふりをする。

解説 犯罪者が孫になりすまして高齢者をだますので「～を食い物にする」の prey on。prey は自動詞なので on が必要で、prey だけでは目的語を取れない。pray for は「～のために祈る」で犯罪者の行為と合わず、pray on という形もない。

区別 **prey on ~ ⇔ pray for ~**　pray for ~ は「～を祈る」（pray for rain / pray for her recovery）。prey on ~ は「～を捕食する・食い物にする」。発音は同じで、綴りと前置詞が違う。

0240 □□□

The movie was so funny that I couldn't _____ myself from laughing out loud.

① help　② refrain
③ restrain　④ avoid

③ restrain A from ~ing
A が～するのを抑える；A を制止する

訳 その映画はとてもおかしくて、声を出して笑うのをこらえられなかった。

解説 目的語 myself を取り from ~ing を続けられるのは他動詞 restrain（restrain oneself from ~ing＝～するのをこらえる）。refrain は自動詞で refrain from ~ing と目的語を取らない。help は can't help ~ing（～せずにはいられない）の形で from を使わない。avoid は avoid ~ing と動名詞を直接取り、myself from の形にならない。

区別 **restrain A from ~ing ⇔ refrain from ~ing**　refrain from ~ing は自動詞で「（自分が）～を控える」（Please refrain from smoking.）。restrain は他動詞で目的語 A（oneself）が必要。見分け方：直後に from が来たら refrain、目的語の後に from なら restrain。

0241 □□□

I spent the whole morning ＿＿＿＿ errands for my mother, like going to the post office and the bank.

① giving ② running
③ making ④ taking

② run errands 使い走りをする；用事を済ませる

訳 午前中はずっと、郵便局や銀行に行くなど、母の用事を済ませて過ごした。

解説 「用事を済ませる・使い走りをする」は run errands で、spend ＋時間＋~ing の形なので running。giving / making / taking は errands と組んでこの意味にならない（make an errand などとは言わない）。

区別 **run errands ⇔ do the chores** do (household) chores は「（掃除・洗濯などの）家事・雑用をする」で、家の中の仕事。run errands は外へ出かけて買い物や手続きなどの用事を済ませる。

0242 □□□

Ken's grandfather and father were both doctors. A talent for medicine seems to ＿＿＿＿ in his family.

① take ② run
③ come ④ stand

② run in the family
（性質・病気などが）家系に流れている

訳 ケンの祖父も父も医者だった。医学の才能は彼の家系に流れているようだ。

解説 「（性質・才能が）家系に流れている」は run in the family で、動詞は run。take は take after ~（~に似る）の形で人が主語になる。come / stand は in one's family と組んで遺伝を表す決まった形にならない。

区別 **run in the family ⇔ take after ~** take after ~ は「（親など）に似ている」で、主語は人（She takes after her mother.）。run in the family は主語が才能・病気などの特徴そのもの。見分け方：主語が人なら take after、性質なら run in the family。

0243 □□□

Mika has set her heart ＿＿＿＿ becoming a pilot since she was a little girl.

① to ② on
③ in ④ for

② set one's heart on ~ ~を切望する；~に心を決める

訳 ミカは小さいころからずっと、パイロットになることを強く望んでいる。

解説 「~を強く望む」は set one's heart on ~ で、on の後ろに動名詞 becoming を置く。to は不定詞の to と混同させるひっかけで、set one's heart to ~ とは言わない。in / for もこの熟語と組まない。

区別 **set one's heart on ~ ⇔ have one's heart set on ~** have one's heart set on ~ は「~を心に決めている」と状態を表し、意味はほぼ同じ。set が過去分詞になり、heart の後ろに置かれる点に注意（have one's heart set on）。

0244 □□□

When I came home, the whole house smelled _____ fresh bread.

① of　② good
③ sweetly　④ with

① smell of ~　～のにおいがする

訳 家に帰ると、家中に焼きたてのパンのにおいがしていた。

解説 後ろに名詞 fresh bread があるので「～のにおいがする」の smell of ~（like も可）。good は形容詞で smell good（いいにおいがする）とそれだけで使い、名詞を続けられない。sweetly は副詞で、smell の後ろには形容詞を置くので誤り。with は smell と組んでにおいの元を示さない。

区別 **smell of ~ ⇔ smell ＋形容詞** smell の後ろに形容詞を置くなら前置詞なし（smell sweet）。名詞を置くなら of / like が必要（smell of roses / smell like roses）。副詞 sweetly を置いたり、smell roses（バラのにおいをかぐ：他動詞）と混同したりする誤りが狙われる。

0245 □□□

The singer _____ the magazine for printing false stories about her private life.

① accused　② sued
③ charged　④ complained

② sue A for B

B のことで A を訴える；A に B（賠償など）を求めて訴訟を起こす

訳 その歌手は、私生活についてうその記事を載せたことでその雑誌を訴えた。

解説 sue A for B で「B のことで A を訴える」。accuse は accuse A of B（of が必要）、charge は charge A with B（with が必要）なので for と組まない。complain は自動詞で complain to A about B の形になり、the magazine を直接目的語にとれない。

区別 **sue A for B ⇔ accuse A of B** sue A for B は「（裁判所に）B のことで A を訴える・賠償を求める」と法的な訴訟。accuse A of B は「B のことで A を非難する・告発する」で、裁判に限らず責める行為全般。前置詞も for と of で違う。見分け方：損害賠償・訴訟なら sue A for、罪や過ちを責めるなら accuse A of。

0246 □□□

I was only joking, so I hope you didn't _____ offense at what I said.

① have　② give
③ make　④ take

④ take offense (at ~)　（～に）腹を立てる

訳 冗談で言っただけなので、私の言ったことに腹を立てていないといいのですが。

解説 「私の発言に腹を立てていないといいのだが」という文で、気分を害する側の you が主語なので take offense at ~。give offense は「（人を）怒らせる」で to を取り、主語は怒らせる側になる。make・have は offense と組んでこの意味にならない。

区別 **take offense (at ~) ⇔ give offense (to ~)** take offense は「（自分が）気分を害する」、give offense to A は「（相手を）怒らせる」で、主語の立場が逆。見分け方：主語が怒る側なら take、怒らせる側なら give（＝ offend A）。

0247 ☐☐☐

The new governor will ———— office next month, after winning the election by a wide margin.

① keep　② make
③ take　④ give

③ take office 就任する

訳 新しい知事は、選挙に大差で勝利し、来月就任する。

解説 「選挙に大差で勝って来月就任する」なので take office。office は公職の意味で無冠詞。make office・keep office・give office という言い方はない。在職中なら in office、退任は leave office と、いずれも冠詞なしで使う点も一緒に押さえる。

区別 **take office ⇔ take over (~)** take office は公職に「就任する」で目的語を取らない。take over (~) は「（仕事・会社など）を引き継ぐ・乗っ取る」で、民間の会社や前任者の仕事にも使う。見分け方：大統領・市長などの公職につくなら take office、何かを引き継ぐなら take over。

0248 ☐☐☐

For weeks, the committee ———— with the question of whether to close the old library.

① solved　② discussed
③ considered　④ wrestled

④ wrestle with ~ ～と格闘する；～に取り組む

訳 何週間もの間、委員会は古い図書館を閉鎖するかどうかという問題と格闘した。

解説 wrestle with ~ で「～と格闘する（悩み抜く）」。discuss・consider・solve はいずれも他動詞で目的語を直接とるため、with を置けない（discussed the question が正しい）。何週間も結論が出ずに悩んでいる文脈にも wrestled が合う。

区別 **wrestle with ~ ⇔ cope with ~** wrestle with ~ は「解決できずに悩みながら格闘している最中」を表す。cope with ~ は「（困難に）うまく対処する」で、何とか切り抜けていることに重点がある。見分け方：苦闘の過程なら wrestle with、対処できているかどうかなら cope with。

0249 ☐☐☐

My mother finally ———— me of the habit of staying up late playing video games.

① prevented　② stopped
③ broke　④ kept

③ break A of B A（人）に B（癖）をやめさせる

訳 母はついに、私にテレビゲームで夜更かしをする癖をやめさせた。

解説 「A に B（癖）をやめさせる」は break A of B で of と組む。stop・prevent・keep は stop [prevent / keep] A from ~ing の形で from を取るので、of の前には置けない。cure A of B / rid A of B と同じ「分離の of」の型として覚える。

区別 **break A of B ⇔ break a habit** break a habit は「（自分が）癖をやめる」で、癖を持つ人が主語。break A of B は「（人に）癖をやめさせる」で、やめさせる相手が目的語 A、癖は of の後ろ。見分け方：やめさせる相手がいるかどうか。

0250 □□□

_____, I will never give up my dream of becoming a doctor.

① What may come　② Come what may
③ May come what　④ Come may what

② come what may　何が起ころうとも

訳 何が起ころうとも、私は医者になるという夢を決して諦めない。

解説 「何が起ころうとも」は Come what may と、動詞 come を先頭に出す決まった語順。What may come は「起こるかもしれないこと」という名詞のかたまりで、譲歩の副詞句にならない。May come what・Come may what は語順が崩れていて成り立たない。＝ Whatever happens。

区別 **come what may ⇔ whatever happens**　意味は同じだが、come what may は文語的で語順の決まった慣用句、whatever happens は普通の言い方で、whatever happened（過去）のように時制も変えられる。見分け方：かたい決意表明なら come what may。

0251 □□□

A week at the beach did _____ for my health; I came back feeling like a new person.

① a wonder　② wonders
③ wonder　④ wondering

② do wonders (for ~)　（～に）驚くほどの効果がある

訳 海辺での 1 週間は私の健康に驚くほど効き、生まれ変わったような気分で帰ってきた。

解説 do wonders for ~ で「～に驚くほど効く」。wonders は必ず複数形で使い、a wonder や無冠詞の単数 wonder では成り立たない。wondering（不思議に思うこと）は意味が合わない。work wonders でも同じ意味になる。

区別 **do wonders (for ~) ⇔ no wonder**　do wonders は「驚くほど効く」、no wonder (S V) は「～なのも不思議ではない・道理で」。同じ wonder でも働きが違う。見分け方：何かの効果を言うなら do wonders、理由に納得するなら no wonder。

0252 □□□

Before moving into their new house, they _____ it against fire and earthquakes.

① reassured　② ensured
③ assured　④ insured

④ insure A against B　A に B の保険をかける

訳 新居に引っ越す前に、彼らはその家に火災と地震の保険をかけた。

解説 家に火事・地震の保険をかけるのは insure A against B。ensure は「確実にする」で ensure that S V の形をとり、against とは組まない。assure・reassure は「（人に）保証する・安心させる」で、目的語は人になる。

区別 **insure A against B ⇔ ensure**　insure は「保険をかける」、ensure は「～を確実にする（ensure that S V）」。見分け方：保険・損害の話なら insure、結果を確実にするなら ensure。

0253 ☐☐☐

My grandmother keeps ———— hours: she goes to bed at nine and gets up at five every morning.

① long ② late
③ early ④ short

③ keep early hours 早寝早起きをする

訳 祖母は早寝早起きで、毎晩 9 時に寝て、毎朝 5 時に起きる。

解説 9 時に寝て 5 時に起きるのは早寝早起きなので keep early hours。late hours は「夜更かし」で逆。long hours は work long hours（長時間働く）、short hours は「短時間（勤務）」の意味になり、keep と組んで生活リズムを表さない。

区別 **keep early hours ⇔ keep late hours** 反対の意味。early なら「早寝早起き」、late なら「夜更かし・遅寝」。keep good hours は「早寝早起き・規則正しい生活」で early と近い。見分け方：形容詞だけが入れ替わるので、文脈の健康・寝不足などから判断する。

0254 ☐☐☐

The doctor told him the injury was serious, but he made ———— of it and kept playing in the game.

① a point ② much
③ little ④ sense

③ make little of ~
～を軽視する；～がほとんど分からない

訳 医者はけがが重いと言ったが、彼はそれを軽く考えて試合に出続けた。

解説 医者に重傷と言われたのに試合を続けたので「軽く見た」の made little of。much（重く見た）は試合を続けた行動と矛盾する。make a point of ~ は「必ず～するようにする」、make sense of ~ は「～を理解する」で、but の後ろの対比が成り立たない。

区別 **make little of ~ ⇔ make much of ~** 反対の意味。make little of ~ は「軽視する」、make much of ~ は「重視する・ちやほやする」。見分け方：little / much の量で「重く見るか軽く見るか」が決まる。

0255 ☐☐☐

Visitors always ———— at the size of the ancient temple, which was built without modern machines.

① marvel ② admire
③ praise ④ surprise

① marvel at ~ ～に驚嘆する；～に感嘆する

訳 訪れる人々は、近代的な機械を使わずに建てられたその古代寺院の大きさにいつも驚嘆する。

解説 marvel at ~ で「～に驚嘆する」。admire・praise は他動詞で目的語を直接とる（admire the size）ので at を置けない。surprise は「（人を）驚かせる」の他動詞で、驚く側が主語なら be surprised at となる。

区別 **marvel at ~ ⇔ wonder at ~** wonder は「不思議に思う（wonder if / wonder why）」が中心で、at を伴うときだけ「驚く」。marvel at は「すばらしさに感嘆する」とほめる気持ちが強い。見分け方：すばらしさへの感動なら marvel at、疑問・不思議なら wonder。

0256 ☐☐☐

My mother reproached me ＿＿＿＿ forgetting to lock the front door.

① for　② of
③ on　④ at

① reproach A for B

B のことで A を責める；B のことで A をとがめる

訳 母は、私が玄関の鍵をかけ忘れたことをとがめた。

解説 reproach A for B で「B のことで A を責める」。of は accuse A of B（～の罪で責める）とまぎらわしいひっかけで、reproach とは組まない。on・at も理由を表せない。blame / criticize A for B と同じ「理由の for」。

区別 **reproach A for B ⇔ accuse A of B** reproach A for B は「（過ちを）責める・残念がってとがめる」で、相手の非を前提に失望を表す。accuse A of B は「（罪・悪事の疑いで）A を非難・告発する」で、事実か分からない疑いにも使う。前置詞も for と of で違う。

0257 ☐☐☐

After a week of dieting, I finally succumbed ＿＿＿＿ temptation and ate a whole box of chocolates.

① to　② for
③ with　④ in

① succumb to ～　～に屈する；（病気など）に倒れる

訳 1 週間ダイエットした後、私はついに誘惑に負けて、チョコレートを 1 箱丸ごと食べてしまった。

解説 succumb to ～ で「～に屈する」。屈する相手は to で示し、give in to / yield to と同じ型。for・with・in は succumb と組まない。1 週間ダイエットしたのに誘惑に負けた、という文脈に合う。

区別 **succumb to ～ ⇔ resist ～** 反対の意味。succumb to ～ は「屈する」、resist ～ は「抵抗する・我慢する」で他動詞（resist to としない）。見分け方：誘惑に負けるなら succumb to、耐えるなら resist。

0258 ☐☐☐

My daughter ＿＿＿＿ a fancy to the little white puppy as soon as she saw it at the pet shop.

① took　② made
③ did　④ had

① take a fancy to ～　～を気に入る；～が好きになる

訳 娘はペットショップでその小さな白い子犬を見るなり、すっかり気に入った。

解説 take a fancy to ～ で「～を気に入る」。動詞は take で決まっており、made・did・had では成り立たない（have a fancy for ～ という別の形はあるが to とは組まない）。一目見て気に入った、という場面に合う。

区別 **take a fancy to ～ ⇔ take a dislike to ～** 反対の意味。take a fancy to ～ は「気に入る」、take a dislike to ～ は「嫌いになる」。どちらも to を取り、「急に・理由なく」という含みは共通。

0259 ☐☐☐

After he retired, my father decided to try his hand ＿＿＿＿ painting, and now he paints every day.

① at　② in
③ on　④ for

① try one's hand at ～　～を試しにやってみる

訳 父は退職後、試しに絵を描いてみることにし、今では毎日描いている。

解説 try one's hand at ～ で「～を試しにやってみる」。at は be good at ～ と同じく活動の対象を示す。in・on・for は try one's hand と組まない。退職後に初めて絵に挑戦した、という文脈に合う。

区別 **try one's hand at ～ ⇔ have a hand in ～** try one's hand at ～ は「（自分で）試しにやってみる」、have a hand in ～ は「～に関わっている・一枚かんでいる」。見分け方：初挑戦なら try one's hand at、関与なら have a hand in。

0260 □□□

Students are encouraged to avail _____ of the free tutoring service in the library.

① themselves ② them
③ their ④ theirs

① avail oneself of ~ ～を利用する

訳 学生は、図書館の無料の個別指導サービスを利用することが勧められている。

解説 avail oneself of ~ は再帰代名詞が必要な形で、主語 students に合わせて themselves。them では主語と同じ人を指せず、their・theirs は所有の形なので目的語の位置に置けない。＝ make use of ~。

区別 **avail oneself of ~ ⇔ take advantage of ~** 意味は近いが、avail oneself of ~ は「（用意された機会・設備を）利用する」とかたく中立的。take advantage of ~ は「利用する」のほか、「（人の好意などに）つけこむ」悪い意味もある。見分け方：規約などのかたい文で中立的なら avail oneself of。

0261 □□□

It's no use _____ over the mistake you made in the game. Just practice harder for the next one.

① brooding ② getting
③ taking ④ putting

① brood over ~ ～をくよくよ考える

訳 試合でしたミスをくよくよ考えても仕方ないよ。次の試合に向けてもっと練習すればいい。

解説 It's no use ~ing（～しても無駄だ）と「次に向けて練習しろ」から、「くよくよ考える」の brooding over。getting over は「立ち直る」で「無駄だ」と合わない。taking over（引き継ぐ）・putting over（伝える）は意味が通らない。

区別 **brood over ~ ⇔ think over ~** think over ~ は「～をよく検討する」と前向きに考える。brood over ~ は「（嫌なことを）くよくよ考え続ける」と後ろ向き。見分け方：決断のための検討なら think over、悩み続けるなら brood over。

0262 □□□

After searching for three days without any sign of the missing hikers, the rescuers began to despair _____ finding them alive.

① of ② from
③ at ④ with

① despair of ~ ～を諦める；～に絶望する

訳 3 日間捜しても行方不明の登山者たちの手がかりがなく、救助隊は彼らを生きて見つけることを諦めかけた。

解説 despair of ~ で「～を諦める」。of の後ろに動名詞 finding が続き、give up hope of ~ と同じ形。from・at・with は despair と組まない。3 日探しても手がかりがなく、生存の望みを失いかけた文脈に合う。

区別 **despair of ~ ⇔ in despair** despair of ~ は動詞で「～を諦める」と対象を of で示す。in despair は名詞を使った「絶望して」という状態の副詞句で、対象は示さない。見分け方：何を諦めたかを言うなら despair of。

0263 □□□

The pilot was forced to deviate _____ the planned route because of a storm.

① from ② off
③ out ④ away

① deviate from ~ ～からそれる；～から逸脱する

訳 嵐のため、パイロットは予定の航路から外れざるを得なかった。

解説 deviate from ~ で「～からそれる」。外れる起点は from で示し、depart from / stray from と同じ。off・out・away は deviate と単独で組んでこの意味にならない。嵐で予定の航路から外れた、という文脈に合う。

区別 **deviate from ~ ⇔ diverge from ~** deviate from は「（決まった基準・計画）から外れる」で、外れることが問題視されやすい。diverge from は「（道・意見が）～から分かれる・異なる」で、枝分かれのイメージ。見分け方：規則・予定から外れるなら deviate、意見や道が分かれるなら diverge。

0264 □□□

Whether the game will be held tomorrow hinges _____ the weather.

① on ② in
③ at ④ to

① hinge on ~ ～次第である；～にかかっている

訳 明日試合が行われるかどうかは天気次第だ。

解説 hinge on ~ で「～次第である」。depend on / turn on と同じく、決め手は on で示す。in・at・to は hinge と組んでこの意味にならない。明日試合が行われるかどうかは天気次第、という文に合う。

区別 **hinge on ~ ⇔ depend on ~** 意味はほぼ同じだが、depend on ~ は「頼る・当てにする」の意味もある一般語（depend on my parents）。hinge on ~ は「（結果が）～一つにかかっている」と決め手が一点であることを強調し、人に頼る意味はない。

0265 □□□

When the waiter brought him the wrong dish, he started shouting and made a _____ in front of all the other customers.

① scene ② view
③ sight ④ show

① make a scene （人前で）騒ぎを起こす

訳 ウエーターが違う料理を持ってきたとき、彼は大声を出し始め、ほかの客全員の前で騒ぎを起こした。

解説 他の客の前で怒鳴って騒ぎを起こしたので make a scene。scene（場面）で決まった形。view・sight・show は make a ~ の形で「騒ぎを起こす」の意味にならない（make a show of ~ は「～するふりをする」）。

区別 **make a scene ⇔ make a fuss** make a scene は「人前で（怒鳴る・泣くなど）見苦しい騒ぎを起こす」こと。make a fuss (about ~) は「（ささいなことで）大騒ぎする・文句を言う」で、人前とは限らない。見分け方：公共の場で目立つ騒ぎなら scene。

0266 □□□

Despite working all weekend, the team made little _____ on solving the problem.

① headway ② way
③ ahead ④ forward

① make headway 前進する；はかどる

訳 週末ずっと働いたにもかかわらず、チームは問題の解決をほとんど進められなかった。

解説 週末ずっと働いたのに問題解決が「ほとんど進まなかった」ので make little headway。headway は不可算名詞で little で修飾できる。way は make way for ~（道を譲る）の形で使い、ahead・forward は副詞なので make little の目的語にならない。

区別 **make headway ⇔ make way (for ~)** make headway は「前進する・はかどる」、make way for ~ は「~に道を譲る・~のために場所を空ける」。見分け方：自分が進むなら headway、他に場所を譲るなら way。

0267 □□□

You looked at my cards! That's cheating. You're not playing _____.

① fair ② dirty
③ safe ④ cool

① play fair 正々堂々とやる

訳 私のカードを見たでしょう！ それはいかさまだよ。正々堂々とやっていないじゃない。

解説 相手のカードを盗み見た＝ずるをしたので「正々堂々とやっていない」の not playing fair。dirty だと「汚い手を使っていない」となり、ずるをしたことと矛盾する。safe（安全策をとる）・cool（平静を装う：play it cool）は不正の話に合わない。

区別 **play fair ⇔ play dirty** 反対の意味。play fair は「正々堂々とやる」、play dirty は「汚い手を使う・卑怯なまねをする」。見分け方：ルールを守るなら fair、ずるをするなら dirty。

0268 □□□

The ship set _____ for Australia early in the morning.

① sail ② sails
③ a sail ④ the sail

① set sail 出航する

訳 その船は朝早く、オーストラリアに向けて出航した。

解説 set sail で「出航する」。sail は無冠詞・単数で使う決まった形なので、sails・a sail は不可。the sail だと具体的な 1 枚の帆を調整する意味になり、出航にならない。行き先は for で示す。

区別 **set sail ⇔ set off** set off は「（旅などに）出発する」で、乗り物を問わない。set sail は「船で出航する」に限られる（比喩を除く）。行き先はどちらも for。

0269 □□□

Before boarding the plane, he took leave _____ his host family with tears in his eyes.

① on ② to
③ of ④ at

③ take leave of ~ ~に別れを告げる

訳 飛行機に乗る前に、彼は目に涙を浮かべてホストファミリーに別れを告げた。

解説 「~に別れを告げる」は take leave of ~ で、前置詞は of に決まっている。to は say goodbye to の to と混ぜたひっかけ。on は take pity on（~を哀れむ）の型、at は場所を表すだけで、どちらも take leave とは組まない。

区別 **take leave of ~ ⇔ take ~ days' leave / be on leave** 名詞 leave には「休暇」の意味もあり、take three days' leave（3 日の休暇を取る）、be on leave（休暇中だ）と言う。見分け方：of＋人・場所が続けば別れ、日数や on が付けば休暇。

0270 □□□

Even after ten years, he still _____ a grudge against the friend who betrayed him.

① takes ② bears
③ makes ④ puts

② bear a grudge (against ~)　（～に）恨みを抱く

訳 10 年たっても、彼はまだ自分を裏切った友人に恨みを抱いている。

解説 「恨みを抱く」は bear a grudge で、bear は「（感情を）心に持ち続ける」（hold a grudge も同じ意味）。take は「取る」で grudge とは組まない。make や put も grudge と結びつかず、恨みを「抱いている」状態を表せない。

区別 **bear a grudge (against ~) ⇔ hold a grudge**　意味は同じ「恨みを抱く」で、hold a grudge の方が口語でよく使う。どちらも against＋人、恨みの理由は over / about ~ で表す。make や take には変えられない。

0271 □□□

An honorary degree was conferred _____ the famous scientist at the ceremony.

① on ② with
③ of ④ at

① confer A on B　B に A（称号・学位など）を授ける

訳 式典で、その有名な科学者に名誉学位が授与された。

解説 「B に A を授ける」は confer A on B で、受け身でも on B が残る。with は confer with＋人（～と相談する）と混ぜたひっかけ。of は「～の」、at は場所・時点を表し、授ける相手を示せない。

区別 **confer A on B ⇔ confer with ~**　confer with＋人 は自動詞で「～と相談する・協議する」。confer A on B は他動詞で「授ける」。見分け方：直後に称号などの目的語があれば「授ける」、with＋人なら「相談」。

0272 □□□

Although she was the youngest player in the tournament, she held her _____ against the professionals.

① own ② self
③ hand ④ back

① hold one's own　負けずに頑張る；持ちこたえる

訳 彼女は大会で最年少の選手だったが、プロを相手に一歩も引けを取らなかった。

解説 「（強い相手に）負けずに頑張る」は hold one's own で、主語 she に合わせて her own。her self は 1 語の herself にすべき形で、hold herself では「姿勢を保つ」の意味になる。hold her hand は「手を握る」、hold her back は「彼女を引き止める」で、自分が頑張る意味にならない。

区別 **hold one's own ⇔ on one's own**　on one's own は「一人で・独力で」。own が同じでも、hold one's own は「負けずに頑張る」。見分け方：hold が付けば踏ん張る、on なら一人で。

0273 □□□

He bought her flowers to make _____ for forgetting her birthday.

① amend ② an amend
③ amendment ④ amends

④ make amends (for ~)　（～の）償いをする

訳 彼は彼女の誕生日を忘れた償いに、花を買った。

解説 「償いをする」は make amends で、amends は常に複数形。amend は動詞（改正する）なので make の目的語にならない。an amend という単数の名詞はない。amendment は「（法律の）改正」で、make an amendment でも償いの意味にはならない。

区別 **make amends (for ~) ⇔ amend ~ / make an amendment**　動詞 amend は「（法律・文書）を改正する・修正する」、名詞 amendment は「改正」。make amends（償う）とは別。見分け方：法律・規則の話なら amend、過ちの償いなら make amends。

0274 ☐☐☐

The large number of visitors testifies _____ the museum's popularity.

① for ② on
③ at ④ to

④ testify to ~ ～を証明する；～の証拠となる

訳 来館者の多さは、その博物館の人気の高さを証明している。

解説 主語が物事で「～を証明する・～の証拠となる」は testify to ~。for は人が主語の testify for ~（～に有利な証言をする）になり、来館者数という物事の主語には合わない。on は「～について」、at は場所・時点で、testify と組んで証明の意味にならない。

区別 **testify to ~ ⇔ testify against ~** testify against＋人 は「～に不利な証言をする」で、主語は証人。testify to＋物事 は「～を証明する・物語る」で、主語は物事でもよい。見分け方：to の後ろが性質・事実なら「証明」。

0275 ☐☐☐

The queen bestowed a great honor _____ the scientist for his discoveries.

① with ② for
③ by ④ on

④ bestow A on B B に A を授ける；B に A を与える

訳 女王はその発見の功績をたたえて、科学者に大きな名誉を授けた。

解説 「B に A を授ける」は bestow A on B で、相手の前に on を置く。with は present B with A（人が先）の型と混ぜたひっかけ。for はこの文では後ろの for his discoveries のように理由を表す。by は受け身で行為者を示す語で、能動文の授ける相手には使えない。

区別 **bestow A on B ⇔ present B with A** present B with A は「B（人）に A を贈る」で、人が先・with が後ろ。bestow A on B は物が先・on＋人が後ろ。語順と前置詞をセットで区別する。

0276 ☐☐☐

His confidence sometimes borders _____ arrogance.

① with ② to
③ in ④ on

④ border on ~ ～に接する；～に近い

訳 彼の自信は、時に思い上がりに近いものになる。

解説 「（性質・程度が）～に近い」は border on ~ で、on で「境目に接して」を表す。with は国同士が接するときに使われることはあるが、性質が近い意味では使わない。to や in も border と組んで「ほとんど～だ」の意味にならない。verge on ~ と同じ形。

区別 **border on ~ ⇔ bear on ~** bear on ~ は「～に関係がある・影響する」（This fact bears on the case.）。形は似ているが、border on は「～に近い・接する」。見分け方：「ほとんど～」なら border on、「関係する」なら bear on。

0277 ☐☐☐

Years of hard work finally culminated _____ her winning the Olympic gold medal.

① from ② in
③ to ④ at

② culminate in ~ ついに～に至る；～で最高潮に達する

訳 長年の努力は、ついに彼女のオリンピック金メダル獲得という形で頂点に達した。

解説 長年の努力が最後に「金メダル獲得」という結果に至ったので culminate in ~（in の後ろは最終的な結果）。from は result from（～が原因で生じる）のように原因を表し、方向が逆。to や at は culminate と組んで結果を表す形にならない。

区別 **culminate in ~ ⇔ result from ~** result in / culminate in の後ろは「結果」、result from の後ろは「原因」。前置詞で因果の向きが逆になる。見分け方：後ろが最後に起きたことなら in。

0278 □□□

If your computer keeps freezing, try restarting it. That usually does the _____.

① way ② trick
③ play ④ point

② do the trick うまくいく；目的を果たす

訳 パソコンがよく固まるなら、再起動してみて。たいていそれで直るよ。

解説 再起動という方法が「うまくいく・効く」ので do the trick。do the way、do the play、do the point という決まった言い方はなく、どれも効果があるという意味にならない。同じ意味は That usually works. とも言える。

区別 **do the trick ⇔ play a trick on ~** play a trick on ~ は「～にいたずらをする」。同じ trick でも do the trick は「うまくいく」。見分け方：on＋人が続けばいたずら。

0279 □□□

Please read all the documents _____ to the new contract.

① pertained ② pertain
③ pertaining ④ to pertain

③ pertain to ~ ～に関係する；～に付属する

訳 新しい契約に関係するすべての書類を読んでください。

解説 名詞 documents を後ろから修飾して「～に関係する書類」とするので現在分詞 pertaining。pertain は自動詞なので、受け身の過去分詞 pertained で名詞を修飾できない。原形 pertain は名詞の直後に置けない。to pertain は「関係するための」となり意味が通らない。

区別 **pertain to ~ ⇔ relate to ~** relate to ~ も「～に関係する」だが、口語では「～に共感する」（I can relate to that.）の意味もある。pertain to は硬い書き言葉で「関係する」だけ。見分け方：気持ちの共感なら relate to。

0280 □□□

Emotions ran _____ as the two teams met in the final game.

① highly ② tall
③ high ④ up

③ run high （感情が）高ぶる；（川が）増水する

訳 両チームが決勝で対戦するとあって、感情が高ぶった。

解説 「（感情が）高ぶる」は run high で、run は「～の状態になる」なので後ろは形容詞 high。highly は副詞「大いに」で、ここには使えない。tall は背や建物の高さで感情には使わない。run up は「（借金など）をためる・駆け上がる」。

区別 **run high ⇔ run low (on ~)** run low は「（量が）少なくなる」で、run low on ~（～が残り少ない）の形。run high は感情の高ぶり。どちらも run＋形容詞の型。

0281 □□□

Don't try to change his mind. He never listens, so you'd just be wasting your _____.

① breathe ② breath
③ breaths ④ mouth

② waste one's breath 言っても無駄である

訳 彼の考えを変えようとしないほうがいい。人の話を聞かないから、言うだけ無駄だよ。

解説 「言っても無駄だ」は waste one's breath で、breath は数えない名詞「息」。breathe は動詞「呼吸する」で、your の後ろに置けない。この表現では breaths と複数にはしない。mouth を使う決まった言い方はない。

区別 **waste one's breath ⇔ catch one's breath** catch one's breath は「息を整える・一息つく」。hold one's breath は「息を止める・（結果を）固唾をのんで待つ」。waste one's breath は「言っても無駄」。breath を使う表現は動詞で意味が決まる。

0282 ☐☐☐

The evidence was found to have been tampered _____.

① by　② on
③ to　④ with

④ tamper with ~ ～をいじくる；～を不正に変える

訳 その証拠は、不正に手を加えられていたことが分かった。

解説 tamper with ~ は自動詞＋前置詞なので、受け身でも with が残り be tampered with となる。by は行為者を示す語で、後ろに人がないと文が終わらない。on や to は tamper と組まない。

区別 **tamper with ~ ⇔ temper** temper は名詞「気性・かんしゃく」で、lose one's temper（かっとなる）の形。tamper with は「いじる・不正に変える」。a と e の一字違いに注意。

0283 ☐☐☐

After the chairperson's opening remarks, a young student took the _____ and asked why the school had banned smartphones.

① field　② ground
③ floor　④ room

③ take the floor 発言する；（ダンスで）踊り始める

訳 議長の開会の言葉の後、一人の若い学生が発言に立ち、学校がなぜスマートフォンを禁止したのかと尋ねた。

解説 会議で発言を始めるのは take the floor（the floor＝議場の発言権）。take the field は「（選手が）競技場に出る」でスポーツの場面に使い、会議には合わない。take the ground・take the room という決まった言い方はなく、発言の意味にならない。

区別 **take the floor ⇔ have the floor** have the floor は「発言権を持っている・今話している」状態、take the floor は「発言を始める」動作。議長が You have the floor.（どうぞご発言ください）と言う。

確認テスト２　動詞の熟語｜日本語に合うように、空所に１語を書き込もう（答えは赤字）

0179 両親は彼にあの少年たちと付き合うなと言った。
His parents told him not to **associate** with those boys.

0180 絶え間ない騒音で私は絶望しかけた。
The constant noise almost **drove** me to despair.

0181 彼女は美しい歌声に恵まれている。
She is **endowed** with a beautiful singing voice.

0182 地元の漁師が網の使い方を教えてくれた。
A local fisherman **instructed** us in how to use the net.

0183 昨日電話するつもりだったのに、忘れてしまった。
I **intended** to have called you yesterday, but I forgot.

0184 ガイドはハイキングの前に地図と役立つ助言を私たちに持たせてくれた。
The guide **armed** us with maps and useful advice before the hike.

0185 多くの若い選手がプロサッカー選手になることを目指している。
Many young players **aspire** to a career in professional soccer.

0186 自分の問題で両親に負担をかけたくない。
I don't want to **burden** my parents with my problems.

0187 多くの国がその政府の攻撃を非難した。
Many countries **condemned** the government for its attack.

0188 祖父は子ども時代の話をするのが大好きだ。
My grandfather **delights** in telling stories about his childhood.

0189 人間を他の動物と区別するものは何か。
What **differentiates** humans from other animals?

0190 成績のよい生徒は期末試験が免除される。
Students with good grades are **exempted** from the final exam.

0191 台風はその島に深刻な被害をもたらした。
The typhoon **inflicted** serious damage on the island.

0192 彼は学校で問題児のレッテルを貼られた。
He was **labeled** as a troublemaker at school.

0193 彼らはトラックにリンゴの箱を積んだ。
They **loaded** the truck with boxes of apples.

0194 お金を節約するために公共交通機関を選ぶ人が多い。
Many people **opt** for public transport to save money.

0195 やりたくないことを誰かに無理強いさせてはいけない。
Don't let anyone **pressure** you into doing something you don't want to do.

0196 裁判官はその男に懲役 10 年の判決を言い渡した。
The judge **sentenced** the man to ten years in prison.

0197 彼女は病気に打ち勝って舞台に復帰した。
She **triumphed** over her illness and returned to the stage.

0198 男は老夫婦をだまして貯金を巻き上げた。
The man **cheated** the old couple out of their savings.

0199 少年は窓を割ったことを白状した。
The boy **confessed** to breaking the window.

0200 ここの農家は長く寒い冬と闘わなければならない。
Farmers here have to **contend** with long, cold winters.

0201 私たちは彼に仕事を辞めないよう説得した。
We tried to **dissuade** him from quitting his job.

0202 卒業後、彼女は報道の仕事の道に踏み出した。
After graduating, she **embarked** on a career in journalism.

0203 彼は何度も不正をして退学処分になった。
He was **expelled** from school for cheating repeatedly.

0204 兄はいつも私の成績のことでうるさく言う。
My big brother always gives me a **hard** time about my grades.

0205 スピーチでの彼女の小さなミスは聴衆に気づかれなかった。
Her small mistake in the speech went **unnoticed** by the audience.

0206 彼はうるさい犬のことで隣人と口論した。
He had **words** with his neighbor about the noisy dog.

0207 その歌手は今年新しいアルバムが出ることをほのめかした。
The singer **hinted** at a new album coming out this year.

0208 言い返したかったが、黙っていた。
I wanted to argue, but I held my **tongue** .

0209 定期的な運動は体重を抑えるのに役立つ。
Regular exercise helps keep your weight in **check** .

0210 私は起きたらすぐにベッドを整える。
I make the **bed** as soon as I get up.

0211 校長が卒業式を取り仕切った。
The principal **presided** over the graduation ceremony.

0212 息子は熱があるので今日は家にいる。
My son is running a **fever** , so he is staying home today.

0213 山頂からの眺めに私は息をのんだ。
The view from the top of the mountain took my **breath** away.

0214 都会に暮らしながら、彼は田舎の静かな暮らしに憧れた。
Living in the city, he **yearned** for the quiet life of the countryside.

0215 この湖には魚がたくさんいる。
This lake **abounds** in fish.

0216 その遺跡は町の長い歴史を物語っている。
The ruins bear **witness** to the city's long history.

0217 彼が時間どおりに来るとは思えないね。
I wouldn't **bet** on him arriving on time.

0218 大声での電話が教室の静けさを破った。
A loud phone call broke the **silence** in the classroom.

0219 このレストランは小さな子ども連れの家族向けになっている。
This restaurant **caters** to families with small children.

0220 批評家はその映画を傑作と評した。
Critics **characterized** the film as a masterpiece.

0221 我に返ると、彼は床に倒れていた。
When he came to **himself**, he was lying on the floor.

0222 音楽のない世界なんて想像できない。
I can't **conceive** of a world without music.

0223 彼女は何でも姉に打ち明けている。
She **confides** in her older sister about everything.

0224 裁判所はその男に強盗罪で有罪判決を下した。
The court **convicted** the man of robbery.

0225 偽のサイトは多くの人をだましてパスワードを入力させた。
The fake website **deceived** many people into giving their passwords.

0226 この写真ではその湖の美しさが十分に伝わらない。
This photo doesn't do **justice** to the beauty of the lake.

0227 手伝うのは構わないが、君のためにうそをつくのはごめんだ。
I don't mind helping you, but I draw the **line** at lying for you.

0228 彼は自分を笑った少年に仕返しをしたかった。
He wanted to get **even** with the boy who had laughed at him.

0229 その問題について何時間も話し合ったが、何の進展もなかった。
We talked for hours about the problem but got **nowhere**.

0230 ゲストスピーカーに盛大な拍手を。
Let's give our guest speaker a **big** hand.

0231 何人かの生徒がそのイベントの計画に関わった。
Several students had a **hand** in planning the event.

0232 彼はずうずうしくも、私にもっとお金を要求した。
He had the **nerve** to ask me for more money.

0233 野生動物は危険なことがあるので、距離を置きなさい。
Wild animals may be dangerous, so keep your **distance** .

0234 先生は例外を認め、彼に後日テストを受けさせた。
The teacher made an **exception** and let him take the test later.

0235 子どもたちはその箱が宇宙船だというふりをした。
The children made **believe** that the box was a spaceship.

0236 新しい学校制度はフィンランドのものを手本にしていた。
The new school system was **modeled** on Finland's.

0237 ファンは引退する選手に総立ちの拍手を送って敬意を表した。
The fans paid **tribute** to the retiring player with a standing ovation.

0238 たいていのおとぎ話では最後に善が悪に打ち勝つ。
In the end, good **prevails** over evil in most fairy tales.

0239 フクロウはネズミなどの小動物を捕食する。
Owls **prey** on mice and other small animals.

0240 彼は笑いをこらえられなかった。
He couldn't **restrain** himself from laughing.

0241 午前中は母に頼まれた用事を済ませて過ごした。
I spent the morning running **errands** for my mother.

0242 音楽の才能は彼女の家系に受け継がれているようだ。
Musical talent seems to run in her **family** .

0243 彼女はパイロットになりたいと強く願っている。
She has set her **heart** on becoming a pilot.

0244 彼女の手は新鮮なオレンジの香りがした。
Her hands **smelled** of fresh oranges.

0245 彼女はその会社に損害賠償を求めて訴訟を起こした。
She **sued** the company for damages.

0246 彼は髪型についての私の発言に腹を立てた。
He took **offense** at my comment about his hair.

0247 新市長は来月就任する。
The new mayor will take **office** next month.

0248 彼はその数学の問題に１時間近く取り組んだ。
He **wrestled** with the math problem for nearly an hour.

0249 母親は彼の爪を噛む癖をやめさせようと努めた。
His mother tried hard to **break** him of the habit of biting his nails.

0250 何が起ころうとも、このマラソンを完走する。
Come what **may**, I will finish this marathon.

0251 ぐっすり眠ると気分が驚くほどよくなる。
A good night's sleep can do **wonders** for your mood.

0252 私たちは家に火災と地震の保険をかけた。
We **insured** our house against fire and earthquakes.

0253 祖父母は早寝早起きで5時に起きる。
My grandparents keep **early** hours and get up at five.

0254 彼はけがを大したことないと言って試合を続けた。
He made **little** of his injury and kept playing.

0255 訪れる人はその古代寺院の大きさに驚嘆する。
Visitors **marvel** at the size of the ancient temple.

0256 彼女は母にもっと電話しなかったことで自分を責めた。
She **reproached** herself for not calling her mother more often.

0257 彼はついに誘惑に負けてケーキを丸ごと食べてしまった。
He finally **succumbed** to temptation and ate the whole cake.

0258 小さな女の子はすぐにその白い子犬が気に入った。
The little girl took a **fancy** to the white puppy at once.

0259 この夏、初めてサーフィンに挑戦してみた。
This summer I tried my **hand** at surfing.

0260 学生は無料の個別指導サービスを利用すべきだ。
Students should avail **themselves** of the free tutoring service.

0261 過去のことをくよくよ考えても仕方がない。
There's no use **brooding** over the past.

0262 医師たちは彼の命を救うことをほとんど諦めかけた。
The doctors almost **despaired** of saving his life.

0263 嵐のせいでパイロットは予定の航路からそれなければならなかった。
The pilot had to **deviate** from the planned route because of the storm.

0264 旅行に行けるかどうかは父が休みを取れるか次第だ。
Our trip **hinges** on whether my father can get time off.

0265 レストランで騒ぎを起こさないで。
Please don't make a **scene** in the restaurant.

0266 大雪の中で救助隊はほとんど前進できなかった。
The rescue team made little **headway** in the heavy snow.

0267 負けていても正々堂々と戦わなければならない。
We must play **fair** even if we are losing.

0268 船は朝早くハワイに向けて出航した。
The ship set **sail** for Hawaii early in the morning.

0269 彼は空港でホストファミリーに別れを告げた。
He took **leave** of his host family at the airport.

0270 彼女はとても優しいので、誰に対しても恨みを抱かない。
She is so kind that she doesn't bear a **grudge** against anyone.

0271 その大学は科学者に名誉学位を授けた。
The university **conferred** an honorary degree on the scientist.

0272 最年少だったが、彼女は討論で一歩も引かなかった。
Although she was the youngest, she held her **own** in the debate.

0273 誕生日を忘れた償いに、彼は彼女に花を買った。
He bought her flowers to make **amends** for forgetting her birthday.

0274 多くの賞が作家としての彼女の才能を証明している。
The many awards **testify** to her talent as a writer.

0275 王は勇敢な兵士に称号を授けた。
The king **bestowed** a title on the brave soldier.

0276 彼の自信はときに傲慢と紙一重だ。
His confidence sometimes **borders** on arrogance.

0277 長年の努力が実り、ついに彼女は金メダルを手にした。
Years of hard work **culminated** in her winning the gold medal.

0278 ドアが開いてしまうなら、重い本で押さえればうまくいくはずだ。
If the door keeps opening, a heavy book should do the **trick** .

0279 今日のテーマに関係する質問だけをしてください。
Please ask only questions that **pertain** to today's topic.

0280 新しい規則をめぐる討論では感情が高ぶった。
Feelings ran **high** during the debate on the new rule.

0281 彼と言い争っても無駄だよ。決して聞かないから。
Don't waste your **breath** arguing with him; he never listens.

0282 誰かがドアの鍵をいじった形跡があった。
Someone had **tampered** with the lock on the door.

0283 議長の話が終わると、若い学生が発言に立った。
When the chairperson finished, a young student took the **floor** .

CHAPTER 3

be＋形容詞＋前置詞

be afraid of・be aware of・be likely to など。前置詞の違いで意味が変わるものが狙われます。 No.0284〜0327（44 問）

問題

0284 □□□

After a long trial, the court decided that he was innocent ＿＿＿＿ the crime.

① of ② from
③ in ④ for

解答・解説（赤シートで隠せます）

① be innocent of ～
～の罪を犯していない；～について無実である

訳 長い裁判の末、裁判所は彼がその罪を犯していないと判断した。

解説 be innocent of ～ で「～の罪を犯していない」。罪の中身は of で示す（be guilty of と同じ）。from は「～から離れて」で罪との関係を表せない。in / for もこの形容詞と組んで罪の内容を示さない。

区別 **be innocent of ～ ⇔ be guilty of ～** be guilty of は「～の罪を犯している・有罪である」で、innocent of の反対。どちらも of で罪を示す。見分け方：意味の向きが逆なだけで、前置詞は同じ of と覚える。

0285 □□□

Many scientists are skeptical ＿＿＿＿ the new theory because there is little evidence for it.

① at ② to
③ of ④ with

③ be skeptical of ～ ～に懐疑的である；～を疑っている

訳 証拠がほとんどないため、多くの科学者がその新しい理論に懐疑的だ。

解説 be skeptical of ～ で「～に懐疑的である」（about も可）。at は be surprised at のように感情のきっかけを示すが、skeptical とは組まない。to は「～に対して開かれている」意味の open to などで使い、with も skeptical と組まない。

区別 **be skeptical of ～ ⇔ be suspicious of ～** be suspicious of は「～を怪しいと思う」で、人や行動に悪意・不正があるのではと疑う。be skeptical of は「～（の主張や効果）が本当か疑わしいと思う」で、真偽・有効性を疑う。見分け方：悪事を疑うなら suspicious、話の正しさを疑うなら skeptical。

0286 □□□

The court ruled that the driver was liable ＿＿＿＿ the damage to the shop window.

① for ② to
③ of ④ with

① be liable for ～ ～に対して法的責任がある

訳 裁判所は、店の窓ガラスの損害についてその運転手に責任があるとの判決を下した。

解説 be liable for ～ で「～に対して法的責任がある」。損害（the damage）の責任は for で示す。to は be liable to do（～しがち）や be liable to a fine（罰金を科される）の形で使い、「損害の責任がある」の意味にならない。of / with は liable と組まない。

区別 **be liable for ～ ⇔ be liable to do** be liable to do は「～しがちだ・～しやすい」（悪いことに使う。He is liable to lose his temper.）。be liable for ～ は「～の責任がある」。見分け方：後ろが動詞の原形なら「しがち」、名詞に for なら「責任」。

0287 □□□

Kangaroos and koalas are native _____ Australia.

① of ② at
③ by ④ to

④ be native to ~ ～原産である；～に固有である

訳 カンガルーとコアラはオーストラリア原産だ。

解説 形容詞 native で「～原産である」は be native to ~。of を使うのは a native of ~（～出身の人）のように native が名詞のときで、are native of とは普通言わない。at / by は native と組んで原産地を示さない。

区別 **be native to ~ ⇔ a native of ~** a native of ~ は「～出身の人・～原産のもの」という名詞句（He is a native of Kyoto.）。be native to ~ は形容詞で、主に動植物の原産地を言う。見分け方：a が付いた名詞なら of、形容詞なら to。

0288 □□□

My little sister is terrified _____ spiders, so she screams whenever she sees one.

① to ② of
③ with ④ for

② be terrified of ~ ～をひどく怖がる

訳 妹はクモをひどく怖がっているので、見るたびに悲鳴を上げる。

解説 be terrified of ~ で「～をひどく怖がる」（be afraid of と同じ of）。to は be terrified to do（怖くて～できない）の形で、後ろに動詞の原形が必要なので spiders とは続かない。with / for は terrified と組んで恐怖の対象を示さない。

区別 **be terrified of ~ ⇔ terrifying** terrifying は「（物事が人を）ぞっとさせる・恐ろしい」で、恐怖を与える側を説明する（a terrifying movie）。terrified は「（人が）怖がっている」。見分け方：怖がる人が主語なら terrified、怖い物が主語なら terrifying。

0289 □□□

You should be wary _____ strangers who offer you free gifts on the street.

① to ② at
③ of ④ with

③ be wary of ~ ～に用心している；～を警戒している

訳 道で無料の贈り物を差し出してくる見知らぬ人には用心した方がいい。

解説 be wary of ~ で「～を警戒する」。用心する対象は of で示す（be careful of / be afraid of と同じ）。to / at / with は wary と組んで警戒の対象を示さない。

区別 **be wary of ~ ⇔ be weary of ~** be weary of は「～にうんざりしている・飽きている」（be weary of his complaints）。be wary of は「～を警戒している」。つづりが一字違い（wary / weary）で意味が全く違う。見分け方：疑って用心するなら wary、疲れて飽きたなら weary。

0290 □□□

His cooking skill is comparable _____ that of a professional chef.

① to ② than
③ as ④ for

① be comparable to ~ ～に匹敵する；～と比較できる

訳 彼の料理の腕前はプロのシェフに匹敵する。

解説 be comparable to ~ で「～に匹敵する」。比べる相手は to で示す（similar to と同じ）。than は比較級の後ろで使う語で、comparable は比較級ではない。as は as ~ as の形で使い、comparable as とは言わない。for も比べる相手を示さない。

区別 **be comparable to ~ ⇔ be compared to ~** be compared to は「～にたとえられる・～と比べられる」で、他人の判断を受け身で表す。be comparable to は「（実際に）～に匹敵する」と性質を言う形容詞。見分け方：評価の結果として同程度なら comparable、比べる行為なら compared。

0291 □□□

My brother is hooked _____ online games and plays them every night until midnight.

① in ② to
③ on ④ with

③ be hooked on ~ ～に夢中である；～にはまっている

訳 弟はオンラインゲームにはまっていて、毎晩夜中の 12 時までやっている。

解説 be hooked on ~ で「～にはまっている」。釣り針にくっついた状態を表す接触の on を使う。to は be addicted to（～の中毒だ）の前置詞で、hooked とは組まない。in / with も hooked と組んで夢中になる対象を示さない。

区別 **be hooked on ~ ⇔ be addicted to ~** be addicted to は「～の中毒である・～に依存している」で、より深刻な依存を表す。前置詞も to。be hooked on はくだけた言い方で、軽く「はまっている」にも使える。見分け方：前置詞は addicted to、hooked on。

0292 □□□

Please be mindful _____ other passengers when you use your phone on the train.

① to ② at
③ of ④ for

③ be mindful of ~ ～に気を配る；～を心に留める

訳 電車でスマートフォンを使うときは、ほかの乗客に気を配ってください。

解説 be mindful of ~ で「～に気を配る」。配慮の対象は of で示す（be aware of と同じ）。to / at / for は mindful と組んで気を配る対象を示さない。for は「～のために」の意味になり、be mindful for とは言わない。

区別 **be mindful of ~ ⇔ be careful of ~** be careful of は「～に気をつける（危険を避ける）」で、危ないものへの注意。be mindful of は「～を意識して配慮する」で、他人やマナーへの気配りに使う。見分け方：危険を避けるなら careful、配慮・意識なら mindful。

0293 □□□

Many economists are pessimistic _____ the future of the global economy.

① about ② to
③ at ④ with

① be pessimistic about ~ ～に悲観的である

訳 多くの経済学者は、世界経済の先行きに悲観的だ。

解説 be pessimistic about ~ で「～に悲観的である」（be optimistic about の反対）。to / at / with は pessimistic と組んで悲観する対象を示さない。at は be surprised at など感情のきっかけ、with は be satisfied with など満足の対象に使う。

区別 **be pessimistic about ~ ⇔ be optimistic about ~** be optimistic about は「～に楽観的である」で、pessimistic の反対。前置詞はどちらも about。見分け方：先行きを悪く考えるなら pessimistic、良く考えるなら optimistic。

0294 □□□

The summer festival is deeply rooted _____ the history of this small town.

① on ② at
③ to ④ in

④ be rooted in ~ ～に根ざしている

訳 その夏祭りは、この小さな町の歴史に深く根ざしている。

解説 be rooted in ~ で「～に根ざしている」。根が土の中に張る図なので in。on は be based on（～に基づく）の前置詞で、rooted とは組まない。at / to も根ざしている起源を示さない。

区別 **be rooted in ~ ⇔ take root** take root は「根付く・定着する」で、新しいものが広まる過程を言う自動詞句。be rooted in は「～に根ざしている」と、すでにある状態と起源を言う。

0295 □□□

Young children and the elderly are more susceptible _____ infections in winter.

① of ② to
③ for ④ with

② be susceptible to ~ ～に影響されやすい；～にかかりやすい

訳 幼い子どもとお年寄りは、冬に感染症にかかりやすい。

解説 be susceptible to ~ で「～にかかりやすい」。影響を受ける対象は to で示す（vulnerable to / immune to と同じ）。of / for / with は susceptible と組まない。

区別 **be susceptible to ~ ⇔ be immune to ~** be immune to は「～に免疫がある・～に影響されない」で、susceptible の反対。前置詞はどちらも to。見分け方：影響を受けやすいなら susceptible、受けないなら immune。

0296 □□□

Politicians should be accountable _____ how they spend taxpayers' money.

① for ② to
③ of ④ with

① be accountable for ~ ～について説明責任がある

訳 政治家は、税金をどのように使うかについて説明責任を負うべきだ。

解説 be accountable for ~ で「～について説明責任がある」。責任の対象（お金の使い方）は for で示す。to は be accountable to the public のように「説明すべき相手（人）」を示す前置詞で、how 以下の内容の前には置かない。of / with は accountable と組まない。

区別 **be accountable for ~ ⇔ be responsible for ~** be responsible for は「～に責任がある」の一般的な言い方。be accountable for は「（求められれば）説明し、結果の責任を取らなければならない」と、説明義務に重点がある。どちらも for で対象、accountable は to で相手を示す。

0297 □□□

Unfortunately, this new software is not compatible ＿＿＿ older computers.

① to　② for
③ in　④ with

④ be compatible with ~ ～と両立する；～と相性がよい

訳 残念ながら、この新しいソフトは古いパソコンでは使えない。

解説 be compatible with ~ で「～と互換性がある・両立する」。一緒に使える相手は with で示す。to は be comparable to（～に匹敵する）など別の形容詞で使い、compatible とは組まない。for / in も compatible と組んで相手を示さない。

区別 **be compatible with ~ ⇔ be comparable to ~** be comparable to は「～に匹敵する」で、程度や質を比べる。be compatible with は「～と合う・一緒に使える」。つづりが似ているので注意。

0298 □□□

Even as a small child, she was destined ＿＿＿ become a great musician.

① for　② to
③ by　④ at

② be destined to do ～する運命にある

訳 幼い子どものころから、彼女は偉大な音楽家になる運命にあった。

解説 後ろが become（動詞の原形）なので be destined to do（～する運命にある）。for は be destined for success のように後ろに名詞が来る形で、動詞の原形とは続かない。by / at は destined と組まない。

区別 **be destined to do ⇔ be destined for ~** be destined for は後ろに名詞が来て「～の運命にある・～行きである」（be destined for greatness / a ship destined for Tokyo）。be destined to do は後ろに動詞の原形。見分け方：後ろが名詞なら for、動詞なら to。

0299 □□□

Although they share some features, Japanese culture is distinct ＿＿＿ Chinese culture in many ways.

① with　② from
③ to　④ than

② be distinct from ~ ～とはっきり異なる

訳 共通点もあるが、日本の文化は多くの点で中国の文化とはっきり異なる。

解説 be distinct from ~ で「～とははっきり異なる」。区別する相手は from で示す（distinguish A from B / different from と同じ）。with / to は distinct と組まない。than は比較級の後ろで使う語で、distinct は比較級ではない。

区別 **be distinct from ~ ⇔ be distinctive** distinctive は「独特の・特徴的な」で、他と比べず、そのものの特徴を言う（a distinctive voice）。distinct from は「～とは別の」で、比べる相手を from で示す。見分け方：比べる相手があれば distinct from。

0300 □□□

Students with an average grade of A are eligible ＿＿＿ the scholarship.

① to　② of
③ with　④ for

④ be eligible for ~ ～の資格がある

訳 平均成績が A の学生は、その奨学金を受ける資格がある。

解説 後ろが the scholarship（名詞）なので be eligible for ~（～の資格がある）。to は be eligible to do の形で、後ろに動詞の原形が必要なので名詞は続かない。of / with は eligible と組まない。

区別 **be eligible for ~ ⇔ be eligible to do** be eligible to do は後ろに動詞の原形が来る（be eligible to vote＝投票する資格がある）。be eligible for は後ろに名詞。見分け方：後ろが名詞なら for、動詞なら to。

0301 □□□

He was so immersed _____ his book that he didn't hear me call his name.

① in ② with
③ at ④ on

① be immersed in ~ ～に没頭している；～に浸っている

訳 彼は本に没頭していて、私が名前を呼んでも聞こえなかった。

解説 be immersed in ~ で「～に没頭している」。本の中にどっぷり浸かるイメージなので in（absorbed in と同じ）。with / at / on は immersed と組んで没頭する対象を示さない。

区別 **be immersed in ~ ⇔ be absorbed in ~** be absorbed in も「～に夢中になっている」で意味はほぼ同じ。immersed は「どっぷり浸かる」イメージで、環境や文化に浸る意味でも使える。どちらも in を取る。

0302 □□□

He has been criticized many times, but he seems completely immune _____ criticism.

① of ② with
③ to ④ at

③ be immune to ~ ～に免疫がある；～に影響されない

訳 彼は何度も批判されてきたが、批判をまったく気にしていないようだ。

解説 be immune to ~ で「～に影響されない・免疫がある」。影響を受けない対象は to で示す（susceptible to と同じ前置詞）。of / with / at は immune と組んでこの意味を作らない。

区別 **be immune to ~ ⇔ be susceptible to ~** be susceptible to は「～にかかりやすい・影響されやすい」で、immune の反対。前置詞はどちらも to。見分け方：影響を受けないなら immune、受けやすいなら susceptible。

0303 □□□

I am deeply indebted _____ my teacher for her kind advice and support.

① for ② with
③ to ④ by

③ be indebted to A for B
B のことで A に恩を受けている

訳 先生の親切な助言と支えに、私は深く感謝している。

解説 be indebted to A for B で「B のことで A に恩を受けている」。恩人（my teacher）は to で示す。for は後ろの for her kind advice のように受けた恩の理由を示す前置詞で、人の前には置かない。with / by は indebted と組んで恩人を示さない。

区別 **be indebted to A for B ⇔ thank A for B** thank A for B は「B のことで A に感謝する」という動詞。be indebted to A for B は「A に恩がある」と状態を表す硬い言い方。どちらも感謝の理由は for だが、indebted は相手を to で示す。

0304 □□□

After losing last year, the team is intent _____ winning the championship this time.

① on ② to
③ at ④ for

① be intent on ~

～に熱心である；～しようと心に決めている

訳 昨年負けたそのチームは、今回こそ優勝しようと心に決めている。

解説 be intent on ~ing で「～しようと決意している」。気持ちが目標の上に向いているので on（be bent on と同じ）。to は be determined to do のように動詞の原形が続く形で、winning とは続かない。at / for も intent と組んで決意の対象を示さない。

区別 **be intent on ~ ⇔ be intended for ~** be intended for は「～向けである・～のためのものだ」（This book is intended for beginners.）。be intent on は「～しようと決意している」で、主語は人。見分け方：主語が物で対象を示すなら intended for、人の決意なら intent on。

0305 □□□

She was so preoccupied _____ her entrance exams that she forgot my birthday.

① in ② on
③ at ④ with

④ be preoccupied with ~ ～で頭がいっぱいである

訳 彼女は入試のことで頭がいっぱいで、私の誕生日を忘れてしまった。

解説 be preoccupied with ~ で「～で頭がいっぱいである」。頭を占めているもの（入試）は with で示す（by も可）。in / on / at は preoccupied と組まない。in は absorbed in など別の形容詞で使う前置詞。

区別 **be preoccupied with ~ ⇔ be occupied with ~** be occupied with は「～で忙しい・～に従事している」で、手や時間がふさがっている。be preoccupied with は頭の中（意識）が占められている。見分け方：作業で忙しいなら occupied、考え事で頭がいっぱいなら preoccupied。

0306 □□□

This painting is representative _____ the artist's early style, with its bright colors and simple shapes.

① for ② of
③ to ④ with

② be representative of ~

～を代表している；～の典型である

訳 明るい色と単純な形が特徴のこの絵は、その画家の初期の作風をよく表している。

解説 be representative of ~ で「～を代表している・～の典型である」。代表される全体（初期の作風）は of で示す（typical of と同じ）。for / to / with は representative と組んで代表する対象を示さない。

区別 **be representative of ~ ⇔ be typical of ~** be typical of は「～に典型的な・～らしい」（It's typical of him to be late.＝遅れるのはいかにも彼らしい）で、人の性格にもよく使う。be representative of は「（集団・時代などを）代表する」で、客観的な説明に使う。どちらも of を取る。

0307 □□□

In a diverse society, we should be tolerant _____ people with different opinions.

① at ② of
③ for ④ in

② be tolerant of ~ ～に寛容である

訳 多様な社会では、私たちは異なる意見を持つ人々に寛容であるべきだ。

解説 be tolerant of ~ で「～に寛容である」（toward も可）。寛容に受け入れる対象は of で示す。at / for / in は tolerant と組んで対象を示さない。

区別 **be tolerant of ~ ⇔ tolerate ~** tolerate は他動詞で「～を我慢する・許容する」（I can't tolerate noise.）で、前置詞は要らない。be tolerant of は形容詞の形で、of が必要。見分け方：be 動詞があれば tolerant of。

0308 □□□

I'm weary _____ his endless complaints about the food in the cafeteria.

① of ② to
③ at ④ on

① be weary of ~ ～に飽き飽きしている

訳 食堂の料理についての彼の終わりのない文句には、もううんざりだ。

解説 be weary of ~ で「～にうんざりしている」（be tired of と同じ of）。to / at / on は weary と組んでうんざりする対象を示さない。

区別 **be weary of ~ ⇔ be wary of ~** be wary of は「～を警戒している」で、つづりが一字違い。be weary of は「～にうんざりしている」。見分け方：疑って用心するなら wary、もう嫌になっているなら weary。発音も違う（wary はウェアリ、weary はウィアリ）。

0309 □□□

The speech was completely devoid _____ humor, and many people in the audience fell asleep.

① from ② of
③ in ④ with

② be devoid of ~ ～が欠けている；～がまったくない

訳 その演説はユーモアがまったくなく、聴衆の多くが眠ってしまった。

解説 be devoid of ~ で「～がまったくない」。from は be free from ~、in は be lacking in ~ と混同させるひっかけで、devoid とは組まない。with は「～がある」側の前置詞で意味が逆になる。

区別 **be devoid of ~ ⇔ be deprived of ~** be devoid of ~ は「もともと～がない・欠けている」という状態。be deprived of ~ は「（本来あるべき物を）奪われている」で、奪う行為を前提とする。見分け方：単に欠けているなら devoid、取り上げられたなら deprived。

0310 □□□

The small town is renowned _____ its beautiful cherry blossoms, which attract thousands of tourists every spring.

① by ② as
③ for ④ to

③ be renowned for ~ ～で名高い

訳 その小さな町は美しい桜で名高く、毎年春には何千人もの観光客が訪れる。

解説 町が有名な「理由」が桜なので be renowned for ~。as は「～として」で、主語（町）＝ as の後ろの名詞の関係が必要だが、町は桜ではないので不可。by・to は renowned と組んでこの意味にならない。

区別 **be renowned for ~ ⇔ be renowned as ~** for の後ろは「有名な理由（何で）」、as の後ろは「主語の資格・正体（何として）」。見分け方：主語＝後ろの名詞が成り立てば as、成り立たなければ for。

0311 □□□

In this school, the library is separate _____ the main building, so students have to walk across the yard to get there.

① among ② with
③ of ④ from

④ be separate from ~ ～から離れている；～と別である

訳 この学校では図書館が本校舎とは別の建物なので、生徒は中庭を歩いて渡って行かなければならない。

解説 be separate from ~ で「～から離れている・～と別である」。from は分離の起点を表し、different from / apart from と同じ。with・of・among は separate と組んでこの意味にならない。動詞 separate A from B も同じ from を使う。

区別 **be separate from ~ ⇔ separate A from B** be separate from は形容詞で「別々の状態だ」、separate A from B は動詞で「A を B から分ける（分離する）動作」。発音は形容詞が [-rət]、動詞が [-reɪt]。見分け方：be 動詞の後ろなら形容詞、目的語を取っていれば動詞。

0312 □□□

The police said that the driver of the truck was _____ fault because he was driving too fast.

① at ② in
③ on ④ with

① be at fault 責任がある；悪い

訳 警察によると、トラックの運転手はスピードを出しすぎていたので、責任はその運転手にあった。

解説 be at fault で「責任がある・悪い」。at は at risk / at ease と同じく状態を表す。in・on・with は fault と組んでこの意味にならない（find fault with は「あら探しをする」で別の表現）。スピードの出しすぎで責任がある、という文脈に合う。

区別 **be at fault ⇔ find fault with ~** be at fault は「（誰かに）責任がある」、find fault with ~ は「～のあら探しをする・～にけちをつける」。見分け方：誰が悪いかを言うなら be at fault、批判ばかりする行為なら find fault with。

0313 □□□

In this small village, jobs for young people are few and _____ between, so many of them move to the city.

① far ② wide
③ long ④ rare

① be few and far between
ごくまれである；めったにない

訳 この小さな村では若者向けの仕事がめったにないので、多くの若者が都会へ移り住む。

解説 若者の仕事がほとんどないので都会へ出る、という文脈から be few and far between（めったにない）。far between（間隔が遠く離れて）で決まった形。wide・long・rare を入れると慣用句にならない。

区別 **be few and far between ⇔ every now and then** be few and far between は「めったにない（少ない）」と希少さを言う形容詞句。every now and then は「時々」と頻度を言う副詞句で、それなりに起こる。見分け方：少なくて珍しいなら few and far between。

0314 □□□

The main street of the old town ＿＿＿＿ lined with small shops selling traditional crafts.

① is　② lines
③ has　④ lining

① be lined with ~　～が立ち並んでいる

訳 その古い町の大通りには、伝統工芸品を売る小さな店が立ち並んでいる。

解説 通りに店が「並べられている」状態なので受け身の be lined with ~ で、is が入る。lines だと通りが自分で並ぶ意味になり with と合わない。has（＋ lined）は通りが何かを並べた能動の意味になり不可。lining だけでは述語動詞にならない。

区別 **be lined with ~ ⇔ line up**　be lined with ~ は「（場所に）～が並んでいる」と場所が主語の状態。line up は「（人・物が）一列に並ぶ」で、並ぶ人・物が主語の動作。見分け方：主語が通りなら be lined with、並ぶ人が主語なら line up。

0315 □□□

My parents were very ＿＿＿＿ of my decision to study abroad, even though they knew they would miss me.

① supportive　② support
③ supporting　④ supported

① be supportive of ~
～を支持している；～に協力的である

訳 両親は、私がいなくなると寂しくなると分かっていながら、私の留学の決断をとても応援してくれた。

解説 be supportive of ~ で「～を支持している」。be 動詞の後ろで of を取るのは形容詞 supportive。support は動詞・名詞で、be の後ろに置いても of とつながらない。supporting・supported は分詞で、of を伴うこの形にならない（supported my decision なら of は不要）。

区別 **be supportive of ~ ⇔ be in favor of ~**　be in favor of ~ は「（案・意見）に賛成している」と賛否の立場を言う。be supportive of ~ は「（人・挑戦を）応援して助けになっている」と協力的な態度まで含む。見分け方：投票・議論の賛否なら in favor of、励まし・手助けなら supportive of。

0316 □□□

It was so early in the morning that the streets were completely empty ＿＿＿＿ people.

① of　② from
③ with　④ in

① be empty of ~　～がない；～が空である

訳 とても朝早かったので、通りには人がまったくいなかった。

解説 be empty of ~ で「～がない」。be full of ~ の反対で、中身は of で示す。from は be free from ~ と混同させるひっかけ、with は「～がある」側、in は empty と組んでこの意味にならない。

区別 **be empty of ~ ⇔ be full of ~**　反対の意味。be empty of ~ は「～がない」、be full of ~ は「～でいっぱい」。どちらも of で中身を示す。

0317 ☐☐☐

The old wooden houses in this village are _____ of Japan a hundred years ago.

① reminiscent ② reminded
③ reminding ④ remembered

① be reminiscent of ~ ～を思い起こさせる

訳 この村の古い木造の家々は、100 年前の日本を思い起こさせる。

解説 be 動詞の後ろに置いて「～を思わせる」と言えるのは形容詞 reminiscent（of）。reminded は「（人が）思い出させられた」で、主語が家では成り立たない。reminding は remind A of B の A（人）が必要。remembered of という形はない。

区別 **be reminiscent of ~ ⇔ remind A of B** be reminiscent of B は形容詞で、思い出す人を示さず「B を思わせる」。remind A of B は動詞で、思い出す人 A を目的語に置く。見分け方：be 動詞の後ろなら reminiscent of、人が目的語なら remind A of。

0318 ☐☐☐

The results of the new study are at _____ with earlier findings, so more research is needed.

① odd ② odds
③ ease ④ loss

② be at odds with ~
～と食い違っている；～と争っている

訳 その新しい研究の結果は以前の研究結果と食い違っているので、さらに研究が必要だ。

解説 「～と食い違っている」は be at odds with ~ で、odds は必ず複数形。odd は単数の形容詞で at の後ろに置けない。at ease with は「～に気楽でいる」で人が主語の表現。at a loss は「途方に暮れて」で a が必要、with も続かない。

区別 **be at odds with ~ ⇔ the odds are (that) ~** odds には「見込み・確率」の意味もあり、the odds are that ~ は「たぶん～だろう」、against all odds は「見込みが低いのに」。見分け方：at odds with の形なら対立・食い違い、the odds are なら確率。

0319 ☐☐☐

His frequent absences may be _____ of a deeper problem at home.

① indicate ② indication
③ indicative ④ indicating

③ be indicative of ~ ～を示している

訳 彼がたびたび欠席するのは、家庭のもっと深い問題の表れかもしれない。

解説 be の後ろで of ~ と結び「～を示している」になるのは形容詞 indicative。indicate は動詞の原形で be の後ろに置けない（may indicate なら可）。indication は名詞なので an indication of と冠詞が必要。indicating は進行形になるが、他動詞なので of を取らない。

区別 **be indicative of ~ ⇔ be indifferent to ~** be indifferent to ~ は「～に無関心だ」で、形が似ているが意味は全く違う。見分け方：indicative は of を取り「示している」、indifferent は to を取り「無関心」。

0320 □□□

Many viewers were ———— with the politician's rude comments.

① disgusted ② disgusting
③ disgust ④ to disgust

① be disgusted with ~

～にうんざりする；～に嫌悪感をもつ

訳 多くの視聴者は、その政治家の無礼な発言にうんざりした。

解説 主語の視聴者は「うんざりさせられる」側なので過去分詞 disgusted（be disgusted with ~）。disgusting は「（人を）むかつかせるような」で、発言など原因の方を説明する形。disgust は動詞の原形・名詞で were の後ろに置けない。to disgust は「むかつかせるために」となり with と合わない。

区別 **be disgusted with ~ ⇔ disgusting** disgusting は「（人を）むかつかせるような・ひどく不快な」で、原因の物事を説明する。disgusted は「むかついている」人の気持ち。見分け方：主語が感じる人なら -ed、原因なら -ing。

0321 □□□

Students who get a high score on the placement test are ———— from the first-year English course.

① exemption ② exempting
③ except ④ exempt

④ be exempt from ~ ～を免除されている

訳 クラス分けテストで高得点を取った学生は、1 年次の英語の授業を免除される。

解説 be の後ろで from と結び「～を免除されている」になるのは形容詞 exempt。exemption は名詞で、補語にすると「学生＝免除」となり意味が通らない。exempting は他動詞の -ing なので目的語が必要。except は前置詞「～を除いて」で be の後ろに置けない。

区別 **be exempt from ~ ⇔ be absent from ~** be absent from ~ は「～を欠席している」で、出るべきものに出ていない状態。be exempt from ~ は規則で「そもそも義務がない」。見分け方：許されて出なくてよいなら exempt。

0322 □□□

Ever since he won the contest, Ken has been so full of ———— that nobody wants to talk to him.

① himself ② his own
③ him ④ oneself

① be full of oneself

うぬぼれている；自分のことばかり考えている

訳 コンテストで優勝して以来、ケンはひどくうぬぼれているので、誰も彼と話したがらない。

解説 「うぬぼれている」は be full of oneself で、主語 Ken に合わせて himself にする。oneself は辞書の形のままで、実際の文では主語に合わせて変える。him だと Ken 以外の人を指してしまう。his own は後ろに名詞が必要。

区別 **be full of oneself ⇔ be beside oneself** be beside oneself (with ~) は「（喜び・怒りで）我を忘れる」。同じ oneself でも、full of oneself は「うぬぼれ」。見分け方：with joy / anger が続けば beside。

0323 □□□

Our teacher is very generous ＿＿＿＿ her time; she often stays after school to help us.

① to　② at
③ with　④ for

③ be generous with ~　～を惜しまない；～に気前がよい

訳 私たちの先生は時間を惜しまない人で、よく放課後に残って私たちを手伝ってくれる。

解説 「（物・時間）を惜しまない」は be generous with ~ で、with の後ろに与える物を置く。to は be generous to＋人（～に寛大だ）で、her time は人ではない。at は be good at（得意だ）の型、for は理由・対象を表し、generous とは組まない。

区別 **be generous with ~ ⇔ be generous to ~**　be generous to＋人は「（人）に寛大だ・気前がよい」。be generous with＋物 は「（物）を惜しまない」。見分け方：後ろが人なら to、与える物なら with。

0324 □□□

I am truly ＿＿＿＿ your kindness.

① grateful to　② appreciative of
③ thankful to　④ appreciate

② be appreciative of ~
～に感謝している；～を正しく評価している

訳 ご親切に心から感謝しております。

解説 物事（your kindness）への感謝は be appreciative of ~。grateful to と thankful to の to の後ろには人を置くので、kindness には grateful for のように for が必要。appreciate は動詞なので am の後ろには置けない（I truly appreciate your kindness. なら可）。

区別 **be appreciative of ~ ⇔ be grateful to［for］~**　be grateful to＋人 for＋物事 は「人に～のことで感謝する」で、to の後ろは人。be appreciative of の後ろは物事だけ。見分け方：人なら grateful to、物事なら appreciative of / grateful for。

0325 □□□

＿＿＿＿ with a dictionary and a strong will, she started reading novels in English.

① Arming　② To arm
③ Arms　④ Armed

④ be armed with ~
～で武装している；～を準備して備えている

訳 辞書と強い意志を武器に、彼女は英語で小説を読み始めた。

解説 「辞書と強い意志を身につけて（備えて）」は be armed with ~ の過去分詞を使った分詞構文 Armed with ~。Arming は他動詞なので arming herself with のように目的語が必要。To arm は「武装させるために」で目的語が足りない。Arms は名詞「武器」で、文頭に置いても文が成り立たない。

区別 **be armed with ~ ⇔ arms（武器）と arm（腕）**　arms は「武器」の意味もあり（nuclear arms / arms control）、in one's arms なら「腕の中に」。be armed with は武器・備えを持っている状態。文の内容で「腕」か「武器」かを見分ける。

0326 □□□

Japan is not ＿＿＿＿ with many natural resources, so it imports most of its oil.

① endowing　② endowment
③ endowed　④ endows

③ be endowed with ~ ～に恵まれている

訳 日本は天然資源に恵まれていないので、石油のほとんどを輸入している。

解説 受け身 be endowed with ~ で「～に恵まれている」。endowing は能動の進行形で、他動詞 endow は目的語が必要なので with が直接続かない。endowment は名詞「基金・才能」で is not の補語にすると意味が通らない。endows は be 動詞と並べられない。

区別 **be endowed with ~ ⇔ be equipped with ~** be equipped with ~ は「（設備・装備）が備え付けられている」で、後から取り付けた物。be endowed with は生まれつき・天から与えられた才能や資源。見分け方：機械・設備なら equipped。

0327 □□□

His ideas are interesting but too ＿＿＿＿ from the everyday lives of ordinary people.

① remove　② remotely
③ remote　④ distance

③ be remote from ~ ～からかけ離れている

訳 彼の考えは面白いが、普通の人々の日常生活からかけ離れすぎている。

解説 be 動詞の後ろで from と結び「～からかけ離れている」になるのは形容詞 remote。remove は動詞「取り除く」で are の後ろに置けない。remotely は副詞「わずかに」で補語にならない。distance は名詞で、too distance とは言わない（形容詞 distant なら可）。

区別 **be remote from ~ ⇔ far from ~** far from ~ は「～から遠い」のほか「決して～ではない」（far from perfect）の意味でもよく使う。be remote from は距離や関係が遠いことだけを言う。

確認テスト 3　形容詞の熟語｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

0284 新しい証拠によって、彼女がその犯罪に無実であることが分かった。
New evidence showed that she was innocent **of** the crime.

0285 多くの科学者がその新しい理論に懐疑的だ。
Many scientists are skeptical **of** the new theory.

0286 運転手はフェンスの損害に対して責任を負った。
The driver was liable **for** the damage to the fence.

0287 カンガルーやコアラはオーストラリア原産で、野生ではほかのどこにも住んでいない。
Kangaroos and koalas are native **to** Australia and live nowhere else in the wild.

0288 母は飛行機がひどく怖いので、いつも電車で旅行する。
My mother is terrified **of** flying, so she always travels by train.

0289 知らない人からのメールには用心したほうがいい。
You should be wary **of** emails from people you don't know.

0290 この安い腕時計の品質は、高価なものに匹敵する。
The quality of this cheap watch is comparable **to** that of expensive ones.

0291 いとこは新しいスマホゲームにはまっている。
My cousin is hooked **on** a new mobile game.

0292 電話を使うときは、ほかの乗客に配慮してください。
Please be mindful **of** other passengers when you use your phone.

0293 来年の経済について悲観的な専門家もいる。
Some experts are pessimistic **about** the economy next year.

0294 私たちの習慣の多くは歴史に深く根ざしている。
Many of our customs are deeply rooted **in** history.

0295 幼い子どもは大人より風邪をひきやすい。
Young children are more susceptible **to** colds than adults.

0296 政治指導者は自分の決定について説明責任を負わなければならない。
Political leaders must be accountable **for** the decisions they make.

0297 この充電器は古い電話には対応していない。
This charger is not compatible **with** older phones.

0298 その若いピアニストはスターになる運命にあるように見えた。
The young pianist seemed **destined** to become a star.

0299 この地方の方言は標準語とはかなり違う。
This local dialect is quite distinct **from** standard Japanese.

0300 成績のよい学生はその奨学金の資格がある。
Students with good grades are eligible **for** the scholarship.

0301 生徒たちはサマーキャンプの間、英語漬けだった。
The students were immersed **in** English during the summer camp.

0302 彼女は批判をまったく気にせず、全力を尽くし続けた。
She seemed immune **to** criticism and kept doing her best.

0303 長年支えてくれたことで、私はコーチに深く恩を感じている。
I am deeply **indebted** to my coach for his support over the years.

0304 彼女は今年奨学金を勝ち取ろうと心に決めている。
She is intent **on** winning the scholarship this year.

0305 彼はスマホに気を取られて、降りる駅を乗り過ごした。
He was so preoccupied **with** his phone that he missed his stop.

0306 これらの意見がすべての生徒を代表しているわけではない。
These opinions are not representative **of** all students.

0307 私たちは異なる意見をもつ人々にもっと寛容であるべきだ。
We should be more tolerant **of** people with different opinions.

0308 人々は長い戦争に疲れ果て、平和を望んでいた。
People were weary **of** the long war and wanted peace.

0309 彼のスピーチは長かったが、新しい考えはまったくなかった。
His speech was long but completely devoid **of** new ideas.

0310 その大学は医学の研究で名高い。
The university is renowned **for** its research in medicine.

0311 この家では台所が居間と分かれている。
In this house, the kitchen is separate **from** the living room.

0312 調査の結果、相手の運転手に責任があることが分かった。
The investigation showed that the other driver was at **fault** .

0313 この村では、よいレストランはめったにない。
In this village, good restaurants are **few** and far between.

0314 その通りには古い桜の木が立ち並んでいる。
The street is lined **with** old cherry trees.

0315 両親はパイロットになるという私の夢をいつも応援してくれている。
My parents have always been supportive **of** my dream to become a pilot.

0316 早朝、通りには車が1台もなかった。
Early in the morning, the streets were empty **of** cars.

0317 この温かいスープは母の料理を思い出させる。
This warm soup is reminiscent **of** my mother's cooking.

0318 彼の行動は言っていることと食い違っている。
His actions are at **odds** with what he says.

0319 高い熱は深刻な病気を示していることが多い。
A high fever is often indicative **of** a serious illness.

0320 多くの有権者がその政治家のうそに嫌気がさした。
Many voters were disgusted **with** the politician's lies.

0321 6歳未満の子どもは入場料が免除される。
Children under six are exempt **from** paying the entrance fee.

0322 賞を取ってから、彼はうぬぼれている。
Since winning the prize, he has been **full** of himself.

0323 おじは自分の時間を惜しまず、いつも近所の人を手伝っている。
My uncle is generous **with** his time and always helps his neighbors.

0324 村人たちはボランティアの懸命な働きに感謝していた。
The villagers were appreciative **of** the volunteers' hard work.

0325 彼女はその会社について多くの情報を準備して面接に臨んだ。
She went to the interview **armed** with lots of information about the company.

0326 彼女は優れた音楽の才能に恵まれている。
She is endowed **with** a great talent for music.

0327 彼の考えは一般の人々の生活の現実からかけ離れている。
His ideas are remote **from** the reality of ordinary people's lives.

CHAPTER 4

前置詞句・副詞句・接続詞的な熟語

in spite of・as a matter of fact・no sooner ~ than など。長文読解と整序問題で効きます。
No.0328〜0386（59 問）

問題

0328 □□□

She is as talented a pianist as _____ in this country.

① ever　② every
③ other　④ any

解答・解説（赤シートで隠せます）

④ as ~ as any ... どの...にも劣らず~

訳 彼女はこの国のどのピアニストにも劣らず才能がある。

解説 as ~ as any で「どの人にも劣らず~」。any はここで代名詞として単独で使える。ever は as ~ as ever lived の形なら可能だが、lived がないと文にならない。every は代名詞として単独では使えず、other も単独で「ほかの人」の意味にならない（others が必要）。

区別 **as ~ as any ... ⇔ as ~ as ever** as ~ as ever は「相変わらず~」（She is as busy as ever.）。as ~ as ever lived は「これまで生きた誰にも劣らない＝史上まれな」。as ~ as any は「どの...にも劣らない」。見分け方：比べる相手が「他の人・物」なら any、「以前の本人」なら ever。

0329 □□□

Don't worry about the interview. _____, you'll just have to apply to another company.

① At best　② At worst
③ At times　④ At once

② at (the) worst 最悪の場合でも；悪くても

訳 面接のことは心配しないで。最悪でも、別の会社に応募すればいいだけだよ。

解説 「心配しないで」と励まし、「最悪でも別の会社に応募するだけ」と続くので At worst。At best（せいぜい）だと「一番うまくいっても別の会社に応募」となり励ましにならない。At times は「時々」、At once は「すぐに」で、どちらも結果の範囲を示せない。

区別 **at (the) worst ⇔ at (the) best** at best は「せいぜい・よくても」で、良い結果にも上限があると言う（At best, we'll finish second.）。at worst は「最悪でも」。見分け方：期待をしぼませるなら at best、不安を和らげるなら at worst。

0330 ☐☐☐

She is polite to everyone, but she always keeps people ＿＿＿＿, so few know her well.

① in the distance　② at a distance
③ for a distance　④ on a distance

② at a distance 少し離れて；離れた所で

訳 彼女は誰に対しても礼儀正しいが、いつも人と距離を置いているので、彼女をよく知る人はほとんどいない。

解説 keep A at a distance で「A を遠ざける・距離を置く」。in the distance は「遠くの景色の中に」で物の位置を言う表現なので、keep people の後ろには合わない。for a distance は walk for a distance（しばらくの距離を歩く）のように移動の長さを表し、on a distance という言い方はない。

区別 **at a distance ⇔ in the distance** in the distance は「（景色の中の）遠くに・はるか遠方に」で、遠くにある物の位置を表す（a ship in the distance）。at a distance は「（一定の）距離をおいて」で、見る・保つ動作に付く。見分け方：遠くに見える物の場所なら in the distance、距離を置く・離れて見るなら at a distance。

0331 ☐☐☐

A bachelor is, ＿＿＿＿ definition, a man who has never been married.

① by　② in
③ for　④ on

① by definition 定義上；当然

訳 独身男性とは、定義上、一度も結婚したことのない男性のことだ。

解説 by definition で「定義上」。by は「～によって」で根拠を示す（by nature, by law と同じ）。in definition / for definition / on definition という言い方はなく、in は「～の中で」、for は目的、on は「～について・～に基づいて」でも definition とは組まない。

注意 ＝ necessarily。論説文で「そもそも～というものは」と論じるときに出る。

0332 ☐☐☐

＿＿＿＿, the old man sat by the window, waiting for a letter that never came.

① Day by day　② The day before
③ Day after day　④ Day off

③ day after day 来る日も来る日も

訳 来る日も来る日も、その老人は窓辺に座り、決して届かない手紙を待ち続けた。

解説 毎日同じように窓辺で待ち続けた、という単調な繰り返しなので Day after day。Day by day は「日ごとに（変わっていく）」で変化を表すため、同じ行動の繰り返しには合わない。The day before は「その前日」で一度きりになり、never came（決して来なかった）の長い待ち時間と合わない。day off は「休日」で副詞句として使えない。

区別 **day after day ⇔ day by day** day by day は「日ごとに・一日一日と」で、少しずつ変化していく様子（get better day by day）。day after day は「毎日毎日同じことが続く」。見分け方：変化・進み具合なら day by day、単調な繰り返しなら day after day。

0333 ☐☐☐

The school trip was perfect ＿＿＿＿ it rained on the last day.

① except for　② except that
③ besides　④ but for

② except that ~ ～ということを除けば

訳 修学旅行は、最終日に雨が降ったことを除けば完璧だった。

解説 空所の後ろが it rained という S V の節なので、接続詞の働きをする except that。except for と but for は前置詞句で、後ろは名詞（except for the rain / but for the rain）でなければならない。besides は「～に加えて」で例外を表さず、節も続けられない。

区別 **except that ~ ⇔ except for ~** except for の後ろは名詞・名詞句（except for the weather）。except that の後ろは S V（except that it rained）。見分け方：空所の後ろに主語と動詞があれば except that、名詞だけなら except for。

0334 ☐☐☐

To put it ＿＿＿＿ a nutshell, the project failed because of poor planning.

① in　② on
③ at　④ by

① in a nutshell 要するに；一言で言えば

訳 要するに、その計画は準備不足のせいで失敗したのだ。

解説 決まった形は (to put it) in a nutshell で「要するに」。殻の「中に」収めるイメージなので in。on a nutshell / at a nutshell / by a nutshell という言い方はなく、on は表面、at は一点、by は手段を表すため、どれも「中に収める」意味にならない。

注意 ＝ in short ＝ in a word ＝ to put it briefly。会話・エッセイで使う。

0335 ☐☐☐

We left home early in order ＿＿＿＿ we could catch the first train.

① to　② for
③ that　④ so

③ in order that ~ ～するために；～するように

訳 私たちは始発電車に乗れるように、早く家を出た。

解説 後ろに we could catch という S V が続くので、節を導く in order that。in order to は後ろに動詞の原形が必要で、we could とは続かない。in order for は in order for A to do（A が～するために）の形で、for の後ろに節は来ない。in order so という言い方はない。

区別 **in order that ~ ⇔ in order to do** in order to の後ろは動詞の原形（不定詞）、in order that の後ろは S V の節。見分け方：空所の後ろに主語があれば in order that、動詞の原形が直接来れば in order to。

0336 □□□

_____ safety, all passengers must keep their seat belts fastened.

① For the interests in
② Interested in
③ In the interests of
④ With interests of

③ in the interests of ~ ～のために；～の利益を考えて

訳 安全のため、乗客の皆さまはシートベルトを締めたままにしてください。

解説 「安全のために」は in the interests of safety。interest は「利益」で、of で対象を示す。For the interests in は前置詞の組み合わせが誤り。Interested in は「～に興味がある」で、文頭の分詞構文にすると「乗客が安全に興味を持って」となり、規則の理由にならない。With interests of という言い方もない。

区別 **in the interests of ~ ⇔ be interested in ~** be interested in は「～に興味がある」で人の気持ち。in the interests of は「～の利益のために」で、interest は「利益」の意味。見分け方：人が主語で関心を言うなら be interested in、規則や行動の目的を言うなら in the interests of。

0337 □□□

Many new safety rules were introduced _____ the serious accident at the factory.

① in the wake of ② in advance of
③ in place of ④ in favor of

① in the wake of ~ ～の後で；～の結果として

訳 工場での重大事故を受けて、多くの新しい安全規則が導入された。

解説 重大事故を受けて新しい安全規則ができた、という因果関係なので in the wake of（～の後で・結果として）。in advance of は「～に先立って」で、起きる前の事故に合わせて規則を作ることになり不自然。in place of は「～の代わりに」、in favor of は「～に賛成して」で、事故との関係を表せない。

区別 **in the wake of ~ ⇔ in advance of ~** in advance of は「～に先立って・～より前に」。in the wake of は「～の後で（その影響で）」で、時間の向きが逆。見分け方：出来事の前の準備なら in advance of、出来事を受けた後の変化なら in the wake of。

0338 □□□

Applicants must be not _____ than 18 years old, so a 17-year-old cannot apply.

① more ② less
③ fewer ④ other

② not less than ~ 少なくとも～

訳 応募者は 18 歳以上でなければならないので、17 歳の人は応募できない。

解説 17 歳は応募できないので下限は 18 歳＝「18 歳以上」の not less than。not more than だと「18 歳以下」になり、17 歳が応募できて後半と矛盾する。fewer は数えられる名詞の数に使い、年齢の比較には less を使う。other than は「～以外」で意味が通らない。

区別 **not less than ~ ⇔ no less than ~** no less than は「～も（の多さ）」と数の大きさに驚く気持ち（＝ as many / much as）。not less than は「少なくとも」と下限を客観的に示す。見分け方：驚き・強調なら no less than、条件・最低ラインなら not less than。

0339 ☐☐☐

The police officer was ＿＿＿＿ duty that day, but he still helped the injured man.

① out　② away
③ under　④ off

④ off duty 非番で；勤務時間外で

訳 その警察官はその日非番だったが、それでもけがをした男性を助けた。

解説 but he still helped（それでも助けた）とあるので「非番だった」の off duty。out of duty は「義務感から」という動機の意味（out of a sense of duty）で、be の補語として「非番」にはならない。away duty / under duty という言い方はない。

区別 **off duty ⇔ on duty** on duty は「勤務中で・当番で」、off duty は「非番で」。前置詞 on（接触・作動中）と off（離れて）の対比。見分け方：仕事をしている最中なら on、仕事から離れているなら off。

0340 ☐☐☐

The speaker went ＿＿＿＿ about his own success for an hour, and the audience got bored.

① on and on　② on and off
③ over and over　④ off the record

① on and on どんどん；延々と

訳 講演者は自分の成功について 1 時間も延々と話し続け、聴衆は退屈した。

解説 1 時間も自分の成功について話し続け聴衆が退屈した、という途切れない話なので go on and on about。on and off は「断続的に」で、聴衆が飽きる途切れない話し方と合わない。over and over は「何度も繰り返して」で、go の後に置いて about を続ける形にはならない。off the record は「非公式に・オフレコで」で意味が通らない。

区別 **on and on ⇔ on and off** on and off（＝ off and on）は「断続的に・時々」で、続いたり止まったりする。on and on は「途切れずにずっと」。見分け方：止まらず続くなら on and on、止まったり始まったりなら on and off。

0341 ☐☐☐

The number of foreign tourists visiting this town is ＿＿＿＿ the increase.

① in　② at
③ on　④ under

③ on the increase 増加して

訳 この町を訪れる外国人観光客の数は増加している。

解説 be on the increase で「増加している」。on は「～の状態・進行中」を表す（on the rise, on sale と同じ）。in the increase / at the increase / under the increase という言い方はなく、in は範囲、at は一点、under は「～の下で」を表すため、「増えつつある」という進行中の状態を表せない。

注意 ＝ on the rise。↔ on the decrease。

0342 □□□

Scarcely had I left home ＿＿＿＿ it began to rain heavily.

① than　② before
③ that　④ then

② scarcely ~ before ... ～するとすぐに...

訳 私が家を出るとすぐに、雨が激しく降り出した。

解説 Scarcely had S p.p. before / when ~ で「～するとすぐに...」。than は比較級 sooner と組んで no sooner ~ than となる語で、scarcely とは使えない。that は so ~ that などと組む語で、ここでは文がつながらない。then は副詞で、二つの節をつなぐ接続詞の働きができない。

区別 **scarcely ~ before ... ⇔ no sooner ~ than ...** 意味は同じ「～するとすぐ」だが、組む語が違う。no sooner は比較級 sooner なので than と組む。scarcely / hardly は before か when と組む。見分け方：sooner があれば than、scarcely / hardly なら before / when。

0343 □□□

My grandfather knows everything about history. He is, so to ＿＿＿＿, a walking dictionary.

① tell　② say
③ talk　④ mention

② so to say いわば

訳 祖父は歴史のことなら何でも知っている。いわば生き字引だ。

解説 「いわば」は so to say（または so to speak）。比喩「歩く辞書」の前に置く断りの挿入句。tell は to tell the truth の形で使い、so to tell とは言わない。talk / mention も so to ~ の形の独立不定詞を作らない。

区別 **so to say ⇔ that is to say** that is to say は「すなわち・言い換えれば」で、前の内容を正確に言い直す。so to say は「いわば」で、比喩的な言い方だと断る。見分け方：比喩・たとえの前なら so to say、正確な言い換えの前なら that is to say。

0344 □□□

He was so nervous before the interview that he kept walking ＿＿＿＿ the hallway.

① ups and downs　② up and down
③ on and off　④ over and over

② up and down 上下に；行ったり来たり

訳 彼は面接の前にとても緊張していて、廊下を行ったり来たりし続けた。

解説 緊張して廊下を「行ったり来たり」歩いたので、場所を直接目的語に取れる up and down。ups and downs は「浮き沈み」という名詞で、walk の後ろで動きを表せない。on and off は「断続的に」で、後ろに the hallway を続けられない。over and over は「何度も」で、やはり場所を目的語に取れない。

区別 **up and down ⇔ ups and downs** ups and downs は名詞で「（人生・景気の）浮き沈み」（life's ups and downs）。up and down は副詞・前置詞で動作の方向を表す。見分け方：have / go through の目的語なら ups and downs、動詞の動きを説明するなら up and down。

0345 □□□

Reading is to the mind ＿＿＿＿ exercise is to the body.

① which　② what
③ that　④ how

② A is to B what C is to D

AとBの関係はCとDの関係と同じ

訳 読書の精神に対する関係は、運動の肉体に対する関係と同じである。

解説 A is to B what C is to D で「A と B の関係は C と D の関係と同じ」。what は先行詞を含む関係代名詞で、what exercise is to the body が名詞節になる。which / that は先行詞が必要で、ここには先行詞がない。how は「どのように」で、この構文を作れない。

注意 A is to B as C is to D とも言う。日本語訳の順番が問われる。

0346 □□□

He is still a child, and ＿＿＿＿ he should be protected by adults.

① such as　② so such
③ such that　④ as such

④ as such　それなりに；それ自体は

訳 彼はまだ子どもであり、子どもとして大人に守られるべきだ。

解説 前の a child を受けて「子どもとして（なので）守られるべきだ」なので as such。such as は「たとえば～のような」で、後ろに例が来る形なので、ここでは文が成り立たない。so such という言い方はない。such that は「～するようなもの・～するほど」で節を導くが、前に名詞（such）として受ける形にならない。

区別 **as such ⇔ such as ～**　such as は「たとえば～のような」で、例を挙げる。as such は前の名詞を受けて「そういうものとして」。語順が逆になるだけで意味は無関係。見分け方：後ろに具体例が並ぶなら such as、前の名詞を言い換えるなら as such。

0347 □□□

Scientists are working hard, but no one has ＿＿＿＿ yet found a cure for the disease.

① as　② so
③ but　④ for

① as yet　（否定文で）まだ；今のところ

訳 科学者たちは懸命に取り組んでいるが、その病気の治療法はまだ誰も見つけていない。

解説 has as yet ～（今のところまだ～ない）の形で、as yet は have と過去分詞の間にも置ける。so yet / but yet / for yet という組み合わせはなく、so は程度、but は逆接、for は理由・期間を表すため、「今のところまだ」の意味にならない。

区別 **as yet ⇔ still**　still は肯定文で「まだ（続いている）」（It's still raining.）。as yet は否定文で「今までのところ～ない」。否定文で still を使うと「まだ～していない（不満・意外）」の強い響きになる（He still hasn't come.）。見分け方：否定文で中立的に「今のところ」なら as yet。

0348 ☐☐☐

The boy was lost in the crowd and shouted his mother's name at the _____ of his voice.

① top ② height
③ end ④ bottom

① at the top of one's voice 声を限りに；大声で

訳 その男の子は人混みの中で迷子になり、声を限りに母親の名前を叫んだ。

解説 「声を限りに」は at the top of one's voice。height は at the height of ~（～の最中・絶頂に）の形で使い、voice とは組まない。end は at the end of（～の終わりに）で意味が違う。bottom は「一番下」で、大声の意味と逆になる。

区別 **at the top of one's voice ⇔ in a loud voice** in a loud voice は単に「大きな声で」。at the top of one's voice は「声を限りに・最大の声で」と程度が強い。前置詞も in と at で違う。見分け方：最大限なら at the top of、ただ大きいだけなら in a loud voice。

0349 ☐☐☐

In this park, the deer wander around _____ will.

① by ② with
③ of ④ at

④ at will 意のままに；自由に

訳 この公園では、鹿が自由に歩き回っている。

解説 at will で「意のままに・自由に」。by will は「遺言で」の意味になり、ここでは合わない。with / of は will と組んで「自由に」の意味にならない。of を使うのは of one's own free will（自分の意志で）の形で、one's own free が必要。

区別 **at will ⇔ of one's own free will** of one's own free will は「自分の自由意志で（強制されずに）」で、行動の動機を表す。at will は「好きなときに好きなように」で、自由に操れることを表す。前置詞も at と of で違う。

0350 ☐☐☐

After she started living with a host family, her English improved _____ leaps and bounds.

① in ② with
③ at ④ by

④ by leaps and bounds 急速に；とんとん拍子に

訳 ホストファミリーと暮らし始めてから、彼女の英語は飛躍的に上達した。

解説 by leaps and bounds で「飛躍的に」。by は変化の程度・仕方を表す（by degrees＝徐々に と同じ）。in leaps and bounds は誤用として扱われ、入試では by が正解。with / at も leaps and bounds と組まない。

注意 ＝ rapidly ＝ very quickly。improve / grow と一緒に使う。

0351 ☐☐☐

_____ my part, I have no objection to the new plan.

① On ② In
③ At ④ For

④ for one's part ～としては

訳 私としては、新しい計画に異論はありません。

解説 文頭で「私としては」と意見を述べるのは For my part。On my part は名詞の後ろで「私の側の」と行為者を示す表現（a mistake on my part）で、文頭で意見を言う形にならない。In part は「一部は」で my が入らず、At my part という言い方もない。

区別 **for one's part ⇔ on one's part** on one's part は「～の側の・～による」で、名詞の後ろに置いて誰の行為かを示す（a mistake on my part＝私の側のミス）。for one's part は文頭で「～としては」と意見を述べる。見分け方：文頭で意見を言うなら for、名詞の後ろで行為者を示すなら on。

0352 □□□

The plants in the garden died _____ want of water during the long, hot summer.

① in　② for
③ by　④ with

② for want of ~ ～が不足しているために；～がないので

訳 長く暑い夏の間、水が不足していたために庭の植物は枯れてしまった。

解説 for want of ~ で「～が不足して（いたために）」。植物が枯れた理由を表している。in want of は「～を必要としている」で状態を表し、died の理由にならない。by want of / with want of という言い方はない。

区別 **for want of ~ ⇔ in want of ~** in want of は「～を必要としている」（＝ in need of）で、状態を表す。for want of は「～がないので」と理由を表す。見分け方：何かが原因で結果が起きたなら for、何かが必要な状態なら in。

0353 □□□

My father is very busy, so he seldom, if _____, eats breakfast with us.

① ever　② any
③ never　④ not

① if ever たとえあるにしても

訳 父はとても忙しいので、私たちと朝食を食べることはめったにない（たとえあるにしてもごくまれだ）。

解説 seldom（めったに～ない）と組んで頻度の低さを強めるのは if ever。if any は few / little と組んで数量の少なさを表すので、eats breakfast という動作の回数には合わない。if never / if not は「めったにないが、たとえあるにしても」の意味にならず、if not は「～でないにしても」と別の意味になる。

区別 **if ever ⇔ if any** if any は「たとえあるにしても」で、数量（名詞）の少なさを表す（few, if any, mistakes）。if ever は頻度（回数）の少なさを表す（seldom, if ever）。見分け方：little / few と名詞なら if any、seldom / rarely と動詞なら if ever。

0354 □□□

Thank you for applying. You will be informed of the results in _____ course.

① good　② the
③ short　④ due

④ in due course そのうちに；時が来れば

訳 ご応募ありがとうございます。結果は追ってお知らせします。

解説 「結果は追ってお知らせします」の決まり文句は in due course。in good course という言い方はなく、in the course だけでは of ~ が続かないと文にならない。short は in short（要するに）や in short order（すぐに）の形で使い、in short course とは言わない。

区別 **in due course ⇔ in the course of ~** in the course of は「～の間に・～の過程で」（in the course of the meeting）で、後ろに名詞が来る。in due course は単独で「そのうちに」。見分け方：後ろに of ＋名詞があれば in the course of、なければ in due course。

0355 □□□

Would you be so kind ＿＿＿＿ to open the window? It's very hot in here.

① as　② that
③ enough　④ so

① so ~ as to ... ...するほど～；～にも...する

訳 窓を開けていただけませんか。ここはとても暑いので。

解説 so ~ as to do で「...するほど～」、Would you be so kind as to ~? は丁寧な依頼。so ~ that は後ろに S V が必要で、to open とは続かない。enough は kind enough to のように使い、so と一緒には使えない。so を重ねる形もない。

区別 **so ~ as to ... ⇔ so ~ that ...** so ~ that の後ろは S V の節（so tired that I fell asleep）。so ~ as to の後ろは動詞の原形（不定詞）。見分け方：空所の後ろが to ＋原形なら as、主語と動詞なら that。

0356 □□□

I've told you ＿＿＿＿ not to leave the front door unlocked, but you never listen.

① from time to time　② at times
③ in time　④ time after time

④ time after time 何度も；毎回

訳 玄関の鍵をかけずに出ないように何度も言ったのに、君はちっとも聞かないね。

解説 「何度も言ったのに聞かない」というううんざりした気持ちなので time after time。from time to time / at times は「時々」で、言い聞かせた回数が少ないことになり、「決して聞かない」への不満が弱まり不自然。in time は「間に合って・やがて」で回数を表さない。

区別 **time after time ⇔ from time to time** from time to time は「時々」で、頻度は低め。time after time は「何度も何度も」で、頻度が高く繰り返しを強調する。見分け方：うんざりするほど繰り返すなら time after time、たまになら from time to time。

0357 □□□

It probably won't rain today, but take an umbrella just to be on the ＿＿＿＿ side.

① safe　② bright
③ right　④ other

① to be on the safe side 念のため；用心して

訳 今日はたぶん雨は降らないだろうけど、念のため傘を持って行きなさい。

解説 雨は降らなさそうだが傘を持って行くのは「念のため」なので to be on the safe side。bright side は look on the bright side（明るい面を見る）の形で、念のための意味にならない。the right side / the other side は単に「右側・反対側」で熟語にならない。

区別 **to be on the safe side ⇔ look on the bright side** look on the bright side は「明るい面を見る・物事を前向きに考える」。to be on the safe side は「安全な側にいるために＝念のため」。同じ on the ~ side の形だが意味は違う。

0358 □□□

Buses leave the station ＿＿＿＿ intervals of ten minutes during the day.

① in　② by
③ at　④ on

③ at intervals 時々；間隔をおいて

訳 日中、バスは 10 分おきに駅を出発する。

解説 at intervals of ~ で「～の間隔で・～おきに」。in / by / on は intervals と組んでこの意味を作らない。in intervals は誤用とされ、by は差（by ten minutes＝10 分差で）、on は日付や接触を表すため、間隔を示せない。

区別 **at intervals ⇔ by turns** by turns は「交代で・かわるがわる」で、複数の人や状態が交互になる。at intervals は同じことが間を空けて繰り返される。見分け方：人が交代するなら by turns、時間・距離の間隔なら at intervals。

0359 □□□

The two nurses watched over the sick child ＿＿＿＿ turns throughout the night.

① by　② on
③ at　④ for

① by turns 交代で；かわるがわる

訳 二人の看護師は、一晩中交代で病気の子どもを見守った。

解説 二人の看護師が「交代で」見守ったので by turns。on turns / at turns / for turns という言い方はなく、on は接触・状態、at は一点、for は期間や目的を表すため、「順番に入れ替わって」の意味にならない。

区別 **by turns ⇔ in turn** in turn は「順番に（一人ずつ）」のほか「今度は・その結果」（He helped me, and I in turn helped him.）の意味がある。by turns は「交互に」で、二つ以上のことが入れ替わることに重点がある。

0360 □□□

The new medicine didn't help at all. If ＿＿＿＿, my headache got worse.

① anything　② ever
③ any　④ not

① if anything どちらかと言えば；むしろ

訳 新しい薬はまったく効かなかった。むしろ頭痛はひどくなった。

解説 「まったく効かなかった、むしろ悪化した」と前の内容を修正しているので If anything。If ever は seldom などと組んで頻度の低さを表す。If any は few / little と組んで数量の少なさを表す。If not は「そうでなければ」で、ここでは意味がつながらない。

区別 **if anything ⇔ if any** if any は「たとえあるにしても（少ない）」で、few / little と組んで数量の少なさを表す。if anything は「むしろ」と前の内容を修正する。見分け方：数量が少ないことなら if any、「それどころか逆に」なら if anything。

0361 □□□

The baseball game was canceled ＿＿＿＿ consequence of the heavy rain.

① as　② in
③ on　④ for

② in consequence of ~ ～の結果として

訳 大雨のため、野球の試合は中止になった。

解説 in consequence of ~ で「～の結果として」。as を使うなら as a consequence of と a が必要で、as consequence of とは言えない。on consequence / for consequence という言い方はない。

区別 **in consequence of ~ ⇔ in consequence** in consequence（＝ as a result）は単独で「その結果」と前の文を受ける副詞。in consequence of ~ は後ろに原因の名詞が続く前置詞句。見分け方：後ろに名詞があれば of が必要。

0362 □□□

Many residents think the tall new building is not ＿＿＿＿ keeping with the old houses around it.

① at　② on
③ for　④ in

④ in keeping with ~ ～と調和して；～に一致して

訳 新しい高層ビルは周りの古い家並みと調和していない、と多くの住民が考えている。

解説 in keeping with ~ で「～と調和して」。周りの古い家並みと合っていない、と言っている。at keeping / on keeping / for keeping with という形はない（for keeps は「永久に」という別の口語）。in harmony with と同じ in を使う。

区別 **in keeping with ~ ⇔ keep up with ~** keep up with は「（遅れずに）～についていく」（keep up with the class）。in keeping with は「～と調和して」。どちらも keep と with を使うが意味は無関係。見分け方：前に in があれば調和、keep up なら遅れずについていく。

0363 □□□

Please put these files in ＿＿＿＿ by date so that we can find them easily.

① order　② line
③ turn　④ case

① in order 順序正しく；整って

訳 見つけやすいように、これらのファイルを日付順に整理してください。

解説 日付順に「整理する」は put A in order（by date）。in line は「一列に並んで」で人や物の列に使い、ファイルを日付順に整理する意味にならない。in turn は「順番に・今度は」で、put の補語にならない。in case は「～の場合に備えて」。

区別 **in order ⇔ out of order** out of order は「故障して」（The machine is out of order.）、「順番が狂って」。in order は「整って・正常で」。見分け方：使えない・乱れているなら out of、整っている・問題ないなら in。

0364 □□□

He wrote down her phone number lest he ＿＿＿＿ forget it.

① should　② would
③ did　④ will

① lest S (should) ~
～しないように；～するといけないから

訳 彼は忘れないように、彼女の電話番号を書き留めた。

解説 lest S should ＋原形 で「～しないように」。lest の後ろは should か動詞の原形（仮定法現在）を使う。would / will は lest の後ろの決まった形ではなく、did は過去形で lest 節には使わない。lest 自体に否定の意味があるので not も入れない。

区別 **lest S (should) ~ ⇔ so that S won't ~** so that S won't / wouldn't ~ も「～しないように」だが、否定語 not を自分で入れる。lest S should ~ は lest に否定が含まれるので not は不要。見分け方：lest の後ろに not があれば誤り。

0365 □□□

Health is no ＿＿＿＿ important than wealth; both are necessary for a happy life.

① more　② longer
③ other　④ less

④ no less A than B　Bと同様にAである

訳 健康は富と同じくらい大切だ。どちらも幸せな人生に必要なのだ。

解説 「どちらも幸せな人生に必要」と続くので、両方を肯定する no less A than B（富と同様に健康も大切）。no more important than だと「富と同様に健康も大切ではない」と両方を否定し、後半と矛盾する。no longer（もはや～ない）、no other（ほかの～ない）は than と組んでこの意味にならない。

区別 **no less A than B ⇔ no more A than B**　no more A than B は「B と同様に A ではない」と両方を否定する（くじらの構文：A whale is no more a fish than a horse is.）。no less A than B は両方を肯定する。見分け方：less なら肯定、more なら否定。

0366 □□□

I've been studying French ＿＿＿＿ for ten years, so I'm still not very good at it.

① by and large　② once and for all
③ off and on　④ out and about

③ off and on　断続的に；時々

訳 私はフランス語を 10 年間途切れ途切れに勉強してきたので、まだあまり上手ではない。

解説 10 年勉強しているのにまだ上手でないのは、途切れ途切れにしかやっていないからなので off and on（断続的に）。by and large は「概して」、once and for all は「きっぱりと・これを最後に」、out and about は「（病後に）出歩いて」で、どれも勉強の続け方を表さない。

区別 **off and on ⇔ on and on**　on and on は「延々と・止まらずに」。off and on は「止まったり始まったりして」。見分け方：途切れがあるなら off and on、途切れなく続くなら on and on。

0367 □□□

If we expect students to be on time for class, then by the same ＿＿＿＿, teachers should be on time too.

① sign　② mark
③ coin　④ token

④ by the same token　同じ理由で；同様に

訳 生徒に授業に遅れないよう求めるのなら、同じ理屈で先生も時間を守るべきだ。

解説 生徒に求める理屈を先生にも当てはめているので、「同じ理屈で」の by the same token。sign / mark / coin はどれも「しるし・硬貨」と token に近い意味の語だが、by the same ~ の決まった形を作らない（the other side of the coin は「物事の別の面」）。

区別 **by the same token ⇔ on the other hand**　on the other hand は「一方では」で、前と対照的なことを述べる。by the same token は「同じ理屈で」で、前と同じ方向のことを述べる。見分け方：逆の内容が続くなら on the other hand、同じ論理が続くなら by the same token。

0368 □□□

People came from far and _____ to see the famous fireworks festival.

① away ② long
③ deep ④ wide

④ far and wide 広く；至る所に

訳 その有名な花火大会を見ようと、各地から人々がやって来た。

解説 「各地から（遠く広く）人が集まった」は from far and wide。far and away は「断然・はるかに」で、far and away the best のように比較を強める語で、from の後ろには置けない。far and long / far and deep という決まった形はない。

注意 ＝ everywhere。from far and wide（各地から）。

0369 □□□

The company's profits last year were in excess _____ ten million dollars.

① to ② over
③ of ④ than

③ in excess of ~ ～を超えて

訳 その会社の昨年の利益は 1000 万ドルを超えた。

解説 in excess of ~ で「～を超えて」。超える基準の数量は of で示す。to は to excess（過度に）の形で、数字の前には置かない。over / than は単独なら more than / over ten million と言えるが、in excess の後ろには続かない。

区別 **in excess of ~ ⇔ to excess** to excess は「過度に・度を越して」で、drink to excess（飲みすぎる）のように動詞の後ろに置く。in excess of は後ろに数量が続き「～を超えて」。見分け方：後ろに数字があれば in excess of、動作の度合いなら to excess。

0370 □□□

I was angry with him, but when he made that funny face, I laughed in spite of _____.

① me ② mine
③ myself ④ I

③ in spite of oneself 思わず；我知らず

訳 私は彼に腹を立てていたが、彼があのおかしな顔をしたとき、思わず笑ってしまった。

解説 怒っていたのに「思わず」笑ってしまったので in spite of oneself。主語 I に合わせた再帰代名詞 myself が必要。me だと「私にもかかわらず」で意味をなさず、mine（私のもの）や I（主格）は前置詞の後ろに置けない、またはこの熟語を作らない。

区別 **in spite of oneself ⇔ in spite of ~** in spite of ~ は「～にもかかわらず」で、後ろに名詞が来る（in spite of the rain）。in spite of oneself は「思わず」で、再帰代名詞が来る決まった形。見分け方：後ろが -self なら「思わず」。

0371 □□□

The future of the company is now in the hands _____ its young employees.

① of ② by
③ with ④ for

① in the hands of ~ ～の手中に；～に管理されて

訳 会社の将来は今や若い社員たちの手に委ねられている。

解説 in the hands of ~ で「～の手中に・～に委ねられて」。持ち主は of で示す。by は受け身の行為者、with は「～と一緒に」、for は「～のために」で、in the hands と組んで誰の手中かを示さない。

区別 **in the hands of ~ ⇔ out of one's hands** out of one's hands は「～の手を離れて（管理できない）」で、自分にはどうにもできないこと。in the hands of は「～の管理下に」。in / out of で向きが逆。

0372 □□□

The jacket looks nice, but it's a bit on the expensive _____ for a student like me.

① part ② side
③ line ④ edge

② on the ~ side　やや～気味で；どちらかと言えば～で

訳 そのジャケットは素敵だが、私のような学生にはちょっと高めだ。

解説 on the ＋形容詞＋side で「やや～気味で」。高い・安いの「側」に寄っているというイメージなので side。part / edge / line はこの形を作らない。a bit と組み合わせて「ちょっと高め」と柔らかく言うのが典型。

区別 **on the ~ side ⇔ on one's side**　on one's side は「～の味方で」（I'm on your side.）。on the ～ side は間に形容詞が入って「～気味で」。見分け方：間に所有格があれば味方、形容詞があれば程度。

0373 □□□

It was out of _____ for Ken to be so rude; he is usually very polite.

① personality
② characteristic
③ character
④ nature

③ out of character
（その人）らしくない；いつもと違って

訳 ケンがあんなに失礼な態度を取るのは彼らしくなかった。彼は普段とても丁寧だ。

解説 「（その人）らしくない」は out of character。後半の he is usually very polite（普段はとても丁寧だ）が、失礼な態度が彼らしくないことを示す。personality / nature は意味が近くても out of と組む決まった形がない。characteristic は形容詞・可算名詞で、この形にならない。

区別 **out of character ⇔ characteristic of ~**　out of character は「その人らしくない」と、人柄から外れた行動。characteristic of は「～に特有の・～らしい」と典型的な特徴。見分け方：意外な行動なら out of character、いかにもそれらしい特徴なら characteristic of。

0374 □□□

Look! She has the same bag _____ I do. We must have bought it at the same shop.

① like ② than
③ as ④ with

③ the same ~ as ...　...と同じ～

訳 見て！　彼女、私と同じバッグを持ってる。きっと同じ店で買ったんだね。

解説 the same ~ as ... で「...と同じ～」。後ろに I do（＝I have）という節が続いても as で受けられる。like は「～のような」で the same と組まない。than は比較級の後ろで使う語。with は前置詞で、後ろに I do という節を続けられない。

区別 **the same ~ as ... ⇔ the same ~ that ...**　伝統的な文法では、the same ~ as は「同じ種類の物」、the same ~ that は「同一のまさにその物」（the same watch that I lost＝なくしたまさにその時計）と区別される。入試では as が基本で、後ろに do などの代動詞があれば as を選ぶ。

0375 □□□

Thank you for coming to the meeting at such short ＿＿＿＿. I only called you an hour ago.

① time　② call
③ notice　④ note

③ at short notice 急に；直前の知らせで

訳 こんなに急なお知らせだったのに、会議に来てくださってありがとうございます。1時間前にお電話したばかりなのに。

解説 1時間前に連絡したばかりなのに来てくれたので「こんなに急な知らせで」の at such short notice。at such short time / call / note という決まった形はない（in no time は「すぐに」）。予告・通知を表すのは notice。

区別 **at short notice ⇔ until further notice** until further notice は「追って通知があるまで」（The shop is closed until further notice.）。at short notice は「急な知らせで」。どちらも notice（通知）を使うが、時間の向きが違う。

0376 □□□

Every meal, ＿＿＿＿ it breakfast or dinner, should be eaten slowly.

① is　② be
③ being　④ was

② be it A or B A であれ B であれ

訳 どの食事も、朝食であれ夕食であれ、ゆっくり食べるべきだ。

解説 be it A or B で「A であれ B であれ」。be は仮定法現在の原形で、倒置の形になる。is it / was it は疑問文の語順で、ここでは譲歩の意味にならない。being it という形もない。whether it is breakfast or dinner と書き換えられる。

区別 **be it A or B ⇔ whether A or B** whether it is A or B は同じ意味の普通の言い方。be it A or B はそれを倒置で短くした硬い形。書き換え問題で両方を対応させられるようにする。

0377 □□□

＿＿＿＿ ourselves, I don't think he'll get the job. Please don't tell anyone I said that.

① Between　② For
③ By　④ With

① between ourselves ここだけの話だが

訳 ここだけの話だけど、彼はその仕事に就けないと思う。私がそう言ったことは誰にも言わないでね。

解説 「誰にも言わないで」と続くので、「ここだけの話だが」の Between ourselves。By ourselves は「私たちだけで・独力で」、For ourselves は「自分たちのために」、With ourselves も秘密の打ち明けの意味にならない。

区別 **between ourselves ⇔ by oneself** by oneself は「一人で・独力で」（I did it by myself.）。between ourselves は「ここだけの話」。どちらも -selves / -self を使うが意味は違う。

0378 □□□

We waited under the tree for a while. ＿＿＿＿ and by, the rain stopped and the sun came out.

① Little　② Side
③ By　④ Day

③ by and by やがて；そのうちに

訳 私たちはしばらく木の下で待っていた。やがて雨がやんで、太陽が出てきた。

解説 しばらく待つと「やがて」雨がやんだので By and by。little by little（少しずつ）、side by side（並んで）、day by day（日ごとに）は by を真ん中に置く形で、Little and by / Side and by / Day and by という言い方はない。

区別 **by and by ⇔ by and large** by and large は「概して・全体として」（＝ on the whole）で、時間の意味はない。by and by は「やがて」。見分け方：時間の経過なら by and by、全体的な評価なら by and large。

0379 □□□

I often see that man at the station, so I know him ＿＿＿＿, but I have no idea what his name is.

① at first sight　② by name
③ by sight　④ by heart

③ by sight　顔だけは；見て

訳 駅でその男性をよく見かけるので顔は知っているが、名前は全く分からない。

解説 駅で見かけるだけで名前は知らないので know him by sight（顔は知っている）。by name は「名前は知っている」で後半の「名前は全く分からない」と矛盾する。at first sight は「一目で」で know と組んで顔見知りの意味にならない。by heart は「暗記して」で人には使わない。

区別 **by sight ⇔ by name**　know A by name は「名前は知っている（顔は知らない・会ったことはない）」。know A by sight は「顔は見て知っている（名前や人柄は知らない）」。見分け方：見かけただけなら by sight、名前を聞いたことがあるだけなら by name。

0380 □□□

I have no idea where Tom is now. ＿＿＿＿, he might be living on the other side of the world.

① For all I know　② As far as I know
③ As long as I know　④ All I know

① for all I know　よくは知らないが；ひょっとしたら

訳 トムが今どこにいるのか全然分からない。ひょっとしたら、地球の反対側に住んでいるかもしれない。

解説 全く分からない状態で「ひょっとしたら～かも」と述べるので For all I know。As far as I know は「私の知る限り」と知っている情報に基づく言い方で、前の I have no idea と矛盾する。As long as I know は「私が知っている間は」で意味が通らない。All I know は All I know is that ~（私が知っているのは～だけ）の形でないと文にならない。

区別 **for all I know ⇔ as far as I know**　as far as I know は「私の知る限りでは」と、ある程度の情報に基づいて述べる。for all I know は「（私は何も知らないので）もしかしたら～かもしれない」と、知らないことを強調する。見分け方：根拠のない可能性を may / might で述べるなら for all I know。

0381 □□□

Thousands of people gathered in the square in ＿＿＿＿ of the government's ban on protests.

① terms　② accordance
③ compliance　④ defiance

④ in defiance of ~　～を無視して；～に逆らって

訳 何千人もの人々が、政府の抗議集会禁止令に逆らって広場に集まった。

解説 禁止令を無視して集まったので in defiance of（～に逆らって）。accordance と compliance は in accordance with / in compliance with（～に従って）と with を取る形で、意味も「従う」と逆になる。in terms of は「～の観点で」で、禁止令に対する行動を表せない。

区別 **in defiance of ~ ⇔ in spite of ~**　in spite of ~ は「～にもかかわらず」で、後ろに天候・困難など何でも置ける。in defiance of ~ は後ろが命令・規則・権威で、それにわざと逆らう。見分け方：雨・病気など逆らう相手でないものなら in spite of。

0382 ☐☐☐

The new stadium will cost in the _____ of 300 million dollars.

① vicinity　② view
③ place　④ case

① in the vicinity of ~ ～の近くに；およそ～

訳 新しいスタジアムの建設費は、およそ 3 億ドルになるだろう。

解説 数値の前に置いて「およそ～」を表すのは in the vicinity of ~。in view of ~ は「～を考慮して」、in place of ~ は「～の代わりに」、in case of ~ は「～の場合には」で、どれも費用の額を「およそ」で示す意味にならない（しかも普通は the を付けない）。

区別 **in the vicinity of ~ ⇔ in view of ~** in view of ~ は「～を考慮して・～を見て」で理由を表す。in the vicinity of ~ は場所の近さ・数値の近さ。どちらも in ... of ~ の形なので、意味と the の有無で区別する。

0383 ☐☐☐

Food prices have been rising _____, so many families are trying to save money.

① of old　② at late
③ of late　④ in lately

③ of late 最近

訳 最近食料品の値段が上がり続けているので、多くの家庭が節約しようとしている。

解説 現在完了進行形と一緒に「最近」を表すのは of late（= lately）。at late / in lately という形はない。of old は「昔は」で、現在まで続く値上がりを表す現在完了とは合わない。

区別 **of late ⇔ late / lately** late は副詞で「遅く」（come home late）、lately は「最近」。of late は lately と同じ「最近」。late と lately の取り違えがよく問われ、of late の形も合わせて出る。

0384 ☐☐☐

The novel was published in 1950 and has been out of _____ for decades, so you can only find used copies.

① press　② stock
③ date　④ print

④ out of print 絶版で

訳 その小説は 1950 年に出版され、何十年も前から絶版になっているので、古本しか見つからない。

解説 何十年も新品がなく古本しか手に入らないので、出版社が発行をやめた out of print（絶版で）。out of stock は「（店の）在庫切れ」で、入荷を待てば新品が買える一時的な状態を表し、何十年も続く話には合わない。out of date は「時代遅れの」で古本しかない理由にならない。out of press という言い方はない。

区別 **out of print ⇔ out of stock** out of stock は「（店に）在庫がない」で、入荷すれば買える一時的な状態。out of print は「出版社が発行をやめた＝絶版」で、新品はもう手に入らない。見分け方：もう印刷されないなら print。

0385 ☐☐☐

She got the job on the ＿＿＿＿ of a strong recommendation from her former boss.

① strength　② power
③ force　④ might

① on the strength of ~ ～を根拠に；～に基づいて

訳 彼女は前の上司の強い推薦のおかげで、その仕事に就くことができた。

解説 on the strength of ~ で「～を根拠に・～のおかげで」と決まった形。power・force・might も「力」だが、on the ~ of の形で根拠を表す慣用句にはならない。前の上司の強い推薦が採用の決め手になった、という文脈に合う。

区別 **on the strength of ~ ⇔ on the basis of ~** ほぼ同じ意味だが、on the basis of ~ は判断の「基準・根拠」を中立的に言う。on the strength of ~ は「（その推薦・実績の）力に後押しされて」決めた、と根拠の説得力に重点がある。見分け方：決め手となった推薦・評判なら strength がよく合う。

0386 ☐☐☐

The big fire last winter destroyed upwards ＿＿＿＿ two hundred houses.

① to　② of
③ from　④ by

② upwards of ~ ～以上；～を超える

訳 去年の冬の大火事で、200軒を超える家が焼けた。

解説 upwards of ～で「～以上」。数の前には of を置く。up to（最大～まで）と混同して to を選ばないこと。from / by は upwards と組んでこの意味を作らない。

区別 **upwards of ~ ⇔ up to ~** up to は「最大～まで」で上限を示す（up to 30 people＝30人まで）。upwards of は下限を示し「～を超える」。見分け方：「それより多い」なら upwards of、「それより多くはない」なら up to。

確認テスト 4　前置詞句・構文｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

0328 彼はクラスのどの生徒にも劣らず勤勉だ。
He is as hard-working as **any** student in his class.

0329 最悪の場合でも、最初からやり直せばいいだけだ。
At **worst**, we will have to start again from the beginning.

0330 その山は少し離れて見ると美しい。
The mountain looks beautiful at a **distance**.

0331 三角形は定義上、辺が三つある。
A triangle, by **definition**, has three sides.

0332 彼は来る日も来る日もピアノを練習した。
He practiced the piano day **after** day.

0333 一度雨が降ったことを除けば、旅行は完璧だった。
The trip was perfect, **except** that it rained once.

0334 要するに、もっと頑張る必要があるということだ。
In a **nutshell**, we need to work harder.

0335 よい席を取るために早めに出た。
We left early in **order** that we might get good seats.

0336 安全のため、シートベルトを締めたままにしてください。
In the **interests** of safety, please keep your seat belt fastened.

0337 石油危機の後、物価が急に上がった。
Prices rose sharply in the **wake** of the oil crisis.

0338 少なくとも8時間の睡眠が必要だ。
You need not **less** than eight hours of sleep.

0339 その警察官は事故を見たとき非番だった。
The police officer was **off** duty when he saw the accident.

0340 スピーチは延々と続き、ついにはみんな退屈した。
The speech went on **and** on until everyone got bored.

0341 この地域では犯罪が増えている。
Crime is on the **increase** in this area.

0342 彼が家を出たとたんに雪が降り出した。
Scarcely had he left the house before it started snowing.

0343 その猫はいわば我が家のボスだ。
The cat is, so to **say**, the boss of our house.

0344 子どもたちは喜んで飛びはねた。
The children jumped up and ___down___ with joy.

0345 読書と心の関係は、運動と体の関係と同じだ。
Reading is to the mind ___what___ exercise is to the body.

0346 彼は子どもなので、子どもとして扱われるべきだ。
He is a child, and should be treated as ___such___ .

0347 今のところまだ何も決まっていない。
No decision has been made as ___yet___ .

0348 少年は声を限りに助けを求めて叫んだ。
The boy shouted for help at the top of his ___voice___ .

0349 その猫は自由に家を出入りできる。
The cat can go in and out of the house at ___will___ .

0350 彼女の英語は急速に上達した。
Her English has improved by ___leaps___ and bounds.

0351 私としては、その計画に異論はない。
For my ___part___ , I have no objection to the plan.

0352 その植物は水不足で枯れた。
The plants died for ___want___ of water.

0353 兄は自分の部屋をめったに、いやまず掃除しない。
My brother seldom, if ___ever___ , cleans his room.

0354 結果は追ってお知らせします。
You will receive the results in ___due___ course.

0355 彼女は親切にも道を教えてくれた。
She was so kind ___as___ to show me the way.

0356 彼は何度も失敗してきたが、決してあきらめない。
He has failed time ___after___ time, but he never gives up.

0357 念のため傘を持っていきなさい。
Take an umbrella to be on the ___safe___ side.

0358 バスは10分間隔で運行している。
The buses run at ___intervals___ of ten minutes.

0359 彼女の顔は赤くなったり青くなったりした。
Her face turned red and pale by ___turns___ .

0360 痛みはよくなっていない。むしろ悪くなっている。
The pain isn't better. If ___anything___ , it's worse.

0361 その事故の結果、道路は通行止めになった。
In **consequence** of the accident, the road was closed.

0362 そのホテルのデザインは古い町並みと調和している。
The design of the hotel is in **keeping** with the old town.

0363 これらのカードを番号順に並べてください。
Please put these cards in **order** by number.

0364 彼女は忘れないように日付を書き留めた。
She wrote the date down **lest** she should forget it.

0365 彼女は姉に負けず劣らず美しい。
She is no **less** beautiful than her sister.

0366 一日中、雨が降ったりやんだりしている。
It has been raining **off** and on all day.

0367 君が遅刻してもいいなら、同じ理屈で私が早退してもいいはずだ。
If you can be late, then by the same **token** I can leave early.

0368 祭りを見に各地から人々がやって来た。
People came from far and **wide** to see the festival.

0369 修理には100万円を超える費用がかかる。
The repairs will cost in **excess** of a million yen.

0370 彼女は思わず笑ってしまった。
She laughed in **spite** of herself.

0371 町の未来は若者の手に握られている。
The future of the town is in the **hands** of young people.

0372 そのスープは少し塩辛めだったが、おいしく食べた。
The soup was a little on the salty **side**, but I enjoyed it.

0373 そんな小さなことで怒るなんて、彼らしくなかった。
It was out of **character** for him to get angry over such a small thing.

0374 私はあなたと同じかばんを持っている。
I have the **same** bag as you.

0375 急なお願いにもかかわらず、来てくださってありがとうございます。
Thank you for coming at such short **notice**.

0376 どんな仕事でも、大きかろうと小さかろうと、全力で取り組む価値がある。
Every job, **be** it big or small, deserves our full attention.

0377 ここだけの話だけど、彼はもうすぐ辞めると思う。
Between **ourselves**, I think he will quit soon.

0378 痛みはそのうちに消えるだろう。
The pain will go away by ___and___ by.

0379 彼女の顔は知っているが、話したことはない。
I know her by ___sight___, but I've never talked to her.

0380 よくは知らないが、彼はもうパリにいるのかもしれない。
For all I ___know___, he may already be in Paris.

0381 彼らは政府の命令を無視して集会を開いた。
They held the meeting in ___defiance___ of the government's order.

0382 駅の近くにいくつかよいレストランがある。
There are several good restaurants in the ___vicinity___ of the station.

0383 祖父は最近とても疲れている。
My grandfather has been very tired of ___late___.

0384 お探しの本は絶版です。
The book you want is out of ___print___.

0385 彼女は過去の経験を根拠にその仕事を得た。
She got the job on the ___strength___ of her past experience.

0386 そのコンサートには日本中から１万人以上のファンが集まった。
The concert drew ___upwards___ of ten thousand fans from all over Japan.

CHAPTER 5

会話文で出るイディオム

Feel free to ~. / Beats me. / I'm all ears. など、会話文問題で問われる決まり文句。
No.0387〜0476（90 問）

問題

0387 □□□

A: Is there a dress code for tonight's party? B: Not at all. ———— Wear whatever you like.

① Anything goes.
② Here goes.
③ So it goes.
④ That goes without saying.

解答・解説（赤シートで隠せます）

① Anything goes. 何でもあり；何をしても許される

訳 A：今夜のパーティーに服装の決まりはある？　B：全然ないよ。何でもありだから、好きな物を着てきて。

解説 服装の決まりはなく「好きな物を着て」と続くので、「何でもあり」の Anything goes.。Here goes. は「さあやるぞ」という掛け声、So it goes. は「世の中そんなものだ」というあきらめで、どちらも服装の質問への答えにならない。That goes without saying.（言うまでもない）は Not at all. と意味がかみ合わない。

区別 **Anything goes. ⇔ Here goes.** Here goes. は「さあ、やるぞ（思い切って始める）」と自分を奮い立たせる言葉で、ルールの有無とは無関係。Anything goes. は「何をしてもよい」。見分け方：決まり・制限の話なら Anything goes.、これから何かに挑むときの掛け声なら Here goes.。

0388 □□□

A: I'm going to put this antique vase on the top shelf. B: ———— It's very fragile.

① Easy come, easy go.
② It's as easy as pie.
③ I'll go easy on you.
④ Easy does it.

④ Easy does it. ゆっくり慎重に；落ち着いて

訳 A：このアンティークの花瓶を一番上の棚に置くね。　B：そっと慎重にね。とても壊れやすいから。

解説 壊れやすい花瓶を高い棚に置く相手に「慎重にね」と声をかけるので Easy does it.。Easy come, easy go. は失った物へのあきらめで、まだ何も失っていない。It's as easy as pie.（簡単だよ）は「とても壊れやすい」と矛盾する。I'll go easy on you.（手加減してあげる）は相手の作業への注意にならない。

区別 **Easy does it. ⇔ Easy come, easy go.** Easy come, easy go. は「楽に得た物は簡単に失う（悪銭身につかず）」で、なくした物へのあきらめ。Easy does it. は「慎重に」という今の動作への声かけ。見分け方：これから気をつけて動くなら Easy does it.、失った後なら Easy come, easy go.。

0389 □□□

A: Excuse me, but ＿＿＿＿ You look very familiar. B: I don't think so. Maybe you're thinking of my twin sister.

① do we meet before?
② have we met before?
③ how have you been?
④ who are you meeting?

② Have we met before? 以前お会いしましたか

訳 A：すみません、以前お会いしましたか。とても見覚えがあるのですが。 B：ないと思いますよ。たぶん私の双子の姉と勘違いされているのでしょう。

解説 見覚えがある相手に会ったことがあるか確かめ、B が「ないと思う」と答えているので、経験を聞く現在完了の have we met before?。do we meet before? は時制が誤り。how have you been? は知り合い前提の「元気だった？」で、B の「違うと思う」とかみ合わない。who are you meeting? は「誰と会う予定？」で意味が通らない。

区別 **Have we met before? ⇔ How have you been?** How have you been? は「（久しぶりだけど）元気だった？」で、知り合いだと分かっている相手に使う。Have we met before? は会ったことがあるかどうか自体が分からないときに使う。見分け方：相手を知っているなら How have you been?、知っているか不確かなら Have we met before?。

0390 □□□

A: My grandfather passed away last week. B: Oh, ＿＿＿＿ Were you close to him?

① sorry for the trouble.
② I'm sorry to bother you.
③ better luck next time.
④ I'm sorry for your loss.

④ I'm sorry for your loss. ご愁傷さまです

訳 A：先週、祖父が亡くなったんだ。 B：まあ、ご愁傷さまです。おじいさんとは仲が良かったの？

解説 祖父が亡くなったと聞いたので、お悔やみの I'm sorry for your loss.。sorry for the trouble は「ご迷惑をかけてすみません」と自分の行為をわびる言葉、I'm sorry to bother you は「お邪魔してすみません」で、どちらも死別への返事にならない。better luck next time は失敗した人への「次はうまくいくよ」で、不幸に対して失礼になる。

区別 **I'm sorry for your loss. ⇔ I'm sorry to bother you.** I'm sorry to bother you. は「お邪魔してすみません」で、話しかける前の謝罪。I'm sorry for your loss. は相手の不幸への同情。見分け方：自分の行為をわびるなら bother、相手の身内の死に寄り添うなら your loss。

0391 □□□

A: That French restaurant is too expensive. How about the new ramen shop instead? It's cheap and delicious. B: ＿＿＿＿ Let's go!

① Look who's talking!
② Now you're talking!
③ Speak for yourself.
④ What are you talking about?

② Now you're talking. そうこなくちゃ；それはいいね

訳 A：あのフレンチレストランは高すぎるよ。代わりに新しいラーメン屋はどう？　安くておいしいんだ。　B：そうこなくちゃ！行こう！

解説 安くておいしい店への変更案に「行こう」と乗っているので、「そうこなくちゃ」の Now you're talking!。Look who's talking! は相手の批判をはね返す皮肉で、提案への返事にならない。Speak for yourself.（私は違う意見だ）と What are you talking about?（何を言っているの）は反対・困惑を表し、Let's go! と矛盾する。

区別 **Now you're talking. ⇔ Look who's talking.** Look who's talking. は「（自分のことを棚に上げて）よく言うよ」と、相手の批判が本人にも当てはまると皮肉る言葉。Now you're talking. は提案への賛成。見分け方：うれしい提案に乗るなら Now you're talking.、相手の批判を言い返すなら Look who's talking.。

0392 □□□

A: I missed the last train by just one minute! B: ＿＿＿＿ I guess you'll have to take a taxi.

① Good luck.　② Tough luck.
③ Lucky you.　④ Push your luck.

② Tough luck. ついてないね；残念だったね

訳 A：たった１分差で終電に乗り遅れたんだ！　B：ついてないね。タクシーで帰るしかなさそうだね。

解説 終電を１分差で逃したという、すでに起きた不運への反応なので「ついてないね」の Tough luck.。Good luck. はこれからのことを祈る言葉で、過去の失敗には合わない。Lucky you.（いいなあ）は幸運な相手に言う言葉。push your luck は「調子に乗る」で、Don't push your luck. の形で使い、ここでは意味が通らない。

区別 **Tough luck. ⇔ Good luck.** Good luck. は「頑張って・うまくいきますように」と、これからのことを祈る。Tough luck. は「運が悪かったね」と、すでに起きたことへの反応。見分け方：これからなら Good luck.、もう起きた不運なら Tough luck.。

0393 □□□

A: You can get a brand-new smartphone for free if you sign up today. B: Really? For free? ＿＿＿＿

① What's the matter?
② What a catch!
③ What's the catch?
④ What's up?

③ What's the catch? 何か裏があるんじゃない？

訳 A：今日申し込めば、新品のスマートフォンが無料でもらえますよ。　B：本当に？　無料で？　何か裏があるんじゃない？

解説 無料でスマホがもらえるという話がうますぎるので、「何か裏があるの？」と疑う What's the catch?。What's the matter? は「どうしたの？」と相手の様子を心配する言葉で、申し出への反応にならない。What a catch! は「大漁だ・すごくいい相手だ」と感心する言葉。What's up? は「元気？・どうしたの？」というあいさつで話がかみ合わない。

区別 **What's the catch? ⇔ What a catch!** What a catch! は「大漁だね」「（結婚相手として）すごくいい人だね」で、catch は「獲物・掘り出し物」。What's the catch? の catch は「落とし穴」。見分け方：疑いの質問なら What's the catch?、感心する感嘆文なら What a catch!。

0394 □□□

A: Sorry, Mr. Brown, you have a phone call. (a few minutes later) B: Sorry about that, everyone. Now, ＿＿＿＿ Oh yes, I was talking about the history of the castle.

① where am I?
② where have you been?
③ where was I?
④ where to?

③ Where was I? どこまで話したっけ？

訳 A：失礼します、ブラウン先生、お電話です。（数分後）B：皆さん、失礼しました。さて、どこまで話しましたっけ。ああそうだ、城の歴史について話していたんでした。

解説 電話で中断した話を再開し、「ああそうだ、城の歴史の話だった」と続くので、「どこまで話したっけ？」の where was I?。where am I? は今いる場所が分からないときの言葉。where have you been? は「どこに行っていたの？」と相手に聞く言葉で、戻ってきた本人が言うのはおかしい。where to? は「どちらまで？」と行き先を聞く言葉。

区別 **Where was I? ⇔ Where am I?** Where am I? は「ここはどこ？」と、自分が今いる場所が分からないときに使う。Where was I? は話の途中のどこまで進んでいたかを聞く。見分け方：道に迷った・目が覚めたなら Where am I?、話を再開するなら Where was I?。

0395 □□□

A: Are you going to Hawaii for the winter holidays? B: ＿＿＿＿ I have to work the whole time.

① I hope so.　② I bet!
③ I think so.　④ I wish!

④ I wish! だといいんだけど

訳 A：冬休みはハワイに行くの？　B：だといいんだけどね！　ずっと仕事なんだ。

解説 「ずっと仕事だ」と続くので、行けたらいいけど実際は無理、の I wish!。I hope so. と I think so. は「行けると思う・行けたらいい」と可能性を認める返事で、ずっと仕事という後半と矛盾する。I bet! は「きっとそうだ・だろうね」と相手の言葉を強く肯定する返事で、やはり後半と合わない。

区別 **I wish! ⇔ I hope so.** I hope so. は「そうだといいな」で、実現する可能性があると思っている。I wish! は「そうならいいけど、実際は無理」で、可能性がない。見分け方：後ろに「でも実際は…」と否定的な現実が続けば I wish!。

0396 □□□

A: Ha ha! Your new haircut looks like a mushroom! B: ＿＿＿＿ It's not funny.

① Knock on wood.　② Knock it off.
③ Keep it up.　④ Break a leg.

② Knock it off. やめろ

訳 A：ははは！　君の新しい髪型、キノコみたいだね！　B：やめろよ。面白くないよ。

解説 髪型をからかわれて「面白くない」と続くので、「やめろ」の Knock it off.。Knock on wood. は縁起を担ぐ言葉で場面に合わない。Keep it up.（その調子で続けて）は逆にからかいを続けさせることになる。Break a leg. は舞台などの前に「頑張って」と言う言葉。

区別 **Knock it off. ⇔ Knock on wood.** Knock on wood. は「（幸運が続くように）くわばらくわばら」と、良いことを言った後に縁起を担ぐ言葉。Knock it off. は「やめろ」。同じ knock でも意味は無関係。見分け方：相手の行動を止めるなら Knock it off.、自分の幸運を守るなら Knock on wood.。

0397 □□□

A: (pouring orange juice into B's glass) ＿＿＿＿ B: When! That's enough, thanks.

① Say cheese.　② Say when.
③ Say no more.　④ You don't say.

② Say when. いいところで言ってね

訳 A：（B のグラスにオレンジジュースを注ぎながら）いいところで言ってね。　B：そこでいいよ！　十分です、ありがとう。

解説 ジュースを注ぎながら声をかけ、B が When! と答えているので、「いいところで言って」の Say when.。Say cheese. は写真撮影の言葉。Say no more.（それ以上言わなくていい・分かった）は相手の話を受ける言葉で、注ぐ場面の声かけにならない。You don't say.（まさか・へえ）は驚きのあいづち。

区別 **Say when. ⇔ Say cheese.** Say cheese. は写真を撮るときの「はい、チーズ」。Say when. は注ぐ量を相手に決めてもらう言葉。どちらも Say ＋語の決まり文句だが場面が違う。見分け方：カメラなら cheese、飲み物・料理なら when。

0398 □□□

A: So you moved to Tokyo because of your new job? B: ＿＿＿＿ Actually, I also wanted to live closer to my parents.

① Nothing like that.
② Like what?
③ That's something else.
④ Something like that.

④ Something like that. まあそんなところ

訳 A：じゃあ、新しい仕事のために東京に引っ越したの？　B：まあそんなところ。実は、両親の近くに住みたかったのもあるんだ。

解説 仕事のためという推測を大体認めつつ、「実は親の近くに住みたかったのもある」と補足しているので、「まあそんなところ」の Something like that.。Nothing like that. は完全な否定で、also（～もある）と合わない。Like what?（たとえば？）は質問への返事にならない。That's something else. は「それはすごい・別格だ」と感心する言葉。

区別 **Something like that. ⇔ Nothing like that.** Nothing like that. は「全然そんなのじゃない」と相手の推測をはっきり否定する。Something like that. は「大体合っている」と部分的に認める。見分け方：おおむね肯定なら Something、完全否定なら Nothing。

0399 □□□

A: Can you translate this 100-page report into English by tomorrow morning? B: ＿＿＿＿ Can I have a few more days?

① That's a tall order.
② That's a tall tale.
③ That's in order.
④ That's an order.

① That's a tall order. それは無理な注文だ

訳 A：この 100 ページの報告書を明日の朝までに英語に翻訳してくれる？　B：それは無理な注文だよ。あと数日もらえないかな。

解説 100 ページを翌朝までという無理な依頼に、「もう数日もらえる？」と続けているので「それは無理な注文だ」の That's a tall order.。That's a tall tale. は「ほら話だ」で、依頼をうそと決めつけることになり話が合わない。That's in order. は「それで問題ない・適切だ」で、引き受ける意味になり後半と矛盾する。That's an order. は「これは命令だ」と上の立場から言う言葉。

区別 **That's a tall order. ⇔ a tall tale** a tall tale は「ほら話・信じがたい話」で、tall は「大げさな」。That's a tall order. の tall は「（要求が）高すぎる」。見分け方：頼まれごとへの返事なら tall order、うそっぽい話の評価なら tall tale。

0400 □□□

A: Everyone at this party is wearing a suit, and I'm in jeans. ———— B: Don't worry. Nobody cares.

① I feel out of place.
② I feel at home.
③ I feel under the weather.
④ I feel like it.

① I feel out of place. 場違いな気がする

訳 A：このパーティーではみんなスーツを着ているのに、私はジーンズだよ。場違いな気がする。 B：心配しないで。誰も気にしないよ。

解説 周りはスーツなのに自分はジーンズで、B が「気にしないで」と慰めているので、「場違いな気がする」の I feel out of place.。I feel at home.（くつろげる）は慰める必要がない。I feel under the weather. は「体調が悪い」で服装の話とつながらない。I feel like it.（そうしたい気分だ）は何をしたいのか不明で文脈に合わない。

区別 **I feel out of place. ⇔ out of the question** out of the question は「問題外・不可能」で、提案や可能性を否定する。out of place は「場違い」。見分け方：その場になじまないなら out of place、実行できないなら out of the question。

0401 □□□

A: Nobody wants to go hiking in this rain. B: Well, I, ———— one, would love to go. I have a good raincoat.

① as ② by
③ for ④ in

③ I, for one, ~. 少なくとも私は～

訳 A：この雨の中、誰もハイキングに行きたがらないよ。 B：うーん、少なくとも私はぜひ行きたいな。いいレインコートを持っているし。

解説 「誰も行きたくない」に対し「少なくとも私は行きたい」と返しているので I, for one, ~。as one は「一斉に・一致して」、by one は one by one（一人ずつ）の形で使い、in one は「一つにまとめて」で、どれも「少なくとも私は」の意味にならない。

区別 **I, for one, ~. ⇔ for one thing** for one thing は「一つには」と理由を挙げるときの言い方（For one thing, it's too expensive.）。I, for one は「少なくとも私は」と人を強調する。見分け方：主語の直後に挟むなら for one、文頭で理由を並べるなら for one thing。

0402 □□□

A: The roads are flooded. Should we try to drive home? B: No, it's too dangerous. I think we'd better sit ———— until the rain stops.

① close ② hard
③ tight ④ loose

③ I'd better sit tight. 今は動かずに様子を見た方がいい

訳 A：道路が冠水しているよ。車で帰ってみる？ B：いや、危なすぎる。雨がやむまで動かずに様子を見た方がいいと思う。

解説 危険なので雨がやむまで動かずに待つ、という判断なので sit tight。sit close は「近くに座る」で待機の意味にならない。sit hard / sit loose は熟語として成り立たない。tight（しっかり・動かず）だけが「様子を見る」の意味を作る。

区別 **I'd better sit tight. ⇔ sit back** sit back は「くつろぐ・（何もせず）傍観する」で、楽な姿勢でゆったりする様子。sit tight は「（不安でも）動かずに待つ」で、我慢して待機する様子。見分け方：リラックスなら sit back、判断を待って動かないなら sit tight。

0403 □□□

A: How did you know she would win the contest? B: I didn't know for sure. ＿＿＿＿

① Just kidding.　② Just a hunch.
③ Just in case.　④ Just a minute.

② Just a hunch. ただの勘だよ

訳 A：彼女がコンテストで優勝するって、どうして分かったの？ B：確かに知っていたわけじゃないよ。ただの勘だよ。

解説 なぜ分かったのかと聞かれ「確かには知らなかった」と続けているので、「ただの勘だよ」の Just a hunch.。Just kidding.（冗談だよ）は直前の発言を取り消すことになり話が通らない。Just in case.（念のため）は理由の説明にならず、Just a minute.（ちょっと待って）は質問への答えにならない。

区別 **Just a hunch. ⇔ Just kidding.** Just kidding. は「冗談だよ」で、前に言ったことを取り消す。Just a hunch. は「勘だよ」で、言ったことの根拠が直感だと説明する。見分け方：発言を撤回するなら kidding、理由を聞かれたなら hunch。

0404 □□□

A: I ate the whole cake by myself, and now I have a terrible stomachache. B: ＿＿＿＿ You should have shared it with us.

① Help yourself.
② Right you are.
③ You deserve a break.
④ Serves you right.

④ Serves you right. いい気味だ；当然の報いだ

訳 A：ケーキを一人で丸ごと食べたら、ひどくお腹が痛くなったよ。　B：自業自得だよ。私たちにも分けてくれればよかったのに。

解説 独り占めして腹痛になった相手に「分けてくれればよかったのに」と言っているので、「当然の報いだ」の Serves you right.。Help yourself. は「ご自由にどうぞ」と勧める言葉。Right you are.（その通り）は相手の言葉への同意で場面に合わない。You deserve a break.（休んで当然だよ）は頑張った人へのねぎらい。

区別 **Serves you right. ⇔ Help yourself.** Help yourself. は「（食べ物などを）ご自由にどうぞ」と勧める言葉。Serves you right. は失敗した相手を突き放す言葉。どちらも相手に直接言う短い決まり文句だが、気持ちは正反対。

0405 □□□

A: I rewrote my essay. Is this version better? B: Yes! ＿＿＿＿ It's much clearer now.

① That's more like it.
② That's not like you.
③ What's it like?
④ It's like that.

① That's more like it.
そのほうがずっといい；そうこなくちゃ

訳 A：作文を書き直したよ。こっちの方が良くなった？　B：うん！　その方がずっといいよ。前よりずっと分かりやすくなった。

解説 書き直した作文が前より分かりやすくなったので、「その方がずっといい」の That's more like it.。That's not like you.（君らしくない）はほめる場面に合わない。What's it like?（それはどんな感じ？）は質問で、Yes! の後に続かない。It's like that.（そういうものだ）も改善の評価にならない。

区別 **That's more like it. ⇔ That's not like you.** That's not like you. は「君らしくないね」で、相手の普段と違う行動を指摘する。That's more like it. は改善を歓迎する。どちらも like を使うが、not like は「〜らしくない」、more like it は「望みにより近い」。

0406 □□□

A: What kind of food do they sell at the festival? B: Sushi, pizza, curry, tacos, ———— There's something for everyone.

① you got it.　② you bet.
③ name your price.　④ you name it.

④ You name it. 何でも（そろっている）

訳 A：お祭りではどんな食べ物を売っているの？　B：すし、ピザ、カレー、タコス、何でもあるよ。誰でも何か気に入るものがあるよ。

解説 食べ物の例を並べた最後に「ほかにも何でも」と付け加えているので you name it.。you got it は「了解」と依頼を引き受ける返事で、列挙の最後に置けない。you bet は「もちろん」と相手の質問に強く同意する返事。name your price は「値段を言ってくれ（言い値で買う）」で意味が通らない。

区別 **You name it. ⇔ You got it.** You got it. は「了解・かしこまりました」と依頼を引き受ける返事。You name it. は例を挙げた後の「何でも」。見分け方：頼まれて引き受けるなら You got it.、リストの最後に付け足すなら You name it.。

0407 □□□

A: Hello? Can you hear me? I'm on the train now and... B: Sorry, ———— I'll call you back when you get off.

① you're breaking down.
② you're breaking up.
③ you're cutting in.
④ we broke up.

② You're breaking up. （電話の）声が途切れています

訳 A：もしもし？　聞こえる？　今電車に乗っていて……　B：ごめん、声が途切れているよ。降りたらかけ直すね。

解説 電車内からの電話で声が聞き取れず、降りたらかけ直すと言っているので、「声が途切れている」の you're breaking up.。break down は「（機械が）故障する・泣き崩れる」で、相手の声の状態を表さない。cut in は「話に割り込む」。we broke up は「私たちは別れた」で恋愛の話になる。

区別 **You're breaking up. ⇔ break up (with A)** break up with A は「A と別れる」（恋人関係を終える）。電話の You're breaking up. は「声が途切れる」。見分け方：電話・通信の話なら声の途切れ、恋愛の話なら別れ。

0408 □□□

A: I lost the game again! I'm never playing with you guys again! B: Come on, ———— You're not a little kid anymore.

① act up.　② act on it.
③ act of kindness.　④ act your age.

④ Act your age.

年相応に振る舞いなさい；大人げないことはやめなさい

訳 A：また負けた！　もう二度とお前たちとは遊ばない！　B：おいおい、年相応に振る舞えよ。もう小さな子どもじゃないんだから。

解説 ゲームに負けてすねる相手に「もう小さな子どもじゃないんだから」と言っているので、「年相応に振る舞え」の act your age.。act up は「暴れる・調子が悪い」で、命令するとかえって騒げと言うことになる。act on it は「それに基づいて行動する」、act of kindness は「親切な行為」という名詞句で、たしなめる言葉にならない。

区別 **Act your age. ⇔ act up** act up は「（子どもが）暴れる・行儀悪くする」「（機械・体の一部が）調子が悪い」。Act your age. はその行儀の悪さをたしなめる側の言葉。見分け方：人や物の調子が悪い状態の説明なら act up、注意する命令なら Act your age.。

0409 □□□

A: If we leave now, we'll avoid the traffic and get there early. B: ＿＿＿＿ Let's go.

① That's arguable.
② I beg to differ.
③ Can't argue with that.
④ Don't argue with me.

③ Can't argue with that.
それは否定できないね；ごもっとも

訳 A：今出れば渋滞を避けて早く着けるよ。 B：ごもっとも。行こう。

解説 今出れば渋滞を避けられるという提案に「行こう」と同意しているので、「ごもっとも」の Can't argue with that.。That's arguable.（疑わしい）と I beg to differ.（失礼ながら意見が違う）は反対を示し、Let's go. と矛盾する。Don't argue with me.（口答えするな）は A が反論していないのでかみ合わない。

区別 **Can't argue with that. ⇔ That's arguable.** That's arguable. は「それは議論の余地がある（疑わしい）」で、相手の意見に疑問を示す。Can't argue with that. は反論できない＝全面的に同意。見分け方：同意なら Can't argue、疑問なら arguable。

0410 □□□

A: I can't find my passport, and our flight leaves in three hours! B: ＿＿＿＿ We have plenty of time. Let's look for it together.

① Freak out.　② Check out.
③ Work out.　④ Chill out.

④ Chill out. 落ち着けよ；リラックスして

訳 A：パスポートが見つからないし、飛行機はあと 3 時間で出発しちゃう！ B：落ち着いて。時間は十分あるよ。一緒に探そう。

解説 パスポートが見つからず焦る相手に「時間は十分ある」と続けているので、「落ち着けよ」の Chill out.。Freak out.（パニックになれ）は逆の意味。Check out. は「ホテルを出る・調べてみて」、Work out. は「運動する・うまくいく」で、焦る相手をなだめる言葉にならない。

区別 **Chill out. ⇔ freak out** freak out は「パニックになる・ひどく取り乱す」で、chill out の反対の状態。Don't freak out. は Chill out. とほぼ同じ意味の励ましになる。見分け方：落ち着かせるなら chill out、取り乱すなら freak out。

0411 □□□

A: Is the answer 15? B: ＿＿＿＿ It's 16.

① Way off.
② Close, but no cigar.
③ That was a close call.
④ Bingo!

② Close, but no cigar. 惜しい！

訳 A：答えは 15？ B：惜しい！ 16 だよ。

解説 答えが 15 で正解は 16、わずかに外れているので「惜しい！」の Close, but no cigar.。Way off.（全然違う）は 1 だけの差には大げさで合わない。That was a close call.（危機一髪だった）は危険を逃れたときの言葉。Bingo!（大当たり）は正解のときの言葉で、後ろの It's 16. と矛盾する。

区別 **Close, but no cigar. ⇔ a close call** a close call は「危機一髪・間一髪で助かること」（＝ a narrow escape）。Close, but no cigar. は「惜しい（けれど外れ）」。どちらも close（近い）だが、close call は危険を逃れた話。

0412 □□□

A: Did your brother break your bike again? B: Yes, and this is the third time. ＿＿＿＿ I'm going to tell Mom.

① Enough is enough.　② Fair enough.
③ Sure enough.　④ Funny enough.

① Enough is enough. もうたくさんだ

訳 A：弟がまた君の自転車を壊したの？　B：うん、これで 3 回目だよ。もうたくさんだ。お母さんに言うよ。

解説 3 度目で我慢の限界になり、お母さんに言いつけると続くので「もうたくさんだ」の Enough is enough.。Fair enough. は「もっともだ」と相手の言い分を受け入れる返事で、怒りの場面に合わない。Sure enough.（案の定）と Funny enough.（おかしなことに）は文を修飾する副詞句で、単独で限界を表さない。

区別 **Enough is enough. ⇔ Fair enough.** Fair enough. は「（それなら）もっともだ・分かった」と相手の言い分を受け入れる返事。Enough is enough. は我慢の限界を表す。見分け方：納得して受け入れるなら Fair enough.、怒って止めるなら Enough is enough.。

0413 □□□

A: Hey, Mike! ＿＿＿＿ B: Not bad. How about you?

① How do you do?
② What do you do?
③ How did you do it?
④ How you doing?

④ How you doing?

元気？；調子どう？（親しい間の挨拶）

訳 A：やあ、マイク！　元気？　B：まあまあだよ。君は？

解説 Hey と親しげに声をかけ、B が Not bad.（悪くないよ）と調子を答えているので How you doing?。How do you do? は初対面の改まったあいさつで、返事は同じ言葉を返す。What do you do? は「お仕事は何ですか」、How did you do it? は「どうやったの？」で、Not bad. の返事に合わない。

区別 **How you doing? ⇔ How do you do?** How do you do? は初対面の改まったあいさつ「はじめまして」で、返事も How do you do? と同じ言葉を返す。How you doing? は親しい人への「元気？」で、調子を答える。見分け方：返事が Not bad. などの調子なら How you doing?。

0414 □□□

A: Where did Dad put the car keys? B: ＿＿＿＿ Ask Mom. She might know.

① Look it up.　② Find out.
③ Ask me anything.　④ Search me.

④ Search me. 知らないよ

訳 A：お父さん、車の鍵をどこに置いたのかな？　B：知らないよ。お母さんに聞いて。知っているかも。

解説 車の鍵の場所を聞かれ、「お母さんに聞いて」と続けているので、「知らないよ」の Search me.。Look it up.（調べてごらん）は辞書やネットで調べる物に使い、鍵の場所には合わない。Find out.（突き止めて）は命令で唐突。Ask me anything.（何でも聞いて）は直後の Ask Mom. と矛盾する。

区別 **Search me. ⇔ Look it up.** Look it up. は「（辞書・ネットで）調べてごらん」と相手に調べるよう勧める言葉。Search me. は「私は知らない」と答える言葉。見分け方：自分が知らないと言うなら Search me.、相手に調べさせるなら Look it up.。

0415 □□□

A: Let's go to the movies together this weekend! B: I've told you three times that I'm busy. ———

① Can you give me a hint?
② Can't you take a joke?
③ Can't you take a hint?
④ Take your time.

③ Can't you take a hint? 察してよ；空気を読んでよ

訳 A：今週末、一緒に映画に行こうよ！ B：忙しいって 3 回も言ったよね。察してよ。

解説 3 回も「忙しい」と遠回しに断っているのに誘い続ける相手へのいらだちなので、「察してよ」の Can't you take a hint?。Can you give me a hint?（ヒントをちょうだい）はクイズなどで使う言葉。Can't you take a joke?（冗談も通じないの？）はからかった後の言葉で、場面が違う。Take your time.（ゆっくりでいいよ）は断りの流れに合わない。

区別 **Can't you take a hint? ⇔ Can't you take a joke?** Can't you take a joke? は「冗談も通じないの？」で、からかいに怒った相手に言う。Can't you take a hint? は遠回しな合図に気づかない相手に言う。見分け方：冗談への反応なら joke、遠回しの断りに気づかないなら hint。

0416 □□□

A: Do you want to join the karaoke party tonight? B: Thanks, but I'm not one ——— singing in front of people.

① of ② to
③ for ④ with

③ I'm not one for ~.
～はあまり好きではない；～するタイプではない

訳 A：今夜のカラオケパーティーに来る？ B：ありがとう、でも人前で歌うのはあまり好きじゃないんだ。

解説 「人前で歌うのは好きじゃない」と誘いを断っているので I'm not one for ~ing。to は I'm not one to sing のように動詞の原形が必要で、to singing とは言えない。of / with も not one と組んでこの意味にならない（not one of ~ は「～の一人ではない」）。

区別 **I'm not one for ~. ⇔ I'm not one to do** I'm not one to do は「～するような人間ではない」（I'm not one to complain.＝文句を言う人間じゃない）で、性格・主義を言う。I'm not one for ~ は好みを言う。形も to ＋原形と for ＋名詞・動名詞で違う。

0417 □□□

A: Oh no, we've missed the last bus, and it's starting to rain. B: Great. ——— Should we call a taxi?

① Now what? ② So what?
③ What for? ④ What's new?

① Now what? さて、次はどうする？；今度は何？

訳 A：しまった、終バスに乗り遅れたし、雨も降り出してきた。B：最悪だね。さて、どうする？ タクシーを呼ぼうか？

解説 終バスを逃して雨まで降り出し、「タクシーを呼ぶ？」と次の手を考えているので「さてどうする？」の Now what?。So what?（だから何？）は問題を気にしない態度で、困って対策を考える流れと合わない。What for?（何のために？）と What's new?（何か変わったことある？）は状況にかみ合わない。

区別 **Now what? ⇔ So what?** So what? は「だから何？・それがどうした」と、相手の話を重要でないと突き放す。Now what? は困った状況で「これからどうしよう」と次の行動を問う。見分け方：困って対策を考えるなら Now what?、気にしないと言うなら So what?。

0418 □□□

A: The boss said you can take the whole of next week off. B: Really? ＿＿＿＿

① That's all Greek to me.
② I'm all ears.
③ It went in one ear and out the other.
④ That's music to my ears.

④ That's music to my ears. それはうれしい知らせだ

訳 A：部長が、来週は丸ごと休んでいいって言っていたよ。 B：本当？ それはうれしい知らせだ！

解説 来週ずっと休めるという良い知らせを聞いた反応なので、「それはうれしい知らせだ」の That's music to my ears.。That's all Greek to me.（さっぱり分からない）は難しい話への反応。I'm all ears.（ぜひ聞かせて）は話を聞く前に言う言葉。It went in one ear and out the other.（右から左へ聞き流した）は喜びの返事にならない。

区別 **That's music to my ears. ⇔ It's all Greek to me.** It's all Greek to me. は「ちんぷんかんぷんだ（さっぱり分からない）」。That's music to my ears. はうれしい知らせへの反応。どちらも to me / my ears で自分にとっての受け止め方を言うが、意味は正反対に近い。

0419 □□□

A: This summer is unbelievably hot. B: ＿＿＿＿ I can't sleep at night without the air conditioner.

① Don't tell me.
② What are you telling me?
③ You're telling me.
④ Tell me more.

③ You're telling me.
まったくだよ；言われなくても分かってる

訳 A：今年の夏は信じられないくらい暑いね。 B：まったくだよ。エアコンなしでは夜眠れないよ。

解説 猛暑の話に「エアコンなしでは眠れない」と自分の体験を続けて強く同意しているので You're telling me.。Don't tell me.（まさか・聞きたくない）は悪い知らせを予感したときの言葉。What are you telling me?（何が言いたいの？）は困惑。Tell me more.（もっと聞かせて）は話の続きを求める言葉で、同意にならない。

区別 **You're telling me. ⇔ Don't tell me.** Don't tell me. は「まさか（言わないで、聞きたくない）」で、悪い予感がしたときの言葉（Don't tell me you lost it.）。You're telling me. は強い同意。見分け方：同意なら You're telling me.、悪い知らせを恐れるなら Don't tell me.。

0420 □□□

A: Will you be at my wedding next month? B: ＿＿＿＿ I wouldn't miss it for anything.

① Count on it.
② Don't count on it.
③ It doesn't count.
④ Count me out.

① Count on it. 任せて；間違いなくそうするよ

訳 A：来月の私の結婚式に来てくれる？ B：任せて。何があっても見逃さないよ。

解説 「何があっても見逃さない」と続くので、「必ず行くよ」の Count on it.。Don't count on it.（当てにしないで）と Count me out.（私は抜けるよ）は欠席を示し、後半と矛盾する。It doesn't count.（それは数に入らない）は出欠の質問への返事にならない。

区別 **Count on it. ⇔ Don't count on it.** Don't count on it. は「当てにしないで・期待しないで」で、実現が怪しいことを伝える。Count on it. は「確実にそうする」。見分け方：請け合うなら Count on it.、期待させないなら Don't count on it.。

0421 □□□

A: Thanks for letting me stay out until ten. Can I stay out until midnight next time? B: ———— Ten is already late enough.

① Lucky you.
② Better luck next time.
③ Luck is on your side.
④ Don't push your luck.

④ Don't push your luck. 調子に乗るなよ

訳 A：10 時まで出かけさせてくれてありがとう。次は夜中の 12 時までいい？　B：調子に乗らないの。10 時でも十分遅いんだから。

解説 10 時まで許してもらったのに次は深夜までと欲張る相手を「10 時でも十分遅い」と止めているので、「調子に乗るな」の Don't push your luck.。Lucky you.（いいなあ）は他人の幸運をうらやむ言葉。Better luck next time. は失敗した人への慰め。Luck is on your side.（運が味方している）は許可するような響きになり、後半と矛盾する。

区別 **Don't push your luck. ⇔ Better luck next time.** Better luck next time. は「次はうまくいくといいね」と失敗した人を慰める言葉。Don't push your luck. はうまくいった人がさらに欲張るのを止める言葉。見分け方：失敗への慰めなら Better luck next time.、欲張りへの注意なら Don't push your luck.。

0422 □□□

A: Hey, wake up! The meeting is still going on. B: Oh, sorry. ———— I didn't sleep well last night.

① I was showing off.
② I was dozing off.
③ I was taking off.
④ I was cooling off.

② I was dozing off. うとうとしていた

訳 A：ちょっと、起きて！　まだ会議中だよ。　B：ああ、ごめん。うとうとしていたよ。昨夜よく眠れなかったんだ。

解説 「起きて」と言われ、昨夜よく眠れなかったと言い訳しているので、「うとうとしていた」の I was dozing off.。show off は「見せびらかす」、take off は「離陸する・脱ぐ・急に去る」、cool off は「頭を冷やす・涼む」で、居眠りの説明にならない。

区別 **I was dozing off. ⇔ show off** show off は「見せびらかす・いいところを見せようとする」。doze off は「うとうとする」。同じ ~ off の句動詞だが意味は無関係。見分け方：眠気の話なら doze off、自慢なら show off。

0423 □□□

A: You paid for lunch last time, so I'll pay for dinner today. B: OK. Then ————

① let's call it a day.
② let's call it even.
③ let's call it off.
④ let's go Dutch.

② Let's call it even. これで貸し借りなしにしよう

訳 A：この前ランチをおごってくれたから、今日の夕食は私が払うね。　B：分かった。じゃあ、これで貸し借りなしにしよう。

解説 前回のランチと今日のディナーでおごり合いが釣り合ったので、「貸し借りなしにしよう」の let's call it even.。let's call it a day は「今日はここまでにしよう」で作業の終了。let's call it off は「中止しよう」で、夕食をやめることになる。let's go Dutch（割り勘にしよう）は A がおごると言った流れと合わない。

区別 **Let's call it even. ⇔ Let's call it a day.** Let's call it a day. は「今日はここまでにしよう」と仕事などを切り上げる言葉。Let's call it even. は貸し借りを精算する言葉。どちらも call it ~ の形だが内容は違う。見分け方：作業の終了なら a day、精算なら even。

0424 □□□

A: Can you change my test score? I really need a better grade. B: Sorry, ＿＿＿＿ Only the principal can decide that.

① that's in good hands.
② I have my hands full.
③ give me a hand.
④ that's out of my hands.

④ That's out of my hands.
それは私にはどうにもできない

訳 A：テストの点数を変えてもらえませんか。どうしても良い成績が必要なんです。 B：ごめんね、それは私にはどうにもできないの。校長先生にしか決められないのよ。

解説 「校長しか決められない」と続くので、「私にはどうにもできない」の that's out of my hands.。that's in good hands は「信頼できる人に任されている」で、断る理由にならない。I have my hands full.（手が回らない）は忙しさの説明で、校長しか決められないことと合わない。give me a hand（手を貸して）は逆に頼む言葉。

区別 **That's out of my hands. ⇔ in good hands** in good hands は「信頼できる人に任されて・安心な状態で」（Your dog is in good hands.）。out of my hands は「私の管理を離れて」。見分け方：安心して任せられるなら in good hands、自分ではどうにもならないなら out of my hands。

0425 □□□

A: You've been so quiet all evening. ＿＿＿＿ B: Oh, I was just thinking about my trip next week.

① A penny saved is a penny earned.
② In for a penny, in for a pound.
③ The penny dropped.
④ A penny for your thoughts.

④ A penny for your thoughts. 何を考えているの？

訳 A：今夜はずっと静かだね。何を考えているの？ B：ああ、来週の旅行のことを考えていただけだよ。

解説 ずっと黙っている相手に聞き、B が考えていたことを答えているので「何を考えているの？」の A penny for your thoughts.。A penny saved is a penny earned. は節約の勧め。In for a penny, in for a pound.（毒を食らわば皿まで）はやり始めたら最後までやれという意味。The penny dropped.（やっと分かった）は理解したときの言葉。

区別 **A penny for your thoughts. ⇔ A penny saved is a penny earned.** A penny saved is a penny earned. は「1 ペニーの節約は 1 ペニーの稼ぎ（節約の勧め）」で、お金の話。A penny for your thoughts. は相手の考えを聞く言葉。どちらも penny を使うので会話問題で並べられる。

0426 □□□

A: Did you bring the concert tickets? B: ＿＿＿＿ I left them on the kitchen table!

① Fire away.　② Bingo!
③ Cheers!　④ Shoot!

④ Shoot! しまった！；くそっ！

訳 A：コンサートのチケット持ってきた？ B：しまった！ 台所のテーブルに置いてきちゃった！

解説 チケットを台所のテーブルに忘れたと気づいたので「しまった！」の Shoot!。Fire away.（どうぞ質問して）は質問を受ける言葉。Bingo!（当たり）は正解したときの言葉で、忘れ物に気づいた場面に合わない。Cheers!（乾杯・ありがとう）も合わない。

区別 **Shoot! ⇔ Fire away.** Fire away. は「どうぞ（質問して）」で、質問を受ける側の言葉。Shoot! は失敗に気づいたときの叫び（ただし Shoot. も「どうぞ」の意味で使える）。見分け方：忘れ物や失敗の直後なら「しまった」。

0427 □□□

A: I studied so hard, but I still failed the test. B: Well, that's the way the cookie ＿＿＿＿. There's always next time.

① breaks　② bakes
③ tastes　④ crumbles

④ That's the way the cookie crumbles.
世の中そんなものだ；仕方ない

訳 A：一生懸命勉強したのに、テストに落ちちゃった。 B：まあ、世の中そんなものだよ。次があるさ。

解説 努力したのに不合格だった相手を「仕方ない、次があるよ」と慰めているので That's the way the cookie crumbles.。crumble は「ぼろぼろに崩れる」。breaks も「割れる」で意味は近いが、決まった形ではない。bakes（焼ける）、tastes（～な味がする）はあきらめの意味にならない。

区別 **That's the way the cookie crumbles. ⇔ That's wishful thinking.** That's wishful thinking. は「それは希望的観測だ（そううまくはいかない）」と、相手の甘い予想を否定する。That's the way the cookie crumbles. は、起きてしまった不運を受け入れる。見分け方：これからの甘い期待なら wishful thinking、起きた結果へのあきらめなら cookie。

0428 □□□

A: Maybe the teacher will cancel the math test tomorrow. B: ＿＿＿＿ She has never canceled a test.

① That's wishful thinking.
② That's food for thought.
③ That's a thought.
④ Great minds think alike.

① That's wishful thinking. それは希望的観測だよ

訳 A：明日の数学のテスト、先生が中止にしてくれるかもね。 B：それは希望的観測だよ。先生は一度もテストを中止したことがないんだから。

解説 「先生は一度もテストを中止したことがない」と続けて、テスト中止の期待を否定しているので That's wishful thinking.。That's food for thought.（考えさせられる）、That's a thought.（いい考えだ）、Great minds think alike.（考えることは同じだね）はどれも相手の考えを肯定し、後半と矛盾する。

区別 **That's wishful thinking. ⇔ That's a thought.** That's a thought. は「それはいい考えだね」と相手の提案を前向きに受け止める。That's wishful thinking. は相手の期待を「甘い」と否定する。見分け方：賛成なら That's a thought.、否定なら wishful thinking。

0429 □□□

A: Please remember to lock the back door when you leave. B: ＿＿＿＿

① Do it.　② That will do.
③ Well done.　④ Will do.

④ Will do. 了解、そうするよ

訳 A：出かけるとき、裏口の鍵をかけるのを忘れないでね。 B：了解、そうするよ。

解説 鍵をかけるよう頼まれて「了解、そうするよ」と引き受ける返事は Will do.。Do it.（それをやれ）は相手に命令することになり、頼まれた側の返事として不自然。That will do.（それで十分だ・もういい）は依頼への返事にならない。Well done.（よくやった）はほめ言葉。

区別 **Will do. ⇔ That will do.** That will do. は「それで十分だ・もういいよ（それ以上はやめて）」。Will do. は「了解、やるよ」と引き受ける返事。見分け方：主語 That があれば「十分だ」、なければ「了解」。

0430 □□□

A: Can I ask you a few questions about your new book? B: Sure.

_____

① You're fired.　② Go away.
③ Hold your fire.　④ Fire away.

④ Fire away. どうぞ聞いて；どんどん質問して

訳 A：新しい本について、いくつか質問してもいいですか。 B：もちろん。どうぞ聞いてください。

解説 質問してもいいかと聞かれ Sure. と承諾しているので、「どうぞ聞いて」の Fire away.。You're fired.（クビだ）は意味が全く違う。Go away.（あっちへ行って）と Hold your fire.（撃つのを待て＝ちょっと待って）は質問を断る方向で、Sure. と矛盾する。

区別 **Fire away. ⇔ You're fired.** You're fired. は「君はクビだ」で、fire は「解雇する」。Fire away. は「どうぞ質問して」。同じ fire でも意味が全く違う。

0431 □□□

A: Guess what? I just won a free trip to Hawaii! B: _____ Are you serious?

① Get out of here!　② Get over it.
③ Get a life.　④ Get lost.

① Get out of here! うそでしょ！；出ていけ

訳 A：ねえ聞いて！ ハワイ旅行が無料で当たったの！ B：うそでしょ！ 本気で言ってる？

解説 ハワイ旅行が当たったという信じられない知らせに「本気？」と続けているので、「うそでしょ！」の Get out of here!。Get over it.（いつまでも気にするな）は落ち込む人への言葉。Get a life.（もっと有意義なことをしろ）と Get lost.（失せろ）は相手を見下す・追い払う言葉で、驚きの反応にならない。

区別 **Get out of here! ⇔ Get lost.** Get lost. は「失せろ・あっちへ行け」で、相手を追い払う失礼な言葉。Get out of here! は驚きの「うそでしょ！」にも使える。見分け方：うれしい知らせへの反応なら Get out of here!。

0432 □□□

A: Did you hear what I just said? B: Sorry, _____ Can you say it again?

① I was left out.　② I was sold out.
③ I was spaced out.　④ I was called out.

③ I was spaced out. ぼーっとしていた

訳 A：今私が言ったこと、聞いてた？ B：ごめん、ぼーっとしてた。もう一度言ってくれる？

解説 話を聞いていなかったことを謝り、もう一度言ってと頼んでいるので「ぼーっとしていた」の I was spaced out.。I was left out.（仲間外れにされた）は話を聞いていない理由にならない。sold out は「売り切れた」で物に使う。I was called out. は「（人前で）名指しで批判された・呼び出された」で意味が通らない。

区別 **I was spaced out. ⇔ I was left out.** I was left out. は「仲間外れにされた・のけ者にされた」。I was spaced out. は「ぼんやりしていた」。同じ受け身の形でも意味は無関係。見分け方：自分の意識の状態なら spaced out、周りからの扱いなら left out。

0433 ☐☐☐

A: Mike said he can't come to the party again because he has to work. B: ＿＿＿＿ He always has an excuse.

① Go figure.
② Figure it out.
③ That figures.
④ Out of the question.

③ That figures. やっぱりね；なるほどね

訳 A：マイク、仕事があるからまたパーティーに来られないって。 B：やっぱりね。あの人はいつも言い訳があるんだから。

解説 「彼はいつも言い訳がある」と続くので、予想どおりの断りへの反応「やっぱりね」の That figures.。Go figure. は意外なことへの「不思議だね」で、いつものことだという後半と合わない。Figure it out.（自分で考えて）は相手への命令。Out of the question.（問題外）も話がかみ合わない。

区別 **That figures. ⇔ Go figure.** Go figure. は「不思議だね・理屈に合わないね」と、意外で説明しにくいことへの反応。That figures. は「やっぱりね」と予想どおりのことへの反応。見分け方：予想どおりなら That figures.、意外なら Go figure.。

0434 ☐☐☐

A: I'm moving to Canada next week to start my new job. B: Really? We'll miss you. ＿＿＿＿

① All the better!
② All the best to you!
③ Best of all!
④ At best!

② All the best to A.
（人）によろしく；（人）の幸運を祈っている

訳 A：来週、新しい仕事を始めるためにカナダに引っ越すんだ。 B：本当に？ 寂しくなるね。幸運を祈っているよ！

解説 新しい仕事のために旅立つ相手に「寂しくなる」と続けて、幸運を祈っているので All the best to you!。All the better!（なおさら好都合だ）は相手がいなくなるのを喜ぶ失礼な響きになる。Best of all（何よりも良いことに）と At best（せいぜい）は文の一部として使う語句で、単独で別れのあいさつにならない。

区別 **All the best to A. ⇔ All the better.** All the better. は「（それなら）なおさら好都合だ」で、比較級を強める言い方。All the best to A. は相手の幸せを祈る言葉。best と better の違いで意味が全く変わる。

0435 ☐☐☐

A: Can you clean your room before dinner, please? B: ＿＿＿＿ I'll do it right now.

① Anything you say.
② Say what?
③ You can say that again.
④ You don't say.

① Anything you say.
仰せのとおりに；はいはい、分かりました

訳 A：夕食の前に部屋を掃除してくれる？ B：仰せのとおりに。今すぐやるよ。

解説 部屋の掃除を頼まれて「今すぐやるよ」と応じているので、「仰せのとおりに」の Anything you say.。Say what?（何だって？）は聞き返す言葉。You can say that again.（まったくだ）は意見への同意で、頼みへの返事にならない。You don't say.（まさか・へえ）は驚きのあいづち。

区別 **Anything you say. ⇔ You can say that again.** You can say that again. は「まったくその通り」と相手の意見に強く同意する。Anything you say. は相手の頼み・指示に従う返事。見分け方：意見への賛成なら You can say that again.、頼みへの承諾なら Anything you say.。

0436 □□□

A: I'm going to win the lottery and buy an island next year. B: ———— You don't even buy lottery tickets!

① Same here.　② Good for you.
③ Get real.　④ Fair enough.

③ Get real. 現実を見ろよ；目を覚ませ

訳 A：来年は宝くじを当てて島を買うつもりなんだ。　B：現実を見なよ。宝くじを買ってすらいないじゃない！

解説 宝くじも買わないのに島を買うと言う A に、現実を見ろと返すので Get real.。Good for you. は「よかったね」と相手の成功を喜ぶ言葉、Same here. は「私も」と同意する言葉、Fair enough. は「それはもっともだ」と納得する言葉で、後半の反論と合わない。

区別 **Get real. ⇔ Get a life.** Get a life. は「（つまらないことに熱中している人に）もっと有意義なことをしろよ」。Get real. は「（夢みたいなことを言う人に）現実を見ろ」。見分け方：非現実的な発言への返事なら Get real.。

0437 □□□

A: Ken never studies, but he got the highest score on the test. ———— B: Maybe he studies in secret.

① Figure it out.　② Good for you.
③ Go figure.　④ Help yourself.

③ Go figure. 分からないものだね；不思議だね

訳 A：ケンは全然勉強しないのに、テストで最高点を取ったんだ。分からないものだよね。　B：こっそり勉強しているのかもね。

解説 勉強しないのに最高点という理屈に合わない事実を言った後に付けるので Go figure.（分からないものだね）。Good for you. は相手に「よかったね」と言う言葉で、自分の話の後には置かない。Figure it out. は「自分で考えなさい」と相手に指示する言葉。Help yourself. は「ご自由にどうぞ」と食べ物などを勧める言葉。

区別 **Go figure. ⇔ Figure it out.** Figure it out. は「（自分で）考えて解決しなさい」と相手に求める指示。Go figure. は「（理屈が）分からないね」と不思議さを表す感想で、相手に何かを求めていない。

0438 □□□

A: I stayed up all night studying, and the test was still so hard. B: ———— I had the same problem last term.

① You're welcome.　② I'm down.
③ I feel you.　④ Never mind.

③ I feel you. 分かるよ；気持ちは分かる

訳 A：徹夜で勉強したのに、それでもテストがすごく難しかったんだ。　B：分かるよ。僕も前の学期に同じ目にあったよ。

解説 徹夜しても難しかったという愚痴に、自分も同じ経験をしたと共感しているので I feel you.（分かるよ）。I'm down. は誘いに「乗った」と答える言葉。You're welcome. はお礼への返事。Never mind. は「気にしないで」と謝罪を受け流したり話を打ち切ったりする言葉で、共感にならない。

区別 **I feel you. ⇔ I feel for you.** I feel for you. は「（あなたの不幸を）気の毒に思う・同情する」。I feel you. は「（あなたの言うことが）分かる・共感する」。見分け方：つらい出来事への同情なら for、意見・愚痴への共感なら you。

0439 □□□

A: Who wants to try the world's spiciest curry with me? B: Sure, I'm ＿＿＿＿! Let's do it.

① the game　② a game
③ gaming　④ game

④ I'm game. 乗った；やるよ

訳 A：私と一緒に世界一辛いカレーに挑戦したい人いる？　B：うん、乗った！　やろう。

解説 挑戦の誘いに「やるよ」と答える I'm game. の game は形容詞（乗り気の）なので冠詞は付けない。a game / the game は名詞になり「私はゲームだ」となってしまう。gaming は「ゲームをすること」で、I'm gaming は「ゲーム中だ」の意味になる。

区別 **I'm game. ⇔ I'm in. / Count me in.** I'm in. / Count me in. も「参加する」だが、計画や仲間に加わること全般に使う。I'm game. は大変そう・変わったことに挑戦する意欲を示すときに特に使う。

0440 □□□

A: Do you know the answer to question five? B: No, I'm ＿＿＿＿. I've been staring at it for twenty minutes.

① stumped　② stumping
③ stump　④ stumps

① I'm stumped. お手上げだ；さっぱり分からない

訳 A：5 番の問題の答え分かる？　B：いや、お手上げ。20 分もにらめっこしてるんだけど。

解説 stump は「（人を）困らせる」という他動詞なので、「私は困らされている＝お手上げだ」は受け身の I'm stumped。stumping だと「私が（誰かを）困らせている」となり逆の意味。stump / stumps は動詞の原形・三単現で、be 動詞の後ろに置けない。

区別 **I'm stumped. ⇔ I'm stuck.** I'm stuck. は「（作業が）行き詰まっている・身動きがとれない」で、渋滞や作業の途中で使う。I'm stumped. は難問・質問の答えが全く思いつかないとき。かなり重なるが、質問へのお手上げなら stumped が自然。

0441 □□□

A: We lost the practice game. I can't believe it! Everyone played terribly. B: ＿＿＿＿ It was just practice. We're here to have fun.

① Watch out.　② Hold on tight.
③ Keep it up.　④ Lighten up.

④ Lighten up. そんなに深刻にならないで

訳 A：練習試合に負けた。信じられない！　みんなひどいプレーだった。　B：そんなに深刻にならないで。ただの練習だよ。楽しむために来ているんだから。

解説 練習試合の負けに怒っている A を「ただの練習、楽しもう」となだめているので Lighten up.（深刻にならないで）。Hold on tight. は「しっかりつかまって」、Keep it up. は「その調子で続けて」と好調な人を励ます言葉、Watch out. は「危ない、気をつけて」で、どれもなだめる流れに合わない。

区別 **Lighten up. ⇔ Cheer up.** Cheer up. は「元気を出して」と、落ち込んでいる人を励ます。Lighten up. は「肩の力を抜いて」と、深刻すぎる・ぴりぴりしている人をなだめる。見分け方：悲しんでいる相手には Cheer up.、真面目すぎ・怒りすぎの相手には Lighten up.。

0442 □□□

A: I'm sorry I'm late again. The bus was— B: ———— That's the third time this week. I don't want to hear any more excuses.

① Take care.　② Keep it.
③ Save it.　④ Help yourself.

③ Save it. もういい；言い訳は聞きたくない

訳 A：また遅れてごめん。バスが—— B：もういい。今週 3 回目だよ。言い訳はもう聞きたくない。

解説 遅刻の言い訳を途中で遮り「もう聞きたくない」と言っているので Save it.（もういい、言い訳は結構）。Keep it. は「（返さなくていいから）取っておいて」と物について言う言葉。Take care. は別れ際の「気をつけて」、Help yourself. は「ご自由にどうぞ」と食べ物を勧める言葉。

区別 **Save it. ⇔ Save your breath.** Save your breath. は「（どうせ聞き入れられないから）言うだけ無駄だ」と、相手の説得が無意味だと告げる。Save it. は「その言い訳はもういい」と話を打ち切る。どちらも冷たいが、Save your breath. は「無駄」に重点がある。

0443 □□□

A: Could you lower the price a little more? Ten thousand yen is a bit too much for me. B: Sorry, ten thousand is the lowest I can go. ————

① It's on the house.
② Keep the change.
③ Take it or leave it.
④ Help yourself.

③ Take it or leave it. 嫌なら結構；これ以上は譲れない

訳 A：もう少し値段を下げてもらえませんか。1 万円は私には少し高すぎます。 B：すみませんが、1 万円がぎりぎりです。嫌なら結構です。

解説 B は「1 万円が限界」と言っているので、「この値段で買うか、やめるかだ」と最終提示する Take it or leave it. が合う。Keep the change.（おつりは取っておいて）は代金を払う客の言葉。It's on the house.（店のおごりです）は無料にする意味で「1 万円が限界」と矛盾する。Help yourself.（ご自由にどうぞ）は飲食物を勧める言葉。

区別 **Take it or leave it. ⇔ Suit yourself.** Take it or leave it. は自分が条件を出して「受けるか断るか決めて、交渉はしない」と迫る言葉。Suit yourself. は相手の選択に対して「好きにすれば」と突き放す言葉で、条件を提示する働きはない。見分け方：自分が条件を出した直後なら Take it or leave it.、相手が何かを決めた後なら Suit yourself.。

0444 □□□

A: If you want to get into a top university, you'll have to study really hard. B: ———— The question is how to study efficiently.

① That's a given.　② That's a stretch.
③ Don't mention it.　④ You wish.

① That's a given. それは当然のことだ

訳 A：一流大学に入りたいなら、本当に一生懸命勉強しなければならないよ。 B：それは当然だよ。問題は、どうやって効率よく勉強するかだ。

解説 B は「勉強が必要」を認めたうえで「問題はどう効率よくやるかだ」と話を進めているので、「それは当然だ」の That's a given. が合う。That's a stretch.（それは無理がある）は相手の主張を疑う言葉で、後ろの発言とつながらない。Don't mention it. はお礼への返事、You wish.（そうはいかないよ）は相手の願望を茶化す言葉で、場面に合わない。

区別 **That's a given. ⇔ That's a stretch.** That's a given. は「当然だ」と相手の言葉を全面的に認める。That's a stretch. は「それは無理がある・こじつけだ」と疑う返事で、正反対。見分け方：言うまでもない事実への返事なら a given、大げさな主張への返事なら a stretch。

0445 □□□

A: I accidentally sent my boss a message that was meant for my friend — and it was a complaint about him! B: ＿＿＿＿ What are you going to do?

① Yum!　② Yikes!
③ Bingo!　④ Cheers!

② Yikes.　うわっ；ひえー（気まずい・まずい時の声）

訳 A：友達宛てのメッセージを間違えて上司に送っちゃったんだ。しかも上司の悪口だったんだよ！　B：うわっ、まずいね！　どうするの？

解説 上司の悪口を本人に誤送信したという「まずい」話への反応なので Yikes!（うわっ、まずい）。Yum! はおいしい物への言葉、Bingo! は「当たり・その通り」、Cheers! は乾杯・お礼の言葉で、どれも気まずい知らせへの反応にならない。

区別 **Yikes. ⇔ Wow.** Wow. は良いことにも悪いことにも使える「わあ」という驚き全般。Yikes. は嫌なこと・怖いこと・気まずいことへの「うわっ」に限られる。見分け方：すごい成果をほめるなら Wow、まずい状況なら Yikes。

0446 □□□

A: How did you know it was my birthday today? I never told anyone at work. B: ＿＿＿＿ Happy birthday!

① Beats me.
② A little bird told me.
③ I couldn't care less.
④ Don't make me laugh.

② A little bird told me.　ちょっと小耳にはさんでね

訳 A：今日が私の誕生日だって、どうして知ってたの？　職場の誰にも言ってないのに。　B：ちょっと小耳にはさんでね。誕生日おめでとう！

解説 「どうして知ったの？」に対し、情報源をぼかしておどけて答える A little bird told me. が合う。Beats me.（さっぱり分からない）は、誕生日を知っていた自分の行動と矛盾する。I couldn't care less.（どうでもいい）は祝う言葉と合わず、Don't make me laugh.（笑わせないで）は相手の話を信じないときの皮肉。

区別 **A little bird told me. ⇔ hear ~ through the grapevine** どちらもうわさで知ったことを表すが、A little bird told me. は情報源を「わざと隠す」ための返事。hear ~ through the grapevine は「人づてのうわさで聞いた」と経路を説明する言い方で、隠すニュアンスはない。見分け方：とぼけてごまかすなら little bird。

0447 □□□

A: You've never sung in public before. Are you ready to go on stage? B: Not really, but ＿＿＿＿

① here goes nothing.
② here you are.
③ that's a given.
④ you'll live.

① Here goes nothing.　だめもとでやってみよう

訳 A：人前で歌ったことはないよね。ステージに出る準備はできた？　B：あまり。でも、だめもとでやってみるよ。

解説 「準備はできていないけど」の後なので、だめもとで挑む掛け声 here goes nothing が合う。here you are は物を手渡す言葉。that's a given（当然だ）は「準備できていない」と矛盾する。you'll live（死にはしないよ）は痛がる相手をなだめる言葉で、自分の挑戦には使えない。

区別 **Here goes nothing. ⇔ Here you go.** Here goes nothing. は挑戦する直前の自分への掛け声。Here you go. は物を手渡すときの「はい、どうぞ」。見分け方：何かに挑むなら Here goes、物を渡すなら Here you go。

0448 □□□

A: What seems to be the problem? B: I've had ＿＿＿＿ since last night, so I keep running to the bathroom.

① the diarrhea　② a diarrhea
③ diarrheas　④ diarrhea

④ I have diarrhea. 下痢をしています

訳 A：どうしましたか。　B：昨夜から下痢をしていて、何度もトイレに駆け込んでいます。

解説 diarrhea（下痢）は不可算名詞なので a も複数の s も付けない。the を付けると特定の下痢を指すことになり、初めて症状を伝える場面では不自然。a headache や a cold のように a が付く症状と区別すること。

区別 **I have diarrhea. ⇔ I have an upset stomach.** I have diarrhea. は「下痢をしている」と具体的な症状。I have an upset stomach. は「お腹の調子が悪い（胃のむかつき・消化不良）」とぼかした言い方で、こちらは an が付く。見分け方：症状をはっきり言うなら diarrhea（冠詞なし）、軽く不調を言うなら an upset stomach。

0449 □□□

A: I'm going to study ten hours every day during summer vacation. B: ＿＿＿＿ You couldn't even study for one hour yesterday.

① Don't make me laugh.
② Consider it done.
③ That's the ticket.
④ Good for you.

① Don't make me laugh. 笑わせないでよ

訳 A：夏休みは毎日 10 時間勉強するつもりなんだ。　B：笑わせないでよ。昨日は 1 時間も勉強できなかったじゃない。

解説 B は「昨日は 1 時間も勉強できなかった」と続けて相手を信じていないので、皮肉の Don't make me laugh.（笑わせないで）が合う。Consider it done.（すぐやっておきます）は依頼への返事。That's the ticket.（それだよ）と Good for you.（偉いね）は相手を認める言葉で、後ろの疑いと矛盾する。

区別 **Don't make me laugh. ⇔ You crack me up.** Don't make me laugh. は相手の発言を「ばかげている」と否定する皮肉。You crack me up. は相手が面白いと素直にほめる言葉。見分け方：信じない・あきれるなら Don't make me laugh、本当に面白いなら You crack me up。

0450 □□□

A: Oh no, I've lost my wallet! My life is over! What am I going to do? B: ＿＿＿＿ It's only a wallet. Let's call the card company first.

① Get a life.
② Get lost.
③ Get a grip.
④ You're telling me.

③ Get a grip. しっかりしろ；落ち着け

訳 A：どうしよう、財布をなくした！　人生終わりだ！　どうしたらいいの？　B：しっかりして。たかが財布じゃない。まずカード会社に電話しよう。

解説 財布をなくして取り乱す相手に「落ち着いて」と言い、一緒に対処しようとしているので Get a grip.。Get lost.（あっちへ行け）は助けようとする流れと合わない。Get a life.（もっとまともなことをしろ）は相手をばかにする言葉。You're telling me.（まったくその通り）は「人生終わり」に同意することになり、後の「たかが財布」と矛盾する。

区別 **Get a grip. ⇔ Get a life.** Get a grip. は「（取り乱さず）しっかりしろ」、Get a life. は「（つまらないことに夢中にならず）もっとまともなことをしろ」と相手の生活ぶりをばかにする言葉。見分け方：パニック・動揺への言葉なら grip。

0451 □□□

A: I have an extra ticket for a three-hour opera tonight. Do you want to come? B: ———— Opera puts me to sleep.

① Thanks, but no thanks.
② Count me in.
③ Consider it done.
④ I'd love to.

① Thanks, but no thanks. ありがたいけど結構です

訳 A：今夜の 3 時間のオペラのチケットが 1 枚余っているんだ。来ない？ B：ありがたいけど、遠慮しておくよ。オペラを見ると眠くなるんだ。

解説 B は「オペラを見ると眠くなる」と続けているので、誘いをきっぱり断る Thanks, but no thanks. が合う。Count me in.（参加する）と I'd love to.（喜んで）は誘いを受ける言葉で、後ろの理由と矛盾する。Consider it done.（すぐやっておきます）は頼まれごとへの承諾。

区別 **Thanks, but no thanks. ⇔ No, thank you.** どちらも断りだが、No, thank you. は丁寧で中立的。Thanks, but no thanks. は「気持ちはありがたいが、絶対に要らない」と強く、ややぶっきらぼう・皮肉に響く。見分け方：礼儀正しく断るなら No, thank you、きっぱり突っぱねるなら Thanks, but no thanks。

0452 □□□

A: Oh no, the elevator is out of order again. We'll have to walk up to the tenth floor. B: ————

① What a nuisance!
② What a relief!
③ What a coincidence!
④ What a deal!

① What a nuisance! なんて面倒な！；困ったなあ

訳 A：ああ、またエレベーターが故障している。10 階まで歩いて上がらなければならないね。 B：なんて面倒なんだ！

解説 エレベーターが故障して 10 階まで歩くはめになった、という面倒な状況への反応なので What a nuisance!。What a relief!（ほっとした）は安心したとき、What a coincidence!（偶然だね）は偶然の一致に、What a deal!（お買い得だ）は安く買えたときの言葉。

区別 **What a nuisance! ⇔ What a shame!** What a nuisance! は「面倒だ・迷惑だ」というだつ気持ち。What a shame! は「残念だ・かわいそうに」と惜しむ気持ち。見分け方：手間が増えてうんざりなら nuisance、期待が外れて残念なら shame。

0453 □□□

A: And then I realized I had been wearing my shirt inside out all day at the office! B: Ha ha! ————

① You crack me up.
② You can say that again.
③ Says who?
④ Look alive!

① You crack me up. 君って本当に面白いね

訳 A：それで、職場で一日中シャツを裏返しに着ていたことに気づいたんだ！ B：ハハ！ 君って本当に面白いね。

解説 一日中シャツを裏返しに着ていたという笑い話に「ハハ！」と笑っているので、「君って面白いね」の You crack me up.。You can say that again.（まったくその通り）は相手の意見への同意、Says who?（誰が言ったの）は反発、Look alive!（しゃきっとして）は注意を促す言葉で、笑い話への反応にならない。

区別 **You crack me up. ⇔ crack up** 自動詞 crack up は「（人が）大笑いする」、また「（精神的に）参る」の意味もある。You crack me up. は他動詞で「（あなたが）私を笑わせる」。見分け方：目的語 me があれば笑わせる側が主語。

0454 □□□

A: Try this drink. It's made from raw eggs, garlic, and vinegar. B: _____ No way am I drinking that!

① Yuck!　② Yum!
③ Cheers!　④ Bingo!

① Yuck! おえっ！；気持ち悪い！

訳 A：この飲み物を飲んでみて。生卵とにんにくと酢でできているんだ。　B：おえっ！　そんなの絶対に飲まないよ！

解説 生卵・にんにく・酢でできた飲み物を「絶対飲まない」と拒んでいるので、嫌悪を表す Yuck!。Yum!（おいしい）は正反対、Cheers!（乾杯）は飲む前の言葉で拒否と矛盾し、Bingo!（当たり）は意味が合わない。

区別 **Yuck! ⇔ Yum!** 反対の意味。Yuck! は「まずい・気持ち悪い」、Yum! は「おいしい！」。見分け方：嫌悪なら Yuck、喜びなら Yum。

0455 □□□

A: Could you send these documents to the client by this afternoon? B: _____ I'll do it right after lunch.

① Consider it done.
② I'm on the mend.
③ Thanks, but no thanks.
④ That's a wrap.

① Consider it done. お安いご用；すぐやっておきます

訳 A：今日の午後までに、この書類を取引先に送ってもらえますか。　B：お任せください。昼食後すぐにやります。

解説 書類の送付を頼まれ「昼食後すぐやる」と続けているので、引き受ける Consider it done.。I'm on the mend.（回復に向かっている）は体調の話、Thanks, but no thanks.（結構です）は断りで後ろと矛盾し、That's a wrap.（これで終わり）は作業の終了を告げる言葉。

区別 **Consider it done. ⇔ Done.** Done. 単独は「（取引・提案に）決まり・それで手を打とう」、または「終わった」。Consider it done. は「（これから）必ずやる」と引き受ける返事。見分け方：依頼を引き受けるなら Consider it done、条件に合意するなら Done。

0456 □□□

A: I heard you were in the hospital with pneumonia. How are you feeling now? B: Much better, thanks. I'm on the _____.

① mend　② move
③ rise　④ run

① I'm on the mend. 回復に向かっています

訳 A：肺炎で入院していたと聞いたよ。今の具合はどう？　B：ずっと良くなったよ、ありがとう。回復に向かっているところだ。

解説 「ずっと良くなった」と続くので「回復に向かっている」の on the mend。on the move は「移動中で・活動的で」、on the rise は「増加中で」、on the run は「逃亡中で」で、体調の回復を表さない。

区別 **I'm on the mend. ⇔ I'm under the weather.** 反対の状態。I'm on the mend. は「快方に向かっている」、I'm under the weather. は「体調が悪い」。見分け方：良くなっているなら on the mend、具合が悪いなら under the weather。

0457 □□□

A: You can't wear jeans to this restaurant. B: ＿＿＿＿ I don't see any sign that says so.

① Says who?　② Says me.
③ So do I.　④ Same here.

① Says who? 誰がそんなこと言ったの？

訳 A：このレストランにはジーンズでは入れないよ。　B：誰がそんなこと言ったの？　そんな掲示はどこにもないけど。

解説 「ジーンズは禁止」と言われ、「そんな掲示はない」と反論しているので、根拠を突き放す Says who?（誰がそんなこと言ったの）。Says me.（私がそう言っているの）は命令する側が言い返す言葉で立場が逆。So do I.・Same here.（私も）は同意を表し、反論と合わない。

区別 **Says who? ⇔ Who said that?** Who said that? は「（実際に）誰がそれを言ったの？」と発言者を知りたい普通の質問。Says who? は答えを求めず「そんなこと誰が決めた」と反発する言葉。見分け方：反論なら Says who?。

0458 □□□

A: Okay, everyone, the last scene looked perfect. ＿＿＿＿ Thanks for your hard work today! B: Great! Let's go get dinner.

① That's a wrap.
② Here goes nothing.
③ Rise and shine!
④ Look alive!

① That's a wrap. これで終わり；撮影終了

訳 A：よし、皆さん、最後のシーンは完璧でした。これで撮影終了です。今日はお疲れさまでした！　B：やった！　夕食を食べに行こう。

解説 最後のシーンが完璧に撮れて「今日はお疲れさま」と続くので、撮影終了を告げる That's a wrap.。Here goes nothing.（だめもとでやってみる）は挑戦の前、Rise and shine!（さあ起きて）は朝の言葉、Look alive!（しゃきっとして）は気合を入れる言葉で、仕事の締めくくりに合わない。

区別 **That's a wrap. ⇔ That's that.** That's a wrap. は「（予定していた作業・撮影が）無事終了」と区切りを告げる明るい言葉。That's that. は「それで決まり・もう話は終わり（議論の余地なし）」と打ち切る言葉。見分け方：仕事の終了なら a wrap、決定事項の押し付けなら that。

0459 □□□

A: I baked an apple pie with fresh apples from my uncle's farm. Want a slice? B: ＿＿＿＿ It smells amazing!

① Yum!　② Yuck!
③ Yikes!　④ Oops!

① Yum! おいしい！

訳 A：おじの農園でとれた新鮮なリンゴでアップルパイを焼いたんだ。一切れどう？　B：おいしそう！　すごくいい匂い！

解説 焼きたてのアップルパイを勧められ「すごくいい匂い」と喜んでいるので Yum!（おいしそう）。Yuck!（気持ち悪い）は正反対、Yikes!（うわっ、まずい）は困った状況への反応、Oops!（おっと）は小さな失敗をしたときの言葉。

区別 **Yum! ⇔ Yuck!** 反対の意味。Yum! は「おいしい」、Yuck! は「まずい・気持ち悪い」。見分け方：喜びなら Yum、嫌悪なら Yuck。

0460 □□□

A: I passed the entrance exam! B: That's fantastic! ＿＿＿＿

① Give me five!　② Give me a hand!
③ Give me a break!　④ Give me a ring!

① Give me five! ハイタッチしよう！

訳 A：入試に合格したよ！　B：すごいね！　ハイタッチしよう！

解説 合格の知らせに喜び合う場面なので、ハイタッチを誘う Give me five!。Give me a hand!（手伝って）は助けを求める言葉、Give me a break!（勘弁してよ）はうんざりしたときの言葉、Give me a ring!（電話してね）は電話の依頼で、どれも喜びを分かち合う言葉にならない。

区別 **Give me five! ⇔ Give me a hand.** Give me five! は「ハイタッチしよう」、Give me a hand. は「手を貸して（手伝って）」。どちらも手の話だが意味は無関係。見分け方：喜びを分かち合うなら five、助けを求めるなら a hand。

0461 □□□

A: My cat sat on my math textbook, so I think she wants me to become a mathematician. B: ＿＿＿＿ She probably just likes the warm book.

① That's a stretch.
② That's a given.
③ That's the ticket.
④ Consider it done.

① That's a stretch. それは無理があるよ

訳 A：猫が私の数学の教科書の上に座ったから、私に数学者になってほしいんだと思う。　B：それは無理があるよ。たぶん本が温かいから好きなだけだよ。

解説 猫が教科書に座った＝数学者になってほしい、という強引な解釈に「たぶん温かいのが好きなだけ」と疑っているので That's a stretch.。That's a given.（当然だ）と That's the ticket.（それだよ）は相手を認める言葉で後ろと矛盾し、Consider it done.（任せて）は依頼への返事。

区別 **That's a stretch. ⇔ That's a given.** That's a stretch. は「無理がある」と疑う、That's a given. は「当然だ」と全面的に認める。正反対の返事。見分け方：大げさ・こじつけなら stretch、言うまでもない事実なら given。

0462 □□□

A: I was looking forward to the beach this weekend, but it's going to rain both days. B: ＿＿＿＿ Maybe we can go to the aquarium instead.

① What a bummer.
② What a relief!
③ What a coincidence!
④ What a steal!

① What a bummer. がっかりだ

訳 A：今週末の海を楽しみにしていたのに、2 日とも雨らしいんだ。　B：がっかりだね。代わりに水族館に行こうか。

解説 楽しみにしていた海が雨でだめになったという残念な話への返事なので What a bummer.（がっかりだね）。What a relief!（ほっとした）は逆の気持ち、What a coincidence!（偶然だね）は偶然の一致、What a steal!（掘り出し物だ）は安い買い物への言葉で合わない。

区別 **What a bummer. ⇔ What a relief!** 反対の気持ち。What a bummer. は「がっかりだ」、What a relief! は「ほっとした」。見分け方：期待外れなら bummer、心配が消えたなら relief。

0463 □□□

A: Here's the 3,000 yen I borrowed last week. ———— B: Yes, we're even now. Thanks.

① Are we square?　② Are we there yet?
③ Are you in?　④ Are you with me?

① Are we square?
これで貸し借りなし？；これでおあいこ？

訳 A：先週借りた 3,000 円だよ。これで貸し借りなしだよね？ B：うん、これでおあいこだ。ありがとう。

解説 借りた 3,000 円を返して「これで貸し借りなし？」と確かめ、B が「これでおあいこだ」と答えているので Are we square?。Are we there yet?（もう着いた？）は移動中の言葉、Are you in?（参加する？）は誘い、Are you with me?（分かる？・賛成？）は理解の確認で、we're even の答えと合わない。

区別 **Are we square? ⇔ fair and square** fair and square は「正々堂々と・公正に」（win fair and square）。Are we square? の square は「貸し借りなし」。同じ square でも意味が違う。見分け方：勝ち方・やり方なら fair and square、借りの清算なら square。

0464 □□□

A: Did you finish the report for the boss? B: No, I haven't even started, and it's due in an hour. ————

① I'm toast.　② I'm stuffed.
③ You'll live.　④ Easy peasy.

① I'm toast. もうおしまいだ

訳 A：上司への報告書は終わった？ B：いや、まだ手もつけてないのに、締め切りは 1 時間後なんだ。もうおしまいだよ。

解説 締め切りまで 1 時間なのに手つかずで、ひどい目にあうのが確実なので I'm toast.（もうおしまいだ）。I'm stuffed. は「お腹いっぱい」。You'll live. は大げさに嘆く相手に言う言葉で、自分には使わない。Easy peasy. は「楽勝」で状況と正反対。

区別 **I'm toast. ⇔ I'm stuffed.** I'm stuffed. は「お腹いっぱい」。どちらも食べ物の語だが、I'm toast. は窮地に立たされた気持ち。見分け方：食事の後なら stuffed、怒られる・失敗する場面なら toast。

0465 □□□

A: Ouch! I just got a paper cut. It really hurts! B: ———— Let me get you a bandage.

① Get well soon.　② You'll live.
③ I'm toast.　④ Rise and shine!

② You'll live. 死にはしないよ；大丈夫だって

訳 A：痛っ！ 紙で指を切っちゃった。すごく痛い！ B：死にはしないよ。ばんそうこうを持ってきてあげる。

解説 紙で指を切った程度で大げさに痛がる相手に「大丈夫、死なないよ」と軽く返す You'll live. が合う。Get well soon. は病気の人を見舞う言葉で、目の前の小さな傷には使わない。I'm toast. は自分が窮地にあるときの言葉。Rise and shine! は朝に人を起こす言葉。

区別 **You'll live. ⇔ Get well soon.** Get well soon. は本当に病気やけがをした人を心から気づかう「お大事に・早く良くなってね」。You'll live. は大したことのない相手を軽くからかう。見分け方：本気の見舞いなら Get well soon.。

0466 □□□

A: Can you fix my bike chain? It came off again. B: ———— Give me two minutes.

① Easy does it.
② Easy peasy.
③ I'm toast.
④ What gives?

② Easy peasy. 超簡単；楽勝

訳 A：自転車のチェーン、直せる？　また外れちゃったんだ。B：楽勝だよ。2分ちょうだい。

解説 「2分ちょうだい」と続くので、簡単だと請け合う Easy peasy.（楽勝）。Easy does it. は「慎重に・ゆっくりね」と相手に注意する言葉。I'm toast. は「もうおしまいだ」、What gives? は「どうしたの？」で、頼みを引き受ける返事にならない。

区別 **Easy peasy. ⇔ Easy does it.** Easy does it. は「慎重に・ゆっくりね」と相手に注意する言葉。同じ easy でも Easy peasy. は「楽勝」。見分け方：重い物を運ぶ・危ない作業の場面なら Easy does it.。

0467 □□□

A: ———— It's seven o'clock, and breakfast is ready! B: Five more minutes, Mom...

① Look alive!
② Sweet dreams!
③ Rise and shine!
④ Have a good one!

③ Rise and shine! さあ起きて！

訳 A：さあ起きて！　7時よ、朝ご飯ができてるわ！　B：お母さん、あと5分……。

解説 7時で朝食ができたと寝ている子を起こしているので Rise and shine!（さあ起きて）。Look alive! は起きている人がぼんやりしているときに「しゃきっとして」と言う言葉。Sweet dreams! は寝る前の「おやすみ」、Have a good one! は別れ際の「良い一日を」。

区別 **Rise and shine! ⇔ Look alive!** Look alive! は起きてはいるがぼんやりしている人に「しゃきっとして」と言う言葉。Rise and shine! は寝床にいる人を起こす。見分け方：寝ている相手なら Rise and shine!。

0468 □□□

A: You said you'd come to my party, but you never showed up. ———— B: Sorry, my car broke down on the way.

① So what?
② Who cares?
③ What's new?
④ What gives?

④ What gives? どうしたの？；何があったの？

訳 A：パーティーに来るって言ったのに、来なかったじゃない。どうしたの？　B：ごめん、途中で車が故障したんだ。

解説 約束したのに来なかった理由を少し不満げに尋ねているので What gives?（どうしたの？）。B も理由を答えている。So what? は「だから何？」、Who cares? は「どうでもいい」で、理由を尋ねる言葉ではない。What's new? は「最近どう？」という挨拶。

区別 **What gives? ⇔ What's up?** What's up? は「どうしたの？」のほか「やあ、元気？」という軽い挨拶にも使う。What gives? は挨拶には使わず、変だと感じたことの理由を問う。

0469 □□□

A: I got 85 on the math test. B: ＿＿＿＿ You only got 50 last time!

① Not too shabby.　② Too bad.
③ Not on your life.　④ Don't mention it.

① Not too shabby.　なかなかいいね

訳 A：数学のテスト、85 点だったよ。　B：なかなかやるじゃない。前回はたったの 50 点だったのに！

解説 前回 50 点から 85 点に上がった相手を控えめにほめるので Not too shabby.（なかなかいいね）。Too bad. は「残念だね」で喜ばしい結果と合わない。Not on your life. は「絶対に嫌だ」と断る言葉、Don't mention it. は「どういたしまして」でお礼への返事。

区別 **Not too shabby. ⇔ shabby**　shabby だけなら「みすぼらしい・ひどい」で、悪い意味（shabby clothes / shabby treatment）。Not too shabby. と打ち消すと控えめなほめ言葉になる。

0470 □□□

A: Maybe we could ask the neighbors to help us move the piano. B: ＿＿＿＿ Why didn't I think of that?

① That's a shame.
② That's the ticket.
③ That'll be the day.
④ You shouldn't have.

② That's the ticket.　それだよ；それでいいんだ

訳 A：近所の人たちにピアノを運ぶのを手伝ってもらえるかもね。　B：それだよ！　どうして思いつかなかったんだろう。

解説 相手の案に「まさにそれだ」と賛成し「なぜ思いつかなかった」と続くので That's the ticket.。That's a shame. は「残念だ」。That'll be the day. は「そんな日が来るものか（ありえない）」と疑う言葉。You shouldn't have. は贈り物をもらったときの「気をつかわなくてよかったのに」。

区別 **That's the ticket. ⇔ That's the spirit.**　That's the spirit. は「その意気だ」で、前向きな気持ち・心構えをほめる。That's the ticket. は方法・案が「まさに正解」だと言う。見分け方：やる気をほめるなら spirit、アイデアなら ticket。

0471 □□□

A: Can I talk to you for a minute? B: Sure, but make it ＿＿＿＿. My train leaves in five minutes.

① happy　② snappy
③ sleepy　④ sloppy

② Make it snappy.　さっさとやって

訳 A：ちょっと話せる？　B：いいけど、手短にね。電車があと 5 分で出るんだ。

解説 電車があと 5 分で出るので「手短に・さっさと」と急かす make it snappy。happy は「楽しく」、sleepy は「眠そうに」、sloppy は「いい加減に・だらしなく」で、急ぐ理由と結びつかない。snappy（きびきびした）は make it quick の quick と同じ働き。

区別 **Make it snappy. ⇔ make it**　make it だけなら「間に合う・うまくいく・都合がつく」（I can't make it to the party.）。Make it snappy. は「急いで」。見分け方：snappy / quick などの形容詞が続けば「〜にしろ」。

0472 □□□

A: So, how much money do you make a month? B: ＿＿＿＿ That's private.

① None of your beeswax.
② Suit yourself.
③ Count me in.
④ You'll live.

① None of your beeswax. あなたには関係ないでしょ

訳 A：で、月にいくら稼いでるの？　B：あなたには関係ないでしょ。それは秘密だよ。

解説 給料という私的な質問に「秘密だ」と続けて答えを断っているので None of your beeswax.。Suit yourself. は「勝手にすれば」と相手の選択を受け流す言葉。Count me in. は「私も参加する」、You'll live. は大げさに痛がる相手への「死にはしないよ」。

区別 **None of your beeswax. ⇔ Mind your own business.** Mind your own business. は「余計なお世話だ・自分のことをしろ」という命令で、かなりきつい。None of your beeswax. は冗談めかして軽くかわす。見分け方：本気で怒るなら Mind your own business.。

0473 □□□

A: The customers are coming in! Stop daydreaming and ＿＿＿＿ B: Sorry, I'm on it.

① look alive!　② sweet dreams!
③ you'll live!　④ take it easy!

① Look alive! しゃきっとして！

訳 A：お客さんが入ってくるよ！　ぼーっとしてないで、しゃきっとして！　B：すみません、すぐやります。

解説 客が来るのにぼんやりしている相手を急かしているので look alive!（しゃきっとして）。sweet dreams! は寝る前の「おやすみ」。you'll live! は大げさに痛がる相手への「死にはしないよ」。take it easy! は「気楽にね・無理しないで」で、急がせる場面と正反対。

区別 **Look alive! ⇔ Rise and shine!** Rise and shine! は寝ている人を朝起こす言葉。Look alive! は起きているのにぼんやりしている人に言う。見分け方：寝床にいるなら Rise and shine!。

0474 □□□

A: I spend every weekend collecting old bottle caps. B: Well, ＿＿＿＿ It's not for me, but enjoy it!

① that's the ticket.
② whatever floats your boat.
③ you'll live.
④ rise and shine.

② Whatever floats your boat. 好きにすればいいよ

訳 A：毎週末、古い瓶のふたを集めてるんだ。　B：まあ、好きにすればいいよ。私には向いてないけど、楽しんでね！

解説 自分には興味がない（It's not for me）相手の趣味を「人それぞれ」と受け流しているので Whatever floats your boat.。That's the ticket. は「まさにそれだ」と賛成する言葉で後半と合わない。You'll live. は痛がる相手への「死にはしないよ」、Rise and shine. は朝起こす言葉。

区別 **Whatever floats your boat. ⇔ Suit yourself.** Suit yourself. は相手がこちらの誘い・提案を断ったときに「勝手にすれば」と少し突き放す。Whatever floats your boat. は相手の好みを「人それぞれ」と受け流す。

0475 □□□

———— , stop playing video games and do your homework! I've told you three times!

① For example
② For good
③ For the time being
④ For crying out loud

④ For crying out loud!

まったくもう！；いい加減にして

訳 まったくもう、テレビゲームをやめて宿題をしなさい！　もう3回も言ったでしょう！

解説 3回言っても聞かない相手へのいら立ちなので For crying out loud（まったくもう）。For example は「例えば」、For good は「永久に」、For the time being は「当分の間」で、どれも怒りを表す間投詞にならない。

区別 **For crying out loud! ⇔ For heaven's sake!** For heaven's sake! もいら立ちを表すが、「お願いだから」と頼みを強めるのにも使う。For crying out loud! はいら立ち・あきれの気持ちが中心。

0476 □□□

A: You're a math teacher. Why are you telling the doctors how to treat patients? B: Hmm, maybe you're right. I should stay in my ———— .

① way　② road
③ lane　④ seat

③ Stay in your lane.

自分のことに専念して；口を出さないで

訳 A：あなたは数学の先生でしょ。どうして医者に患者の治療法を指示してるの？　B：うーん、そうかもね。自分の専門のことに専念すべきだね。

解説 専門外の医療に口を出していたと認めているので stay in my lane（自分の持ち場を守る）。way、road、seat は stay in と組んで「自分の専門に専念する」という決まった意味にならない（stay in my seat は文字どおり「席に座っている」）。

区別 **Stay in your lane. ⇔ Mind your own business.** Mind your own business. は個人的なことに立ち入るな、という強い言い方。Stay in your lane. は専門外・担当外のことに口を出すな、という意味合い。

確認テスト５ 会話表現｜日本語に合うように、空所に１語を書き込もう（答えは赤字）

0387 この仮装パーティーは何でもありだから、好きな格好をしてね。
At this costume party, anything **goes**, so wear whatever you like.

0388 「慎重にね。腰を痛めないようにゆっくり箱を持ち上げて」
“**Easy** does it. Lift the box slowly so you don't hurt your back.”

0389 「すみません、以前お会いしましたっけ？見覚えがあるのですが」
“Excuse me, have we **met** before? You look familiar.”

0390 「先週祖父が亡くなったんだ」「本当にご愁傷さまです」
“My grandfather passed away last week.” “I'm so sorry for your **loss**.”

0391 「サラダはやめてステーキを頼もうか」「そうこなくちゃ！」
“Let's skip the salad and order some steak instead.” “Now you're **talking**!”

0392 「また傘をなくしちゃった」「ついてないね。私の貸してあげる」
“I lost my umbrella again.” “**Tough** luck. You can borrow mine.”

0393 「今日申し込めばスマホが無料でもらえますよ」「本当？何か裏があるんでしょ？」
“You can get a free phone if you sign up today.” “Really? What's the **catch**?”

0394 「電話でごめんね。さて、どこまで話したっけ？」
“Sorry about that phone call. Now, **where** was I?”

0395 「今年の夏はパリに行くの？」「行けたらいいんだけどね！仕事なんだ」
“Are you going to Paris this summer?” “I **wish**! I have to work.”

0396 「二人とも、やめて！勉強してるんだから」
“**Knock** it off, you two! I'm trying to study.”

0397 「ジュースを注ぐね。いいところで言って」「ストップ！それで十分、ありがとう」
“I'll pour you some juice. **Say** when.” “When! That's enough, thanks.”

0398 「新しい仕事のために引っ越すってこと？」「うん、まあそんなところ」
“So you're moving because of your new job?” “Yeah, something **like** that.”

0399 「今夜までにレポートを全部終わらせられる？」「それは無理な注文だよ」
“Can you finish the whole report by tonight?” “That's a tall **order**.”

0400 「パーティーはみんな年上で、場違いな気がしたよ」
“Everyone at the party was older than me. I felt out of **place**.”

0401 「少なくとも私は、新しい規則はいい考えだと思う」
“I, for **one**, think the new rule is a good idea.”

0402 「昇給をお願いするの？」「まだ。今は様子を見た方がいいと思う」
“Are you going to ask for a raise?” “Not yet. I'd better sit **tight**.”

0403 「なんで彼が君のことを好きだと思うの？」「分からない。ただの勘」
"Why do you think he likes you?" "I don't know. Just a **hunch** ."

0404 「授業中に寝ちゃって先生に怒られた」「当然だよ！」
"I fell asleep in class and the teacher got angry." " **Serves** you right!"

0405 「部屋を掃除して宿題も終わらせたよ」「そうそう、それでいいんだよ！」
"I cleaned my room and finished my homework." "That's more **like** it!"

0406 「あの店は何でも売ってるよ。食べ物、服、おもちゃ、何でもね」
"They sell everything at that shop: food, clothes, toys, you **name** it."

0407 「もしもし？声が途切れてるよ。あとでかけ直すね」
"Hello? You're **breaking** up. I'll call you again later."

0408 ティム、食べ物で遊ぶのはやめて、年相応に振る舞いなさい！
Stop playing with your food and act your **age** , Tim!

0409 「上達するには練習するしかないよ」「それは否定できないね」
"Practice is the only way to improve." "Can't **argue** with that."

0410 「落ち着けって！ただのゲームだよ。誰が勝っても気にしないよ」
" **Chill** out! It's just a game. Nobody cares who wins."

0411 「答えは 45？」「惜しい！46 だよ」
"Is the answer forty-five?" "Close, but no **cigar** . It's forty-six."

0412 「もうたくさん！もう君にお金は貸さないよ」
" **Enough** is enough! I'm not lending you money again."

0413 よう、元気にしてた？久しぶり！
Hey man, how you **doing** ? Long time no see!

0414 「最後のケーキ食べたの誰？」「知らないよ。私じゃない」
"Who ate the last piece of cake?" " **Search** me. It wasn't me."

0415 「ずっとあくびして時計を見てるでしょ。察してよ」
"I keep yawning and looking at the clock. Can't you take a **hint** ?"

0416 「踊りに行かない？」「踊るのはあまり好きじゃないけど、行くよ」
"Do you want to go dancing?" "I'm not **one** for dancing, but I'll come."

0417 「終バスに乗り遅れた」「最高だね。で、どうする？」
"We missed the last bus." "Great. **Now** what?"

0418 「試験が中止になったよ」「それは最高の知らせだ！」
"The exam has been canceled." "That's **music** to my ears!"

0419 「この行列、すごく長いね」「まったくだよ。もう 1 時間も待ってる」
"This line is so long." "You're **telling** me. We've waited an hour."

0420 「土曜日の試合、来てくれるよね？」「必ず行くよ！」
"You'll be at my game on Saturday, right?" " **Count** on it!"

0421 「今夜は遅くまで起きてていいけど、調子に乗らないでね」
"You can stay up late tonight, but don't **push** your luck."

0422 「講義聞いてた？」「ごめん、うとうとしてた」
"Were you listening to the lecture?" "Sorry, I was **dozing** off."

0423 「君がランチをおごって、僕がタクシー代を払った。これで貸し借りなしだね」
"You bought lunch, and I paid for the taxi. Let's call it **even** ."

0424 「試験日を変えてもらえますか」「ごめんなさい、それは私の権限ではないんです」
"Can you change my exam date?" "Sorry, that's out of my **hands** ."

0425 「一晩中静かだったね。何考えてるの？」
"You've been quiet all evening. A **penny** for your thoughts?"

0426 「しまった！また弁当箱を家に忘れた」
" **Shoot** ! I left my lunch box at home again."

0427 「1 分差でバスに乗り遅れた」「まあ、世の中そんなもんさ」
"I missed the bus by one minute." "That's the way the **cookie** crumbles."

0428 「先生は宿題のこと忘れるよ」「それは希望的観測だね」
"The teacher will forget about the homework." "That's **wishful** thinking."

0429 「ご両親によろしく伝えてね」「伝えておくよ。ありがとう」
"Tell your parents I said hello." " **Will** do. Thanks."

0430 「少し質問してもいい？」「いいよ、どんどん聞いて」
"Can I ask you a few questions?" "Sure, **fire** away."

0431 「今日駅であの有名俳優に会ったよ」「うそでしょ！本当に？」
"I met that famous actor at the station today." " **Get** out of here! Really?"

0432 「私の言ったこと聞いてた？」「ごめん、ちょっとぼーっとしてた」
"Did you hear what I said?" "Sorry, I was **spaced** out for a moment."

0433 「ケンは勉強しなかったからテストに落ちたんだって」「やっぱりね」
"Ken failed the test because he didn't study." "That **figures** ."

0434 夕食をありがとう。ジェーンと子どもたちによろしくね。
Thanks for dinner, and all the **best** to Jane and the kids.

0435 キッチン全部を掃除しろって？はいはい、仰せのとおりに。
You want me to clean the whole kitchen? Sure, **anything** you say.

0436 「20 歳までに億万長者になるよ」「現実を見なよ！」
"I'll be a millionaire by the age of twenty." "Get **real** !"

0437 「彼は全然勉強しないのに一番の点を取ったんだ。分からないもんだね」
"He never studies, but he got the highest score. Go **figure** ."

0438 今週は本当に大変だったよね。気持ち分かるよ。
I know this week has been really tough for you. I **feel** you.

0439 「あの激辛カレーに挑戦してみる？」「いいよ、乗った」
"Do you want to try that super spicy curry?" "Sure, I'm **game** ."

0440 「5 番の答え分かる？」「いや、お手上げだよ」
"Do you know the answer to question five?" "No, I'm **stumped** ."

0441 「肩の力を抜いて！勝つためじゃなくて楽しむために来てるんだから」
" **Lighten** up! We're here to have fun, not to win."

0442 言い訳なんて要らない。もういいから。
I don't need your excuses. Just **save** it.

0443 「5000 円が最終価格です。嫌ならやめてください」
"Five thousand yen is my final price. Take it or **leave** it."

0444 「受かるには一生懸命勉強しないとね」「そんなの当然だよ」
"You'll need to study hard to pass." "That's a **given** ."

0445 ひえー、今の彼女のにらみ方見た？
Yikes , did you see the way she glared at me?

0446 「どうして私の誕生日だって知ってるの？」「ちょっと小耳にはさんでね」
"How did you know it's my birthday?" "A little **bird** told me."

0447 「こんなに高く跳んだことないけど、まあ、だめもとでいくぞ！」
"I've never jumped this high before. Well, here goes **nothing** !"

0448 「どうなさいましたか」「下痢をしていて、お腹も痛いんです」
"What seems to be the problem?" "I have **diarrhea** and a stomachache."

0449 「これから毎日部屋を掃除するよ」「笑わせないで」
"I'll clean my room every day from now on." "Don't make me **laugh** ."

0450 「しっかりして！ただの小さなクモだよ」
"Get a **grip** ! It's only a small spider."

0451 「僕の古い自転車を半額で売るよ」「ありがとう、でも結構」
"I can sell you my old bike for half price." "Thanks, **but** no thanks."

0452 「エレベーターがまた故障してるよ」「面倒だなあ！歩かなきゃ」
"The elevator is broken again." "What a **nuisance** ! We'll have to walk."

0453 「君の話はいつも笑えるよ。お笑い芸人になるべきだね」
"Your stories always **crack** me up. You should be a comedian."

0454 「うえっ！スープに髪の毛が入ってる」
“ Yuck ! There's a hair in my soup.”

0455 「ファイルをみんなにメールしてくれる？」「お安いご用です」
“Could you email the file to everyone?” “Consider it done .”

0456 「足はどう？」「まだ少し痛いけど、良くなってきてるよ」
“How's your leg?” “It still hurts a little, but I'm on the mend .”

0457 「パーティーにスニーカーで行っちゃだめだよ」「誰が決めたの？」
“You can't wear sneakers to the party.” “ Says who?”

0458 「はい、皆さん、これで終了です！今日はお疲れさまでした」
“OK, everyone, that's a wrap ! Thanks for your hard work today.”

0459 「おいしい！このチョコケーキ最高。あなたが作ったの？」
“ Yum ! This chocolate cake is amazing. Did you make it?”

0460 「試合に勝ったよ！ハイタッチ！」
“We won the game! Give me five !”

0461 「宇宙人に車を持っていかれたから遅刻したって？」「それは無理があるでしょ」
“He's late because aliens took his car?” “That's a stretch .”

0462 「コンサート中止になったよ」「がっかり！楽しみにしてたのに」
“The concert was canceled.” “What a bummer ! I was looking forward to it.”

0463 20ドル返したけど、これで貸し借りなしだよね？
I paid you back the twenty dollars, so are we square now?

0464 「また宿題忘れた。先生がチェックしたら終わりだ」
“I forgot my homework again. If the teacher checks, I'm toast .”

0465 「紙で指を切っちゃった！」「死にはしないって。はい、ばんそうこう」
“I cut my finger on the paper!” “You'll live . Here's a bandage.”

0466 「このパズル解ける？」「楽勝だよ。見てて」
“Can you solve this puzzle?” “Easy peasy . Watch this.”

0467 「さあ起きて！朝ご飯できてるし、バスは8時に来るよ」
“Rise and shine ! Breakfast is ready, and the bus comes at eight.”

0468 「1週間ずっとメッセージに返事くれないけど、どうしたの？」
“You haven't answered my messages all week. What gives ?”

0469 「テストで85点取ったよ」「なかなかやるね！」
“I got eighty-five on the test.” “Not too shabby !”

0470 「渋滞を避けるために早めに出た方がいいかもね」「それだよ！」
“Maybe we should leave earlier to avoid traffic.” “That's the ticket !”

0471 「話があるんだ」「いいけど、手短にね。遅れてるから」
"I need to talk to you." "OK, but make it **snappy** . I'm late."

0472 「今誰にメッセージ送ってたの？」「関係ないでしょ！」
"Who were you texting just now?" "None of your **beeswax** !"

0473 「みんな、しゃきっとして！お客さんが入ってくるよ」
"Look **alive** , everyone! The customers are coming in."

0474 「ピザにはちみつをかけて食べるのが好きなんだ」「好きにすればいいよ」
"I like to eat pizza with honey." "Whatever **floats** your boat."

0475 「まったく、その目覚ましを止めて！日曜日だよ！」
"For crying out **loud** , turn off that alarm! It's Sunday!"

0476 「デザインを変えた方がいいと思う」「口を出さないで。君の担当は営業でしょ」
"I think you should change the design." "Stay in your **lane** . You're in charge of sales."

CHAPTER 6

比喩のイディオムとことわざ

break the ice・a piece of cake・Practice makes perfect. など、字面からは想像しにくい比喩の表現。 No.0477〜0712（236 問）

問題

0477 □□□

The used car I bought last month has already broken down three times. It's a real ＿＿＿＿.

① peach　② plum
③ lemon　④ gem

解答・解説（赤シートで隠せます）

③ a lemon 欠陥品；不良品

訳 先月買った中古車はもう 3 回も故障した。本当に欠陥品だ。

解説 3 回も故障した車は「欠陥品」なので a lemon。a peach は「すばらしい人・物」、a gem は「宝石のように貴重なもの・人」で、どちらも逆の良い意味になる。plum は a plum job（おいしい仕事）のように形容詞的に「好条件の」を表し、故障の話には合わない。

区別 **a lemon ⇔ When life gives you lemons, make lemonade.** 同じ lemon でも、こちらは「人生がレモン（すっぱい苦境）をくれたらレモネードを作れ」＝逆境を生かせ、という励ましのことわざで、lemons は「苦境・不運」。a lemon は具体的な「欠陥品」。見分け方：物について a lemon なら欠陥品、人生や出来事について lemons なら逆境。

0478 □□□

Taking care of a newborn baby while working full-time is ＿＿＿＿ picnic.

① not　② none
③ never　④ no

④ be no picnic 楽なことではない

訳 フルタイムで働きながら生まれたばかりの赤ちゃんの世話をするのは、楽なことではない。

解説 be no picnic で「楽なことではない」。no は可算名詞の前に置いて a を使わずに強く否定できる。not を使うなら is not a picnic と a が必要で、not picnic では誤り。none は代名詞で名詞の前に置けず、never は副詞なので名詞 picnic を直接修飾できない。

区別 **be no picnic ⇔ a piece of cake** a piece of cake は「楽勝・簡単」で、be no picnic と意味が正反対。どちらも食べ物・行楽の比喩なので会話で対比される。見分け方：簡単なら a piece of cake、大変なら no picnic。

0479 □□□

A: My uncle gave me his old laptop, but it's a bit slow. B: Hey, don't look a gift horse in the ＿＿＿＿.

① eye　② teeth
③ mouth　④ face

③ Don't look a gift horse in the mouth.
もらった馬の口の中を見るな；もらい物にけちをつけるな

訳 A：おじさんが古いノートパソコンをくれたんだけど、ちょっと遅いんだ。 B：おいおい、もらい物にけちをつけるなよ。

解説 決まった形は look a gift horse in the mouth（口の中を見る）。teeth（歯）は実際に見る場所だが、ことわざでは口の中＝mouth で、in the teeth とは言わない。look A in the eye / in the face は「A をまっすぐ見る・直視する」という別の熟語で、贈り物に文句を言うなという意味にならない。

区別 **Don't look a gift horse in the mouth. ⇔ a Trojan horse** a Trojan horse は「（贈り物を装って）内部から害をなすもの」で、贈り物を疑えという逆の発想。Don't look a gift horse in the mouth. は「贈り物を詮索するな」。見分け方：好意を素直に受けよなら gift horse、贈り物に潜む危険なら Trojan horse。

0480 □□□

Ken has been ＿＿＿＿ ever since he failed the entrance exam. Let's try to cheer him up.

① down in the dumps　② down to earth
③ down the drain　④ down to the wire

① down in the dumps 落ち込んで；憂うつで

訳 ケンは入試に落ちてからずっと落ち込んでいる。元気づけてあげよう。

解説 不合格以来ずっと元気がなく「励まそう」と続くので、「落ち込んで」の down in the dumps。down to earth は「気取らない・現実的な」というほめ言葉で、励ます理由にならない。down the drain は「（努力・お金が）無駄になって」で人の状態には使わない。down to the wire は「最後の最後までもつれて」で勝負の話。

区別 **down in the dumps ⇔ down to earth** down to earth は「（人柄が）気取らない・現実的な」で、ほめ言葉。down in the dumps は「落ち込んで」。同じ down で始まるが意味は無関係。見分け方：人柄・性格なら down to earth、気分なら down in the dumps。

0481 □□□

A: Please don't tell anyone that I'm going to quit the club. B: Don't worry. ＿＿＿＿

① Speak of the devil.
② It's on the tip of my tongue.
③ Read my lips.
④ My lips are sealed.

④ My lips are sealed. 誰にも言わないよ；口外しません

訳 A：私が部活を辞めること、誰にも言わないでね。 B：心配しないで。誰にも言わないよ。

解説 秘密にしてと頼まれて「心配しないで」と続くので、「誰にも言わないよ」の My lips are sealed.。Speak of the devil. は「うわさをすれば」で、話題の人が現れたときの言葉。It's on the tip of my tongue. は「のどまで出かかっている（思い出せない）」。Read my lips. は「よく聞け」と強調する言葉で、秘密を守る約束にならない。

区別 **My lips are sealed. ⇔ Read my lips.** Read my lips. は「よく聞け・はっきり言うぞ」と自分の言葉を強調する言い方。My lips are sealed. は「口外しない」。同じ lips でも方向が逆。見分け方：秘密を守るなら sealed、言い分を強く押し出すなら Read my lips.。

0482 □□□

Changing the tax law now could open _____, causing many problems that no one expected.

① Noah's ark
② Achilles' heel
③ Pandora's box
④ the eyes of the world

③ open Pandora's box （思わぬ）災いの元を開ける

訳 今税法を変えると災いの元を開けることになり、誰も予想しなかった多くの問題を引き起こしかねない。

解説 「誰も予想しなかった問題を次々に引き起こす」なので、災いの元を開ける open Pandora's box。Noah's ark（ノアの箱舟）は災いから逃れる船で、開ける対象として意味が通らない。Achilles' heel は「弱点」で open と組まない。open the eyes of the world は「世界の目を開かせる（気づかせる）」で、問題を引き起こす意味にならない。

区別 **open Pandora's box ⇔ open a can of worms** どちらも「やっかいな問題を引き起こす」だが、open a can of worms は「面倒でややこしい問題を表に出してしまう」と煩わしさに重点があり、口語的。open Pandora's box は「取り返しのつかない災いを次々に解き放つ」で深刻さが強い。

0483 □□□

A: Tom is always late for meetings. He's so irresponsible. B: Well, people who live in glass houses shouldn't throw _____. You were late twice this week.

① stones　② parties
③ light　④ money

①

People who live in glass houses shouldn't throw stones.

ガラスの家に住む者は石を投げるべきではない；人のふり見て我がふり直せ

訳 A：トムはいつも会議に遅れてくる。本当に無責任だよ。 B：まあ、自分のことを棚に上げて人を責めるものじゃないよ。君だって今週 2 回遅刻したじゃないか。

解説 ことわざの形は People who live in glass houses shouldn't throw stones.（ガラスの家に住む者は石を投げるな）。自分も遅刻したのに人を批判する A をたしなめている。throw parties は「パーティーを開く」、throw light (on ~) は「～を明らかにする」という別の熟語で、ことわざにならない。throw money は「お金を投げる・浪費する」で意味が通らない。

区別 **People who live in glass houses shouldn't throw stones. ⇔ The pot calling the kettle black.** どちらも「自分を棚に上げて人を批判する」ことを言う。The pot calling the kettle black. はその行為を指摘・揶揄する（That's the pot calling the kettle black.）。glass houses は「だから批判するな」と忠告する形。

0484 □□□

He finally ＿＿＿＿ the question at a restaurant on her birthday, and she said yes.

① dropped　② burst
③ raised　④ popped

④ pop the question　プロポーズする

訳 彼は彼女の誕生日にレストランでついにプロポーズし、彼女は「はい」と答えた。

解説 「彼女はイエスと言った」とあるので結婚を申し込んだ＝pop the question。drop the question は熟語として成り立たない。burst は「破裂する・急に～し出す」（burst into tears）で question とは組まない。raise the question は「問題を提起する」で、求婚の意味にならない。

区別 **pop the question ⇔ raise a question** raise a question は「問題を提起する・疑問を投げかける」で、会議や議論での言い方。pop the question は「結婚を申し込む」という決まり文句。見分け方：結婚の話なら pop the question、議論の話なら raise a question。

0485 □□□

A: I didn't spend a single yen this weekend, but I had a great time walking on the beach with my family.
B: That's true. ＿＿＿＿

① Time is money.
② You get what you pay for.
③ A fool and his money are soon parted.
④ The best things in life are free.

④ The best things in life are free.
人生で最も良いものはただだ

訳 A：この週末は 1 円も使わなかったけど、家族と浜辺を散歩してとても楽しかったよ。　B：本当にそうだね。人生で一番良いものはただなんだよ。

解説 お金を使わずに家族と過ごして楽しかった、という話への共感なので The best things in life are free.。Time is money. は「時は金なり（時間を無駄にするな）」で話と合わない。You get what you pay for. は「払った分だけの価値」で、無料の楽しさを否定する方向。A fool and his money are soon parted. は「愚か者はすぐお金をなくす」で、お金を使っていない話に合わない。

区別 **The best things in life are free. ⇔ You get what you pay for.** You get what you pay for. は「払った分だけの物しか手に入らない（安物買いの銭失い）」で、お金と価値が比例するという考え。The best things in life are free. はお金と幸せは別だという考えで、方向が逆。

0486 □□□

Our manager always says the customer is always ＿＿＿＿, so we must never argue with the people who shop here.

① right　② alone
③ welcome　④ busy

① The customer is always right.
お客様は常に正しい；お客様は神様

訳 店長はいつも「お客様は常に正しい」と言うので、私たちはここで買い物をする人と決して言い争ってはいけない。

解説 「客と決して言い争うな」の理由になるのは、接客の格言 The customer is always right.（お客様は常に正しい）。alone（一人で）、busy（忙しい）は言い争わない理由にならない。welcome は「歓迎される」で、客を歓迎することと「言い争わない」ことは直接結びつかず、決まった言い方でもない。

注意 日本語の「お客様は神様」に当たる。

0487 □□□

The two companies had been rivals for years, but they joined forces against a powerful new competitor. As they say, the enemy of my enemy is my ＿＿＿＿.

① enemy　② rival
③ friend　④ teacher

③ The enemy of my enemy is my friend.

敵の敵は味方

訳 その 2 社は長年のライバルだったが、強力な新しい競争相手に対して手を組んだ。よく言うように、敵の敵は味方なのだ。

解説 長年のライバルが共通の強敵に対して手を組んだので、「敵の敵は味方」＝ The enemy of my enemy is my friend.。enemy / rival だと「敵の敵も敵」となり、手を組んだ話と矛盾する。teacher は意味が通らず、ことわざの形でもない。

区別 **The enemy of my enemy is my friend. ⇔ Adversity makes strange bedfellows.** Adversity makes strange bedfellows. は「逆境は思わぬ者同士を結びつける」で、困難が原因の協力。The enemy of my enemy is my friend. は「共通の敵」が原因の協力。見分け方：敵がいるなら enemy、災害・苦境なら adversity。

0488 □□□

A: Mike says I talk too much in class.
B: Mike? He never stops talking! That's the pot calling the ＿＿＿＿ black.

① sheep　② cat
③ kettle　④ board

③ The pot calling the kettle black.

鍋がやかんを黒いと言う；目くそ鼻くそを笑う

訳 A：マイクが、私は授業中におしゃべりしすぎだって言うの。B：マイクが？　あいつこそ一度もしゃべるのをやめないじゃないか！　目くそ鼻くそを笑うだよ。

解説 おしゃべりの Mike が人をおしゃべりと言うのは自分を棚に上げた批判なので、the pot calling the kettle black。sheep は the black sheep（家族の中の厄介者）、cat は a black cat（不吉な黒猫）、board は blackboard（黒板）を連想させるひっかけで、どれもことわざの形にならない。

区別 **The pot calling the kettle black. ⇔ People who live in glass houses shouldn't throw stones.** glass houses は「自分も弱みがあるなら人を批判するな」という忠告。pot と kettle は「それは自分を棚に上げた批判だ」と指摘・揶揄する言い方。見分け方：「～するな」と忠告するなら glass houses、「よく言うよ」と皮肉るなら the pot calling the kettle black。

0489 □□□

The new system looks good on paper, but the proof of the pudding is in the ＿＿＿＿.

① eating　② cooking
③ recipe　④ serving

① The proof of the pudding is in the eating.

プディングの味は食べてみて分かる；論より証拠

訳 その新しいシステムは書類の上では良さそうだが、実際に使ってみなければ本当の良しあしは分からない。

解説 ことわざは The proof of the pudding is in the eating.（食べてみて分かる）。紙の上（計画）では良く見えても実際に使って確かめよ、という文脈に合う。cooking（作ること）や recipe（作り方）は「計画・見た目」の段階で、まさに否定されている側。serving（出すこと）も味の確認にならず、ことわざの形でもない。

区別 **The proof of the pudding is in the eating. ⇔ Seeing is believing.** Seeing is believing. は「百聞は一見にしかず」で、自分の目で見ることを重視。The proof of the pudding is in the eating. は実際に使って（食べて）結果を確かめることを重視。見分け方：見れば分かるなら seeing、使ってみないと分からないなら pudding。

0490 □□□

A: I've been feeling so stressed since I lost my job. B: Hang in there. This too shall ＿＿＿＿.

① past　② passed
③ last　④ pass

④ This too shall pass.

これもまた過ぎ去る；やまない雨はない

訳 A：仕事を失ってから、ずっとストレスを感じているんだ。B：頑張って。これもいつか過ぎ去るよ。

解説 「頑張って」と励ましているので「これも過ぎ去る」の This too shall pass.。shall の後ろは動詞の原形なので pass。past は形容詞・前置詞・名詞で動詞ではなく、passed は過去形・過去分詞で shall の後ろに置けない。last は「続く」で、「つらさが続く」と励ましの反対になる。

注意 励ましの言葉として使う。

0491 □□□

A: Why are you keeping all those plastic bags? B: They might be useful someday. Waste not, want ＿＿＿＿.

① more　② less
③ nothing　④ not

④ Waste not, want not.

無駄をしなければ不足しない；もったいない

訳 A：どうしてそのレジ袋を全部取っておくの？　B：いつか役に立つかもしれないでしょ。無駄にしなければ困ることはないのよ。

解説 ことわざは Waste not, want not.（無駄にしなければ不足しない）。not を二度繰り返すリズムの決まった形で、want は「不足する」。want more / want less では「もっと欲しがる・欲しがらない」という別の意味になり、ことわざにならない。want nothing（何も欲しくない）も形が違う。

注意 want の「不足する」の古い意味を問う。

0492 □□□

A: I'm so worried about my test results. They'll come out next week. B: You did your best. ＿＿＿＿

① What will be, will be.
② Better late than never.
③ Look before you leap.
④ First come, first served.

① What will be, will be. なるようになる；ケセラセラ

訳 A：テストの結果がすごく心配なんだ。来週出るんだよ。　B：君はベストを尽くしたよ。なるようになるさ。

解説 やるだけやって結果を待つ人に「なるようになる」と言うので What will be, will be.。Better late than never.（遅れてもやらないよりまし）は遅れた行動への言葉。Look before you leap.（よく考えてから行動せよ）は行動の前の忠告で、試験はもう終わっている。First come, first served.（早い者勝ち）は話と無関係。

区別 **What will be, will be. ⇔ What's done is done.** What's done is done. は「済んだことは仕方ない」で、過去の出来事へのあきらめ。What will be, will be. は「これから起きることはなるようにしかならない」で、未来への構え。見分け方：もう起きた失敗なら What's done is done.、結果がまだ分からないなら What will be, will be.。

0493 □□□

A: I'm not sure if I should spend my savings on a trip to Africa. B: Go for it!

———

① You only live once.
② Waste not, want not.
③ Look before you leap.
④ A penny saved is a penny earned.

① You only live once. 人生は一度きり

訳 A：貯金をアフリカ旅行に使うべきか迷っているんだ。 B：やってみなよ！ 人生は一度きりだよ。

解説 Go for it!（やってみなよ）と背中を押しているので、「人生は一度きり」の You only live once.。Waste not, want not.（無駄にしなければ困らない）と A penny saved is a penny earned.（1 ペニーの節約は 1 ペニーの稼ぎ）は貯金を勧める言葉で、旅行を勧める流れと逆。Look before you leap.（よく考えてから）も Go for it! と矛盾する。

区別 **You only live once. ⇔ Look before you leap.** Look before you leap. は「跳ぶ前によく見よ（よく考えてから行動せよ）」で慎重さを勧める。You only live once. は大胆な行動を後押しする。見分け方：背中を押すなら You only live once.、ブレーキをかけるなら Look before you leap.。

0494 □□□

I don't need the exact cost right now. Just give me a ———— figure.

① ballroom ② playground
③ ballpark ④ stadium

③ a ballpark figure 概算；おおよその数字

訳 今は正確な費用は要りません。おおよその数字だけ教えてください。

解説 「正確な費用は要らない」と言っているので、「おおよその数字」の a ballpark figure。野球場（ballpark）という比喩の決まった形で、同じ「競技場」でも stadium は熟語にならない。ballroom（舞踏室）や playground（遊び場）も figure と組んで「概算」の意味にならない。

区別 **a ballpark figure ⇔ a round figure** a round figure は「端数のない切りのいい数（100、1,000 など）」。a ballpark figure は「正確ではないが大体の数」。見分け方：概算の見積もりなら ballpark、数字の形がきれいなら round。

0495 □□□

My little brother is like a bull in a ———— shop. Every time he visits our grandmother, he breaks something.

① glass ② flower
③ china ④ toy

③ a bull in a china shop
がさつで不器用な人；場を荒らす人

訳 弟はまるで瀬戸物屋に入った雄牛のようにがさつだ。祖母の家に行くたびに何かを壊す。

解説 決まった形は a bull in a china shop（瀬戸物屋の雄牛）。china は小文字で「陶磁器」。glass shop（ガラス店）も壊れやすい物の店だが、熟語の形ではない。flower shop / toy shop も比喩として定着していない。物を壊すがさつな人を表すのは china だけ。

注意 china（陶磁器）を小文字で書く点にも注意。

0496 □□□

Tom is a great soccer player, just like his father was. He's a chip off the old ＿＿＿＿.

① block　② tree
③ stone　④ wood

① a chip off the old block　親にそっくりな子

訳 トムはかつての父親と同じく、すばらしいサッカー選手だ。父親にそっくりだ。

解説 決まった形は a chip off the old block（同じ塊から削れたかけら＝親そっくりの子）。tree は The apple doesn't fall far from the tree. からのひっかけで、a chip off the old tree とは言わない。stone / wood も材料としては似ているが、熟語の形ではない。

区別 **a chip off the old block ⇔ The apple doesn't fall far from the tree.** どちらも「子は親に似る」だが、The apple doesn't fall far from the tree. はことわざで、一般論として言う（蛙の子は蛙）。a chip off the old block は特定の子を指す名詞句で、He's a ~. と補語に置く。

0497 □□□

This math problem is a hard ＿＿＿＿ to crack. Even our teacher couldn't solve it quickly.

① egg　② bone
③ rock　④ nut

④ a hard nut to crack　難問；手ごわい相手

訳 この数学の問題は難問だ。先生でさえすぐには解けなかった。

解説 決まった形は a hard nut to crack（割りにくい木の実＝難問）。egg も crack（割る）と組むが、熟語の形ではなく、卵は割るのが難しい物でもない。bone（骨）は a bone to pick（文句・苦情）という別の熟語を連想させるひっかけ。rock は crack と組んで「難問」の意味にならない。

注意 a tough nut to crack とも言う。

0498 □□□

Rising prices, a weak yen, and a shortage of workers created a ＿＿＿＿ storm for small businesses.

① teacup　② perfect
③ brain　④ quiet

② a perfect storm　最悪の事態が重なること

訳 物価の上昇、円安、人手不足が重なり、中小企業にとって最悪の事態となった。

解説 物価高・円安・人手不足という悪条件が重なった深刻な危機なので a perfect storm。teacup は a storm in a teacup（空騒ぎ）の形でしか使わず、しかも深刻さと逆の意味。brainstorm は「アイデアを出し合うこと」で危機の意味はない。a quiet storm は熟語として成り立たない。

区別 **a perfect storm ⇔ a storm in a teacup** a storm in a teacup は「コップの中の嵐（つまらないことでの大騒ぎ）」で、実際は小さな問題。a perfect storm は本当に深刻な危機。見分け方：大した問題でないなら teacup、深刻な危機なら perfect storm。

0499 □□□

As the AI market grows, many companies want a piece of the ＿＿＿＿.

① cake　② bread
③ sugar　④ pie

④ a piece of the pie 分け前；取り分

訳 AI 市場が成長するにつれ、多くの企業がその分け前を欲しがっている。

解説 成長市場の「分け前」を欲しがるので a piece of the pie。a piece of cake は「簡単なこと」で、the cake と言っても「分け前」の熟語にならない。bread は「生活の糧（パン）」を表すことはあるが a piece of the bread で「市場の分け前」の意味にならず、sugar も熟語を作らない。市場全体を切り分けるのは pie。

区別 **a piece of the pie ⇔ a piece of cake** a piece of cake は「簡単なこと・楽勝」。a piece of the pie は「（利益の）分け前」。どちらも食べ物の一切れだが意味はまったく違う。見分け方：難易度の話なら cake、利益や市場の分配なら the pie。

0500 □□□

The company broke the law many times, but it only got a slap on the ＿＿＿＿. Many people think the punishment was too light.

① wrist　② face
③ back　④ head

① a slap on the wrist 軽い罰；形だけの処分

訳 その会社は何度も法律を破ったが、軽い処分を受けただけだった。罰が軽すぎると考える人が多い。

解説 罰が軽すぎると批判されているので、「軽い罰」の a slap on the wrist。a slap in the face は「侮辱」で、しかも前置詞は in。a pat on the back は「称賛」で、slap on the back は「背中をたたいて励ます」動作になり罰の意味にならない。head は熟語にならない。

区別 **a slap on the wrist ⇔ a slap in the face** a slap in the face は「顔への平手打ち」＝侮辱・ひどい仕打ち。a slap on the wrist は「手首を軽くたたく」＝軽い罰。前置詞（in / on）と体の部分で意味が変わる。見分け方：屈辱なら in the face、罰が軽いなら on the wrist。

0501 □□□

Don't be such a ＿＿＿＿ loser. It was just a friendly game, and he won fair and square.

① good　② close
③ sore　④ born

③ a sore loser 負けず嫌いで負けを素直に認めない人

訳 負けたからってそんなにふてくされるなよ。ただの親善試合だったし、彼は正々堂々と勝ったんだから。

解説 Don't be such a ~（そんな～になるな）と、負けを認めない態度をたしなめているので a sore loser。a good loser は「潔い敗者」というほめ言葉で、Don't be ~ と否定するのはおかしい。close は a close game（接戦）のように試合に使い、loser とは組まない。born は a born leader（生まれつきのリーダー）の形で、ここでは意味が通らない。

区別 **a sore loser ⇔ a good loser** a good loser は「潔く負けを認める人」で、ほめ言葉。a sore loser はその逆で、負けて文句を言う人。見分け方：負けた後の態度が立派なら good、見苦しいなら sore。

0502 □□□

Don't worry about their argument. It's just a storm in a _____. They'll be friends again tomorrow.

① bottle　② bathtub
③ teacup　④ sink

③ a storm in a teacup コップの中の嵐；空騒ぎ

訳 二人の口げんかは心配しなくていい。ただの空騒ぎだよ。明日にはまた仲良くなっているさ。

解説 「心配いらない、明日には仲直りする」とあるので、ささいな空騒ぎの a storm in a teacup（米では a tempest in a teapot）。bottle / bathtub / sink も小さな入れ物だが、どれも熟語の形ではない。決まった入れ物は teacup（英）か teapot（米）だけ。

区別 **a storm in a teacup ⇔ a perfect storm** a perfect storm は悪条件が重なった本当に深刻な危機。a storm in a teacup は小さなことでの大騒ぎ。見分け方：「大したことない」と言いたいなら teacup、「最悪の事態」なら perfect storm。

0503 □□□

Nobody believed his _____ about fighting a bear with his bare hands.

① tall tale　② tall order
③ red herring　④ big mouth

① a tall tale ほら話；信じがたい話

訳 素手で熊と戦ったという彼のほら話を、誰も信じなかった。

解説 素手で熊と戦ったという信じがたい話なので、「ほら話」の tall tale。tall order は「無理な注文」で話の内容を表さない。red herring は「（注意をそらす）おとり・偽の手がかり」で、自慢話とは違う。big mouth は「おしゃべり・大口をたたく人」で、his big mouth about ~ という形で話の中身を表せない。

区別 **a tall tale ⇔ That's a tall order.** a tall order は「無理な注文・難しい要求」で、tall は「要求が高すぎる」。a tall tale の tall は「誇張された」。見分け方：信じられない話なら tale、実行が難しい頼みなら order。

0504 □□□

The free app turned out to be a _____ horse that secretly stole users' personal data.

① dark　② gift
③ high　④ Trojan

④ a Trojan horse トロイの木馬；内部から害をなすもの

訳 その無料アプリは、ひそかに利用者の個人情報を盗むトロイの木馬だと分かった。

解説 無料アプリのふりをしてデータを盗んだので、「内部から害をなすもの」の a Trojan horse。a dark horse は「穴馬・意外な実力者」で害の意味はない。gift horse は Don't look a gift horse in the mouth.（もらい物にけちをつけるな）の形で使う。high horse は get on one's high horse（偉そうにする）の形で使う。

区別 **a Trojan horse ⇔ a dark horse** a dark horse は「（予想外の）穴馬・ダークホース」で、意外な実力者。a Trojan horse は「内部から害をなすもの」。見分け方：意外な勝者なら dark horse、だまして入り込む害なら Trojan horse。

0505 □□□

A: Let's take a shortcut through that dark, empty park. B: No way. A wise man keeps _____ from danger.

① up　② away
③ on　④ in

② A wise man keeps away from danger.

君子危うきに近寄らず

訳 A：あの暗くて誰もいない公園を通って近道しようよ。　B：絶対嫌だ。君子危うきに近寄らずだよ。

解説 「君子危うきに近寄らず」は A wise man keeps away from danger.。keep away from ~ で「～に近づかない」。keep up は「維持する・遅れずについて行く」、keep on は「続ける」、keep in は「閉じ込める・中にいる」で、どれも from danger と組んで「危険に近づかない」の意味にならない。

区別 **A wise man keeps away from danger. ⇔ Nothing ventured, nothing gained.** Nothing ventured, nothing gained. は「危険を冒さなければ何も得られない（虎穴に入らずんば虎子を得ず）」で、挑戦を勧める。A wise man keeps away from danger. は危険を避けよという逆の教え。

0506 □□□

She never hides her feelings, and you can always tell what she's thinking. She's an open _____.

① secret　② book
③ mind　④ door

② an open book　隠し事のない人；分かりやすい人

訳 彼女は決して感情を隠さないので、何を考えているかいつも分かる。隠し事のない人だ。

解説 考えがすぐ分かる人を表すのは an open book。an open secret は「公然の秘密」で、人を主語にして She's an open secret. とは言えない。open mind は「偏見のない心」で、have an open mind の形を使い、人そのものを an open mind とは言わない。open door は「門戸開放・機会」で、人の性格を表さない。

区別 **an open book ⇔ an open secret** an open secret は「公然の秘密（皆が知っている秘密）」で、物事を指す。an open book は「隠し事のない人」で、人を指す。見分け方：主語が人なら open book、主語が情報・事実なら open secret。

0507 □□□

She loves traveling and will fly anywhere at the drop of a _____.

① pin　② coin
③ hat　④ ball

③ at the drop of a hat　すぐに；ためらわずに

訳 彼女は旅行が大好きで、きっかけさえあればすぐにどこへでも飛んで行く。

解説 決まった形は at the drop of a hat（帽子が落ちたら＝すぐに）。pin は You could hear a pin drop.（針が落ちても聞こえるほど静か）からのひっかけ。coin / ball も落ちる物だが、熟語の形ではない。

区別 **at the drop of a hat ⇔ at once** at once は「すぐに・ただちに」で、一回の動作を今すぐする（Come here at once.）。at the drop of a hat は「（いつでも）きっかけ一つですぐ～する」で、性格や習慣を表すことが多い。

0508 □□□

I wanted to tell my boss that his idea was terrible, but I _____ my tongue and said nothing.

① cut ② bit
③ showed ④ twisted

② bite one's tongue 言いたいことをぐっとこらえる

訳 上司の考えはひどいと言ってやりたかったが、ぐっとこらえて何も言わなかった。

解説 言いたかったが何も言わなかったので、「言いたいことをこらえる」の bite one's tongue（過去形 bit）。cut my tongue は文字どおり「舌を切った」でけがの話になる。show one's tongue は熟語にならない（舌を出すのは stick out one's tongue）。twist one's tongue も熟語ではなく、tongue twister（早口言葉）からのひっかけ。

区別 **bite one's tongue ⇔ hold one's tongue** hold one's tongue は「黙っている・口をつぐむ」で、命令文 Hold your tongue!（黙れ）でもよく使う。bite one's tongue は「言いたいのを我慢する」と、本人の葛藤に重点がある。どちらも黙るが、bite は自制の苦しさ、hold は単に話さないこと。

0509 □□□

I've used this laptop for ten years, and it finally _____ the dust last week. I need a new one.

① hit ② bit
③ kicked ④ ate

② bite the dust 倒れる；死ぬ

訳 このノートパソコンは 10 年使ってきたが、先週ついに壊れてしまった。新しいのが必要だ。

解説 「新しいのが必要」とあるので壊れた＝ bite the dust（過去形 bit）。hit the dust は熟語にならない（hit the road は「出発する」）。kick は kick the bucket（死ぬ）と組み、the dust とは組まない。eat は eat my dust（置き去りにする）という別の言い方で、壊れる意味にならない。

区別 **bite the dust ⇔ kick the bucket** kick the bucket は「死ぬ」のくだけた言い方で、人（や動物）に使う。bite the dust は人の死のほか、機械の故障・計画の失敗など物事にも広く使える。見分け方：物が壊れた・失敗したなら bite the dust。

0510 □□□

A: Why don't you volunteer abroad this summer? B: Charity begins at _____. My grandmother is sick, and I need to take care of her first.

① home ② school
③ heart ④ church

① Charity begins at home.

慈善は家庭から始まる；まず身内を大切に

訳 A：この夏、海外でボランティアをしたら？ B：慈善はまず家庭からだよ。祖母が病気だから、まず祖母の世話をしなきゃ。

解説 「まず祖母の世話をしなければ」と身内を優先しているので、ことわざ Charity begins at home.（慈善は家庭から）。school / church は場所としてあり得そうだが、ことわざの形ではなく、身内を優先する理由にもならない。heart は「思いやりは心から」と言いたくなるひっかけだが、決まった形ではない。

注意 利己的な言い訳として使われることもある。

0511 □□□

A: He's so lazy. He never comes to class on time. B: You don't know his situation. Don't judge a man until you've walked a mile in his ＿＿＿＿.

① footsteps　② way
③ shoes　④ place

③

Don't judge a man until you've walked a mile in his shoes.

相手の立場に立つまで人を判断するな

訳 A：彼は本当に怠け者だよ。授業に時間どおりに来たことがない。　B：君は彼の事情を知らないだろう。相手の立場に立ってみるまで、人を判断しちゃいけないよ。

解説 ことわざは walk a mile in his shoes（その人の靴を履いて歩く＝その人の立場に立つ）。footsteps は follow in one's footsteps（～の跡を継ぐ）の形で使い、「立場」の意味にならない。in his way は「彼のやり方で・邪魔になって」、in his place は「彼の代わりに」で、ことわざの形でもない。

区別 **Don't judge a man until you've walked a mile in his shoes.** ⇔ **put oneself in A's shoes** put oneself in A's shoes は「A の立場になって考える」という熟語で、日常の文で使う。このことわざはそれを使った格言で、批判をいさめる場面で使う。in A's shoes ＝ A の立場、という共通部分を押さえる。

0512 □□□

A: I hate to admit it, but Ken's idea saved our project. B: Well, give credit where credit is ＿＿＿＿.

① over　② due
③ done　④ true

② **Give credit where credit is due.**

功績は正当に認めよ

訳 A：認めたくないけど、ケンのアイデアが私たちの計画を救ったんだ。　B：まあ、認めるべき功績は正当に認めないとね。

解説 嫌でも Ken の功績は認めるべきだ、という流れなので Give credit where credit is due.。due は「当然与えられるべき」。over（終わった）、done（済んだ）、true（本当の）はことわざの形ではなく、「認めるべき所」という意味にもならない。

注意 credit（功績・称賛）の意味を確認。

0513 □□□

A: I should have sold my shares before the price dropped. B: Well, hindsight is ＿＿＿＿. Nobody could have known that.

① blind　② golden
③ a gift　④ 20/20

④ **Hindsight is 20/20.**

後知恵は完璧；後からなら何とでも言える

訳 A：値下がりする前に株を売っておくべきだった。　B：まあ、後からなら何とでも言えるよ。誰にも分からなかったさ。

解説 「誰にも分からなかった」と慰めているので、「後からなら何とでも言える」の Hindsight is 20/20.。blind（目が見えない）では意味が逆になる。golden は Silence is golden.（沈黙は金）からのひっかけ。a gift もことわざの形にならない。

区別 **Hindsight is 20/20.** ⇔ **It's no use crying over spilt milk.** It's no use crying over spilt milk. は「覆水盆に返らず（済んだことを嘆いても無駄）」で、後悔するなという忠告。Hindsight is 20/20. は「結果を知った後なら誰でも正しく判断できる」で、当時は分からなかったのだから仕方ない、という慰めや反論。

0514 ☐☐☐

With prices rising every month, many families are struggling to keep their heads above ＿＿＿＿.

① ground　② the clouds
③ the line　④ water

④ keep one's head above water
（借金などをせずに）何とかやっていく

訳 毎月物価が上がる中、多くの家庭が何とか生活を持ちこたえようと苦労している。

解説 物価高の中で「何とかやっていく」のは keep one's head above water（水面から頭を出しておく）。ground は above ground（地上で）、the clouds は have one's head in the clouds（空想にふける）からのひっかけで、どちらも生活の苦しさを表さない。above the line も熟語にならない。

区別 **keep one's head above water ⇔ make ends meet** make ends meet は「収入内でやりくりする」で、家計の話に限られる。keep one's head above water は家計のほか、仕事の量や会社経営など「沈まずに持ちこたえる」広い場面に使える。

0515 ☐☐☐

A: I just started learning the guitar, and I want to play this really difficult song. B: Learn to walk before you ＿＿＿＿. Practice the basic chords first.

① run　② fly
③ jump　④ sing

① Learn to walk before you run.
走る前に歩くことを覚えよ；物事には順序がある

訳 A：ギターを始めたばかりなんだけど、このすごく難しい曲を弾きたいんだ。　B：走る前に歩くことを覚えなよ。まずは基本のコードを練習して。

解説 「まず基本のコードを練習して」と基礎から順に進めるよう勧めているので、Learn to walk before you run.。walk の次の段階は run で、fly（飛ぶ）や jump（跳ぶ）はことわざの形ではない。sing は歌の話に引きずられたひっかけで、walk と順序の関係にならない。

注意 You must learn to walk before you can run. とも。

0516 ☐☐☐

You two had a big argument yesterday. It's better to let the dust ＿＿＿＿ before you talk to him again.

① settled　② to settle
③ settle　④ settling

③ let the dust settle　事態が落ち着くのを待つ

訳 君たちは昨日大げんかをしたね。もう一度彼と話す前に、事態が落ち着くのを待った方がいいよ。

解説 let O 原形 で「O を～させる」。let the dust settle（ほこりが落ち着くのを待つ）なので原形 settle。let の後ろに過去分詞 settled や不定詞 to settle、現在分詞 settling は置けない（使役動詞 let は原形不定詞を取る）。

注意 when the dust settles（騒ぎが収まったら）の形も。

0517 □□□

A: My neighbor painted his house bright pink. It's so strange. B: So what? It's his house. Live and let ＿＿＿＿.

① die　② go
③ live　④ be

③ Live and let live.

自分も生き、他人も生かせ；人は人、自分は自分

訳 A：隣の人が家を鮮やかなピンクに塗ったんだ。すごく変だよ。　B：だから何？　彼の家だよ。自分は自分、他人は他人さ。

解説 「彼の家なんだから」と他人の好みに干渉しないよう言っているので、Live and let live.。let die は「死なせる」で逆の意味。let go は「手放す」、let be は Let it be.（そのままにしておけ）からのひっかけで、どちらもことわざの形ではない。

区別 **Live and let live. ⇔ Let it be.** Let it be. は「そのままにしておけ・なすがままに」で、状況に手を出さないこと。Live and let live. は他人の生き方を尊重して干渉しないこと。どちらも let を使うが、Live and let live. は人に対する寛容さ。

0518 □□□

A: Why does Jim want everyone else to fail the test like he did? B: Misery loves ＿＿＿＿.

① company　② money
③ silence　④ misery

① Misery loves company.

不幸は仲間を欲しがる；同病相憐れむ

訳 A：どうしてジムは、自分みたいにみんなもテストに落ちればいいと思っているの？　B：不幸な人は仲間を欲しがるものなんだよ。

解説 自分が失敗したので他の人も失敗してほしい、という心理なので Misery loves company.。company はここで「仲間」。money（お金）や silence（沈黙）はことわざの形ではなく、他人の失敗を望む理由にならない。misery を繰り返す形もない。

区別 **Misery loves company. ⇔ Birds of a feather flock together.** Birds of a feather flock together. は「類は友を呼ぶ」で、似た者同士が集まる一般的な傾向。Misery loves company. は「不幸な人が」仲間を求める心理に限られる。

0519 □□□

He stole some bread to feed his hungry children. As the saying goes, necessity knows no ＿＿＿＿.

① mother　② bounds
③ invention　④ law

④ Necessity knows no law.

必要の前に法律はない；背に腹は代えられない

訳 彼は飢えた子どもたちを食べさせるためにパンを盗んだ。ことわざにあるように、背に腹は代えられないのだ。

解説 子どものためにパンを盗んだ＝決まりを破った行動を説明するので Necessity knows no law.。mother / invention は Necessity is the mother of invention.（必要は発明の母）からのひっかけ。know no bounds は「限りがない」という別の言い方で、盗みの説明にならない。

区別 **Necessity knows no law. ⇔ Necessity is the mother of invention.** Necessity is the mother of invention. は「必要は発明の母」で、必要に迫られると工夫が生まれる、という前向きな教え。Necessity knows no law. は、必要に迫られると決まりを破ることもある、という言い訳や理解の言葉。

0520 □□□

After winning the championship, the players went out to paint the town ＿＿＿＿.

① blue　② red
③ black　④ white

② paint the town red

派手に遊び回る；飲み歩いてどんちゃん騒ぎをする

訳 優勝した後、選手たちは街に繰り出して派手に騒いだ。

解説 優勝を祝って派手に遊び回るのは paint the town red。blue は feel blue（憂うつ）のように落ち込む色で、お祝いに合わない。black / white も paint the town と組んで熟語にならない。にぎやかさ・興奮を表す色は red。

注意 ＝ celebrate wildly。

0521 □□□

A: I'll start my report next week. B: You said that last week, too. Procrastination is the ＿＿＿＿ of time.

① father　② thief
③ friend　④ key

② Procrastination is the thief of time.

先延ばしは時間泥棒

訳 A：レポートは来週始めるよ。　B：先週もそう言っていたじゃない。先延ばしは時間泥棒だよ。

解説 先週も同じことを言った＝先延ばしを戒めているので Procrastination is the thief of time.（先延ばしは時間泥棒）。father / friend / key では「時間を奪う」という意味にならず、ことわざの形でもない。時間を盗むのは thief。

注意 procrastination（先延ばし）という難語を確認。

0522 □□□

My grandfather believed in strict discipline. He always said, "Spare the rod and ＿＿＿＿ the child."

① save　② spare
③ spoil　④ teach

③ Spare the rod and spoil the child.

むちを惜しむと子どもはだめになる；かわいい子には旅をさせよ

訳 祖父は厳しいしつけを信じていた。いつも「むちを惜しむと子どもはだめになる」と言っていた。

解説 ことわざは Spare the rod and spoil the child.（むちを惜しむと子どもをだめにする）。厳しいしつけを支持する祖父の口癖に合う。save（救う）や teach（教える）では「むちを惜しめば子どもを救える」となり、厳しさを勧める意味と逆になる。spare を繰り返す形もない。

注意 体罰に関する議論の長文で出ることがある。

0523 □□□

I was going to announce my engagement at dinner, but my sister stole my ＿＿＿＿ by announcing hers first.

① lightning　② heart
③ thunder　④ breath

③ steal A's thunder

A の手柄を横取りする；A を出し抜く

訳 夕食の席で婚約を発表するつもりだったが、姉［妹］が先に自分の婚約を発表して、私の見せ場を奪ってしまった。

解説 自分が発表しようとしていたことを妹に先を越され、見せ場を奪われたので steal A's thunder。lightning（稲妻）は雷つながりのひっかけで熟語にならない。steal A's heart は「A の心を奪う（夢中にさせる）」で恋愛の意味。steal A's breath は熟語ではなく、take A's breath away（息をのませる）の形になる。

区別 **steal A's thunder ⇔ steal the show**　steal the show は「（脇役などが）人気をさらう・主役を食う」で、特定の誰かから奪う意味は弱い。steal A's thunder は特定の人のアイデアや発表を先に使って、その人の見せ場を奪う。

0524 □□□

Technology, jobs, and even our values keep changing. As the saying goes, the only constant is ＿＿＿＿.

① time　② death
③ money　④ change

④ The only constant is change.

唯一変わらないものは変化である；諸行無常

訳 技術も仕事も、価値観でさえも変わり続ける。よく言われるように、唯一変わらないものは変化なのだ。

解説 技術・仕事・価値観まで変わり続ける、という話を受けるので The only constant is change.（唯一変わらないのは変化）。time / money はことわざの形ではない。death は Nothing is certain except death and taxes.（確かなのは死と税金だけ）からのひっかけで、変化の話にならない。

注意 constant は名詞で「不変のもの」。

0525 □□□

A: Can I tell a funny joke during the speech at the funeral? B: No way! There's a time and a ＿＿＿＿ for everything.

① reason　② place
③ rule　④ price

② There's a time and a place for everything.

何事にもふさわしい時と場所がある；時と場所をわきまえよ

訳 A：葬儀のスピーチで面白い冗談を言ってもいい？　B：とんでもない！　何事にも時と場所をわきまえないと。

解説 葬式で冗談を言うのはふさわしくない、と場をわきまえるよう言っているので There's a time and a place for everything.。reason（理由）、rule（規則）、price（値段）はことわざの形ではなく、「時と場所」をわきまえるという意味にもならない。

注意 注意するときの決まり文句。

0526 □□□

A: Oops. I told Mary she looked old in that dress, and now she's upset. B: You really should think before you ＿＿＿＿.

① sleep　② speak
③ eat　④ laugh

② Think before you speak.

話す前に考えよ；口は災いの元

訳 A：しまった。メアリーにそのドレスだと老けて見えるって言ったら、怒っちゃった。　B：本当に、話す前に考えた方がいいよ。

解説 失言で Mary を怒らせた相手への忠告なので Think before you speak.（話す前に考えよ）。sleep / eat は失言と関係がない。laugh（笑う）も、話した内容で人を傷つけたこの場面には合わず、ことわざの形でもない。

区別 **Think before you speak. ⇔ Look before you leap.** Look before you leap. は「跳ぶ前に見よ」で、行動する前によく考えよ、という教え。Think before you speak. は発言の前に考えよ、と話す内容に限る。見分け方：失言の話なら speak、軽率な行動の話なら leap。

0527 □□□

The captain told the team, "United we stand, divided we ＿＿＿＿." Everyone understood they had to work together.

① stand　② win
③ fall　④ sit

③ United we stand, divided we fall.

団結すれば立ち、分裂すれば倒れる

訳 キャプテンはチームに「団結すれば立ち、分裂すれば倒れる」と言った。皆、協力しなければならないと分かった。

解説 団結を呼びかける言葉は United we stand, divided we fall.。stand（立つ）の反対の fall（倒れる）が入る。stand を繰り返すと意味が通らず、win（勝つ）では「分裂すれば勝つ」と逆になる。sit（座る）も対の形にならない。

注意 団結を呼びかけるスローガンとして使う。

0528 □□□

Your work this month hasn't been up to ＿＿＿＿. Is anything wrong?

① date　② now
③ par　④ you

③ up to par 標準に達して；（体調が）普段どおりで

訳 今月の君の仕事はいつもの水準に達していないね。何かあったの？

解説 「何かあったの？」と心配しているので、仕事の出来がいつもの基準に達していない＝ not up to par。up to date は「最新の」で仕事の出来を表さない。up to now は「今まで」で、hasn't been の補語にならない。up to you は「あなた次第」で意味が通らない。

区別 **up to par ⇔ up to date** up to date は「最新の」（up-to-date information）。up to par は「標準に達して」。どちらも up to ~ だが、date は時間、par は基準。見分け方：新しさなら date、出来・調子なら par。

0529 □□□

A: The doctors say my father's condition is very serious. B: Don't give up. Where there's life, there's ＿＿＿＿.

① hope　② a way
③ smoke　④ love

① Where there's life, there's hope.
命ある限り希望はある

訳 A：医者が言うには、父の容体はとても深刻なんだ。　B：あきらめないで。命ある限り希望はあるよ。

解説 重い病気の父親について「あきらめないで」と励ましているので Where there's life, there's hope.。a way は Where there's a will, there's a way.（意志あるところに道あり）、smoke は Where there's smoke, there's fire.（火のない所に煙は立たない）からのひっかけで、life と組まない。love もことわざの形ではない。

区別 **Where there's life, there's hope. ⇔ Where there's a will, there's a way.** Where there's a will, there's a way. は「意志あるところに道は開ける（精神一到何事か成らざらん）」で、やる気があれば方法は見つかる、という励まし。Where there's life, there's hope. は生きている限り希望がある、と命の話。

0530 □□□

A: Could you help me move this weekend? B: Sure, if you help me with my math homework. You scratch my back and I'll scratch ＿＿＿＿.

① mine　② yours
③ his　④ theirs

② You scratch my back and I'll scratch yours.
私の背中をかいてくれたら君のをかいてあげる；持ちつ持たれつ

訳 A：今週末、引っ越しを手伝ってくれない？　B：いいよ、数学の宿題を手伝ってくれるならね。持ちつ持たれつだよ。

解説 引っ越しを手伝う代わりに宿題を手伝って、という交換条件なので You scratch my back and I'll scratch yours.。yours は your back の代わり。mine だと「自分の背中をかく」になり、助け合いにならない。his / theirs は会話に出てこない第三者になり、意味が通らない。

区別 **You scratch my back and I'll scratch yours. ⇔ Live and let live.** Live and let live. は「他人に干渉しない」で、関わらないことが中心。You scratch my back and I'll scratch yours. は積極的に助け合う（取引する）ことが中心。どちらも「持ちつ持たれつ」と訳されることがあるが、内容は逆に近い。

0531 ☐☐☐

You two have been avoiding each other for weeks. You should have a heart-to- _____ talk and clear up the misunderstanding.

① heart　② face
③ mind　④ head

① heart-to-heart
腹を割った（話）；本音の（話し合い）

訳 君たち二人は何週間もお互いを避けているね。腹を割って話し合って誤解を解くべきだよ。

解説 誤解を解くための本音の話し合いは a heart-to-heart talk。heart-to-face という形はなく、face-to-face にするには前の語も face でなければならない。mind / head も heart と組んで決まった形を作らない。同じ名詞を繰り返す形だと押さえる。

区別 **heart-to-heart ⇔ face-to-face** face-to-face は「対面の・直接会っての」で、話し方の形式（会うか、電話か）を表す。heart-to-heart は「本音の」で、話の中身の率直さを表す。見分け方：会うことなら face-to-face、心を開くことなら heart-to-heart。

0532 ☐☐☐

Nobody expected him to quit. The news of his sudden resignation came as a bolt from the _____.

① blue　② sky
③ dark　④ sun

① a bolt from the blue　青天の霹靂；寝耳に水

訳 誰も彼が辞めるとは思っていなかった。彼の突然の辞任の知らせは、まさに青天の霹靂だった。

解説 誰も予想しなかった突然の辞任なので a bolt from the blue（青空からの稲妻）。the blue が「青空」を表す決まった形で、sky は意味は近いが熟語の形ではない。dark（暗闇）は「予想外」の意味にならず、shot in the dark（当てずっぽう）を連想させるひっかけ。sun も熟語にならない。

区別 **a bolt from the blue ⇔ out of the blue** out of the blue は「突然・前触れもなく」という副詞句（He called me out of the blue.）。a bolt from the blue は「突然の出来事」という名詞句で、主語や補語になる。見分け方：動詞を修飾するなら out of the blue、出来事そのものを指すなら a bolt from the blue。

0533 ☐☐☐

This old bookstore is a gold _____ for people who love rare books.

① medal　② rush
③ mine　④ fish

③ a gold mine　宝の山；ドル箱

訳 この古い書店は、珍しい本が好きな人にとって宝の山だ。

解説 珍しい本が好きな人にとって「宝の山」なので a gold mine。gold medal（金メダル）は最高の成績を表し、場所の説明にならない。gold rush は人が殺到する現象で、書店そのものを指せない。goldfish は「金魚」で意味が通らない。

区別 **a gold mine ⇔ a gold rush** a gold rush は「ゴールドラッシュ・一攫千金を狙って人が殺到すること」。a gold mine は「宝の山・もうかる物」。見分け方：人が殺到する現象なら rush、価値ある物そのものなら mine。

0534 □□□

Nobody in the class likes him because he's such a ＿＿＿＿; he always acts as if he knows everything.

① know-how　② busybody
③ know-it-all　④ nobody

③ a know-it-all 知ったかぶりをする人

訳 彼はとても知ったかぶりなので、クラスの誰からも好かれていない。いつも何でも知っているかのように振る舞うのだ。

解説 何でも知っているかのように振る舞う人は a know-it-all。know-how は「技術・ノウハウ」で数えられない名詞なので a know-how とは言わず、人も指さない。busybody は「おせっかいな人」で、知識をひけらかす意味ではない。nobody は「取るに足らない人」で、後半の説明と合わない。

区別 **a know-it-all ⇔ know-how** know-how は「（専門的な）技術・ノウハウ」という数えられない名詞で、良い意味。a know-it-all は人を指す悪口。見分け方：人を非難するなら know-it-all、技術や知識の中身なら know-how。

0535 □□□

Ken rarely joins team meetings. He's a lone ＿＿＿＿ who prefers to work by himself.

① wolf　② sheep
③ bird　④ fox

① a lone wolf 一匹狼

訳 ケンはめったにチームの会議に参加しない。一人で仕事をするのを好む一匹狼なのだ。

解説 一人で働くのを好む人は a lone wolf（一匹狼）。sheep は a black sheep（厄介者）からのひっかけで、群れで行動する動物の代表なので一人を好む人に合わない。bird は Birds of a feather flock together.（類は友を呼ぶ）を連想させるが a lone bird は熟語にならない。fox も熟語にならない。

区別 **a lone wolf ⇔ a black sheep** a black sheep は「（家族や集団の中の）厄介者・はみ出し者」で、周りから困った存在と見られる人。a lone wolf は自分から一人でいることを選ぶ人。見分け方：周囲の評価として厄介なら black sheep、本人が単独行動を好むなら lone wolf。

0536 □□□

Nobody knows what the new manager will say at the press conference. He's a loose ＿＿＿＿.

① end　② change
③ screw　④ cannon

④ a loose cannon
何をしでかすか分からない人；危険人物

訳 新しい部長が記者会見で何を言い出すか、誰にも分からない。何をしでかすか分からない人なのだ。

解説 記者会見で何を言い出すか分からない人なので a loose cannon。loose end は「未解決の問題」（tie up loose ends＝やり残しを片づける）、loose change は「小銭」で、人を表さない。screw は have a screw loose（頭がおかしい）の形で使い、a loose screw とは普通言わない。

区別 **a loose cannon ⇔ loose change** loose change は「小銭」で、cannon とは無関係。a loose cannon は「危険人物」。同じ loose でも、change は「ばらばらの」、cannon は「固定されていない」の意味。

0537 □□□

My parents have been saving money for years, so they have a nice nest ＿＿＿＿ for their retirement.

① box　② egg
③ bird　④ bank

② a nest egg （将来に備えた）貯金；へそくり

訳 両親は何年もお金を貯めてきたので、老後のためのまとまった蓄えがある。

解説 老後に備えた蓄えは a nest egg。nest box は「巣箱」、nest bird という形はなく、どちらもお金の意味にならない。bank は piggy bank（貯金箱）や bank account からのひっかけで、nest bank という言い方はない。

区別 **a nest egg ⇔ a piggy bank** a piggy bank は「（豚の形の）貯金箱」で、物そのもの。a nest egg は「将来のための蓄え」というお金のこと。見分け方：入れ物なら piggy bank、貯めたお金なら nest egg。

0538 □□□

A: Can you believe it? He told her I already had a girlfriend so that he could ask her out himself! B: Well, all's fair in love and ＿＿＿＿, I guess.

① peace　② war
③ business　④ life

② All's fair in love and war. 恋と戦争は手段を選ばない

訳 A：信じられる？　あいつ、自分が彼女をデートに誘いたいからって、私にはもう彼女がいるって彼女に言ったんだよ！　B：まあ、恋と戦争は手段を選ばないって言うからね。

解説 恋のライバルを出し抜くためにうそをついた話なので、All's fair in love and war.（恋と戦争は手段を選ばない）。peace（平和）は war の反対で、手段を選ばない場面にならない。business / life はことわざの形ではない。決まった組み合わせは love and war。

注意 fair は「公正な・許される」。

0539 □□□

My grandfather is an old hand ＿＿＿＿ fixing cars, so he can repair almost anything.

① for　② of
③ to　④ at

④ an old hand (at ~) （～の）ベテラン；熟練者

訳 祖父は車の修理のベテランなので、ほとんど何でも直せる。

解説 an old hand at ~ で「～のベテラン」。得意な分野は be good at と同じく at で示す。for / to は目的や方向を表し、熟練している分野を示さない。of は「～の」と所属を表すが、an old hand of fixing cars という形はなく、得意分野は示せない。

区別 **an old hand (at ~) ⇔ a greenhorn** a greenhorn は「新米・未熟者」で、an old hand の反対。見分け方：経験豊富なら old hand、経験が浅いなら greenhorn。

0540 □□□

I can't concentrate on my work with my boss breathing down my ＿＿＿＿ all the time.

① back　② neck
③ shoulder　④ throat

② breathe down A's neck
A を背後からせっつく；A を監視する

訳 上司がいつも背後からせっついてくるので、仕事に集中できない。

解説 上司にずっと見張られて集中できないので breathe down A's neck（首筋に息がかかるほど背後から見張る）。back は watch one's back（背後に気をつける）、shoulder は look over one's shoulder（肩越しにのぞく）からのひっかけで、breathe down と組まない。throat は jump down A's throat（A に食ってかかる）の形で使う。

注意 進行形で使われることが多い。＝ watch A closely / pressure A。

0541 □□□

It goes against the ＿＿＿＿ for me to tell a lie, even a small one.

① wind　② grain
③ tide　④ flow

② go against the grain　性分に合わない；常識に反する

訳 うそをつくのは、たとえ小さなうそでも、私の性分に合わない。

解説 うそをつくのは「性分に合わない」ので It goes against the grain for me to do。wind（風）、tide（潮流）、flow（流れ）は go against the tide / flow のように「時流に逆らう」の意味になり、It goes against ~ for me to tell a lie の形で自分の性分を表さない。

区別 **go against the grain ⇔ swim against the tide**　swim against the tide は「時流・大勢に逆らう」で、多くの人の流れに逆らって行動すること。go against the grain は「自分の性分に合わない」が中心で、気持ちの問題。見分け方：自分の性格・信条に反するなら grain、世の中の流れに逆らうなら tide。

0542 □□□

All our plans for the summer trip went up in ＿＿＿＿ when my father suddenly lost his job.

① steam　② dust
③ water　④ smoke

④ go up in smoke
（計画などが）水の泡になる；煙と消える

訳 父が突然仕事を失い、夏の旅行の計画はすべて水の泡になった。

解説 父の失業で夏の旅行計画が「水の泡になった」ので go up in smoke。steam は run out of steam（息切れする）の形で使い、go up in steam とは言わない。dust は bite the dust（倒れる・だめになる）、water は熟語にならない。上へ消えるのは smoke。

区別 **go up in smoke ⇔ go down the drain**　go down the drain は「（お金・努力が）無駄になる」で、少しずつ流れて消える無駄遣いにも使う。go up in smoke は一気に跡形もなく消える感じが強い。どちらも計画やお金が無駄になる意味で、置き換えられることも多い。

0543 □□□

A: My neighbor keeps coming into my garden without asking. B: Maybe you should build a fence. Good fences make good ＿＿＿＿.

① neighbors　② friends
③ houses　④ gardens

① Good fences make good neighbors.
良い垣根が良い隣人を作る；親しき仲にも垣をせよ

訳 A：隣の人が断りもなくうちの庭に入ってくるんだ。　B：垣根を作ったらどう？　良い垣根が良い隣人を作るって言うよ。

解説 隣人が勝手に庭に入るので垣根を作るよう勧めている＝Good fences make good neighbors.。friends では「良い垣根が良い友を作る」となり、ことわざの形ではない。houses / gardens は垣根で作る対象として意味が通らない。

注意 人間関係の距離感を論じる長文で出る。

0544 □□□

Stop horsing _____ in the classroom! Someone is going to get hurt.

① over ② out
③ around ④ off

③ horse around ふざけ回る；ばか騒ぎする

訳 教室でふざけ回るのはやめなさい！ 誰かがけがをするよ。

解説 「ふざけ回る」は horse around。around は「あちこち・ぶらぶら」の意味で、fool around / mess around と同じ。horse over / horse out / horse off という句動詞はなく、over（越えて）、out（外へ）、off（離れて）ではふざける意味にならない。

区別 **horse around ⇔ fool around** fool around も「ふざける」だが、「ぶらぶら時間をむだにする」「浮気する」の意味もある。horse around は体を使って騒がしくふざけることが中心。見分け方：騒がしいじゃれ合いなら horse around。

0545 □□□

A: I asked my brother to clean the kitchen, but it's still dirty. B: Well, if you want something done right, do it _____.

① again ② later
③ together ④ yourself

④

If you want something done right, do it yourself.
きちんとやりたいなら自分でやれ

訳 A：弟に台所の掃除を頼んだのに、まだ汚いの。 B：まあ、きちんとやってほしいなら自分でやるしかないね。

解説 弟に頼んだ掃除が不十分だったので「きちんとやってほしいなら自分でやれ」＝ do it yourself。again（もう一度）では誰がやるかが分からず、ことわざの形でもない。later（後で）や together（一緒に）も「人に任せず自分で」という意味にならない。

注意 want O done（O を～してもらいたい）の形を確認。

0546 □□□

A: My classmate copied my hairstyle! B: Don't be angry. Imitation is the sincerest form of _____.

① theft ② flattery
③ failure ④ crime

② Imitation is the sincerest form of flattery.
模倣は最も誠実なお世辞

訳 A：クラスメートが私の髪型をまねしたの！ B：怒らないで。まねされるのは認められている証拠だよ。

解説 まねされて怒る相手を「怒らないで」となだめているので、Imitation is the sincerest form of flattery.（まねされるのは認められている証拠）。theft（盗み）や crime（犯罪）だと「まねは盗みだ」となり、なだめる言葉にならない。failure（失敗）も意味が通らない。

注意 flattery（お世辞）を確認。

0547 □□□

A: My house was robbed last year, and I'm afraid it will happen again. B: Don't worry. Lightning never strikes _____ in the same place.

① once ② first
③ alone ④ twice

④

Lightning never strikes twice in the same place.
雷は同じ所に二度落ちない；同じ不運は二度は起こらない

訳 A：去年家に泥棒が入ったから、また起きるんじゃないかと心配なの。 B：心配しないで。同じ不運は二度は起きないよ。

解説 去年泥棒に入られて不安な相手を「同じ不運は二度ない」と励ますので、Lightning never strikes twice in the same place.。once だと「一度も落ちない」になり、去年の被害と合わない。first / alone はことわざの形ではなく、意味も通らない。

注意 科学的には誤りだという長文の題材になることがある。

0548 □□□

A: I'm going to cut this expensive wood now. B: Wait! Check the length again. Measure ＿＿＿＿, cut once.

① once　② twice
③ never　④ later

② Measure twice, cut once.

二度測って一度で切れ；念には念を入れよ

訳 A：今からこの高い木材を切るね。　B：待って！　もう一度長さを確認して。二度測って一度で切れって言うでしょ。

解説 「もう一度長さを確認して」と言っているので、Measure twice, cut once.（二度測って一度で切れ）。once だと一度しか測らないことになり、確認を促す流れと合わない。never（決して測らない）は逆の意味。later（後で測る）では切った後になってしまう。

区別 **Measure twice, cut once. ⇔ Look before you leap.** Look before you leap. は「跳ぶ前によく見よ」で、行動前によく考えることを広く勧める。Measure twice, cut once. は「確認を重ねてから一度で決める」で、具体的な作業での確認の大切さを言う。

0549 □□□

A: Someone actually paid money for my broken old radio at the flea market! B: Well, one man's trash is another man's ＿＿＿＿.

① poison　② trash
③ treasure　④ loss

③ One man's trash is another man's treasure.

ある人のごみは別の人の宝

訳 A：フリーマーケットで、私の壊れた古いラジオに本当にお金を払ってくれた人がいたの！　B：まあ、ある人にとってのごみは別の人にとっての宝だからね。

解説 壊れた古いラジオにお金を払う人がいた＝要らない物が別の人には価値がある、なので One man's trash is another man's treasure.。poison は One man's meat is another man's poison.（甲の薬は乙の毒）からのひっかけで、価値があるという意味にならない。trash の繰り返しや loss（損失）も意味が通らない。

区別 **One man's trash is another man's treasure. ⇔ One man's meat is another man's poison.** One man's meat is another man's poison. は「ある人の食べ物は別の人の毒（好みは人それぞれ・甲の薬は乙の毒）」で、ある人に良い物が別の人には害になる。trash と treasure の方は、要らない物が別の人には価値がある、という方向。

0550 □□□

The morning train was so crowded that we were packed like ＿＿＿＿ all the way to Tokyo.

① sheep　② ants
③ bees　④ sardines

④ packed like sardines

すし詰めで；ぎゅうぎゅう詰めで

訳 朝の電車はとても混んでいて、私たちは東京まですっとすし詰めだった。

解説 満員電車で「ぎゅうぎゅう詰め」は packed like sardines（缶詰のいわしのように）。sheep（羊）、ants（アリ）、bees（ハチ）は群れで動く生き物だが、packed like ~ の決まった形ではなく、詰め込まれた状態を表す熟語にならない（as busy as a bee は「とても忙しい」）。

注意 満員電車の描写の定番。

0551 ☐☐☐

The train was 20 minutes late again this morning, but delays are par for the _____ on this line.

① game　② course
③ day　④ road

② par for the course　よくあること；いつものこと

訳 今朝も電車は 20 分遅れたが、この路線では遅延はよくあることだ。

解説 遅延がこの路線では「よくあること」なので par for the course。ゴルフの用語なので course（コース）を使う。game / day / road は par for the ~ の決まった形ではない。

区別 **par for the course ⇔ up to par**　up to par は「標準に達して・体調が普段どおりで」と、出来や調子の評価。par for the course は「（悪いことが）よくある・予想どおり」。見分け方：出来や体調なら up to par、よくある困りごとなら par for the course。

0552 ☐☐☐

If you play your cards _____, you could get promoted to manager next year.

① open　② right
③ back　④ down

② play one's cards right　うまく立ち回る

訳 うまく立ち回れば、来年は部長に昇進できるかもしれないよ。

解説 「うまく立ち回れば昇進できる」は play one's cards right。right は「正しく・うまく」の副詞。open は lay one's cards on the table（手の内を見せる）を連想させるが、play one's cards open という形はない。back / down も熟語にならない。

区別 **play one's cards right ⇔ lay one's cards on the table**　lay / put one's cards on the table は「手の内を見せる・本音を明かす」。play one's cards right は「（手の内をうまく使って）上手に立ち回る」。見分け方：正直に明かすなら on the table、うまく戦略を立てるなら play ~ right。

0553 ☐☐☐

The hotel pulled out all the _____ for the royal visit, preparing the finest rooms and food.

① stops　② strings
③ plugs　④ punches

① pull out all the stops
全力を尽くす；あらゆる手段を使う

訳 そのホテルは王族の訪問のために全力を尽くし、最高の部屋と料理を用意した。

解説 最高の部屋と料理を用意して「全力を尽くした」ので pull out all the stops。pull strings は「コネを使う」で、all the や out とは組まない。pull the plug は「中止する」で、準備に力を入れた話と逆。pull no punches は「手加減しない」という否定の形で、pull out all the punches とは言わない。

区別 **pull out all the stops ⇔ pull strings**　pull strings は「（裏で）コネを使う・影響力を使う」で、正規でない手段を連想させる。pull out all the stops は正々堂々と全力を出すこと。見分け方：裏工作なら pull strings、全力投球なら pull out all the stops。

0554 □□□

While all her friends chose to work for big companies, she swam against the ＿＿＿＿ and started her own small business.

① clock　② rules
③ tide　④ sky

③ swim against the tide 時流に逆らう；大勢に逆らう

訳 友人たちはみな大企業で働くことを選んだが、彼女は大勢に逆らって自分の小さな会社を始めた。

解説 友人がみな大企業を選ぶ中、一人だけ自分で起業した＝「大勢に逆らった」ので swim against the tide。clock は race against the clock（時間と競争する）、rules は break the rules（規則を破る）の形で使い、swim against と組まない。sky も熟語にならない。

区別 **swim against the tide ⇔ go with the flow** go with the flow は「流れに身を任せる・周りに合わせる」で、swim against the tide の反対。見分け方：周りに合わせるなら go with the flow、逆らうなら swim against the tide。

0555 □□□

The new coach makes big promises. He can talk the talk, but can he walk the ＿＿＿＿?

① walk　② talk
③ line　④ dog

① talk the talk 口ではうまいことを言う

訳 新しい監督は大きな約束をする。口ではうまいことを言うが、本当に実行できるのだろうか。

解説 口では大きな約束をするが実行できるのか、と言葉と行動を対比しているので walk the walk。talk を繰り返すと対比にならない。walk the line は「規則を守る・まっすぐ歩く」、walk the dog は「犬を散歩させる」で、「言ったことを実行する」の意味にならない。

区別 **talk the talk ⇔ walk the walk** walk the walk は「（言ったことを）実行する・行動で示す」。talk the talk は口先だけ。二つを並べて「言うことと行動」の対比を作る。見分け方：言葉なら talk、行動なら walk。

0556 □□□

A: The bridge is closed, so we can't get to the station. B: Don't worry. There's more than one way to skin a ＿＿＿＿. We can take the bus around the lake.

① dog　② cat
③ rabbit　④ fish

② There's more than one way to skin a cat.
猫の皮をはぐ方法は一つではない；やり方はいくらでもある

訳 A：橋が通行止めだから、駅に行けないよ。　B：心配いらないよ。やり方はいくらでもあるさ。湖を回るバスに乗ればいい。

解説 橋が通れなくても湖を回るバスがある、と別の方法を示しているので There's more than one way to skin a cat.。ことわざで使う動物は cat と決まっていて、dog / rabbit / fish では熟語にならない。

区別 **There's more than one way to skin a cat. ⇔ Where there's a will, there's a way.** Where there's a will, there's a way. は「意志があれば道は開ける」で、やる気の大切さを言う。There's more than one way to skin a cat. は「方法は一つではない」で、方法の多様さを言う。

0557 □□□

Don't trust him. He's ＿＿＿＿; he's nice to your face but says terrible things about you behind your back.

① face-to-face
② two-way
③ double-checked
④ two-faced

④ two-faced 裏表のある；二枚舌の

訳 彼を信用しちゃだめだよ。裏表がある人なんだ。面と向かっては優しいけど、陰では君のことをひどく言っているよ。

解説 面と向かっては優しいが陰で悪口を言う人は two-faced（裏表のある）。face-to-face は「対面の」で人の性格を表さない。two-way は「双方向の・両面通行の」（two-way street）で、人について使うと意味が通らない。double-checked は「再確認された」で人の性格ではない。

区別 **two-faced ⇔ face-to-face** face-to-face は「対面の・直接会っての」で、人の性格を表さない。two-faced は「裏表のある」という性格の悪口。見分け方：会い方なら face-to-face、性格なら two-faced。

0558 □□□

A: The new plan will save the company, but some people will lose their positions. B: That's unfortunate, but you can't make an omelet without breaking ＿＿＿＿.

① eggs　② bread
③ plates　④ rules

①

You can't make an omelet without breaking eggs.

卵を割らずにオムレツは作れない；何かを得るには犠牲が必要

訳 A：新しい計画で会社は救われるけれど、地位を失う人も出るだろうね。　B：残念だけど、何かを得るには犠牲が必要だよ。

解説 会社を救う計画には人事の犠牲が伴う、という話なので You can't make an omelet without breaking eggs.。オムレツの材料は卵なので eggs。bread はオムレツと関係がなく、plates（皿を割る）は料理の失敗になる。rules は break the rules（規則を破る）からのひっかけで、ことわざの形ではない。

区別 **You can't make an omelet without breaking eggs. ⇔ No pain, no gain.** No pain, no gain. は「苦労なくして得るものなし」で、自分自身の努力・苦労を言う。You can't make an omelet without breaking eggs. は目標のための犠牲や損失（他人への影響を含む）を言う。

0559 □□□

My father is such a ＿＿＿＿ driver. Even when he's a passenger, he keeps telling me how to drive.

① backseat　② Sunday
③ slave　④ designated

① a backseat driver

（車の後部座席から）口出しする人；横からあれこれ言う人

訳 父は本当にうるさい同乗者だ。助手席に乗っているときでさえ、運転のしかたをあれこれ言い続ける。

解説 同乗者なのに運転のしかたに口出しするので a backseat driver。a Sunday driver は運転している本人がのろのろ運転なこと。a slave driver は「人使いの荒い人」、a designated driver は「（飲み会で）お酒を飲まない運転役」で、どれも同乗者の口出しを表さない。

区別 **a backseat driver ⇔ a Sunday driver** a Sunday driver は「（日曜にしか運転しない人のような）のろのろ運転の下手なドライバー」で、運転している本人を指す。a backseat driver は運転していない同乗者が口出しすること。

0560 ☐☐☐

He was a big fish in a small _____ in his hometown, but in Tokyo he's just one of many talented players.

① sea　② ocean
③ pond　④ net

③ a big fish in a small pond

小さな集団の中の大物；井の中の蛙

訳 彼は地元では小さな世界の大物だったが、東京ではたくさんいる才能ある選手の一人にすぎない。

解説 地元では大物だったが東京ではたくさんいる才能ある選手の一人にすぎない、なので a big fish in a small pond。sea / ocean は「広い世界」の側を表す語で、small と組むと矛盾する。net（網）は熟語にならない。

区別 **a big fish in a small pond ⇔ a frog in a well** a frog in a well（井の中の蛙）は「狭い世界しか知らない人」で、視野の狭さを言う。a big fish in a small pond は「狭い世界で大物」で、地位や影響力の大きさに重点がある。

0561 ☐☐☐

My cat fell from the third-floor balcony but just walked away. They say a cat has nine _____.

① tails　② legs
③ lives　④ homes

③ A cat has nine lives.

猫に九生あり；猫はなかなか死なない

訳 うちの猫は 3 階のバルコニーから落ちたのに、平気で歩いて行った。猫には命が九つあると言われるとおりだ。

解説 3 階から落ちても平気だった＝しぶとい、なので A cat has nine lives.（猫に九生あり）。life の複数形は lives。tails / legs / homes はことわざの形ではなく、落ちても無事だった理由の説明にもならない。

区別 **A cat has nine lives. ⇔ Curiosity killed the cat.** Curiosity killed the cat. は「好奇心は身を滅ぼす（余計な詮索はするな）」で、詮索好きを戒める。A cat has nine lives. は猫（や人）の生命力・悪運の強さを言う。

0562 ☐☐☐

When the old woman fell on the street, a Good _____ stopped to help her and called an ambulance.

① Samaritan　② Shepherd
③ Friday　④ Spirit

① a Good Samaritan 困っている人を助ける親切な人

訳 そのおばあさんが道で転んだとき、親切な人が立ち止まって助け起こし、救急車を呼んだ。

解説 見知らぬ女性を助けた親切な人なので a Good Samaritan。the Good Shepherd（良い羊飼い）はキリストを指す言い方、Good Friday はキリストの受難を記念する祝日（聖金曜日）で、通行人を表さない。a good spirit も熟語として親切な通行人の意味にならない。

注意 Good Samaritan law（善きサマリア人の法）も教養として出る。

0563 ☐☐☐

He's such a penny- ＿＿＿＿ that he never buys anyone a drink, even on their birthday.

① pusher　② pincher
③ wise　④ less

② a penny-pincher けちん坊；しまり屋

訳 彼はひどいけちん坊で、誕生日の人にさえ一杯もおごらない。

解説 誕生日でも人におごらない「けちん坊」は a penny-pincher。penny-pusher は熟語にならない（pen-pusher は「事務員」）。penny-wise は形容詞で、such a ~ that の名詞の位置に置けない。penniless（無一文の）も形容詞で、such a penniless とは言えず、意味も「けち」とは違う。

区別 **a penny-pincher ⇔ penny-wise and pound-foolish** penny-wise and pound-foolish は「小銭には賢く大金には愚か（安物買いの銭失い）」で、小さな節約にこだわって大きな損をすること。a penny-pincher は単に「けちな人」。

0564 ☐☐☐

The village is only five kilometers away as the ＿＿＿＿ flies, but the road around the mountain is twenty kilometers long.

① eagle　② crow
③ plane　④ time

② as the crow flies 直線距離で

訳 その村は直線距離ではわずか 5 キロだが、山を回る道は 20 キロもある。

解説 直線距離は 5 キロだが道のりは 20 キロ、という対比なので as the crow flies（直線距離で）。eagle（ワシ）や plane（飛行機）もまっすぐ飛ぶが、熟語の形ではない。time は Time flies.（光陰矢のごとし）からのひっかけで、距離の話にならない。

区別 **as the crow flies ⇔ make a beeline for ~** make a beeline for は「～へ一直線に向かう」で、人の移動の様子を表す。as the crow flies は「直線距離で」と距離の測り方を表す。どちらも鳥・虫がまっすぐ飛ぶ比喩。

0565 ☐☐☐

If you want a cheap but powerful tablet, this one gives you more ＿＿＿＿ for your buck than any other model.

① boom　② hit
③ shot　④ bang

④ bang for the buck 費用に見合う価値；コスパ

訳 安くて性能の良いタブレットが欲しいなら、これはほかのどの機種よりもコスパが良い。

解説 安くて性能が良い＝費用に見合う価値が大きいので bang for your buck。boom（ブーム・ドーン）、hit（ヒット作）、shot（一発・試み）も音や勢いを表す語だが、for your buck と組む決まった形ではない。

区別 **bang for the buck ⇔ value for money** value for money は「お金に見合う価値」で、主にイギリス英語の標準的な言い方。bang for the buck はアメリカ英語のくだけた言い方。意味はほぼ同じで、使う場面（くだけ具合）が違う。

0566 □□□

Talking about his family problems during the debate was a bit below the ＿＿＿＿. It had nothing to do with the topic.

① bar　② belt
③ knee　④ line

② below the belt 卑怯な；ルール違反の

訳 討論中に彼の家族の問題を持ち出したのは、ちょっと卑怯だった。話題とは何の関係もなかったのだから。

解説 討論と無関係な家族の問題を持ち出すのは「卑怯な・反則の」攻撃なので below the belt。bar は raise the bar（基準を上げる）、line は cross the line（一線を越える）の形で使い、below the bar / line は熟語にならない。knee も反則の意味にならない。

区別 **below the belt ⇔ under one's belt** under one's belt は「（経験・実績として）身につけて」（with ten years of experience under his belt）。below the belt は「卑怯な」。belt の前置詞と所有格の有無で意味が全く違う。

0567 □□□

A: Why were you late again? B: (says nothing) A: What's the matter?

＿＿＿＿

① Cat got your tongue?
② Curiosity killed the cat.
③ Did you let the cat out of the bag?
④ It's raining cats and dogs.

① Cat got your tongue? どうして黙っているの？

訳 A：どうしてまた遅刻したの？　B：（何も言わない）A：どうしたの？　何か言ったら？

解説 質問に黙り込んでいる相手に返事を促しているので Cat got your tongue?（どうして黙っているの？）。Curiosity killed the cat.（好奇心は身を滅ぼす）は詮索をいさめる言葉。let the cat out of the bag は「秘密を漏らす」で、黙っている相手に聞く内容に合わない。It's raining cats and dogs.（土砂降りだ）は天気の話。

区別 **Cat got your tongue? ⇔ let the cat out of the bag** let the cat out of the bag は「（うっかり）秘密を漏らす」で、話しすぎること。Cat got your tongue? は黙りすぎている相手への言葉。見分け方：黙っている人に言うなら Cat got your tongue?、秘密を漏らしたなら let the cat out of the bag。

0568 □□□

My brother and I used to fight like cats and ＿＿＿＿ when we were kids, but now we're best friends.

① dogs　② mice
③ birds　④ rats

① fight like cats and dogs
激しくけんかする；犬猿の仲である

訳 兄と私は子どものころ激しくけんかばかりしていたが、今では大の仲良しだ。

解説 子どものころ激しくけんかしていた＝ fight like cats and dogs。mice（ネズミ）は play cat and mouse（なぶりものにする・駆け引きをする）からのひっかけで、けんかの意味にならない。birds / rats も cats and ~ の決まった形を作らない。

区別 **fight like cats and dogs ⇔ rain cats and dogs** rain cats and dogs は「土砂降りに降る」（It's raining cats and dogs.）。fight like cats and dogs は「激しくけんかする」。同じ cats and dogs でも動詞で意味が決まる。

0569 □□□

A: Tom invested all his savings in a company he knew nothing about. B: Fools rush in where ＿＿＿＿ fear to tread.

① devils　② kings
③ angels　④ children

③ Fools rush in where angels fear to tread.

天使も恐れて踏み込まない所に愚か者は飛び込む；盲蛇に怖じず

訳 A：トムは何も知らない会社に貯金を全部投資したんだ。　B：盲蛇に怖じず、だね。

解説 何も知らない会社に全財産を投資した軽率さを皮肉っているので、Fools rush in where angels fear to tread.。愚か者（fools）と対になる賢い存在は angels。devils（悪魔）や kings（王）、children（子ども）はことわざの形ではなく、愚か者との対比にもならない。

区別 **Fools rush in where angels fear to tread. ⇔ Look before you leap.** Look before you leap. は「跳ぶ前によく見よ」と慎重さを勧める忠告。Fools rush in where angels fear to tread. は軽率な人の行動を描いて皮肉る形で、「賢い人なら避ける所」を強調する。

0570 □□□

His plan to start an online business went down in ＿＿＿＿ after only three months.

① flames　② history
③ the dumps　④ style

① go down in flames　大失敗に終わる

訳 彼のネットビジネスを始める計画は、わずか 3 か月で大失敗に終わった。

解説 わずか 3 か月で起業計画が「大失敗に終わった」ので go down in flames。go down in history は「歴史に残る」で、失敗の意味にならない。down in the dumps は「落ち込んで」で人の気分に使う。in style は「格好よく」で、失敗とは逆の響き。

区別 **go down in flames ⇔ go down in history** go down in history は「歴史に残る」で、良くも悪くも記憶されること。go down in flames は「大失敗に終わる」。同じ go down in ~ の形だが、後ろの名詞で意味が全く違う。

0571 □□□

My computer suddenly went ＿＿＿＿ and started opening random windows by itself.

① wireless　② offline
③ unnoticed　④ haywire

④ go haywire　（機械などが）おかしくなる；狂う

訳 パソコンが突然おかしくなって、勝手にいろいろな画面を開き始めた。

解説 勝手に画面を開き始めた＝制御不能になったので go haywire。go wireless は「無線化する」、go offline は「ネットから切断される」で、勝手に動き出す様子を表さない。go unnoticed は「気づかれないままである」で意味が通らない。

区別 **go haywire ⇔ go wrong** go wrong は「うまくいかない・故障する」の一般的な言い方。go haywire は「めちゃくちゃに狂う」と、制御不能になる激しさを強調するくだけた言い方。

0572 ☐☐☐

If you keep your nose to the _____ for the next few months, you'll pass the entrance exam.

① ground　② grindstone
③ window　④ wheel

② keep one's nose to the grindstone

こつこつ懸命に働く［勉強する］

訳 これから数か月こつこつ勉強すれば、入試に合格できるよ。

解説 数か月こつこつ頑張れば合格する、なので keep one's nose to the grindstone（砥石に鼻を近づけ続ける）。ground（地面）は keep one's feet on the ground（地に足を着けている）からのひっかけ。window / wheel も熟語にならない（put one's shoulder to the wheel は「本腰を入れる」で shoulder を使う）。

注意 ＝ work hard / study hard。日本語の「鼻を砥石に」と直訳しないこと。

0573 ☐☐☐

A: Can I tell my friends about our company's new product? B: Absolutely not. Loose lips sink _____.

① lips　② ships
③ hearts　④ stones

② Loose lips sink ships.

口が軽いと船が沈む；口は災いのもと

訳 A：会社の新製品のこと、友達に話してもいい？　B：絶対だめ。口は災いのもとだよ。

解説 新製品の秘密を話してはいけないと注意しているので、Loose lips sink ships.（口が軽いと船が沈む）。lips と韻を踏む ships が入る決まった形。lips を繰り返すと意味が通らず、hearts / stones もことわざの形ではない。

区別 **Loose lips sink ships.** ⇔ **My lips are sealed.** My lips are sealed. は「誰にも言わないよ」と秘密を守る約束。Loose lips sink ships. は「口が軽いと大変なことになる」と注意する標語。前者は本人の約束、後者は一般的な警告。

0574 ☐☐☐

The teacher was about to call on me, but just then the bell rang. I was saved by the _____!

① bell　② gong
③ clock　④ alarm

① saved by the bell　間一髪で助かって

訳 先生が私を指名しようとしたちょうどそのとき、チャイムが鳴った。間一髪で助かった！

解説 チャイムが鳴って指名を逃れた＝ saved by the bell。gong（どら）、clock（時計）、alarm（警報・目覚まし）も合図になる物だが、saved by the ~ の決まった形ではない。

区別 **saved by the bell** ⇔ **a close call** a close call は「危機一髪（の出来事）」という名詞で、事故などの危険を間一髪で逃れること。saved by the bell は、終わりの合図などのおかげで困った状況から救われること。

0575 □□□

Stop splitting ＿＿＿＿. Whether the meeting starts at 4:58 or 5:00 doesn't really matter.

① the bill　② hairs
③ the difference　④ sides

② split hairs （どうでもいい）細かいことにこだわる

訳 細かいことにこだわるのはやめなよ。会議が 4 時 58 分に始まろうが 5 時に始まろうが、大した違いはないよ。

解説 4 時 58 分か 5 時かという細かいことにこだわる相手を止めているので split hairs。split the bill は「割り勘にする」、split the difference は「差を半分ずつにして歩み寄る」、split one's sides は「腹を抱えて笑う」で、こだわりの意味にならない。

区別 **split hairs ⇔ split the difference** split the difference は「（金額などの）差を半分ずつにする・歩み寄る」。split hairs は「細かいことにこだわる」。同じ split でも、difference は妥協、hairs はこだわり。

0576 □□□

You can hide what you did for a while, but sooner or later the truth will ＿＿＿＿.

① off　② away
③ out　④ over

③ The truth will out. 真実は必ず明らかになる

訳 自分のしたことをしばらくは隠せても、遅かれ早かれ真実は明らかになるよ。

解説 隠し事はいずれ「明らかになる」ので The truth will out.。out は「外に出る」の意味でここでは動詞のように使われる。off / away / over はこの形を作らず、「真実が明るみに出る」意味にならない。

区別 **The truth will out. ⇔ Time will tell.** Time will tell. は「時がたてば分かる」で、結果がまだ分からないときに使う中立的な言葉。The truth will out. は隠された真実がいずればれる、という警告。

0577 □□□

After years of hard work and competition, he finally became top ＿＿＿＿ in the company.

① dog　② cat
③ horse　④ mouse

① top dog 勝者；トップに立つ人

訳 長年の努力と競争の末、彼はついに会社のトップに立った。

解説 長年の競争を勝ち抜いて会社の頂点に立ったので top dog。cat / mouse は top と組んで熟語にならない。horse は dark horse（意外な実力者）からのひっかけで、top horse とは言わない。

区別 **top dog ⇔ underdog** underdog は「（試合などで）負けそうな方・弱者」で、top dog の反対。判官びいきで応援される側に使う。見分け方：勝ち組なら top dog、弱い挑戦者なら underdog。

0578 □□□

A: The shop clerk was so slow that I shouted at her. B: That won't help. You can catch more flies with honey than with ＿＿＿＿.

① sugar　② vinegar
③ milk　④ water

②
You can catch more flies with honey than with vinegar.
酢より蜂蜜の方がハエをたくさん捕まえられる；優しく頼む方がうまくいく

訳 A：店員がすごく遅かったから、怒鳴っちゃった。　B：それじゃ逆効果だよ。強く言うより優しく頼む方がうまくいくものだよ。

解説 怒鳴っても効果がない、優しくする方がうまくいく、という忠告なので You can catch more flies with honey than with vinegar.。honey（優しさ）と対になるのは、すっぱい vinegar（きつい態度）。sugar は甘いので対比にならず、milk / water もことわざの形ではない。

注意 説得の場面で使う。

0579 □□□

My grandfather is as stubborn as a ＿＿＿＿; once he decides something, he never changes his mind.

① mule　② mouse
③ bee　④ fox

① (as) stubborn as a mule　とても頑固な

訳 祖父はとても頑固で、一度何かを決めたら決して考えを変えない。

解説 一度決めたら考えを変えない＝とても頑固なので as stubborn as a mule（ラバのように頑固）。mouse は as quiet as a mouse（とても静か）、bee は as busy as a bee（とても忙しい）、fox は as sly as a fox（とてもずる賢い）で使い、頑固さを表さない。

注意 as ~ as の比喩表現。

0580 □□□

When she heard about the accident, she turned as white as a ＿＿＿＿ and had to sit down.

① cucumber　② bone
③ beet　④ sheet

④ (as) white as a sheet
（恐怖などで）真っ青な顔をして

訳 事故の知らせを聞いて彼女は真っ青になり、座り込まなければならなかった。

解説 事故の知らせのショックで「真っ青になった」ので as white as a sheet。cucumber は as cool as a cucumber（落ち着き払って）、bone は as dry as a bone（からからに乾いて）で使う。beet は as red as a beet（真っ赤になって）で、white とは組まない。

区別 **(as) white as a sheet ⇔ (as) red as a beet**　as red as a beet は「（恥ずかしさで）真っ赤になって」。as white as a sheet は「（恐怖で）真っ青になって」。顔色の比喩で、感情の種類が違う。

0581 □□□

Life as a professional athlete isn't a bed of ＿＿＿＿. They have to train hard every day and often get injured.

① flowers　② roses
③ nails　④ leaves

② a bed of roses　安楽な暮らし；楽な状況

訳 プロのスポーツ選手の生活は楽なものではない。毎日厳しい練習をしなければならず、けがをすることも多い。

解説 「楽な暮らしではない」は not a bed of roses。flowers は意味は近いが決まった形ではない。a bed of nails（針の筵）は「つらい状況」で、否定すると「つらくない」となり、後半の毎日の厳しい練習と矛盾する。leaves も熟語にならない。

区別 **a bed of roses ⇔ be no picnic**　be no picnic は「楽ではない・大変だ」で、作業や経験の大変さを言う。not a bed of roses は「（見た目ほど）安楽ではない」で、暮らしや境遇の苦労を言う。どちらも否定の形で使う。

0582 □□□

I took a quick ＿＿＿＿ after lunch and felt refreshed for the rest of the afternoon.

① catwalk　② catnap
③ copycat　④ catcall

② a catnap　うたた寝；仮眠

訳 昼食後にちょっと仮眠を取ったら、午後はずっとすっきりしていた。

解説 昼食後に短く眠って元気になったので take a catnap。catwalk は「ファッションショーの通路」、copycat は「まねをする人」、catcall は「（通行人への）冷やかしの口笛・やじ」で、take a quick ~ と組んで休息の意味にならない。

区別 **a catnap ⇔ catwalk**　catwalk は「（ファッションショーの）ステージ・細い通路」。catnap は「うたた寝」。どちらも cat ＋名詞の合成語だが意味は無関係。

0583 □□□

I'd love to be a ＿＿＿＿ on the wall when the boss tells them about the pay cut.

① bee　② bird
③ spider　④ fly

④ a fly on the wall
（気づかれずに）こっそり見聞きする人

訳 社長が彼らに減給の話をするとき、こっそりその場をのぞいてみたいものだ。

解説 その場の様子を気づかれずに見てみたい、という気持ちなので a fly on the wall。bee（ハチ）や bird（鳥）、spider（クモ）も壁にいそうだが、決まった形ではない。こっそり見聞きする存在を表すのは fly だけ。

注意 I'd love to be a fly on the wall ~ の形が定番。

0584 □□□

He spent his entire bonus on lottery tickets and won nothing. Well, a fool and his money are soon ＿＿＿＿.

① parted　② spent
③ lost　④ gone

① A fool and his money are soon parted.
愚か者の金はすぐになくなる

訳 彼はボーナスを全部宝くじにつぎ込んで、何も当たらなかった。まあ、愚か者の金はすぐになくなるものだ。

解説 ボーナスを宝くじに使い切って何も当たらなかった愚かさを言うので A fool and his money are soon parted.。parted は「別れさせられる」で、人とお金が離れることを表す。spent / lost は money だけに当てはまり、主語の A fool（人）まで「使われる・失われる」ことになって不自然。gone もことわざの形ではない。

区別 **A fool and his money are soon parted. ⇔ Easy come, easy go.** Easy come, easy go. は「楽に得た物はすぐなくなる」で、手に入れ方に注目する。A fool and his money are soon parted. は使い方が愚かなせいでお金がなくなる、と使う人に注目する。

0585 □□□

He's still a ＿＿＿＿ at this job, so please be patient with him when he makes mistakes.

① green thumb　② green light
③ greenhorn　④ old hand

③ a greenhorn 新米；未熟者

訳 彼はこの仕事ではまだ新米なので、ミスをしても大目に見てあげてください。

解説 まだ仕事に慣れておらず、ミスをしても大目に見てほしい、なので「新米」の a greenhorn。a green thumb は「園芸の才能」、a green light は「（計画などへの）許可」で人を表さない。an old hand は「ベテラン」で意味が逆になり、しかも a old hand と冠詞も合わない。

区別 **a greenhorn ⇔ a green thumb** a green thumb（英 green fingers）は「園芸の才能」で、植物を育てるのが上手なこと。a greenhorn は「新米」。どちらも green を使うが、green の意味が「植物」と「未熟」で違う。

0586 □□□

With only two months left in office and a new leader already elected, the president is a lame ＿＿＿＿.

① horse ② dog
③ duck ④ cat

③ a lame duck

役に立たない人［物］；任期切れ間近で力のない政治家

訳 任期が残り 2 か月しかなく、新しい指導者もすでに選ばれているので、大統領はもはや力のない存在だ。

解説 任期が残りわずかで後継者も決まり、影響力を失った大統領なので a lame duck。horse / dog / cat は lame と組んで政治的に力のない人を表す熟語にならない（a dark horse は「意外な実力者」）。

区別 **a lame duck ⇔ a sitting duck** a sitting duck は「格好の標的・いいカモ」で、攻撃されやすい存在。a lame duck は「力を失った存在」。どちらも duck を使うが、lame（足の不自由な）は弱った状態、sitting（座っている）は狙われやすい状態。

0587 □□□

The final match was a real nail-＿＿＿＿; it wasn't decided until the last second.

① biter ② cutter
③ polish ④ file

① a nail-biter はらはらする接戦［展開］

訳 決勝戦は本当に手に汗握る接戦で、最後の 1 秒まで勝負が決まらなかった。

解説 最後の 1 秒まで決着がつかない「はらはらする接戦」は a nail-biter（爪をかむもの）。nail-cutter（爪切り）、nail polish（マニキュア）、nail file（爪やすり）は爪の手入れの道具で、試合の緊張感を表さない。

区別 **a nail-biter ⇔ a close call** a close call は「危機一髪・間一髪で助かること」で、危険の話。a nail-biter は「はらはらする接戦・展開」で、試合や物語の緊張感の話。

0588 □□□

My little son puts his coins in his ＿＿＿＿ bank every day. He's saving up for a new bike.

① blood ② food
③ data ④ piggy

④ a piggy bank 貯金箱

訳 幼い息子は毎日小銭を貯金箱に入れている。新しい自転車を買うためにお金を貯めているのだ。

解説 子どもが毎日小銭を入れて貯金するのは a piggy bank（貯金箱）。blood bank は「血液銀行」、food bank は「（困窮者に食料を配る）フードバンク」、data bank は「データバンク」で、小銭を入れる物ではない。

区別 **a piggy bank ⇔ a nest egg** a nest egg は「（将来のための）蓄え」というお金そのもの。a piggy bank はお金を入れる「入れ物」。見分け方：箱・入れ物なら piggy bank、蓄えた金額なら nest egg。

0589 ☐☐☐

The day I got accepted to my dream university was a _____ day for my whole family.

① rainy　② red-letter
③ dog　④ dark

② a red-letter day 記念すべき日；特別な日

訳 第一志望の大学に合格した日は、家族全員にとって記念すべき日だった。

解説 第一志望の大学に合格した日は「記念すべき日」なので a red-letter day。rainy day は save for a rainy day（万一に備えて貯める）の形で「困ったとき」を表し、うれしい日ではない。dog days は「真夏の暑い時期」、a dark day は「暗い日・不幸な日」で意味が逆になる。

区別 **a red-letter day ⇔ red tape** red tape は「（役所の）お役所仕事・面倒な手続き」で、悪い意味。a red-letter day は「記念すべき日」で良い意味。どちらも red を使うが意味は無関係。

0590 ☐☐☐

A: Hi, Ken! I haven't seen you in ten years! B: Wow, Mary! You're a sight for sore _____!

① ears　② eyes
③ feet　④ hearts

② a sight for sore eyes
見るとほっとする人［物］；会えてうれしい人

訳 A：やあ、ケン！　10 年ぶりだね！　B：わあ、メアリー！　会えて本当にうれしいよ！

解説 10 年ぶりの再会を喜んでいるので「会えてうれしい人」の a sight for sore eyes。sight（光景）なので見る器官 eyes が入る。ears（耳）は music to my ears（うれしい知らせ）からのひっかけ。feet / hearts は熟語にならない。

区別 **a sight for sore eyes ⇔ an eyesore** an eyesore は「目障りな物（醜い建物など）」で、悪い意味。a sight for sore eyes は「疲れた目を癒やす光景」で、良い意味。同じ sore と eye でも意味は正反対。

0591 ☐☐☐

Without any security software, your computer is a sitting _____ for hackers.

① bull　② dog
③ cat　④ duck

④ a sitting duck 格好の標的；いいカモ

訳 セキュリティソフトが入っていなければ、あなたのパソコンはハッカーの格好の標的だ。

解説 防御なしのパソコンはハッカーの「格好の標的」なので a sitting duck。bull / dog / cat は sitting と組んで熟語にならない。無防備な標的を表すのは、水面に座っていて撃ちやすいアヒル（duck）。

区別 **a sitting duck ⇔ a lame duck** a lame duck は「任期切れ間近で力のない政治家・役に立たない存在」。a sitting duck は「無防備な標的」。どちらも duck だが、lame は力を失った状態、sitting は狙われやすい状態。

0592 ☐☐☐

She solved the puzzle that nobody else could solve in just two minutes. She's a smart ＿＿＿＿.

① cookie　② cake
③ nut　④ egg

① a smart cookie 頭の切れる人

訳 彼女は誰も解けなかったパズルをたった 2 分で解いた。本当に頭の切れる人だ。

解説 誰も解けなかったパズルを 2 分で解いた「頭の切れる人」は a smart cookie。cake は a piece of cake（簡単なこと）の形で使い人を指さない。nut は a hard nut to crack（手ごわい相手）、egg は a good egg（いい人）の形で使い、smart とは組まない。

区別 **a smart cookie ⇔ a tough cookie** a tough cookie は「（困難に負けない）強い人・手ごわい人」。a smart cookie は「頭のいい人」。cookie の前の形容詞で、ほめる中身が違う。

0593 ☐☐☐

That small rival company has been a thorn in our ＿＿＿＿ for years, always copying our products.

① eye　② hand
③ side　④ neck

③ a thorn in one's side 悩みの種；目の上のこぶ

訳 あの小さなライバル会社は、いつもうちの製品をまねして、何年も前から悩みの種になっている。

解説 長年製品をまねして困らせている「悩みの種」なので a thorn in one's side。eye は the apple of one's eye（大切な人）からのひっかけ。hand / neck も a thorn in ~ の決まった形ではない（a pain in the neck は「厄介な人」で pain を使う）。

区別 **a thorn in one's side ⇔ the apple of one's eye** the apple of one's eye は「目に入れても痛くないほど大切な人」で、良い意味。a thorn in one's side は「厄介な存在」で、悪い意味。どちらも体の部分を使うが、意味は正反対。

0594 ☐☐☐

After the earthquake, the two neighbors who had never gotten along worked side by side to help others. Adversity makes strange ＿＿＿＿.

① bedfellows　② decisions
③ weather　④ memories

① Adversity makes strange bedfellows.
逆境は思わぬ者同士を結びつける；呉越同舟

訳 地震の後、それまでまったく仲の良くなかった隣人同士が、並んで人助けをした。逆境は思わぬ者同士を結びつけるものだ。

解説 仲の悪かった隣人同士が地震の後で協力した＝思わぬ者同士が結びついたので Adversity makes strange bedfellows.。decisions（決断）、weather（天気）、memories（思い出）はことわざの形ではなく、意外な協力関係を表さない。

区別 **Adversity makes strange bedfellows. ⇔ The enemy of my enemy is my friend.** The enemy of my enemy is my friend. は「共通の敵」がいるから協力する。Adversity makes strange bedfellows. は「困難な状況」が協力させる。見分け方：敵がいるなら enemy、災害や苦境なら adversity。

0595 □□□

A: My son has nothing to do during the summer vacation, and he's starting to get into trouble. B: An idle mind is the devil's ＿＿＿＿. You should find him a hobby.

① enemy　② workshop
③ holiday　④ kitchen

② An idle mind is the devil's workshop.

小人閑居して不善をなす；暇な心は悪魔の仕事場

訳 A：息子が夏休みにすることがなくて、問題を起こし始めているの。　B：小人閑居して不善をなす、だね。何か趣味を見つけてあげたら？

解説 暇な息子が問題を起こし始めた＝暇だと悪いことをする、という戒めなので An idle mind is the devil's workshop.。enemy（敵）だと「暇な心は悪魔の敵」となり意味が逆になる。holiday / kitchen はことわざの形ではない。

注意 日本語の「小人閑居して不善をなす」に当たる。

0596 □□□

She was an ugly ＿＿＿＿ as a child, but she grew up to be a famous fashion model.

① duck　② chick
③ kitten　④ duckling

④ an ugly duckling

みにくいアヒルの子；後に美しく［立派に］なる人

訳 彼女は子どものころはみにくいアヒルの子だったが、成長して有名なファッションモデルになった。

解説 子どものころは目立たなかったが、後に有名なモデルになった、という変身なので童話の an ugly duckling。duck は大人のアヒルで、成長して変わる「子」の意味が出ず、決まった形でもない。chick（ひよこ）や kitten（子猫）も童話の熟語ではない。

注意 教養として出る。後で成功する人を指す。

0597 □□□

After he fell off his bike on the mountain road, his legs were black and ＿＿＿＿.

① white　② red
③ yellow　④ blue

④ black and blue　（打撲で）あざだらけの

訳 山道で自転車から転げ落ちた後、彼の脚はあざだらけになった。

解説 自転車で転んで脚が「あざだらけ」になったので black and blue。black and white は「白黒の・はっきりした」で、けがの様子を表さない。red / yellow は black and ~ の決まった形を作らない。

区別 **black and blue ⇔ black and white**　black and white は「白黒の・（善悪が）はっきりした」（in black and white＝文書で、はっきりと）。black and blue は「あざだらけの」。後ろの色で意味が全く違う。

0598 □□□

She comes from a family with blue ＿＿＿＿; her ancestors were nobles in the 17th century.

① collar　② blood
③ sky　④ moon

② blue blood　貴族の血筋；名門の出

訳 彼女は貴族の血筋の家の出身で、先祖は 17 世紀の貴族だった。

解説 先祖が貴族だった＝「貴族の血筋」なので blue blood。blue-collar は「肉体労働者の」で家柄の高さとは逆。blue sky（青空）や blue moon（once in a blue moon＝めったにない）は家柄を表さない。

区別 **blue blood ⇔ blue-collar**　blue-collar は「（工場などで働く）肉体労働者の」で、blue blood とは正反対の社会層を表す。同じ blue でも意味が違う。見分け方：家柄・貴族なら blue blood、職種なら blue-collar。

0599 □□□

A: My speech for the wedding is about 30 minutes long. Is that OK? B: Make it shorter. Brevity is the soul of ＿＿＿＿.

① wit　② love
③ life　④ time

① Brevity is the soul of wit.　簡潔こそ機知の精髄

訳 A：結婚式のスピーチ、30 分くらいあるんだけど大丈夫かな？ B：もっと短くしなよ。話は短い方が気が利いているよ。

解説 30 分のスピーチを短くするよう勧めているので Brevity is the soul of wit.（簡潔こそ機知の精髄）。love / life / time は結婚式の話題や長さに引きずられたひっかけで、ことわざの形ではない。

注意 brevity（簡潔さ）、wit（機知）という難語を確認。

0600 □□□

The concert is sold out, but Ken says he'll get a ticket ＿＿＿＿. He has already called ten friends to ask for help.

① by hook or by crook
② by and large
③ by heart
④ by no means

① by hook or by crook
何としてでも；どんな手段を使っても

訳 コンサートは売り切れだが、ケンは何としてでもチケットを手に入れると言っている。もう 10 人の友達に電話して助けを頼んだ。

解説 売り切れでも友達 10 人に電話するほどの決意なので by hook or by crook（何としてでも）。by and large は「概して」で決意を表さない。by heart は「暗記して」で learn / know と組む。by no means は「決して〜ない」で、チケットを手に入れようと動いている後半と矛盾する。

区別 **by hook or by crook ⇔ by all means / by no means**　by all means は許可や勧めに「ぜひどうぞ」、by no means は「決して〜ない」（否定）。by hook or by crook は「手段を選ばず何としてでも」。見分け方：決意や手段の話なら by hook or by crook、相手への許可なら by all means、強い否定なら by no means。

0601 □□□

My grandmother always says that cleanliness is ＿＿＿＿ godliness, so she cleans the whole house every morning.

① next to　② apart from
③ instead of　④ opposite to

① Cleanliness is next to godliness.
清潔は敬神に次ぐ美徳

訳 祖母はいつも「清潔は敬神に次ぐ美徳だ」と言って、毎朝家中を掃除している。

解説 毎朝掃除するのは清潔を大切に考えているからで、「敬神に次いで大切」の next to が入ることわざ。apart from は「〜とは別に」、instead of は「〜の代わりに」で、清潔が大切だという意味にならない。opposite to は「〜の反対」で、清潔が悪いことになってしまう。

区別 **Cleanliness is next to godliness. ⇔ next to nothing**　next to は否定の語の前で「ほとんど」（next to nothing＝ほとんど何もない、next to impossible＝ほぼ不可能）。ことわざの next to godliness は「敬神に次いで」と順位を表す。見分け方：nothing / impossible など否定の語が続けば「ほとんど」。

0602 □□□

When you decide what to do, try not to let your anger ———— your judgment.

① color　② to color
③ colorful　④ paint

① color A's judgment

A の判断をゆがめる；判断に影響する

訳 どうするか決めるときは、怒りに判断をゆがめられないようにしなさい。

解説 let ＋目的語＋動詞の原形で「～に…させる」。動詞 color は「（感情が）判断をゆがめる」意味になるので color が正解。to color は let の後ろに to 不定詞を置けないので誤り。colorful は形容詞で動詞の位置に入らない。paint は「塗る・描く」で、judgment を目的語にして「判断をゆがめる」意味にはならない。

区別 **color A's judgment ⇔ cloud A's judgment** cloud A's judgment は「（怒り・酒・疲れなどが）判断を曇らせる」で、判断力そのものが鈍る感じ。color A's judgment は感情や先入観で判断が一方に「色づく・偏る」感じ。どちらも動詞として使う点が大事で、名詞の color / cloud と思いこむと読み違える。

0603 □□□

Once you send the resignation letter, you'll have ———— the Rubicon, so think carefully before you do it.

① broken　② burned
③ crossed　④ drawn

③ cross the Rubicon

後戻りのできない決断をする；ルビコン川を渡る

訳 辞表を送ってしまえばもう後戻りはできないから、送る前によく考えなさい。

解説 「後戻りできない決断をする」は cross the Rubicon（ルビコン川を渡る）で、動詞は「（川を）渡る」の cross に決まっている。burned は burn one's bridges（退路を断つ）と混ぜたひっかけ。broken / drawn は Rubicon と組む形がない（draw the line は「一線を引く」）。

区別 **cross the Rubicon ⇔ The die is cast.** The die is cast.（賽は投げられた）はルビコン川を渡るときにカエサルが言ったとされる言葉で、「もう決まった、後には引けない」と受け入れる発言。cross the Rubicon は「後戻りできない一線を越える」行為を表す動詞句。見分け方：文の中で動詞として使うなら cross the Rubicon。

0604 □□□

After the ten-hour hike, we were all so ———— that we fell asleep as soon as we got home.

① dog-tired　② dog-eared
③ full of beans　④ wide awake

① dog-tired　へとへとに疲れた

訳 10 時間のハイキングの後、私たちはみんなへとへとに疲れていたので、家に着くとすぐ眠ってしまった。

解説 長いハイキングの後すぐ眠ったので、so ~ that の ~ には dog-tired（へとへとに疲れた）が入る。dog-eared は「（本のページの）角が折れた」で、同じ dog- でも人の状態には使わない。full of beans は「元気いっぱい」、wide awake は「すっかり目が覚めて」で、すぐ眠った流れと逆。

区別 **dog-tired ⇔ be tired of ~** be tired of ~ は「～に飽き飽きしている」（気持ち）、be tired from ~ は「～で疲れている」（体）。dog-tired は体がへとへとの状態。見分け方：飽きた・うんざりなら of、体の疲れなら dog-tired / tired from。

0605 □□□

Everyone at the wedding was dressed to the _____, so I felt out of place in my jeans.

① nines　② nine
③ ninth　④ nineties

① dressed to the nines 最高に着飾って

訳 結婚式では誰もが最高に着飾っていたので、ジーンズ姿の私は場違いな気がした。

解説 「最高に着飾って」は dressed to the nines で、the の後ろは複数形の nines に決まっている。単数の nine や序数の ninth、nineties（90 年代）では決まった表現にならない。後半の「ジーンズで場違いに感じた」から、周りが正装していた場面だと分かる。

区別 **dressed to the nines ⇔ dressed up / dressed down**
dressed up は「正装して・おしゃれをして」、dress down は「（わざと）くだけた服装をする」。dressed to the nines は dressed up をさらに強めた「最高のおしゃれをして」。

0606 □□□

This old wooden floor will look like new with _____ elbow grease.

① an　② a few
③ many　④ a little

④ elbow grease
骨の折れる力仕事；（磨くなどの）手作業の努力

訳 この古い木の床も、少し手間をかけて磨けば新品のように見えるだろう。

解説 elbow grease は数えられない名詞なので、量を表す a little を付けて with a little elbow grease（少し手間をかければ）。a few と many は数えられる名詞の複数形に付ける語。an は数えられる名詞の単数に付ける冠詞で、数えられない名詞には使わない。

区別 **elbow grease ⇔ grease A's palm** grease A's palm は「A に賄賂を贈る」。elbow grease は「骨の折れる手作業」。どちらも grease（油）だが、手のひらに油を塗るのは賄賂、肘の油は汗をかく努力。

0607 □□□

When the store opened its doors for the big sale, nobody helped anyone else. It was every man _____ himself.

① to　② with
③ for　④ of

③ Every man for himself.
自分の身は自分で守れ；各自勝手にしろ

訳 その店が大売り出しで開店すると、誰も他人を助けなかった。まさに各自が自分のことしか考えない状態だった。

解説 「各自が自分のためだけに動く」は every man for himself と for を使う決まった形。前の文の nobody helped anyone else がその状態を説明している。with / to / of では「自分のため」という意味にならず、決まった表現にもならない。

区別 **Every man for himself. ⇔ One for all, all for one.** One for all, all for one.（一人はみんなのために、みんなは一人のために）は協力・団結を表し、Every man for himself. の正反対。

0608 ☐☐☐

The official swore he would never take a bribe, but when he was offered a million dollars, he accepted it. Every man has his ＿＿＿＿.

① value　② price
③ worth　④ cost

② Every man has his price.

誰にでも値段がある；人は皆金で動く

訳 その役人は決して賄賂は受け取らないと誓ったが、100 万ドルを差し出されると受け取った。誰にでも値段があるものだ。

解説 賄賂を拒むと誓った役人が大金で受け取ったので「誰でも金で動く」の Every man has his price.（price＝買収の代価）。value / worth は「（人の）価値・値打ち」で、「誰にでも価値がある」という前向きな意味になり文脈と合わない。cost は「費用・犠牲」で、ことわざの形にならない。

区別 **Every man has his price. ⇔ Money talks.** Money talks.（金がものを言う）は、お金が力・影響力を持つという一般論。Every man has his price. は「どんな人も、ある金額なら買収される」と人に焦点を当てる。

0609 ☐☐☐

The children slept well last night, so they're ＿＿＿＿ this morning and want to play outside.

① full of themselves
② full of beans
③ dog-tired
④ under the weather

② full of beans 元気いっぱいで

訳 子どもたちは昨夜よく眠ったので、今朝は元気いっぱいで外で遊びたがっている。

解説 よく眠って外で遊びたがっているので full of beans（元気いっぱい）。full of themselves は「うぬぼれている」で、よく眠ったことと関係がない。dog-tired は「へとへとに疲れて」、under the weather は「体調が悪くて」で、遊びたがる様子と逆。

区別 **full of beans ⇔ full of oneself** be full of oneself は「うぬぼれている・自分のことしか頭にない」。full of beans は「元気いっぱい」。どちらも full of だが、oneself なら悪口になる。

0610 ☐☐☐

A: Are you saying I'm lazy? B: I didn't mention any names. But if the shoe ＿＿＿＿, wear it.

① is fitting　② will fit
③ fitted　④ fits

④ If the shoe fits, wear it.

靴が合うなら履け；思い当たるなら認めよ

訳 A：私が怠け者だって言いたいの？　B：誰の名前も出していないよ。でも思い当たるなら、自分のことだと認めたら。

解説 決まった形は If the shoe fits, wear it. で、条件を表す if 節なので現在形 fits を使う。will fit は条件の if 節の中では使わない。fitted は過去形で、後半の命令文 wear it と時制が合わない。is fitting は「ふさわしい」に近い意味で、決まった形でもない。

区別 **If the shoe fits, wear it. ⇔ put oneself in A's shoes** put oneself in A's shoes は「A の立場になって考える」。If the shoe fits, wear it. は「（批判が）当てはまるなら認めろ」。どちらも靴だが、立場の話か批判の話かが違う。

0611 ☐☐☐

When she heard she had passed the entrance exam, Yumi was in _____ heaven.

① seven　② seventh
③ ninth　④ the seven

② in seventh heaven　この上なく幸せで

訳 入試に合格したと聞いて、ユミは天にも昇る心地だった。

解説 「この上なく幸せで」は in seventh heaven で、「第七の」という序数 seventh を使う。基数の seven や the seven では形にならない。ninth は on cloud nine（有頂天で）と混ぜたひっかけで、ninth heaven という言い方はない。

区別 **in seventh heaven ⇔ on cloud nine**　on cloud nine も「有頂天で」で意味は同じだが、前置詞は on、数字は nine。in seventh heaven は in と seventh（序数）。数字と前置詞の組み合わせが問われる。

0612 ☐☐☐

Foreign students often have to jump _____ hoops just to open a bank account.

① across　② over
③ into　④ through

④ jump through hoops
（目的のために）面倒な手続きをいくつもこなす

訳 留学生は銀行口座を開くだけでも、面倒な手続きをいくつもこなさなければならないことが多い。

解説 「面倒な手続きをいくつもこなす」は jump through hoops。輪（hoop）は「くぐり抜ける」ものなので through を使う。over は「飛び越える」、into は「中に飛びこむ」、across は「横切る」で、輪をくぐる決まった形にならない。

区別 **jump through hoops ⇔ red tape**　red tape は「お役所的な面倒な手続き・形式主義」という名詞。jump through hoops は人がそういう手続きを「こなす」という動詞句。一緒に使われることが多いが品詞が違う。

0613 ☐☐☐

They bought an expensive car they couldn't afford, just to keep up with _____.

① the Joneses　② the Jones
③ Joneses　④ a Jones

① keep up with the Joneses
（見栄を張って）近所の人に負けまいとする

訳 彼らは、近所の人に負けまいとするためだけに、買う余裕もない高級車を買った。

解説 「見栄を張って周りと張り合う」は keep up with the Joneses。「ジョーンズさん一家」なので名字に -es を付けた複数形に the を付ける（the Smiths と同じ）。the Jones は単数で一家を表さない。the のない Joneses や a Jones も決まった形にならない。

区別 **keep up with the Joneses ⇔ keep up with ~**　keep up with ~ は「~に遅れずについていく」（keep up with the class / the news）で中立的な意味。keep up with the Joneses は「見栄で隣人と張り合う」と批判的。

0614 ☐☐☐

The CEO invited his biggest critic to join the board. He believes you should keep your friends close and your enemies _____.

① closest　② closer
③ closely　④ more close

②

Keep your friends close and your enemies closer.
友は近くに、敵はもっと近くに置け

訳 その社長は、自分を一番批判している人物を取締役に招いた。友は近くに、敵はさらに近くに置くべきだと考えているのだ。

解説 前半の close（近い）と比べて「さらに近くに」なので比較級 closer。keep O C の C に入るので形容詞を使い、副詞 closely は入らない。closest は最上級で、二つを比べるこの文には合わない。close の比較級は -er を付けて closer とし、more close とはしない。

注意 比較級 closer の対比。

0615 ☐☐☐

If the town raises the hotel tax too much, it may kill the goose that _____ the golden eggs.

① lie　② lies
③ lays　④ lain

③ **kill the goose that lays the golden eggs**
目先の利益のために将来の利益源を失う

訳 町がホテル税を上げすぎると、金の卵を産むガチョウを殺す（目先の利益のために大切な収入源を失う）ことになりかねない。

解説 「卵を産む」は他動詞 lay で、主語 the goose（三人称単数）に合わせて lays。lie は「横たわる」という自動詞なので目的語 the golden eggs を取れず、lies / lie とも誤り（lie は三単現の s もない）。lain は lie の過去分詞で、単独では述語にならない。

区別 **kill the goose that lays the golden eggs ⇔ lie / lay** lay（産む・置く）は他動詞で lay-laid-laid、lie（横たわる）は自動詞で lie-lay-lain。ことわざは「卵を産む」なので他動詞 lays。三単現の s も含めて問われる。

0616 ☐☐☐

As soon as the party started, the kids made a beeline _____ the cake table.

① on　② at
③ for　④ of

③ **make a beeline for ~　~へ一直線に向かう**

訳 パーティーが始まるとすぐ、子どもたちはケーキのテーブルへ一直線に向かった。

解説 「~へ一直線に向かう」は make a beeline for ~ で、行き先を「~を目指して」の for で示す（head for ~ と同じ）。at / on / of は make a beeline と組んで行き先を示さない。

区別 **make a beeline for ~ ⇔ head for ~** head for ~ は「~に向かう」で、まっすぐかどうかは問わない普通の言い方。make a beeline for ~ は「わき目もふらずに一直線に向かう」。どちらも行き先は for で示す。

0617 □□□

A: What brings you to this neck of the ＿＿＿＿? B: I'm visiting my grandmother. She lives just down the street.

① woods　② wood
③ forest　④ trees

① neck of the woods　このあたり；地域

訳 A：こんなところに何の用で来たの？　B：祖母に会いに来たんだ。すぐそこの通りに住んでいるんだよ。

解説 「このあたり・地域」は neck of the woods で、woods は複数形に決まっている。単数の wood は「木材」の意味になり、forest / trees に置き換えることもできない。A は相手がこの地域に来た理由を尋ねている。

区別 **neck of the woods ⇔ out of the woods**　out of the woods は「危機を脱して・峠を越して」。neck of the woods は「地域・このあたり」。どちらも the woods だが意味は関係ない。

0618 □□□

We had very little money, so we traveled around Europe ＿＿＿＿ a shoestring.

① on　② in
③ with　④ by

① on a shoestring　わずかな予算で

訳 お金がほとんどなかったので、私たちはわずかな予算でヨーロッパを旅して回った。

解説 「わずかな予算で」は on a shoestring で、on a budget と同じく予算・お金に「頼って」の on を使う。in / by はこの熟語と組まない。with a shoestring だと「靴ひもを持って」という文字どおりの意味になってしまう。

区別 **on a shoestring ⇔ on a budget / on a tight budget**　on a budget は「予算を決めて・節約して」、on a tight budget は「厳しい予算で」。on a shoestring は「靴ひも程度のお金で」とさらに少ない感じ。前置詞はどれも on。

0619 □□□

Dealing with complaints is part and ＿＿＿＿ of working in a shop.

① piece　② package
③ parcel　④ portion

③ part and parcel of ～
～の欠かせない部分；～につきもの

訳 苦情に対応することは、店で働くことにつきものだ。

解説 part and parcel of ～で「～につきもの」という決まった組み合わせ。piece / package / portion はどれも「一部・包み」に近い意味だが、part と組んでこの成句にはならない。冠詞を付けない点も確認する。

区別 **part and parcel of ～ ⇔ part of ～**　part of は単に「～の一部」。part and parcel of は「切り離せない・本質的な一部」と強い。見分け方：「それなしでは成り立たない」と言いたいなら part and parcel of。

0620 □□□

The police played cat and mouse ＿＿＿＿ the thief for weeks before they finally caught him.

① with　② to
③ against　④ at

① play cat and mouse (with A)
（A を）なぶりものにする；駆け引きをする

訳 警察は何週間もその泥棒と追いつ追われつの駆け引きを続け、ついに捕まえた。

解説 「A と駆け引きをする・A を弄ぶ」は play cat and mouse with A。play with ～（～と遊ぶ）と同じく相手を with で示す。to / at は相手を示さず、against も play against ～（～と対戦する）の形で使い、この熟語には使わない。

注意 a game of cat and mouse の名詞形でも出る。

0621 ☐☐☐

My parents say my feelings for my classmate are just ＿＿＿＿ love, but I'm serious about her.

① puppy's　② puppy
③ a puppy　④ dog

② puppy love 幼い恋；初恋

訳 両親は、僕のクラスメートへの気持ちはただの幼い恋だと言うけれど、僕は彼女に本気なんだ。

解説 「幼い恋」は puppy love で、puppy が名詞の前で形容詞のように love を修飾する。所有格の puppy's love や、冠詞を入れた a puppy love は決まった形ではない。dog love という言い方もない。後半の「僕は本気だ」は、親が「一時的な恋」と軽く見ていることへの反論。

区別 **puppy love ⇔ first love** first love は「初恋（の相手）」で、年齢に関係なく最初の恋。puppy love は「子どもっぽい、未熟な恋」で、すぐ終わるものという見方を含む。

0622 ☐☐☐

Don't give up just because this project is hard. ＿＿＿＿ seas do not make skillful sailors.

① Wild　② Rough
③ Stormy　④ Smooth

④ Smooth seas do not make skillful sailors.
穏やかな海は腕のいい船乗りを育てない；苦労は人を育てる

訳 このプロジェクトが大変だからといって諦めないで。穏やかな海は腕のいい船乗りを育てない（苦労が人を育てる）のだから。

解説 「大変だからといって諦めるな」と励ましているので、「穏やかな（smooth）海では腕は磨かれない＝困難が人を育てる」となる Smooth。Rough / Stormy / Wild はいずれも「荒れた」で、「荒れた海は腕のいい船乗りを育てない」となり、困難の価値を説くことわざと正反対になる。

区別 **Smooth seas do not make skillful sailors. ⇔ No pain, no gain.** No pain, no gain.（苦労なくして得るものなし）は「努力や苦痛を払わなければ成果は得られない」と努力の必要を説く。Smooth seas ~ は「困難な経験が人を鍛える」と逆境の価値を説く。近いが、焦点が成果か成長かで少し違う。

0623 ☐☐☐

When our captain got injured, nobody wanted to lead the team, but Ken stepped ＿＿＿＿ to the plate.

① in　② down
③ up　④ out

③ step up to the plate 進んで責任を引き受ける

訳 キャプテンがけがをしたとき、誰もチームを率いたがらなかったが、ケンが進んでその役を引き受けた。

解説 「進んで責任を引き受ける」は step up to the plate で、「前へ進み出る」の up を使う。down は step down（辞任する・身を引く）で意味が逆。in は step in（介入する・代わりを務める）、out は step out（外に出る）で、to the plate と組む決まった形にならない。

区別 **step up to the plate ⇔ step down** step down は「（役職から）身を引く・辞任する」で正反対の方向。step up to the plate は「責任を引き受けに進み出る」。up / down で意味が逆になる。

0624 □□□

The old saying goes, "Sticks and stones may break my bones, but words will never hurt me." In reality, however, cruel ＿＿＿＿ can leave emotional scars that last a lifetime.

① words　② sticks
③ stones　④ bones

①

Sticks and stones may break my bones, but words will never hurt me.
棒や石は骨を折るかもしれないが、言葉は私を傷つけない

訳 「棒や石は骨を折るかもしれないが、言葉は決して私を傷つけない」という古いことわざがある。しかし実際には、残酷な言葉は一生残る心の傷を残すことがある。

解説 however で「ことわざとは逆に実際は」と続くので、ことわざが「傷つけない」と言った words が「一生残る心の傷を残す」となる。sticks・stones は体を傷つけるものとしてことわざの前半ですでに認められており、however の対比にならない。bones は傷つけられる側で、傷を残す主語にならない。

注意 実際には言葉も人を傷つける、という反論の題材にもなる。

0625 □□□

Mr. Tanaka never seeks fame or money, but he is always honest and helps anyone in need. He is truly ＿＿＿＿.

① a snake in the grass
② the salt of the earth
③ a fat cat
④ a paper tiger

② **the salt of the earth　地の塩；誠実で善良な人**

訳 田中さんは決して名声やお金を求めないが、いつも正直で、困っている人は誰でも助ける。彼はまさに地の塩のような人だ。

解説 名声もお金も求めず、正直で困った人を助ける人なので「誠実で善良な人」の the salt of the earth。a snake in the grass は「信用できない隠れた敵」、a fat cat は「特権を持つ金持ち（批判的）」、a paper tiger は「見かけ倒し」で、どれも人柄をほめる文脈に合わない。

区別 **the salt of the earth ⇔ the cream of the crop**　the salt of the earth は人柄の誠実さ・善良さをほめる。the cream of the crop は集団の中の「最も優秀な者・えり抜き」で、能力や質の高さをほめる。見分け方：心の美しさなら salt、能力の高さなら cream。

0626 □□□

For their wedding, they rented a castle, hired an orchestra, and served a ten-course dinner — ＿＿＿＿.

① the Midas touch
② the writing on the wall
③ the salt of the earth
④ the whole nine yards

④ **the whole nine yards　何から何まで；全部**

訳 結婚式のために、彼らは城を借り、オーケストラを雇い、10 品のコース料理を出した。何から何までそろえたのだ。

解説 城、オーケストラ、豪華な料理と並べた最後に置いて「何から何まで全部」とまとめるのは the whole nine yards。the writing on the wall は「破滅の前兆」、the salt of the earth は「誠実な人」、the Midas touch は「お金もうけの才能」で、列挙をまとめる働きはない。

区別 **the whole nine yards ⇔ go the extra mile**　go the whole nine yards は「やれることを全部・最後までやる」で、全部そろっていることに重点がある。go the extra mile は「期待以上のひと手間をかける」で、人のために余分な努力をすることに重点がある。見分け方：全部ひっくるめてなら nine yards、求められた以上の努力なら extra mile。

0627 ☐☐☐

Sales had been falling for three years, so when the company cut its staff again, Jim saw the writing on the ＿＿＿＿ and started looking for a new job.

① paper　② board
③ wall　④ door

③ the writing on the wall （破滅・失敗の）前兆

訳 売り上げが 3 年間落ち続けていたので、会社がまた人員を削減したとき、ジムは先行きの危うさを感じ取り、新しい仕事を探し始めた。

解説 売り上げ低下と人員削減を見て転職を考え始めたのは「倒産・失職の前兆に気づいた」から。see the writing on the wall と wall で決まった形。board・paper・door にするとただの「書かれた文字」になり、前兆の意味は出ない。

区別 **the writing on the wall ⇔ a blessing in disguise** the writing on the wall は「これから悪いことが起こる兆し」、a blessing in disguise は「最初は不幸に見えたが実は幸運だったこと」。見分け方：未来の破滅の予兆なら writing on the wall、悪く見えて実は良いことなら blessing in disguise。

0628 ☐☐☐

The interview was going well until they ＿＿＿＿ me a curveball and asked me to give a speech in French.

① caught　② threw
③ hit　④ made

② throw A a curveball A の意表を突く；A を驚かせる

訳 面接は順調に進んでいたが、突然フランス語でスピーチをするよう求められ、意表を突かれた。

解説 突然フランス語でスピーチを求めるのは「意表を突く」ことなので threw me a curveball。カーブを「投げる」のは throw で、caught（捕る）・hit（打つ）では意表を突く側にならない。made a curveball という言い方はない。

区別 **throw A a curveball ⇔ play hardball** throw A a curveball は「予想外のことで相手を戸惑わせる」、play hardball は「（交渉などで）強硬な態度に出る・手段を選ばない」。見分け方：意外性・不意打ちなら curveball、厳しさ・強硬さなら hardball。

0629 ☐☐☐

After years of careful saving, she decided to throw caution to the ＿＿＿＿ and spend all her money on a trip around the world.

① wind　② sky
③ sea　④ ground

① throw caution to the wind(s)
大胆に行動する；思い切ってやる

訳 何年も慎重に貯金してきた彼女は、思い切って全財産を世界一周旅行に使うことにした。

解説 何年も慎重に貯金していた人が全財産を世界一周に使う＝慎重さを捨てて大胆に行動するので throw caution to the wind。wind で決まった形で、sky・sea・ground にするとイディオムにならない。反対は play it safe（安全策をとる）。

区別 **throw caution to the wind(s) ⇔ play it safe** 反対の意味。throw caution to the wind は「危険を承知で大胆にやる」、play it safe は「危険を避けて安全策をとる」。見分け方：思い切って挑むなら throw caution、慎重に守るなら play it safe。

0630 □□□

When the comedian called himself 'the most handsome man in Japan,' he was speaking ＿＿＿＿, and the audience laughed.

① heart to heart　② tongue in cheek
③ by word of mouth　④ hand in hand

② tongue in cheek　冗談で；からかい半分に

訳 そのお笑い芸人は自分を「日本一のハンサム」と呼んだが、それは冗談で言ったもので、観客は笑った。

解説 自分を「日本一のハンサム」と言って観客が笑ったのは、本気ではなく冗談だから tongue in cheek。heart to heart は「腹を割って・本音で」で正反対。by word of mouth は「口コミで」、hand in hand は「手をつないで・密接に」で、話し方の様子に合わない。

区別 **tongue in cheek ⇔ bite one's tongue**　tongue in cheek は「本気でないことを冗談で言う」。bite one's tongue は「言いたいことをぐっとこらえる・黙る」。見分け方：冗談・皮肉で言うなら tongue in cheek、言わずに我慢するなら bite one's tongue。

0631 □□□

You can argue with him until the cows come home, but he will ＿＿＿＿ change his mind.

① finally　② always
③ soon　④ never

④ until the cows come home　いつまでも；延々と

訳 いつまで彼と言い争っても、彼は決して考えを変えないよ。

解説 You can ~ until the cows come home, but ... は「いくら～しても…」という無駄の含みなので、but の後ろは「考えを変えない」となる never が自然。soon・finally だと「議論すれば変わる」ことになり but の対比が成り立たない。always change his mind は意味が通らない。

区別 **until the cows come home ⇔ once in a blue moon**　どちらも時間の誇張だが、until the cows come home は「延々と・いつまでも」と長さ、once in a blue moon は「ごくまれに」と頻度を表す。見分け方：長く続くなら cows、めったに起こらないなら blue moon。

0632 □□□

The final exam is next week, and I know you're tired. But remember: when the going gets tough, the tough ＿＿＿＿ going.

① got　② gets
③ get　④ getting

③

When the going gets tough, the tough get going.
状況が厳しくなると、強い者が動き出す

訳 期末試験は来週で、疲れているのは分かる。でも覚えておいて。状況が厳しくなると、強い人は奮い立って動き出すんだ。

解説 the tough は「the＋形容詞」で「強い人々」という複数の意味なので、動詞は get。前半の the going は単数扱いで gets になるため、つられて gets を選ばないこと。got は時制が合わず（ことわざは現在形）、getting だけでは述語動詞にならない。

注意 going（状況）と get going（動き出す）の言葉遊び。

0633 ☐☐☐

This old dictionary is falling apart, but for a translator like me it is worth ＿＿＿＿ weight in gold.

① his　② my
③ its　④ one's

③ worth one's weight in gold

非常に価値がある；とても役に立つ

訳 この古い辞書はぼろぼろだが、私のような翻訳者にとっては非常に価値がある。

解説 worth one's weight in gold の one's は主語に合わせる。主語は this old dictionary（物）なので its。my にすると「私の体重分の金」になって主語とずれる。his は人を指すので不可。one's は辞書の見出しの形で、実際の文では具体的な所有格に変える。

区別 **worth one's weight in gold ⇔ worth one's salt** worth one's weight in gold は「計り知れないほど価値がある」と最大級にほめる。worth one's salt は「給料分の働きはする・一人前の」で、最低限の有能さを言う。見分け方：絶賛なら weight in gold、まともな・一人前のなら worth one's salt。

0634 ☐☐☐

Today's clickbait headlines can be seen as a modern form of ＿＿＿＿, which values sales over truth.

① yellow journalism　② purple prose
③ colorful language　④ the gray market

① yellow journalism

扇情的な報道；イエロージャーナリズム

訳 今日の釣り見出しは、真実より売り上げを重視する扇情的な報道の現代版と見なすことができる。

解説 「真実より売り上げを重視する」報道の仕方なので yellow journalism。purple prose は「飾りすぎた文章」で文体の問題、colorful language は「汚い言葉・悪態」、the gray market は「正規ルート外の市場」で、報道姿勢を表さない。

注意 メディア論の長文で出る。

0635 ☐☐☐

Without my glasses, I'm as blind as a ＿＿＿＿, so I can't even read the clock on the wall.

① fish　② hawk
③ bat　④ mouse

③ (as) blind as a bat ほとんど目が見えない

訳 眼鏡がないと私はほとんど目が見えないので、壁の時計さえ読めない。

解説 「ひどく目が悪い」は (as) blind as a bat。hawk（タカ）は鋭い視力の象徴で逆の意味になる（hawk-eyed）。mouse は (as) quiet as a mouse（とても静か）、fish は drink like a fish（大酒を飲む）で使う動物で、blind とは組まない。

区別 **(as) blind as a bat ⇔ eagle-eyed** 反対の意味。blind as a bat は「目がひどく悪い」、eagle-eyed は「視力が鋭い・目ざとい（細かいことによく気づく）」。見分け方：よく見えないなら bat、よく見えるなら eagle。

0636 □□□

Everyone in the office was nervous because some _____ from the head office were coming to check our work.

① wet blankets
② butterfingers
③ couch potatoes
④ bigwigs

④ a bigwig お偉方；大物

訳 本社のお偉方が私たちの仕事をチェックしに来ることになっていたので、職場の誰もが緊張していた。

解説 本社から仕事をチェックしに来て皆が緊張する相手なので「お偉方」の bigwigs。butterfingers は「よく物を落とす人」、couch potatoes は「家でごろごろしている人」、wet blankets は「場をしらけさせる人」で、緊張の理由にならない。

区別 **a bigwig ⇔ a big shot** どちらも「大物」でほぼ同じだが、bigwig は組織の上層部の「お偉方」に使うことが多く、big shot は「自分を大物だと思っている人」への皮肉にもよく使う（act like a big shot）。見分け方：組織の幹部なら bigwig、偉そうな態度への皮肉なら big shot が自然。

0637 □□□

Workers protested that the company's _____ were receiving huge bonuses while ordinary employees were losing their jobs.

① eager beavers　② fat cats
③ paper tigers　④ spring chickens

② a fat cat 金持ちの有力者；特権を持つ大物

訳 労働者たちは、一般社員が職を失っているのに、会社の重役たちが巨額のボーナスを受け取っていると抗議した。

解説 一般社員が職を失う一方で巨額のボーナスを受け取る、と批判される人たちなので fat cats。eager beavers は「張り切り屋」、paper tigers は「見かけ倒し」、spring chickens は「若者（主に no spring chicken の形で使う）」で、不当な富への批判の対象にならない。

区別 **a fat cat ⇔ a bigwig** bigwig は「組織の偉い人」で地位に重点があり、からかい程度。fat cat は「大金と特権を得ている人」で富に重点があり、強い批判を含む。見分け方：地位なら bigwig、不当な富への怒りなら fat cat。

0638 □□□

Being chosen to speak at the international conference was a _____ in her cap.

① crown　② flower
③ feather　④ star

③ a feather in one's cap 誇れる業績；名誉

訳 国際会議での講演者に選ばれたことは、彼女にとって誇れる業績だった。

解説 国際会議での講演に選ばれたのは誇れる業績なので a feather in one's cap。feather（羽根）で決まった形で、flower・crown・star にするとイディオムにならない。one's は手柄を立てた人（she）に合わせて her になる。

区別 **a feather in one's cap ⇔ a pat on the back** a feather in one's cap は手柄そのもの（誇れる業績）、a pat on the back は他人からの「ほめ言葉・ねぎらい」。見分け方：本人の実績として残るものなら feather、ほめる行為なら pat on the back。

0639 ☐☐☐

When he introduced his girlfriend using his ex-girlfriend's name, everyone wondered whether it was a ＿＿＿＿ slip.

① Freudian　② Freud
③ Freudish　④ Freudism

① a Freudian slip
（本音が出た）うっかりした言い間違い

訳 彼が恋人を元恋人の名前で紹介したとき、みんなは本音が出た言い間違いではないかと思った。

解説 a Freudian slip（本音が出た言い間違い）は、人名 Freud に形容詞を作る -ian を付けた Freudian で決まった形。Freud は名詞のままでこの表現にはならず、Freudish という語はない。Freudism（フロイト主義）は名詞で slip を修飾できない。元恋人の名前で呼んだ＝本心が出たのか、という文脈にも合う。

区別 **a Freudian slip ⇔ a slip of the tongue** a slip of the tongue はただの「言い間違い」全般。a Freudian slip はその中でも「隠していた本音が出た」と解釈される言い間違い。見分け方：本心が漏れたというニュアンスがあれば Freudian slip。

0640 ☐☐☐

Rebuilding the town after the earthquake was a ＿＿＿＿ task that took more than ten years.

① Herculean　② effortless
③ trivial　④ minor

① a Herculean task　非常に困難な仕事

訳 地震の後の町の再建は、10 年以上かかる非常に困難な仕事だった。

解説 地震後の町の再建に 10 年以上かかった、という文脈から「非常に困難な」の Herculean が合う。effortless（楽な）・trivial（ささいな）・minor（小さな）は、10 年以上かかった大事業と矛盾する。Herculean はヘラクレスの難業から来た語で、大文字で始める。

区別 **a Herculean task ⇔ a piece of cake** 反対の意味。a Herculean task は「とてつもなく大変な仕事」、a piece of cake は「朝飯前の簡単なこと」。見分け方：超人的な労力が要るなら Herculean、楽勝なら piece of cake。

0641 ☐☐☐

I thought Ken was my friend, but he was a snake in the ＿＿＿＿ — he told the boss all my secrets.

① field　② garden
③ grass　④ bush

③ a snake in the grass　信用できない人；隠れた敵

訳 ケンは友達だと思っていたが、彼は裏切り者だった。私の秘密を全部上司に話したのだ。

解説 友達だと思っていたのに秘密を上司に漏らした「隠れた敵」なので a snake in the grass。grass で決まった形で、garden・field・bush にするとイディオムにならない。草むらに隠れて見えない蛇＝正体を隠した裏切り者、と覚える。

区別 **a snake in the grass ⇔ a wolf in sheep's clothing** どちらも正体を隠した危険な人だが、a snake in the grass は「親しいふりをして陰で裏切る人」、a wolf in sheep's clothing は「善人を装った悪人（羊の皮をかぶった狼）」で、優しい外見と危険な中身の対比に重点がある。

0642 □□□

She wants a job with a high salary, short hours, and no responsibility. I think she's asking for the ＿＿＿＿.

① moon　② sun
③ stars　④ sky

① ask for the moon
ないものねだりをする；無理な要求をする

訳 彼女は高給で、勤務時間が短く、責任のない仕事を望んでいる。それはないものねだりだと思う。

解説 高給・短時間・責任なしという仕事は実現しそうにない「無理な要求」なので asking for the moon。moon で決まった形。reach for the stars（高い目標を目指す）とは別の表現で、asking for the stars・the sun・the sky とは言わない。

区別 **ask for the moon ⇔ ask for it** ask for the moon は「無理な要求をする」、ask for it は「（悪い結果を）自ら招く・自業自得だ」（You asked for it.）。見分け方：不可能なことを望むなら the moon、ひどい目にあう原因を作るなら it。

0643 □□□

This movie is not suitable for small children because it contains a lot of ＿＿＿＿.

① eye candy　② purple prose
③ gray matter　④ colorful language

④ colorful language 汚い言葉；悪態

訳 この映画は汚い言葉がたくさん出てくるので、小さな子どもには向いていない。

解説 小さな子どもに向かない理由として映画に多く含まれるのは「汚い言葉」なので colorful language。purple prose は「飾りすぎた文章」、gray matter は「頭脳」、eye candy は「見た目だけのもの」で、子どもに見せられない理由にならない。

区別 **colorful language ⇔ flowery language** colorful language は「汚い言葉・悪態」、flowery language は「飾りすぎた美辞麗句」。どちらも見た目の比喩だが中身は正反対。見分け方：怒りやのしりの場面なら colorful、大げさに飾った文章なら flowery。

0644 □□□

It later turned out that the accountant had been ＿＿＿＿ to hide the company's huge losses.

① talking turkey　② hitting the books
③ breaking the ice　④ cooking the books

④ cook the books 帳簿をごまかす；粉飾する

訳 後になって、その経理担当者が会社の巨額の損失を隠すために帳簿をごまかしていたことが分かった。

解説 巨額の損失を隠すために経理担当者がしていたのは「帳簿のごまかし」なので cooking the books。hitting the books は「猛勉強する」、breaking the ice は「緊張をほぐす」、talking turkey は「率直に話す」で、損失隠しの手段にならない。

区別 **cook the books ⇔ hit the books** 同じ the books でも hit the books は「（猛）勉強する」で books は教科書。cook the books の books は会計帳簿。見分け方：会社のお金の不正なら cook、試験勉強なら hit。

0645 □□□

Seeing the huge dog barking at the gate, I decided to take another way home. As they say, ＿＿＿＿.

① the only way out is through
② when the going gets tough, the tough get going
③ discretion is the better part of valor
④ fortune favors the bold

③ Discretion is the better part of valor.
慎重さは勇気の大半；君子危うきに近寄らず

訳 門のところで大きな犬が吠えているのを見て、私は別の道で帰ることにした。よく言うように、君子危うきに近寄らず、だ。

解説 吠える大きな犬を避けて別の道で帰る＝無理せず引く賢さなので discretion is the better part of valor。when the going gets tough ~ と the only way out is through はどちらも「困難から逃げずに立ち向かえ」、fortune favors the bold は「大胆に挑め」で、避けて引く行動とは逆の教え。

区別 **Discretion is the better part of valor. ⇔ Fortune favors the bold.** Discretion ~ は「慎重に引くのが賢い」、Fortune favors the bold.（幸運は勇者に味方する）は「大胆に挑め」で、正反対の教え。見分け方：引くことを勧めるなら discretion、挑むことを勧めるなら fortune favors the bold。

0646 □□□

My uncle used to drink like a ＿＿＿＿, but he stopped completely after his doctor warned him about his liver.

① horse　② fish
③ bird　④ pig

② drink like a fish　大酒を飲む

訳 おじは以前は大酒飲みだったが、医者に肝臓のことで警告されてから、すっかり酒をやめた。

解説 医者に肝臓のことで警告されて酒をやめた、という文脈から「大酒を飲む」の drink like a fish。horse は eat like a horse（大食い）、bird は eat like a bird（少食）、pig は eat like a pig（がつがつ食べる）で使う動物で、drink とは組まない。

区別 **drink like a fish ⇔ eat like a bird**　同じ like ~ の比喩でも、drink like a fish は「大酒飲み」、eat like a bird は「少食」、eat like a horse は「大食い」。見分け方：飲むなら fish、少ししか食べないなら bird、たくさん食べるなら horse。

0647 □□□

He insisted he was right, but when the test results came out, he had to eat ＿＿＿＿ pie and apologize to everyone.

① humiliating　② humbled
③ humility　④ humble

④ eat humble pie　非を認めて謝る；屈辱を味わう

訳 彼は自分が正しいと言い張ったが、検査結果が出ると、非を認めて全員に謝らなければならなかった。

解説 eat humble pie（非を認めて謝る）は形容詞 humble で決まった形。humbled（屈辱を受けた）や humiliating（屈辱的な）は意味が近くても慣用句の形ではない。humility（謙虚さ）は名詞なので pie を修飾できない。

区別 **eat humble pie ⇔ eat one's words**　eat one's words は「前言を撤回する」で、言った内容の取り消しに重点がある。eat humble pie は「非を認めてへりくだる・屈辱を味わう」で、謝る態度と恥ずかしさに重点がある。見分け方：発言を取り消すなら eat one's words、頭を下げて謝るなら humble pie。

0648 □□□

After the accident, I had to fork ＿＿＿＿ 300,000 yen to have my car repaired.

① over　② up
③ in　④ on

① fork over ~ （しぶしぶ）～を支払う；～を手渡す

訳 事故の後、車を修理してもらうのに 30 万円をしぶしぶ払わなければならなかった。

解説 「しぶしぶ（大金）を払う」は fork over ~（英国では fork out ~）。over は hand over と同じく「相手の側へ渡して」。up・in・on は fork と組んでこの意味にならない。pay up（借りを全部払う）や cough up（しぶしぶ払う）の up とまぜないこと。

区別 **fork over ~ ⇔ hand over ~** fork over は「（嫌々）お金を払う」とお金に限ることが多く、不満の響きがある。hand over は「（物・権限など）を手渡す・引き渡す」で中立的、物も権力も目的語にできる。見分け方：しぶしぶの支払いなら fork over。

0649 □□□

I was worried that my mother and my girlfriend wouldn't like each other, but they got on like a house on ＿＿＿＿.

① time　② ice
③ sale　④ fire

④ get on like a house on fire
すぐに意気投合する；とても仲良くなる

訳 母と恋人が気が合わないのではと心配していたが、2 人はすぐに意気投合した。

解説 心配していたが、2 人は「すぐに意気投合した」という流れなので get on like a house on fire。火事の家が一気に燃え広がる勢いのたとえで、fire で決まった形。ice・sale・time ではイディオムにならない。hit it off と同じ意味。

区別 **get on like a house on fire ⇔ get on A's nerves** 同じ get on でも get on A's nerves は「A をいらいらさせる」で反対の関係。get on like a house on fire は「すぐに仲良くなる」。見分け方：nerves があれば不快、like a house on fire なら意気投合。

0650 □□□

Be careful when you talk to that salesman. He has a ＿＿＿＿ tongue and can make you buy things you don't need.

① silver　② sharp
③ loose　④ wooden

① have a silver tongue 口がうまい；弁が立つ

訳 あのセールスマンと話すときは気をつけて。口がうまくて、必要のない物まで買わされてしまうよ。

解説 必要のない物まで買わせてしまう「口のうまさ」なので have a silver tongue。sharp tongue は「毒舌・きつい物言い」、loose tongue は「口が軽い（秘密を漏らす）」で、どちらも説得の上手さではない。wooden は tongue と組んでこの意味にならない。

区別 **have a silver tongue ⇔ be tongue-tied** 反対の意味。have a silver tongue は「弁が立つ」、be tongue-tied は「（緊張などで）口ごもる・うまく話せない」。見分け方：すらすら説得できるなら silver tongue、言葉が出てこないなら tongue-tied。

0651 □□□

The kids had a whale ＿＿＿＿ a time at the amusement park and didn't want to go home.

① for　② of
③ in　④ with

② have a whale of a time　とても楽しい時を過ごす

訳 子どもたちは遊園地でとても楽しい時を過ごし、家に帰りたがらなかった。

解説 have a whale of a time（とても楽しく過ごす）は「a whale of a ＋名詞（すごい〜）」の形で of を使う。for・in・with ではこの強調の形にならない。帰りたがらないほど楽しんだ、という文脈とも合う。

区別 **have a whale of a time ⇔ have a hard time**　同じ have a ~ time でも、have a whale of a time は「大いに楽しむ」、have a hard time (~ing) は「（〜するのに）苦労する」で反対。見分け方：whale なら楽しい、hard なら苦労。

0652 □□□

I'm not going to waste time arguing about who left the lights on. I have bigger fish to ＿＿＿＿.

① catch　② fry
③ sell　④ feed

② have bigger fish to fry　もっと大事な用がある

訳 誰が電気をつけっぱなしにしたかで言い争って時間を無駄にするつもりはない。もっと大事な用があるんだ。

解説 「電気の消し忘れで言い争うより大事な用がある」なので have bigger fish to fry。fry で決まった形で、catch・sell・feed にすると慣用句にならない。「大きな魚を料理するのに忙しいから、小魚にかまう暇はない」と理屈で覚える。

区別 **have bigger fish to fry ⇔ a big fish in a small pond**　have bigger fish to fry は「もっと大事な用事がある」、a big fish in a small pond は「小さな集団の中だけでの大物（井の中の蛙）」。どちらも fish を使うが意味は無関係。見分け方：用事・優先順位なら fry、人の評価なら pond。

0653 □□□

The weather forecaster promised a sunny day for the festival, but it rained all day, and he was left with egg on his ＿＿＿＿.

① face　② head
③ hands　④ shirt

① have egg on one's face　面目を失う；恥をかく

訳 その気象予報士は祭りの日は晴れると断言したが、一日中雨が降り、彼は面目を失った。

解説 晴れると断言した予報が外れて「恥をかいた」ので be left with egg on one's face。face で決まった形。head・hands・shirt ではイディオムにならない（blood on one's hands は「人の死に責任がある」で別の表現）。

区別 **have egg on one's face ⇔ lose face**　lose face は「（人前で）面目を失う」一般の言い方。have egg on one's face は特に「自信満々の発言・予想が外れて」間抜けに見える、ばつの悪い思いをする、というニュアンス。見分け方：自分の判断ミスで間抜けに見えるなら egg on one's face。

0654 □□□

Tom forgot his wedding anniversary again, so now he's in the ＿＿＿＿ with his wife.

① clear　② dark
③ red　④ doghouse

④ in the doghouse （人の）不興を買って；嫌われて

訳 トムはまた結婚記念日を忘れたので、今は妻の機嫌を損ねている。

解説 結婚記念日を忘れて妻を怒らせたので in the doghouse（不興を買って）。in the dark は「何も知らされずに」、in the red は「赤字で」、in the clear は「疑いが晴れて・危険を脱して」で、妻を怒らせた状況に合わない。

区別 **in the doghouse ⇔ in A's good books** 反対の意味。in the doghouse は「（人に）嫌われて・怒られて」、in A's good books は「A に気に入られて」。見分け方：怒らせたなら doghouse、気に入られているなら good books。

0655 □□□

A: How's your grandfather? I heard he was in the hospital last month. B: He's fine now. In fact, he's in the ＿＿＿＿ — he goes jogging every morning.

① black　② red
③ pink　④ blue

③ in the pink とても健康で

訳 A：おじいさんの具合はどう？　先月入院したって聞いたけど。B：今は元気だよ。それどころか、すごく元気で、毎朝ジョギングしているんだ。

解説 毎朝ジョギングするほど元気になった、という文脈なので「とても健康で」の in the pink。in the red は「赤字で」、in the black は「黒字で」とお金の状態を表し、in the blue という慣用句はない（out of the blue は「突然」）。

区別 **in the pink ⇔ tickled pink** 同じ pink でも in the pink は「とても健康で」、tickled pink は「大喜びして」。見分け方：体の調子なら in the pink、うれしい気持ちなら tickled pink。

0656 □□□

Even after losing the final match, the captain kept a stiff ＿＿＿＿ lip and congratulated the other team.

① lower　② upper
③ tight　④ closed

② keep a stiff upper lip
感情を表に出さずに耐える；気丈にふるまう

訳 決勝戦に負けた後でも、キャプテンは感情を表に出さず、相手チームを祝福した。

解説 keep a stiff upper lip で「感情を出さずに気丈にふるまう」。震えやすい「上唇」をこわばらせる、という決まった形なので upper。lower（下の）では慣用句にならず、tight・closed は stiff と並べても意味をなさない（tight-lipped は「口を固く閉ざした」で別の表現）。

区別 **keep a stiff upper lip ⇔ break down** 反対の行動。keep a stiff upper lip は「感情を抑えて耐える」、break down は「（感情を抑えきれず）泣き崩れる」。見分け方：涙を見せないなら stiff upper lip、こらえきれないなら break down。

0657 ☐☐☐

When the reporter suddenly asked him a difficult question, the politician froze like a deer in the ＿＿＿＿.

① headlights　② woods
③ forest　④ field

① like a deer in the headlights

（驚き・恐怖で）立ちすくんで

訳 記者に突然難しい質問をされて、その政治家は驚きのあまり固まってしまった。

解説 突然の難しい質問に固まった様子なので freeze like a deer in the headlights。夜道で車のライトに照らされて動けなくなるシカのたとえで、headlights が必要。woods・forest・field ではシカが固まる理由がなく、慣用句にならない。

区別 **like a deer in the headlights ⇔ like a fish out of water** like a deer in the headlights は「突然のことに驚いて固まる」一瞬の反応。like a fish out of water は「場違いで居心地が悪い」状態。見分け方：驚きで動けないなら deer、なじめず落ち着かないなら fish。

0658 ☐☐☐

His parents scold him every day, but it's like water off a duck's ＿＿＿＿ — he never changes his behavior.

① back　② wing
③ feather　④ head

① like water off a duck's back

（批判などが）何の効き目もない；馬耳東風

訳 両親は毎日彼を叱るが、まったく効き目がなく、彼は決して態度を改めない。

解説 毎日叱られても行動を変えない＝叱責がまったく効かないので like water off a duck's back。油で水をはじく「カモの背中」のたとえで、back で決まった形。wing・feather・head ではイディオムにならない。

区別 **like water off a duck's back ⇔ get under A's skin** 反対の意味。like water off a duck's back は「（批判が）こたえない」、get under A's skin は「（言葉などが）A をいらいらさせる・気に障る」。見分け方：平気なら duck's back、気に障るなら under one's skin。

0659 ☐☐☐

We reached the sales target that our boss set, but then he said we needed 20% more. He keeps moving the ＿＿＿＿.

① goalposts　② mountains
③ needle　④ ladder

① move the goalposts

（途中で）ルールや条件を勝手に変える

訳 上司が決めた売り上げ目標を達成したのに、上司はさらに 20% 必要だと言った。彼は何度も条件を勝手に変える。

解説 目標を達成したのに上司がさらに 20% 上乗せした＝途中で条件を勝手に変えるので move the goalposts。move mountains は「不可能なことを成し遂げる」、move the needle は「目に見える変化をもたらす」で、どちらも批判の意味にならない。ladder は move と組んで慣用句にならない。

区別 **move the goalposts ⇔ move mountains** move the goalposts は「途中で条件を変える（ずるい）」、move mountains は「不可能に思えることを成し遂げる・あらゆる努力をする」。見分け方：不公平なルール変更なら goalposts、大きな努力・奇跡なら mountains。

0660 ☐☐☐

My grandfather is no spring ＿＿＿＿, but he still climbs mountains every weekend.

① chicken　② lamb
③ rabbit　④ flower

① no spring chicken　もう若くない

訳 祖父はもう若くないが、今でも毎週末山に登っている。

解説 「若くはないが、毎週山に登る」なので be no spring chicken（もう若くない）。春の若鶏から来た決まった形で、lamb・rabbit・flower ではイディオムにならない。but の前で年齢を認め、後ろで元気さを示す使い方が典型。

区別 **no spring chicken ⇔ over the hill**　どちらも年を取ったことを言うが、no spring chicken は「もう若くはない」と控えめに言うユーモア。over the hill は「盛りを過ぎた・衰えた」と能力の衰えまで含み、よりきつい。見分け方：冗談まじりに年齢を認めるなら no spring chicken。

0661 ☐☐☐

When the reporter tried to trap her with a tricky question, the politician was quick on the ＿＿＿＿ and fired back a witty answer.

① draw　② uptake
③ mend　④ ball

① quick on the draw　反応がすばやい；判断が早い

訳 記者がひっかけの質問で追い込もうとしたが、その政治家は反応がすばやく、気の利いた答えで切り返した。

解説 意地悪な質問にすぐ機知のある答えを返した＝反応がすばやいので quick on the draw。quick on the uptake は「理解・飲み込みが早い」で、説明を聞いて理解する場面に使う。on the mend は「回復して」、quick on the ball という言い方はない（on the ball は「抜け目なく」）。

区別 **quick on the draw ⇔ quick on the uptake**　quick on the draw は「反応・行動がすばやい」、quick on the uptake は「理解・飲み込みが早い」。見分け方：素早く動く・言い返すなら draw、説明をすぐ分かるなら uptake。

0662 ☐☐☐

The new manager ＿＿＿＿ a few feathers when he criticized the old way of doing things at his first meeting.

① ruffled　② smoothed
③ plucked　④ grew

① ruffle A's feathers　A を怒らせる；A の気分を害する

訳 新しい部長は、最初の会議で従来のやり方を批判して、何人かの反感を買った。

解説 最初の会議で従来のやり方を批判した＝周りの反感を買ったので ruffled a few feathers。smoothed（なでつけた）は「なだめる」で批判とは逆。plucked（むしり取った）・grew（生やした）は feathers と組んで「怒らせる」の意味にならない。

区別 **ruffle A's feathers ⇔ get A's goat**　どちらも「怒らせる」だが、ruffle A's feathers は「（遠慮のない言動で）気分を害する・波風を立てる」で、相手のプライドや秩序を乱すニュアンス。get A's goat は「（しつこく）いらいらさせる」で、個人の神経を逆なでする。

0663 □□□

You've been working seven days a week for months. You need to stop and _____ the roses before you burn out.

① smell　② pick
③ grow　④ buy

① stop and smell the roses

（忙しい中でも）立ち止まって人生を楽しむ

訳 君は何か月も週 7 日働き続けている。燃え尽きる前に、立ち止まって人生を楽しむ必要があるよ。

解説 何か月も働き詰めの人に「燃え尽きる前に人生を楽しめ」と助言する文なので stop and smell the roses。smell（香りをかぐ）で決まった形で、pick（摘む）・grow（育てる）・buy（買う）では「立ち止まって身近な喜びを味わう」意味にならない。

区別 **stop and smell the roses ⇔ take a break** take a break は「（仕事などを）ひと休みする」と具体的な休憩。stop and smell the roses は「日々の小さな喜びや美しさを味わう心の余裕を持つ」と生き方の助言。見分け方：一時的な休憩なら take a break、人生の楽しみ方なら smell the roses。

0664 □□□

Every company he has started has become a big success. He seems to have the _____ touch.

① Midas　② Herculean
③ Freudian　④ final

① the Midas touch （何をやっても）お金をもうける才能

訳 彼が立ち上げた会社はどれも大成功している。彼は何でももうけに変える才能を持っているようだ。

解説 立ち上げた会社がすべて大成功している＝何でももうけに変える才能なので the Midas touch。Herculean は「超人的な（困難な）」で task / effort と組み、Freudian は a Freudian slip（本音の言い間違い）で使う。the final touch は「仕上げ」で才能の意味にならない。

区別 **the Midas touch ⇔ a green thumb** どちらも特別な才能を表すが、the Midas touch はお金もうけ・事業の成功、a green thumb（英国では green fingers）は植物を育てる才能。見分け方：ビジネスなら Midas、園芸なら green thumb。

0665 □□□

Grief is painful, but you can't avoid it forever. The only way out is _____.

① through　② around
③ back　④ away

① The only way out is through.

抜け出す唯一の道は通り抜けることだ

訳 悲しみはつらいけれど、いつまでも避けることはできない。抜け出す唯一の道は、それを通り抜けることだ。

解説 「悲しみはいつまでも避けられない」という前文から、逃げずに通り抜けるしかないという意味の through。around（回り道して）・back（引き返して）・away（離れて）はどれも困難を避ける方向で、前の文と矛盾する。

区別 **The only way out is through. ⇔ Discretion is the better part of valor.** The only way out is through. は「逃げずに正面から乗り越えよ」、Discretion is the better part of valor. は「危険なら無理せず引くのが賢い」で、困難への態度が正反対。

0666 ☐☐☐

My grandmother was tickled _____ when all her grandchildren came to her 80th birthday party.

① pink ② red
③ blue ④ green

① tickled pink 大喜びして

訳 孫たちが全員 80 歳の誕生日パーティーに来てくれて、祖母は大喜びだった。

解説 孫全員が 80 歳の誕生日に来てくれて「大喜びした」ので tickled pink。pink で決まった形。blue は「憂うつな」、green は green with envy（ねたんで）で使う色で、red は tickled と組まない。

区別 **tickled pink ⇔ in the pink** 同じ pink でも tickled pink は「大喜びして」、in the pink は「とても健康で」。見分け方：うれしい気持ちなら tickled、体の調子なら in the pink。

0667 ☐☐☐

The children were as quiet as _____ during the test, so you could hear the clock ticking.

① a mouse ② a bee
③ a bat ④ a fox

① (as) quiet as a mouse
とても静かな；物音一つ立てない

訳 試験の間、子どもたちはとても静かで、時計の音が聞こえるほどだった。

解説 時計の音が聞こえるほど静かだったので (as) quiet as a mouse。bee は as busy as a bee（とても忙しい）、bat は as blind as a bat（目がひどく悪い）、fox は as sly as a fox（ずる賢い）で使う動物で、quiet とは組まない。

区別 **(as) quiet as a mouse ⇔ (as) poor as a church mouse** 同じネズミでも quiet as a mouse は「とても静か」、poor as a church mouse は「ひどく貧しい」。見分け方：音なら quiet、お金なら poor。

0668 ☐☐☐

For years, the company's lifetime employment system was a _____ cow that no manager dared to question.

① sacred ② cash
③ holy ④ mad

① a sacred cow 批判できない神聖なもの；聖域

訳 何年もの間、その会社の終身雇用制度は、どの管理職もあえて疑問を唱えようとしない聖域だった。

解説 誰も疑問を口にできなかった制度なので「聖域」の a sacred cow。cash cow は「金のなる木（稼ぎ頭の商品・事業）」で雇用制度には合わない。holy cow は驚きを表す間投詞、mad cow は牛の病気を指す語で、どちらも聖域の意味にならない。

区別 **a sacred cow ⇔ a white elephant** a sacred cow は「批判・改革できない聖域」、a white elephant は「維持費ばかりかかって役に立たない物（無用の長物）」。見分け方：触れられない制度・考えなら sacred cow、金食い虫の建物・物なら white elephant。

0669 □□□

The new employee always arrives an hour early and asks for more work. He's a real eager ＿＿＿＿.

① beaver　② bee
③ bird　④ beetle

① an eager beaver　張り切り屋；仕事熱心な人

訳 新入社員はいつも 1 時間早く来て、もっと仕事をくださいと言う。彼は本当に張り切り屋だ。

解説 1 時間早く来てもっと仕事を求める熱心な人なので an eager beaver。eager と組むのは beaver で、韻を踏んだ決まった形。bee は a busy bee、bird は an early bird（早起きの人）で使う語で、eager とは組まない。beetle も慣用句にならない。

区別 **an eager beaver ⇔ a busy bee**　どちらも働き者だが、a busy bee は「（いつも動き回って）忙しい人」と忙しさに重点。an eager beaver は「やる気満々で張り切っている人」と熱意に重点があり、からかいの響きもある。

0670 □□□

A: Oh no! I dropped the plate again. B: ＿＿＿＿ That's the third one this week!

① Butterfingers!
② Bingo!
③ Yum!
④ Easy peasy.

① butterfingers　よく物を落とす人；不器用な人

訳 A：しまった！　また皿を落としちゃった。　B：よく落とすね！　今週もう 3 枚目だよ！

解説 今週 3 枚目の皿を落とした相手をからかうので Butterfingers!（落としてばかりだね）。Bingo!（当たり）、Yum!（おいしい）は場面に合わず、Easy peasy.（楽勝）は皿を落とした失敗と矛盾する。

区別 **butterfingers ⇔ be all thumbs**　どちらも不器用だが、butterfingers は特に「物をつかみ損ねて落とす」こと。be all thumbs は「（手先が）とても不器用」で、細かい作業が苦手なこと全般。見分け方：落とすなら butterfingers、細かい作業が下手なら all thumbs。

0671 □□□

My old dictionary is so ＿＿＿＿ that some pages are about to fall out.

① dog-eared　② dog-tired
③ dog-eat-dog　④ hangdog

① dog-ear　（本のページの）角を折る；ページの折れた角

訳 私の古い辞書は使い古されて、何ページかは今にも取れそうだ。

解説 何度も使ってページが取れそうな辞書なので「角が折れた・使い古した」の dog-eared。dog-tired は「（人が）くたくたに疲れた」、dog-eat-dog は「食うか食われるかの（競争が激しい）」、hangdog は「おどおどした・恥じ入った」で、本の状態を表さない。

区別 **dog-ear ⇔ bookmark**　bookmark は「しおり（を挟む）」で本を傷めない。dog-ear は「ページの角を折って印にする」で本に折り目が残る。見分け方：道具を挟むなら bookmark、角を折るなら dog-ear。

0672 □□□

A: How's the barbecue chicken? B: It's _____ good! I can't stop eating it.

① finger-licking
② mouth-watering
③ heartbreaking
④ eye-catching

① finger-licking good 指までなめたくなるほどおいしい

訳 A：バーベキューチキンはどう？　B：指までなめたくなるくらいおいしいよ！　食べるのが止まらない。

解説 good の前に置いて「食べるのが止まらないほどおいしい」と言うのは finger-licking good。mouth-watering（よだれが出そうな）は単独で形容詞として使い、good の前には置かない。heartbreaking（胸が張り裂けるような）・eye-catching（目を引く）は味の表現にならない。

区別 **finger-licking good ⇔ mouth-watering** finger-licking good は「（食べてみて）指までなめるほどおいしい」、mouth-watering は「（見た目・匂いが）よだれが出そうな」で、食べる前の期待。見分け方：食べた後の満足なら finger-licking、見て食べたくなるなら mouth-watering。

0673 □□□

What really _____ my goat is when people talk loudly on their phones on the train.

① gets　② takes
③ makes　④ brings

① get A's goat A を怒らせる；A をいらいらさせる

訳 本当に頭にくるのは、電車の中で大声で電話をする人だ。

解説 get A's goat で「A をいらいらさせる」。動詞は get で決まっており、takes・makes・brings では慣用句にならない。What really gets my goat is ～（本当に頭にくるのは～だ）は会話でよく使う形。

区別 **get A's goat ⇔ get on A's nerves** ほぼ同じ意味だが、get on A's nerves は繰り返される音・態度などで「神経に障る」と、じわじわしたいら立ち。get A's goat は「かちんとくる・頭にくる」で、怒りの度合いがやや強い口語。どちらも A は怒る側。

0674 □□□

My aunt is on the school board, runs a café, and organizes the town festival. She has a finger in every _____.

① pie　② cake
③ pot　④ dish

① have a finger in every pie
何にでも首を突っ込む；手広く関わっている

訳 おばは教育委員を務め、カフェを経営し、町の祭りも取り仕切っている。何にでも関わっている人だ。

解説 教育委員・カフェ経営・町の祭りの運営と手広く関わっているので have a finger in every pie。pie で決まった形で、cake・pot・dish ではイディオムにならない。

区別 **have a finger in every pie ⇔ a piece of the pie** have a finger in every pie は「いろいろなことに関わる」、a piece of the pie は「（利益の）分け前」。見分け方：関与なら finger、取り分なら piece。

0675 □□□

Sorry, my voice sounds strange. I have a ＿＿＿＿ in my throat. Let me drink some water before my speech.

① frog　② lump
③ cat　④ mouse

① have a frog in one's throat

（一時的に）声がかすれている

訳 すみません、声が変ですね。のどがいがらっぽいんです。スピーチの前に水を飲ませてください。

解説 声が変で、水を飲んでからスピーチしたい、という物理的な声のかすれなので have a frog in one's throat。have a lump in one's throat は「感動や悲しみでのどが詰まる」で、水を飲んで直すものではない。cat・mouse はこの表現に使わない（Has the cat got your tongue? は「なぜ黙っているの」で別表現）。

区別 **have a frog in one's throat ⇔ have a lump in one's throat** have a frog in one's throat は「（物理的に）声がかすれる」、have a lump in one's throat は「（感動・悲しみで）胸がいっぱいになってのどが詰まる」。見分け方：のどの調子なら frog、感情なら lump。

0676 □□□

When the two managers started arguing loudly, Ms. Sato stepped in and ＿＿＿＿ by suggesting a short break.

① poured oil on troubled waters
② added fuel to the fire
③ stirred up a hornet's nest
④ threw caution to the wind

① pour oil on troubled waters

争いを鎮める；場を丸く収める

訳 2 人の部長が大声で言い争い始めると、佐藤さんが間に入り、少し休憩しようと提案して場を丸く収めた。

解説 言い争いに割って入り、休憩を提案した＝場を鎮めたので poured oil on troubled waters。added fuel to the fire（火に油を注いだ）と stirred up a hornet's nest（大騒ぎを引き起こした）は対立を悪化させる意味で逆。threw caution to the wind（思い切って大胆に行動した）は仲裁の意味にならない。

区別 **pour oil on troubled waters ⇔ add fuel to the fire** 反対の意味。日本語の「火に油を注ぐ」は英語では add fuel to the fire。pour oil on troubled waters は油を「荒れた水面」に注いで波を静める＝争いを鎮める。見分け方：fire（火）なら悪化、waters（水）なら鎮静。

0677 □□□

The mayor's plan to close three elementary schools stirred up a ＿＿＿＿ nest, and hundreds of angry parents came to the meeting.

① hornet's　② bird's
③ rat's　④ crow's

① stir up a hornet's nest

大騒ぎを引き起こす；面倒な事態を招く

訳 市長の小学校 3 校の閉校計画は大騒ぎを引き起こし、何百人もの怒った保護者が集会に押し寄せた。

解説 小学校 3 校の閉校案で怒った保護者が何百人も押し寄せた＝大騒ぎを引き起こしたので stir up a hornet's nest。rat's nest は「ごちゃごちゃに絡まった物」、crow's nest は「（船の）見張り台」、bird's nest は文字通りの鳥の巣で、騒ぎの意味にならない。

区別 **stir up a hornet's nest ⇔ open a can of worms** どちらも面倒を招くが、stir up a hornet's nest は「怒りや反発を一斉に買う」ことに重点。open a can of worms は「（触れたことで）次々と厄介な問題が出てくる」ことに重点。見分け方：激しい反発なら hornet's nest、問題が芋づる式に出るなら can of worms。

0678 ☐☐☐

I've heard a lot of strange excuses, but his story that a bird stole his homework really ＿＿＿＿ the cake.

① takes ② eats
③ makes ④ bakes

① take the cake

（悪い意味で）群を抜いている；あきれる

訳 変な言い訳はたくさん聞いてきたが、鳥に宿題を盗まれたという彼の話は群を抜いてあきれるものだ。

解説 変な言い訳はたくさん聞いたが、「鳥に宿題を盗まれた」は群を抜いてあきれる、なので take the cake。動詞は take で決まっていて、eats・makes・bakes では慣用句にならない。

区別 **take the cake ⇔ a piece of cake** 同じ cake でも a piece of cake は「簡単なこと」、take the cake は「（あきれるほど）ひどい・ずば抜けている」。見分け方：簡単さなら piece of cake、あきれた言動なら take the cake。

0679 ☐☐☐

My grandfather often says, "Youth is wasted ＿＿＿＿ the young," when he sees us spending the whole day playing video games.

① on ② for
③ with ④ at

① Youth is wasted on the young.

若さは若者には無駄にされる

訳 祖父は、私たちが一日中テレビゲームをしているのを見ると、よく「若さは若者にはもったいない」と言う。

解説 be wasted on A で「A にはもったいない・A には価値が分からない」。on は（与えられる）対象を示す。for・with・at は be wasted と組んでこの意味にならない。一日中ゲームをする孫を見て、若さを無駄にしていると嘆く場面に合う。

注意 大人が若者を見て言う皮肉な言葉。

0680 ☐☐☐

A: Thanks for babysitting. How were the kids? B: They were as good as ＿＿＿＿ — no crying and no fighting at all.

① new ② dead
③ silver ④ gold

④ (as) good as gold

（子どもが）とてもお行儀がよい；非常に良い

訳 A：子守りをありがとう。子どもたちはどうだった？ B：とてもお行儀がよかったよ。泣きもけんかも全然しなかった。

解説 泣きもけんかもしなかった子どもの様子なので、行儀がよい as good as gold。as good as new は修理した物が「新品同様」、as good as dead は「死んだも同然」で、子どもの行儀には合わない。silver を使う決まった言い方はなく、決まり文句は gold だけ。

区別 **(as) good as gold ⇔ as good as ～**（～も同然） as good as new（新品同様）/ as good as dead（死んだも同然）は「ほとんど～だ」。good as gold は gold と組んだ決まり文句で「行儀がよい・価値がある」。見分け方：gold なら行儀、それ以外の形容詞なら「～も同然」。

0681 ☐☐☐

Nobody believed his ———— about a dog eating his homework.

① bull-and-cock story
② cock and bull's story
③ cocky bull story
④ cock-and-bull story

④ a cock-and-bull story でたらめな話；作り話

訳 犬が宿題を食べてしまったという彼のでたらめな話を、誰も信じなかった。

解説 「でたらめな作り話」は cock-and-bull story で、cock と bull の順番は決まっている。bull-and-cock は順番が逆。cock and bull's story は所有格にした形で、正しくはハイフンでつないで形容詞にする。cocky は「生意気な」という別の形容詞。

区別 **a cock-and-bull story ⇔ a tall tale** a tall tale は「大げさなほら話」で、聞き手も楽しむ冒険談などにも使う。cock-and-bull story は言い訳などの「信じがたい作り話」で、だまそうとしていると非難する響きが強い。

0682 ☐☐☐

Borrowing my car for an hour is fine, but taking it on a week-long trip is a horse of a different ———— .

① color　② size
③ stable　④ race

① a horse of a different color
まったく別の問題；別物

訳 1 時間車を貸すのは構わないが、1 週間の旅行に持っていくとなると話はまったく別だ。

解説 1 時間の貸し借りと 1 週間の旅行を比べ「それは別問題だ」と言っているので、決まり文句 a horse of a different color。この表現は color で固定され、size（大きさ）、stable（馬小屋）、race（競走）に変えると意味をなさない。英国では a different kettle of fish とも言う。

区別 **a horse of a different color ⇔ a different kettle of fish** 意味は同じ「別問題」。a horse of a different color は主に米国、a different kettle of fish は主に英国でよく使う。どちらも That's ~. の形で、前の話とは事情が違うと区別する。

0683 ☐☐☐

Critics said the company was ———— , because it had only one successful product.

① a jack of all trades
② a dark horse
③ a one-trick pony
④ a black sheep

③ a one-trick pony 一芸しかない人［物］

訳 その会社にはヒット商品が一つしかなかったので、批評家たちは一芸しかない会社だと言った。

解説 ヒット商品が一つしかない＝一つのことしかできないので a one-trick pony。a jack of all trades は「何でもこなす人」で正反対。a dark horse は「予想外の実力者・穴馬」、a black sheep は「（家族などの）厄介者・はみ出し者」で、一つの成功しかない意味にならない。

区別 **a one-trick pony ⇔ a jack of all trades** a jack of all trades は「何でも屋・何でもこなす人」で、反対の意味。one-trick pony は一つしかできない。見分け方：できることが一つなら pony、たくさんなら jack of all trades。

0684 □□□

The new law looks strict, but without any penalties it is just a ———— tiger.

① golden ② paper
③ wild ④ hungry

② a paper tiger 張り子の虎；見かけ倒し

訳 新しい法律は厳しそうに見えるが、罰則がなければただの張り子の虎（見かけ倒し）にすぎない。

解説 「厳しそうに見えるが罰則がない」＝見かけだけで力がないので paper tiger。golden（金の）、wild（野生の）、hungry（飢えた）の虎はどれも決まった比喩ではなく、wild や hungry ではむしろ本当に怖い意味になってしまう。

区別 **a paper tiger ⇔ a sleeping giant** a sleeping giant は「眠れる巨人」で、今は目立たないが本当は大きな力を持つもの。paper tiger は逆に、強そうなのに力がない。見分け方：見た目＞中身なら paper tiger、中身＞見た目なら sleeping giant。

0685 □□□

Missing two weeks of classes put Mike ————, and he had to study every night to catch up.

① on the ball
② on top of the world
③ behind the eight ball
④ ahead of the game

③ behind the eight ball
窮地に立たされて；不利な立場で

訳 2 週間授業を休んだせいでマイクは窮地に陥り、遅れを取り戻すために毎晩勉強しなければならなかった。

解説 授業を休んで遅れ、毎晩勉強する羽目になったので「不利な立場」の behind the eight ball。on the ball は「抜け目がない・よく分かっている」、on top of the world は「最高の気分で」、ahead of the game は「先んじて有利で」で、どれも遅れを取り戻す状況と合わない。

区別 **behind the eight ball ⇔ on the ball** on the ball は「抜け目がない・よく分かっている」で、ほめ言葉。同じ ball でも behind the eight ball は「不利な立場」。見分け方：on なら有能、behind the eight ball なら窮地。

0686 □□□

The film has amazing special effects, but the story is weak; it's just eye ————.

① sore ② opener
③ candy ④ contact

③ eye candy 見た目だけのもの；目の保養

訳 その映画は特殊効果がすごいが、話は弱い。見た目だけの作品だ。

解説 映像はすごいが話は弱い＝見た目だけで中身がないので eye candy（数えない名詞で冠詞なし）。eyesore は「目障りなもの」で、すごい特殊効果と矛盾し an も必要。eye-opener は「目を見開かされる経験」で an が必要、意味も合わない。eye contact は「視線を合わせること」。

区別 **eye candy ⇔ an eyesore** an eyesore は「目障りなもの」で、反対の意味。数えられる名詞なので an が付く。見分け方：見て楽しいなら eye candy、見苦しいなら eyesore。

0687 ☐☐☐

This puzzle isn't hard if you use a little gray ＿＿＿＿.

① area　② hair
③ mind　④ matter

④ gray matter 頭脳；知性

訳 このパズルは、少し頭を使えば難しくない。

解説 「頭脳・知力」は gray matter で、use a little gray matter（少し頭を使う）の形。gray area は「曖昧な領域」で使う対象にならない。gray hair は「白髪」。gray mind という決まった言い方はない。

区別 **gray matter ⇔ a gray area** a gray area は「どちらとも言えない曖昧な領域・グレーゾーン」。gray matter は「頭脳」。見分け方：規則や善悪がはっきりしない話なら gray area、頭を使う話なら gray matter。

0688 ☐☐☐

He never had to work for anything; success was handed to him on a silver ＿＿＿＿.

① platter　② spoon
③ coin　④ lining

① hand ~ to A on a silver platter
A に～を何の苦労もなく与える

訳 彼は何一つ努力する必要がなかった。成功は何の苦労もなく与えられたのだ。

解説 苦労なしに与えられるは hand ~ to A on a silver platter（銀の大皿に載せて）。spoon は born with a silver spoon in one's mouth（裕福な家に生まれる）と混ぜたひっかけで、on a silver spoon とは言わない。lining は every cloud has a silver lining（悪いことにも良い面がある）。coin は決まった表現にない。

区別 **hand ~ to A on a silver platter ⇔ be born with a silver spoon in one's mouth** born with a silver spoon in one's mouth は「裕福な家に生まれる」。同じ silver でも、こちらは生まれの話、silver platter は苦労なしに何かを与えられる話。

0689 ☐☐☐

Grammar and vocabulary are the meat and ＿＿＿＿ of language learning.

① bread　② potatoes
③ vegetables　④ eggs

② meat and potatoes （物事の）基本；核心

訳 文法と語彙は語学学習の基本だ。

解説 「基本・核心」は the meat and potatoes of ~ で、組み合わせは決まっている。bread は bread and butter（生計の手段・主な収入源）と混ぜたひっかけ。meat and vegetables、meat and eggs はただの食べ物で、比喩の意味を持たない。

区別 **meat and potatoes ⇔ bread and butter** bread and butter は「生計の手段・主な収入源」。meat and potatoes は「（物事の）基本・核心」。見分け方：お金を稼ぐ手段なら bread and butter。

0690 ☐☐☐

I've had only three hours of sleep this week. I'm running ＿＿＿＿ fumes.

① over　② after
③ on　④ into

③ run on fumes 気力だけで動く；限界状態で続ける

訳 今週は 3 時間しか寝ていない。気力だけで動いている状態だ。

解説 「限界状態で（気力だけで）続けている」は run on fumes で、on は「～を燃料にして」（run on gas と同じ）。over は「～を越えて・ひいて」、after は「～を追いかけて」、into は「～にぶつかる・偶然会う」で、燃料を表せない。

区別 **run on fumes ⇔ run out of ~** run out of ~ は「～を使い果たす・切らす」で、もうゼロになった状態。run on fumes は「ほぼゼロなのにまだ動いている」状態。見分け方：まだ続けているなら run on fumes。

0691 □□□

People said he wasn't smart, but his mother always told him, "Stupid is as stupid _____."

① is　② does
③ did　④ makes

② Stupid is as stupid does.

愚かな行いをする者が愚か者だ

訳 人々は彼を賢くないと言ったが、母親はいつも「愚かなことをする人が愚か者なのよ」と言っていた。

解説 このことわざは Stupid is as stupid does. で、「愚かな行いをする（does）者が愚か」と行動で判断する意味。is にすると「愚かは愚か」となり行動の意味が消える。did は時制を変えた形で、ことわざは現在形で固定。makes は「A is as A does」の型に合わない。

区別 **Stupid is as stupid does. ⇔ Handsome is as handsome does.** 同じ「A is as A does」の型で、Handsome の方は「立派な行いをする人が立派な人（見た目より行い）」という教訓。Stupid の方は「愚かな行いをする人が愚か者」。どちらも行動で人を判断する。

0692 □□□

We've been chatting for an hour. Now let's talk _____ — how much are you willing to pay?

① turkey　② chicken
③ cold turkey　④ big

① talk turkey 率直に話す；本題に入る

訳 もう 1 時間もおしゃべりしています。そろそろ本題に入りましょう。いくらまでなら払うつもりですか。

解説 雑談をやめて値段の話をしようとしているので talk turkey（率直に本題に入る）。cold turkey は quit cold turkey（悪習をきっぱりやめる）の形で、talk とは組まない。talk big は「大きなことを言う・ほらを吹く」。chicken は play chicken（度胸試しをする）などで使い、talk chicken とは言わない。

区別 **talk turkey ⇔ (quit) cold turkey** cold turkey は「（たばこなどの悪習を）いきなりきっぱりやめる」で、quit cold turkey の形。talk turkey は「本題に入る」。同じ turkey でも動詞が違えば意味が全く違う。

0693 □□□

The principal speaks softly and always smiles, but she runs the school with an iron fist in a _____ glove.

① leather　② rubber
③ velvet　④ boxing

③ an iron fist in a velvet glove

外柔内剛；表面は優しいが内面は厳しい態度

訳 校長先生は穏やかに話し、いつも笑顔だが、柔らかな物腰の中に厳しさを秘めて学校を運営している。

解説 穏やかな物腰（柔らかい外側）と厳しい運営（硬い内側）の対比なので、柔らかい布 velvet（ビロード）の手袋。leather（革）、rubber（ゴム）、boxing（ボクシングの）では「外は柔らかい」という対比が出ず、決まった表現でもない。

区別 **an iron fist in a velvet glove ⇔ rule with an iron fist** rule with an iron fist は「強権で支配する」で、表も裏も厳しい。an iron fist in a velvet glove は外側の優しさ（velvet glove）があるのがポイント。

0694 □□□

His application to join the private club was rejected because two members _____ him.

① blackmailed　② blackballed
③ blacked out　④ backed

② blackball ~ ～の加入を拒否する；～を排斥する

訳 2 人の会員が反対票を投じたので、彼の私的なクラブへの入会申請は却下された。

解説 入会申請が却下された原因なので、投票で入会に反対する blackballed。blackmailed は「ゆすった（恐喝した）」で入会の可否と関係しない。blacked out は「意識を失った・停電させた」で、him を後ろに取る形にもならない。backed は「支持した」で、却下の理由と正反対。

区別 **blackball ~ ⇔ blacklist ~** blacklist は「要注意人物の名簿に載せる」で、雇用や取引を拒む。blackball は入会の投票で反対して締め出す。見分け方：投票・入会の話なら blackball、名簿・取引なら blacklist。

0695 □□□

Great artists are not afraid to color _____ the lines.

① inside　② between
③ outside　④ along

③ color outside the lines
型にはまらない；決まりにとらわれずに行動する

訳 偉大な芸術家は、型にはまらないことを恐れない。

解説 「型にはまらずに行動する」は color outside the lines（線の外まで塗る）。inside the lines は「決まりどおりに」で、「恐れない」と合わない。between は read between the lines（行間を読む）と混ぜたひっかけ。along（線に沿って）では型にはまったままになる。

区別 **color outside the lines ⇔ toe the line** toe the line は「（線につま先をそろえる→）規則・方針に従う」で、反対の意味。見分け方：はみ出すなら color outside the lines、従うなら toe the line。

0696 □□□

He ran away instead of standing up for his friend — what a _____ coward!

① green-eyed
② blue-blooded
③ red-handed
④ yellow-bellied

④ yellow-bellied 臆病な；腰抜けの

訳 彼は友達をかばわずに逃げた。なんて臆病な腰抜けだ！

解説 友達をかばわず逃げた人を非難しているので「臆病な」の yellow-bellied。green-eyed は「嫉妬深い」、blue-blooded は「貴族の生まれの」、red-handed は catch ~ red-handed（現行犯で捕まえる）の形で使い、どれも coward（臆病者）を説明できない。

区別 **yellow-bellied ⇔ blue / green**（色の比喩） 英語では色で気持ちや性質を表す：yellow は臆病、blue は憂うつ（feel blue）、green は嫉妬（green with envy / green-eyed）。日本語の色のイメージと違うので、まとめて覚える。

0697 ☐☐☐

When I asked her for help, she gave me a look as ＿＿＿＿ as stone and walked away.

① warm　② soft
③ cold　④ light

③ (as) cold as stone

（心が）石のように冷たい；冷え切った

訳 助けを頼むと、彼女は石のように冷たい目で私を見て、立ち去った。

解説 頼みを無視して立ち去る冷たい態度なので as cold as stone（石のように冷たい）。warm（温かい）や soft（柔らかい）は立ち去る態度と矛盾し、石の比喩にも合わない。light は「軽い」で、石は軽さのたとえにならない（とても軽いなら as light as a feather）。

区別 **(as) cold as stone ⇔ a heart of gold** a heart of gold は「優しい心」で、反対の意味。cold as stone は温かみがまったくない。見分け方：have a heart of gold なら優しい、as cold as stone なら冷たい。

0698 ☐☐☐

After the manager suddenly quit, the whole office was at ＿＿＿＿ and sevens.

① sixes　② six
③ fives　④ threes

① at sixes and sevens 混乱して；めちゃくちゃで

訳 部長が突然辞めた後、オフィス全体が大混乱に陥った。

解説 「混乱して」は at sixes and sevens で、数字は二つとも複数形、組み合わせも 6 と 7 で決まっている。six は単数で形が合わない。fives や threes に変えると決まり文句でなくなり、意味をなさない。

区別 **at sixes and sevens ⇔ be at odds with ~** be at odds (with ~) は「（～と）対立・食い違っている」。at sixes and sevens は「混乱している」。どちらも at＋複数形だが、odds は二者の対立、sixes and sevens は全体の混乱。

0699 ☐☐☐

Nobody likes Tom because he's always ＿＿＿＿ the boss, praising everything she does.

① brown-nosing　② looking down on
③ standing up to　④ nosing around

① brown-nose ごまをする；おべっかを使う

訳 トムはいつも上司にごまをすって、彼女のやることを何でも褒めるので、誰からも好かれていない。

解説 上司のすることを何でも褒める＝こびへつらうので brown-nosing（ごまをする）。looking down on は「見下す」、standing up to は「立ち向かう」で、褒める様子と反対。nosing around は「（こそこそ）かぎ回る」で、褒める意味がない。

区別 **brown-nose ⇔ butter up ~** butter up は頼みごとの前などに一時的に「おだてる」軽い言い方。brown-nose は出世目当てなどで卑屈にこびる、より強く下品な言い方。

0700 □□□

Our plan for a surprise party went _____ when Mom came home early.

① pear-shaped ② bananas
③ nuts ④ peachy

① go pear-shaped

（計画などが）失敗する；おかしくなる

訳 お母さんが早く帰ってきてしまい、サプライズパーティーの計画は失敗した。

解説 母が早く帰宅してサプライズが台無しになったので went pear-shaped（失敗した）。bananas と nuts は go bananas / go nuts で「（人が）ひどく興奮する・頭がおかしくなる」の意味で、主語は人。peachy は「素晴らしい」で、失敗と逆。

区別 **go pear-shaped ⇔ go bananas / go nuts** go bananas / go nuts は「（人が）ひどく興奮する・頭がおかしくなる」で、主語は人。go pear-shaped は計画・事態が「失敗する」。同じ go＋食べ物でも主語で見分ける。

0701 □□□

Tom looked _____ after the bumpy boat ride, so we let him lie down.

① green with envy
② in the pink
③ as good as gold
④ green around the gills

④ green around the gills 顔色が悪い；気分が悪そうな

訳 揺れの激しい船に乗った後、トムは顔色が悪かったので、私たちは彼を横にならせた。

解説 揺れる船の後で横にならせた＝気分が悪そうなので green around the gills。green with envy は「ひどくうらやましがって」で、船酔いとは関係ない。in the pink は「とても元気で」で横にならせる理由と矛盾。as good as gold は「（子どもが）行儀がよい」。

区別 **green around the gills ⇔ green with envy** green with envy は「ひどくうらやましがって」。green around the gills は「気分が悪そうで」。同じ green でも、with envy なら嫉妬、gills なら体調。

0702 □□□

I'm afraid of heights. I wouldn't go bungee jumping for all the _____ in China.

① rice ② silk
③ coffee ④ tea

④ not for all the tea in China

どんなことがあっても～しない

訳 私は高い所が怖い。どんなことがあってもバンジージャンプなんてしないよ。

解説 「どんなことがあっても～しない」は wouldn't ~ for all the tea in China で、お茶の大産地・中国のお茶全部と引き換えでも嫌だという決まった誇張。rice、silk、coffee に変えると決まり文句でなくなる。tea を使う not my cup of tea（好みでない）と混同しないこと。

区別 **not for all the tea in China ⇔ not my cup of tea** not my cup of tea は「（私の）好みではない」と控えめに言う表現。not for all the tea in China は「何があっても絶対しない」と強く断る。同じ tea でも強さが全く違う。

0703 ☐☐☐

The comedian's _____ jokes offended many people in the audience.

① off-peak　② off-duty
③ off-color　④ off-season

③ off-color 下品な；（冗談が）きわどい

訳 そのお笑い芸人の下品な冗談は、観客の多くを不快にさせた。

解説 観客を不快にさせた冗談なので「下品な・きわどい」off-color。off-peak は「ピーク時を外れた（すいている）」、off-duty は「勤務時間外の」、off-season は「シーズンオフの」で、冗談の内容を説明できない。

区別 **off-color ⇔ off-limits** off-limits は「立ち入り禁止の・（話題が）触れてはいけない」。off-color は「下品な」。どちらも off- が付くが、off-limits は場所・話題、off-color は冗談・発言の質。

0704 ☐☐☐

The editor told the young writer to cut the _____ and use simple, clear sentences.

① plain English　② purple prose
③ short words　④ red tape

② purple prose 美辞麗句を並べた文章；飾りすぎた文章

訳 編集者はその若い作家に、飾り立てた文章を削って、簡単で分かりやすい文を使うように言った。

解説 「簡単で分かりやすい文を使え」と対比しているので、削るべきは飾りすぎた文 purple prose。plain English（平易な英語）や short words（短い語）は勧められる側で、削る対象にすると矛盾する。red tape は「お役所的な面倒な手続き」で、cut the red tape（手続きを簡素化する）は文章の話ではない。

区別 **purple prose ⇔ plain English** plain English は「平易で分かりやすい英語」で、purple prose の反対。見分け方：飾りすぎを批判するなら purple prose、分かりやすさを勧めるなら plain English。

0705 ☐☐☐

Ms. Lee was chosen to _____ the company's new marketing campaign.

① quarterback
② quarterbacks
③ quarterbacking
④ quarterbacked

① quarterback ~ ～の指揮を執る；～を取り仕切る

訳 リーさんは、会社の新しい販売キャンペーンの指揮を執る役に選ばれた。

解説 to 不定詞なので動詞の原形 quarterback（～の指揮を執る）。名詞が動詞になっても、to の後ろは原形のまま。quarterbacks は 3 人称単数、quarterbacking は -ing 形、quarterbacked は過去形・過去分詞で、to の直後には置けない。

区別 **quarterback ~ ⇔ Monday-morning quarterback** Monday-morning quarterback は名詞で「（週末の試合の後、月曜に）結果論で批判する人」。動詞 quarterback ~ は実際に指揮を執ること。

0706 ☐☐☐

The reporters tried to squeeze the actor _____ information about his new movie.

① of ② from
③ in ④ for

④ squeeze A for information A から情報を聞き出す

訳 記者たちは、その俳優から新作映画についての情報を聞き出そうとした。

解説 「（人）から情報を聞き出す」は squeeze A for information で、for は「～を求めて」（ask A for B と同じ）。from や of を使うなら squeeze information out of A と語順が変わり、the actor from information の形にはならない。in は squeeze in（予定に押し込む）と混ぜたひっかけ。

区別 **squeeze A for information ⇔ squeeze in ~** squeeze in は「（予定・人）を何とか押し込む」（squeeze in a meeting）。squeeze A for ~ は「A から～を搾り取る」。同じ squeeze でも in なら詰め込む。

0707 ☐☐☐

My little sister was so excited about her school trip that she talked a _____ all through dinner.

① blue streak ② blue moon
③ blue sky ④ blue blood

① talk a blue streak 休みなくしゃべりまくる

訳 妹は修学旅行のことで大興奮していて、夕食の間ずっとしゃべりまくっていた。

解説 興奮して夕食中ずっと話していたので talk a blue streak（休みなくしゃべりまくる）。blue moon は once in a blue moon（めったにない）、blue sky は「青空」、blue blood は「貴族の血筋」で、talk と組んで「しゃべりまくる」の意味にならない。

区別 **talk a blue streak ⇔ out of the blue** out of the blue は「突然・思いがけなく」。talk a blue streak は「しゃべりまくる」。同じ blue でも、out of なら突然、streak なら速さ。

0708 ☐☐☐

Cheap souvenirs like these are ten a _____ in tourist areas.

① dozen ② dime
③ penny ④ pretty

③ ten a penny ありふれた；安っぽい

訳 こういう安いお土産は、観光地ではどこにでもある。

解説 「ありふれた」は ten a penny（1 ペニーで 10 個）。dozen と dime は米国の a dime a dozen と混ぜたひっかけで、ten a dozen、ten a dime とは言わない。pretty は a pretty penny（大金）の一部で、ここに入れても意味をなさない。

区別 **ten a penny ⇔ a pretty penny** a pretty penny は「大金」（cost a pretty penny＝かなり高くつく）で、反対の意味。ten a penny は安くてありふれている。同じ penny でも意味が逆。

0709 ☐☐☐

These cameras are not illegal, but they are sold on the _____ market without the maker's official warranty.

① black ② gray
③ stock ④ job

② the gray market 正規ルート外の市場；並行輸入市場

訳 これらのカメラは違法ではないが、メーカーの正式な保証なしにグレーマーケット（正規ルート外の市場）で売られている。

解説 「違法ではないが、メーカーの正式な保証がない」ので、正規ルート外の the gray market。the black market は違法な闇市場で、not illegal と矛盾する。the stock market は「株式市場」、the job market は「求人市場」で、カメラを売る場所ではない。

区別 **the gray market ⇔ the black market** the black market は「闇市場」で違法な取引。the gray market は違法ではないが正規ルート外。見分け方：違法なら black、合法だが非正規なら gray。

0710 □□□

Our teacher seems to have ＿＿＿＿ vision — she always knows when someone is using a phone under the desk.

① tunnel　② double
③ X-ray　④ blurred

③ X-ray vision 透視能力；物事を見抜く力

訳 私たちの先生は透視能力があるみたいだ。誰かが机の下でスマホを使っていると、いつも気づく。

解説 机の下で隠れて使うスマホが見えてしまうので、隠れた物を見抜く X-ray vision。tunnel vision は「視野が狭いこと」で、何でも気づく先生と逆。double vision は「（目の不調で）物が二重に見えること」、blurred vision は「かすみ目」で、鋭く見抜く力を表さない。

区別 **X-ray vision ⇔ tunnel vision** tunnel vision は「視野が狭いこと・一つのことしか見えないこと」で、短所を言う。X-ray vision は隠れた物まで見抜く力。

0711 □□□

The striker is going through a purple ＿＿＿＿ — he has scored in each of his last six games.

① prose　② heart
③ rain　④ patch

④ a purple patch 絶好調の時期；（文章の）華麗な一節

訳 そのストライカーは絶好調の時期にある。直近の 6 試合すべてで得点しているのだ。

解説 6 試合連続得点＝絶好調の時期なので a purple patch。purple prose は「飾りすぎた文章」で、選手の調子には使わない。Purple Heart は米国の「名誉負傷章」、rain は決まった表現にならない。不調の時期なら a rough patch と言う。

区別 **a purple patch ⇔ a rough patch** a rough patch は「不調な時期・つらい時期」（go through a rough patch）で、反対の意味。a purple patch は絶好調の時期。

0712 □□□

I'm really browned off ＿＿＿＿ waiting for the bus in the rain every morning.

① at　② with
③ for　④ to

② browned off うんざりして；不機嫌で

訳 毎朝雨の中でバスを待つのには、本当にうんざりしている。

解説 browned off は fed up と同じく with ~（~にうんざりして）の形を取る。at は angry at ~ のように怒りの向かう相手に使うが、browned off とは結び付かない。for・to もこの表現の後ろには来ない。「うんざり」系は fed up with / sick of / tired of と前置詞ごと覚える。

区別 **browned off ⇔ fed up (with ~)** 意味は同じ「うんざりして」で、こちらは英米どちらでも通じる。入試の言い換え問題では fed up が正解として出ることが多い。browned off はくだけた英国の言い方。

確認テスト 6　イディオム・ことわざ｜日本語に合うように、空所に 1 語を書き込もう（答えは赤字）

0477 買った中古車は欠陥品だった。
The used car I bought turned out to be a **lemon** .

0478 一人で 3 人の子どもを育てるのは楽じゃない。
Raising three kids alone is no **picnic** .

0479 ただでもらったチケットは後ろの列だけど、もらい物にけちをつけるな。
The free tickets are for the back row, but don't look a **gift** horse in the mouth.

0480 犬が死んでから、彼女はずっと落ち込んでいる。
She's been down in the **dumps** since her dog died.

0481 君の秘密は心配しないで。誰にも言わないよ。
Don't worry about your secret. My lips are **sealed** .

0482 今ルールを変えると、思わぬ災いの元を開けることになるかもしれない。
Changing the rules now might open Pandora's **box** .

0483 君だっていつも遅刻するじゃないか。自分のことを棚に上げて人を責めるな。
You're always late too. People who live in **glass** houses shouldn't throw stones.

0484 彼は東京タワーのてっぺんでプロポーズした。
He **popped** the question at the top of Tokyo Tower.

0485 晴れた日に友達と散歩。人生で一番いいものはお金がかからない。
A walk with friends on a sunny day: the best things in life are **free** .

0486 店長はお客様は常に正しいと考え、返金した。
The manager believed the **customer** is always right, so he gave a refund.

0487 対立していた 2 国が手を組んだ。敵の敵は味方だ。
The two rival countries joined forces. The enemy of my enemy is my **friend** .

0488 私が散らかしているって？目くそ鼻くそを笑うだよ。
You say I'm messy? That's the pot calling the **kettle** black.

0489 新しいやり方は良さそうだが、論より証拠、やってみないと分からない。
The new method sounds good, but the proof of the **pudding** is in the eating.

0490 今は悲しいだろうけど、これもいつか過ぎ去るよ。
I know you're sad now, but this too shall **pass** .

0491 祖母は紙袋を全部取っておく。無駄にしなければ困らない、と言っている。
Grandma saves every paper bag. **Waste** not, want not, she says.

0492 テストはベストを尽くした。なるようになるさ。
I did my best on the test. **What** will be, will be.

0493 この夏スカイダイビングに行く。人生は一度きりだ！
I'm going skydiving this summer. You only live **once** !

0494 旅行費用のおおよその金額を教えてもらえる？
Can you give me a **ballpark** figure for the cost of the trip?

0495 弟はおばあちゃんの家で、まるで瀬戸物屋に入った牛のように暴れ回る。
My little brother is like a bull in a **china** shop in Grandma's house.

0496 トムは父親と同じく釣りが大好きだ。親にそっくりだよ。
Tom loves fishing just like his father. He's a chip off the old **block** .

0497 この数学の問題は難問だ。
This math problem is a hard **nut** to crack.

0498 物価の上昇と低賃金が重なり、家庭にとって最悪の事態になった。
Rising prices and low wages created a **perfect** storm for families.

0499 どの企業もオンラインゲーム市場の分け前を欲しがっている。
Every company wants a **piece** of the pie in the online game market.

0500 その会社は川を汚染したのに、軽い処分しか受けなかった。
The company got only a slap on the **wrist** for polluting the river.

0501 負けて不機嫌になるのはよくないよ。勝った人と握手しなさい。
Don't be a sore **loser** . Shake hands with the winner.

0502 席をめぐる彼らの口論は、ただの空騒ぎだった。
Their argument over the seat was just a storm in a **teacup** .

0503 祖父は巨大な魚を釣った話など、ほら話をするのが大好きだ。
Grandpa loves telling tall **tales** about catching giant fish.

0504 その無料アプリは、利用者のデータを盗むトロイの木馬だった。
The free app was a **Trojan** horse that stole users' data.

0505 彼らのけんかには加わらなかった。君子危うきに近寄らずだ。
I didn't join their fight. A wise man keeps away from **danger** .

0506 妹は隠し事ができない子で、気持ちがすぐ顔に出る。
My little sister is an **open** book; she can't hide her feelings.

0507 私の友達ならすぐに手を貸してくれるよ。
My friend will help you at the **drop** of a hat.

0508 コーチに言い返したかったが、ぐっとこらえた。
I wanted to argue with the coach, but I bit my **tongue** .

0509 今年もうちの通りの小さな店がまた一つつぶれた。
Another small shop on our street bit the **dust** this year.

0510 海外ボランティアの前に、お母さんを手伝いなさい。まず身内からだよ。
Before volunteering abroad, help your mother. **Charity** begins at home.

0511 彼にも家庭の事情がある。相手の立場に立つまで判断してはいけない。
He has problems at home too. Don't judge a man until you've walked a **mile** in his shoes.

0512 仕事の大半は彼女がやったのだから、ちゃんと認めてあげなさい。
She did most of the work, so give credit where credit is **due** .

0513 傘を持ってくるべきだった。まあ、後からなら何とでも言えるね。
I should have taken an umbrella. Well, **hindsight** is 20/20.

0514 アルバイトを 2 つかけもちして、彼女はかろうじて生活している。
With two part-time jobs, she's barely keeping her head above **water** .

0515 まず簡単な曲を練習しなさい。物事には順序があるよ。
Practice simple songs first. Learn to **walk** before you run.

0516 大きな決断をする前に、事態が落ち着くのを待とう。
Let's let the **dust** settle before we make any big decisions.

0517 隣の人の服装は変わっているけど、人それぞれだよ。
My neighbor's style is strange, but live and **let** live.

0518 落ちたとき、友達も落ちたと知って気が楽になった。同病相憐れむだ。
When I failed, I felt better knowing my friend failed too. **Misery** loves company.

0519 彼は犬を助けるために柵を乗り越えた。背に腹は代えられない。
He climbed the fence to save the dog. Necessity knows no **law** .

0520 試験が終わって、私たちは派手に遊びに出かけた。
After the exams, we went out to **paint** the town red.

0521 今日から報告書に取りかかりなさい。先延ばしは時間の無駄だよ。
Start your report today. Procrastination is the **thief** of time.

0522 祖父は「かわいい子には厳しく」という考えだが、両親は違う。
My grandfather believes in "spare the **rod** and spoil the child," but my parents don't.

0523 彼女は姉の結婚式で婚約を発表し、姉の見せ場を奪ってしまった。
She announced her engagement at her sister's wedding and stole her **thunder** .

0524 技術は進歩し続ける。唯一変わらないのは変化そのものだ。
Technology keeps moving forward. The only **constant** is change.

0525 授業中にゲームをするな。時と場所をわきまえなさい。
Don't play games in class. There's a time and a **place** for everything.

0526 君の発言は彼女を傷つけた。次は話す前に考えなさい。
Your comment hurt her feelings. **Think** before you speak next time.

0527 私たちのチームは協力しなければならない。団結すれば立ち、分裂すれば倒れる。
Our team must work together. United we stand, **divided** we fall.

0528 今週の彼の仕事は標準に達していなかった。
His work this week wasn't up to **par** .

0529 医師たちはまだ手を尽くしている。命ある限り希望はある。
The doctors are still trying. Where there's life, there's **hope** .

0530 数学を手伝ってくれたら英語を手伝うよ。持ちつ持たれつだ。
Help me with math and I'll help you with English. You scratch my **back** and I'll scratch yours.

0531 父と私は将来について腹を割って話した。
My father and I had a heart-to-heart **talk** about my future.

0532 学校閉鎖の知らせは青天の霹靂だった。
The news of the school closing was a **bolt** from the blue.

0533 この古い図書館は郷土史の情報の宝庫だ。
This old library is a gold **mine** of information about local history.

0534 誰でも正そうとする知ったかぶりは嫌われる。
Nobody likes a **know-it-all** who corrects everyone.

0535 彼は一匹狼で、一人で勉強する方が好きだ。
He's a **lone** wolf who prefers to study by himself.

0536 彼は何をしでかすか分からない人で、秘密を漏らすかもしれない。
He's a loose **cannon** who might leak the secret.

0537 両親は老後に備えて少し貯金をしている。
My parents have a small **nest** egg for their retirement.

0538 彼は彼女の心をつかむため毎日花を贈った。恋と戦争は手段を選ばない。
He sent her flowers every day to win her heart. All's **fair** in love and war.

0539 彼女は学校行事の運営のベテランだ。
She's an old **hand** at organizing school events.

0540 上司が背後から見張っていると集中できない。
I can't concentrate when my boss is **breathing** down my neck.

0541 嘘をつくことは彼女の性分に合わない。
Lying goes against the **grain** for her.

0542 パソコンが壊れて、私たちの努力はすべて水の泡になった。
All our hard work went up in **smoke** when the computer crashed.

0543 同じ家に住んでいるが、それぞれ自分の部屋がある。適度な距離が良い関係を作る。
We share a house, but we each have our own room. Good **fences** make good neighbors.

0544 ふざけてないで、宿題を終わらせなさい。
Stop **horsing** around and finish your homework.

0545 弟の台所掃除はひどかった。きちんとやりたいなら自分でやるに限る。
My brother cleaned the kitchen badly. If you want something done right, do it **yourself** .

0546 弟は私のまねばかりする。まねされるのは最高のほめ言葉だ。
My little brother copies everything I do. Imitation is the sincerest form of **flattery** .

0547 またかばんをなくす心配はいらないよ。同じ不運は二度は起こらない。
Don't worry about losing your bag again. **Lightning** never strikes twice in the same place.

0548 テストを出す前に答えを見直しなさい。念には念を入れよだ。
Check your answers before you hand in the test. Measure **twice** , cut once.

0549 フリーマーケットですてきな古いギターを見つけた。ある人のごみは別の人の宝だ。
I found a great old guitar at a flea market. One man's trash is another man's **treasure** .

0550 朝の電車で、私たちはすし詰め状態だった。
On the morning train, we were packed like **sardines** .

0551 連休中に旅行すれば、遅延はよくあることだ。
Delays are par for the **course** when you travel during the holidays.

0552 うまく立ち回れば、来年はキャプテンになれるかもしれないよ。
If you play your **cards** right, you could become the captain next year.

0553 学校は創立 100 周年のためにあらゆる手を尽くした。
The school pulled out all the **stops** for its 100th anniversary.

0554 彼は時流に逆らうのが好きで、流行を追わない。
He likes to **swim** against the tide and never follows trends.

0555 新キャプテンは口ではうまいことを言うけど、実際に行動できるのかな？
Our new captain **talks** the talk, but will he walk the walk?

0556 この計画がだめなら別のを試そう。やり方はいくらでもある。
If this plan fails, we'll try another. There's more than one way to **skin** a cat.

0557 彼を信じちゃだめ。目の前では優しいけど陰では意地悪。裏表のある人だよ。
Don't trust him. He's nice to you but mean behind your back. He's **two-faced** .

0558 制度を変えれば不満を持つ人も出るが、犠牲なしには何も得られない。
Changing the system will upset some people, but you can't make an **omelet** without breaking eggs.

0559 横から口出ししないで、私に車を止めさせて。
Stop being a **backseat** driver and let me park the car.

0560 彼は地元のクラブではお山の大将だった。
He was a big fish in a small **pond** at his local club.

0561 うちの猫は 2 階から落ちても平気だった。猫に九生ありだ。
Our cat fell from the second floor but was fine. A cat has nine **lives** .

0562 親切な人が私の財布を見つけて、警察に届けてくれた。
A Good **Samaritan** found my wallet and returned it to the police.

0563 おじはとてもけちで、ティーバッグを使い回す。
My uncle is such a **penny-pincher** that he reuses tea bags.

0564 駅は直線距離ならたった 2 キロだ。
The station is only two kilometers away as the **crow** flies.

0565 この安いノートパソコンはコスパが高い。
This cheap laptop gives you a lot of **bang** for the buck.

0566 彼の家族をからかうなんて、本当に卑怯だった。
Making fun of his family was really below the **belt** .

0567 今朝はあんなにおしゃべりだったのに。どうしたの、黙っちゃって。
You were so talkative this morning. What's wrong, cat got your **tongue** ?

0568 二人の兄はテレビのことで激しくけんかする。
My two brothers **fight** like cats and dogs over the TV.

0569 彼は何の計画もなく会社を始めた。盲蛇に怖じずだ。
He started a company with no plan. Fools rush in where **angels** fear to tread.

0570 彼の起業計画は大失敗に終わった。
His plan to start a business went down in **flames** .

0571 お風呂に落としてから、スマホがおかしくなった。
My phone went **haywire** after I dropped it in the bath.

0572 こつこつ努力を続ければ、試験に受かるよ。
If you keep your nose to the **grindstone** , you'll pass the exam.

0573 私たちの計画は誰にも言わないで。口は災いのもとだから。
Don't tell anyone about our plan. Loose **lips** sink ships.

0574 先生に当てられそうになったが、チャイムに救われた。
The teacher was about to call on me, but I was saved by the **bell** .

0575 どっちが先に着いたかなんて細かいことはいいよ。二人とも遅刻だ。
Let's not split **hairs** about who arrived first; we're both late.

0576 彼はミスを隠そうとしたが、真実は必ず明らかになる。
He tried to hide his mistake, but the **truth** will out.

0577 何年も努力して、彼女は今では会社のトップだ。
After years of hard work, she is now the **top** dog in the company.

0578 怒鳴らずに丁寧に頼みなさい。優しく頼む方がうまくいくよ。
Ask nicely instead of shouting. You can catch more flies with **honey** than with vinegar.

0579 祖父はとても頑固で、決して人の忠告を聞かない。
My grandpa is as stubborn as a **mule** and never takes advice.

0580 その知らせを聞いて、彼女は真っ青になった。
She turned as white as a **sheet** when she heard the news.

0581 プロのスポーツ選手の生活は楽なものではない。
Life as a professional athlete is not a bed of **roses** .

0582 電車でちょっとうたた寝して、すっきりした。
I took a **catnap** on the train and felt refreshed.

0583 先生たちの会議をこっそりのぞいてみたいなあ。
I'd love to be a fly on the **wall** during the teachers' meeting.

0584 彼は賞金を全部宝くじにつぎ込んだ。愚か者の金はすぐになくなる。
He spent all his prize money on lottery tickets. A fool and his money are soon **parted** .

0585 アルバイトを始めたとき、私はまったくの新米だった。
I was a complete **greenhorn** when I started my part-time job.

0586 党が選挙で負けて、大統領は死に体になった。
The president became a **lame** duck after his party lost the election.

0587 決勝戦は最後の１秒まではらはらする接戦だった。
The final was a real **nail-biter** down to the last second.

0588 余った小銭は全部貯金箱に入れる。
I drop all my spare coins into a **piggy** bank.

0589 第一志望校に合格した日は、記念すべき日だった。
The day I got into my first-choice school was a **red-letter** day.

0590 長いハイキングの後、山の小さなカフェは見るだけでほっとした。
After a long hike, the little mountain cafe was a sight for **sore** eyes.

0591 パスワードがないと、パソコンはハッカーの格好の標的だ。
Without a password, your computer is a sitting **duck** for hackers.

0592 彼女は１分でパズルを解いた。頭のいい子だ。
She solved the puzzle in a minute. She's a smart **cookie** .

0593 隣の騒がしい工事は、何か月も悩みの種だ。
The noisy construction next door has been a **thorn** in my side for months.

0594 洪水の後、ライバルの二つの店が協力した。呉越同舟だ。
The two rival shops worked together after the flood. Adversity makes strange **bedfellows** .

0595 子どもたちに何かすることを与えなさい。暇だとろくなことをしないから。
Give the kids something to do. An **idle** mind is the devil's workshop.

0596 彼女は子どもの頃みにくいアヒルの子だったが、有名なモデルになった。
She was an **ugly** duckling as a child, but she became a famous model.

0597 自転車から落ちて、彼の脚はあざだらけだった。
After falling off his bike, his legs were black and **blue** .

0598 彼女はこの国で最も古い家柄の一つに生まれた名門の出だ。
She is a blue **blood** from one of the oldest families in the country.

0599 スピーチは短く。簡潔さこそ知恵の真髄だよ。
Keep your speech short. **Brevity** is the soul of wit.

0600 何としてでもコンサートのチケットを手に入れるぞ。
I'll get tickets to the concert by hook or by **crook** .

0601 母はいつも清潔は美徳だと言うので、我が家は毎日掃除する。
My mother always says cleanliness is next to **godliness** , so we clean every day.

0602 感情で判断をゆがめてはいけない。
Don't let your feelings color your **judgment** .

0603 いったん契約書に署名したら、もう後戻りはできない。
Once you sign the contract, you've crossed the **Rubicon** .

0604 長いハイキングの後、全員くたくただった。
After the long hike, we were all **dog-tired** .

0605 卒業パーティーでは、皆が最高におしゃれをしていた。
Everyone was dressed to the **nines** for the graduation party.

0606 この古いテーブルは少し磨けば新品のようになるよ。
This old table will look new with a little elbow **grease** .

0607 セールで店が開くと、皆が我先にと殺到した。
When the store opened for the sale, it was every man for **himself** .

0608 その政治家は買収には応じないと言ったが、人は皆金で動くものだ。
The politician said he could never be bought, but every man has his **price** .

0609 子どもたちは昼寝の後、元気いっぱいだった。
The children were full of **beans** after their nap.

0610 君が怠け者だとは言ってないけど、心当たりがあるなら認めなさい。
I didn't say you were lazy, but if the **shoe** fits, wear it.

0611 子犬が来て、弟はこの上なく幸せそうだった。
When the puppy arrived, my little brother was in **seventh** heaven.

0612 ビザを取るのに面倒な手続きをいくつもこなさなければならなかった。
We had to jump through **hoops** to get a visa.

0613 彼らは近所に見栄を張るためだけに大きな車を買った。
They bought a big car just to keep up with the **Joneses** .

0614 彼はライバルを自分のチームに誘った。敵ほど近くに置けというわけだ。
He invited his rival to join his team. Keep your friends close and your enemies **closer** .

0615 値上げしすぎると、金の卵を産むガチョウを殺すことになりかねない。
Raising the prices too much could kill the goose that lays the **golden** eggs.

0616 着いたとたん、子どもたちはプールへ一直線に向かった。
As soon as we arrived, the kids made a **beeline** for the pool.

0617 こんなところまでどうしたの？
What brings you to this neck of the **woods** ?

0618 私たちはわずかな予算でヨーロッパを旅した。
We traveled around Europe on a **shoestring** .

0619 間違えることは、新しい言語を学ぶことにつきものだ。
Making mistakes is part and **parcel** of learning a new language.

0620 警察は何週間も泥棒と追いかけっこを続けた。
The police played cat and **mouse** with the thief for weeks.

0621 幼い恋だったけど、今でも彼女の笑顔を覚えている。
It was just **puppy** love, but I still remember her smile.

0622 この難しいプロジェクトで君は強くなるよ。苦労が人を育てるんだ。
This difficult project will make you stronger. Smooth seas do not make skillful **sailors** .

0623 キャプテンがけがをしたとき、ケンが進んでチームを率いた。
When the captain got hurt, Ken stepped up to the **plate** and led the team.

0624 からかわれたとき、彼は「悪口なんか平気さ」と言った。
When they teased him, he said, "Sticks and stones may break my **bones** , but words will never hurt me."

0625 近所の人たちはとても善良で、いつも人を助けている。
My neighbors are the **salt** of the earth; they always help others.

0626 パーティーには音楽、照明、ケーキと何から何までそろっていた。
For the party, they had music, lights, a cake, the whole nine **yards** .

0627 売り上げが落ち続け、店主は先行きを悟って店を閉めた。
When sales kept falling, the owner saw the **writing** on the wall and closed the store.

0628 テストの最後の問題には本当に意表を突かれた。
The last question on the test really threw me a **curveball** .

0629 彼女は思い切って仕事を辞め、世界旅行に出た。
She threw **caution** to the wind and quit her job to travel the world.

0630 月に引っ越すという彼の発言は冗談だった。
His comment about moving to the moon was tongue in **cheek** .

0631 いつまで言い争っても、私の気持ちは変わらないよ。
You can argue until the **cows** come home, but I won't change my mind.

0632 試合は負けているが、苦しい時こそ強い者が力を発揮する。
We're behind in the game, but **when** the going gets tough, the tough get going.

0633 良い先生は非常に価値がある。
A good teacher is worth her **weight** in gold.

0634 あのサイトは扇情的な記事と嘘の話ばかりだ。
That website is full of yellow **journalism** and fake stories.

0635 眼鏡がないと、私はほとんど何も見えない。
I'm as blind as a **bat** without my glasses.

0636 会社のお偉方が全員会議に出席した。
All the company **bigwigs** attended the meeting.

0637 金持ちの大物たちが巨額のボーナスを受け取ったことに、人々は怒っている。
People are angry that the **fat** cats got huge bonuses.

0638 スピーチコンテストでの優勝は、彼女にとって誇れる業績だった。
Winning the speech contest was a **feather** in her cap.

0639 彼は先生のことを「忙しい」と言うつもりが「退屈」と言ってしまった。本音がぽろりと出たのだ。
He called his teacher "boring" instead of "busy"; it was a **Freudian** slip.

0640 嵐の後の浜辺の清掃は非常に骨の折れる仕事だった。
Cleaning up the beach after the storm was a **Herculean** task.

0641 友達だと思っていたのに、彼は隠れた敵だった。
I thought he was my friend, but he was a **snake** in the grass.

0642 毎月の昇給を求めるなんて、ないものねだりだ。
Asking for a raise every month is asking for the **moon** .

0643 怒った運転手は渋滞で悪態をついた。
The angry driver used some colorful **language** at the traffic jam.

0644 その会社は損失を隠すために帳簿を改ざんしていたことが発覚した。
The company was caught cooking the **books** to hide its losses.

0645 怒っている男とは言い争わないことにした。慎重さこそ真の勇気だ。
I decided not to argue with the angry man. **Discretion** is the better part of valor.

0646 おじは昔大酒飲みだったが、今はお酒に一切手をつけない。
My uncle used to drink like a **fish** , but now he never touches alcohol.

0647 うちのチームは負けると言っていた彼は、自分の間違いを認めざるをえなかった。
After saying our team would lose, he had to eat **humble** pie.

0648 駐車場代に 20 ドルもしぶしぶ払わされた。
I had to **fork** over twenty dollars for parking.

0649 二人の転校生はすぐに意気投合した。
The two new students got on like a **house** on fire.

0650 その販売員は口がうまく、私たちに高いソファを売りつけた。
The salesman had a silver **tongue** and sold us an expensive sofa.

0651 私たちは遊園地で最高に楽しい時間を過ごした。
We had a **whale** of a time at the amusement park.

0652 今その小さなミスを気にしてはいられない。もっと大事なことがあるんだ。
I can't worry about that small mistake now; I have bigger fish to **fry** .

0653 晴れの予報が雪になって、天気予報士は面目を失った。
The weather forecaster had **egg** on his face when it snowed instead of being sunny.

0654 妻の誕生日を忘れて、ご機嫌を損ねてしまった。
I forgot my wife's birthday, so I'm in the **doghouse** .

0655 1 週間休んで、祖父はまたすっかり元気になった。
After a week of rest, my grandfather is in the **pink** again.

0656 決勝で負けた後も、キャプテンは気丈にふるまった。
Even after losing the final, the captain kept a stiff upper **lip** .

0657 先生に当てられたとき、私は驚いて固まってしまった。
When the teacher called on me, I froze like a **deer** in the headlights.

0658 彼女には批判なんて何の効き目もない。
Criticism is like water off a duck's **back** to her.

0659 仕事を終えるたびに、上司は条件を変えてくる。
Every time we finish a task, the boss moves the **goalposts** .

0660 父はもう若くないが、今もマラソンを走っている。
My dad is no **spring** chicken, but he still runs marathons.

0661 ディベートでは反応がすばやくなければならない。
You have to be quick on the **draw** in a debate.

0662 彼の失礼な発言は、会議で何人かの気分を害した。
His rude comment ruffled a few **feathers** at the meeting.

0663 働きすぎだよ。時には立ち止まって人生を楽しまなきゃ。
You work too hard. Sometimes you need to stop and smell the **roses** .

0664 その実業家は商売の才に恵まれているようで、店がみな成功する。
The businessman seems to have the **Midas** touch; all his shops succeed.

0665 試験はつらいけど、抜け出すにはやり抜くしかない。
Exams are tough, but the only way out is **through** .

0666 花を贈ったら、母は大喜びした。
My mom was tickled **pink** when I gave her flowers.

0667 赤ちゃんが寝ている間、子どもたちはとても静かにしていた。
The kids were as quiet as a **mouse** while the baby was sleeping.

0668 この会社では、創業者のルールは誰も批判できない聖域だ。
In this company, the founder's rules are a **sacred** cow.

0669 新入部員は張り切り屋で、いつも真っ先に手を挙げる。
The new member is an eager **beaver** who always volunteers first.

0670 おっと、またスマホを落とした。本当にそそっかしいな。
Oops, I dropped my phone again. I'm such a **butterfingers** .

0671 図書館の本のページの角を折らないで。しおりを使って。
Please don't **dog-ear** the library books. Use a bookmark.

0672 おばあちゃんのフライドチキンは指までなめたくなるほどおいしい。
Grandma's fried chicken is **finger-licking** good.

0673 映画中にしゃべる人には本当に腹が立つ。
It really gets my **goat** when people talk during movies.

0674 おばは近所のあらゆることに首を突っ込んでいる。
My aunt has a **finger** in every pie in our neighborhood.

0675 すみません、今朝は声がかすれていて。
Excuse me, I have a **frog** in my throat this morning.

0676 口論の後、キャプテンは場を丸く収めようとした。
Our captain tried to pour **oil** on troubled waters after the argument.

0677 校則についての彼の発言は大騒ぎを引き起こした。
His comments about the school rules stirred up a **hornet's** nest.

0678 言い訳はいろいろ聞いてきたが、君のは群を抜いてあきれるよ。
I've heard many excuses, but yours really takes the **cake** .

0679 叔父はよく、若者は若さのありがたみが分かっていないと言う。
My uncle often says youth is **wasted** on the young.

0680 子どもたちは長いフライトの間、とてもお行儀がよかった。
The kids were as good as **gold** during the long flight.

0681 彼は遅刻の理由について先生にでたらめな話をした。
He told the teacher a cock-and-bull **story** about why he was late.

0682 ペンを借りるのはいいけど、お金を借りるのはまったく別の話だ。
Borrowing a pen is fine, but borrowing money is a **horse** of a different color.

0683 そのバンドはヒット曲が1曲しかない一発屋だった。
The band was a one-trick **pony** with just one hit song.

0684 新しい法律は実際の力のない張り子の虎だった。
The new law turned out to be a paper **tiger** with no real power.

0685 まだ報告書に手をつけていなくて、窮地に立たされている。
I'm behind the **eight** ball because I haven't started my report yet.

0686 その広告は見た目ばかりで、中身のある情報はほとんどない。
The ad is pure eye **candy** with little real information.

0687 このパズルは本当に頭を使うよ。
This puzzle will really test your gray **matter** .

0688 彼は努力してその地位を得たのではない。何の苦労もなく与えられたのだ。
He didn't earn the position; it was handed to him on a silver **platter** .

0689 顧客サービスこそ私たちの商売の基本だ。
Customer service is the **meat** and potatoes of our business.

0690 プロジェクトは期限内に終えたが、私たちは気力だけで動いていた。
We finished the project on time, but we were running on **fumes** .

0691 彼は頭がよさそうに見えるが、愚かなことをした。愚かな行いをする者が愚か者だ。
He looks smart, but he did something foolish. **Stupid** is as stupid does.

0692 よし、本題に入ろう。これはいくらかかるの？
Okay, let's talk **turkey** . How much will this cost?

0693 校長は物腰は柔らかいが、学校を厳しく取り仕切っている。
The principal rules with an iron fist in a **velvet** glove.

0694 会員たちは、彼のゴルフクラブへの入会申請を拒否した。
The members **blackballed** his application to the golf club.

0695 偉大な芸術家は、型にはまらないことを恐れない。
Great artists aren't afraid to color outside the **lines** .

0696 そんなに臆病にならないで！彼女に話しかけてみなよ。
Don't be so **yellow-bellied** ! Just go and talk to her.

0697 別れを告げる彼女の声は石のように冷たかった。
Her voice was as cold as **stone** when she said goodbye.

0698 新しい事務所の初日は、何もかもが混乱していた。
Everything was at **sixes** and sevens on the first day of the new office.

0699 彼は試合に出たくて、いつもコーチにごまをすっている。
He always **brown-noses** the coach to get more playing time.

0700 雨が降り出して、キャンプ旅行は台無しになった。
Our camping trip went **pear-shaped** when it started to rain.

0701 船に乗った後、弟は少し顔色が悪かった。
After the boat ride, my brother looked a little green around the **gills** .

0702 どんなことがあっても、あの変な虫は食べないよ。
I wouldn't eat that strange insect for all the tea in **China** .

0703 彼の下品な冗談に、テーブルの全員が気まずくなった。
His **off-color** joke made everyone at the table uncomfortable.

0704 先生は作文から飾りすぎた表現を削るように言った。
The teacher told me to cut the purple **prose** from my essay.

0705 彼女が新しい販売キャンペーンの指揮を執る。
She will **quarterback** the new marketing campaign.

0706 記者たちは監督に新しい選手の情報をしつこく聞き出そうとした。
The reporters **squeezed** the manager for information about the new player.

0707 妹は興奮すると休みなくしゃべりまくる。
My little sister talks a blue **streak** when she gets excited.

0708 いいアイデアはありふれている。実現するのが難しいのだ。
Good ideas are ten a **penny** ; making them happen is the hard part.

0709 安いカメラの中には、正規ルート外の市場で保証なしに売られているものもある。
Some cheap cameras are sold on the **gray** market without a warranty.

0710 記者にはニュースの裏にある真実を見抜く力が必要だ。
Journalists need X-ray **vision** to see the truth behind the news.

0711 そのストライカーは絶好調で、毎試合得点している。
The striker is going through a purple **patch** , scoring in every game.

0712 毎朝バスを待つのにはうんざりだ。
I'm **browned** off with waiting for the bus every morning.

CHAPTER 7

口語・スラング（原田英語 用語集）

海外ドラマや SNS で毎日のように使われる口語。入試の会話文や長文に出るものだけを選んでいます。 No.0713〜0747（35 問）

問題

0713 ☐☐☐

Some people say _____ culture has gone too far, as people can lose their jobs over posts they made years ago.

① cancel ② pop
③ youth ④ café

解答・解説（赤シートで隠せます）

① cancel culture

キャンセルカルチャー（過去の言動を理由に SNS で集団で排除する風潮）

訳 何年も前の投稿のせいで仕事を失うこともあり、キャンセルカルチャーは行き過ぎだと言う人もいる。

解説 何年も前の投稿で仕事を失う、という集団での排除の風潮なので cancel culture。pop culture は「大衆文化」、youth culture は「若者文化」、café culture は「カフェ文化」で、どれも過去の投稿で人が職を失うことの説明にならない。

注意 現代社会の話題として長文や英作文のテーマにもなりうる。get canceled（炎上して干される）の形でも使う。

0714 ☐☐☐

If you think you can pass the entrance exam without studying at all, you're _____.

① delightful ② delusional
③ devoted ④ diligent

② delusional 妄想的な；現実離れした

訳 まったく勉強せずに入試に受かると思っているなら、君は現実が見えていないよ。

解説 まったく勉強せずに入試に受かると思うのは現実離れした考えなので delusional。delightful（愉快な・楽しい）、devoted（献身的な）、diligent（勤勉な）はどれもほめ言葉で、甘い考えを批判する文脈に合わない。特に diligent は「勉強しない」と矛盾する。

区別 **delusional ⇔ wishful thinking** wishful thinking は「希望的観測」という名詞で、そうなってほしいという願望から判断を誤ること。delusional は形容詞で、人の状態を「現実離れしている」と強く言う。delusional の方がきつい言い方。

0715 □□□

I stayed up until 3 a.m. _____ through news about the disaster, and now I feel anxious and tired.

① binge-watching
② window-shopping
③ sightseeing
④ doomscrolling

④ doomscrolling
暗いニュースを延々とスクロールし続けること

訳 災害のニュースを延々とスクロールして朝の 3 時まで起きていたので、今は不安で疲れている。

解説 災害のニュースを夜中まで見続けて不安で疲れている、という状態なので doomscrolling。binge-watching は「ドラマなどの一気見」で、through news（ニュースを次々に）とは組まない。window-shopping（ウィンドーショッピング）と sightseeing（観光）は、スマホでニュースを見る行動ではない。

区別 **doomscrolling ⇔ binge-watching** binge-watching は「（ドラマなどを）一気見すること」で、娯楽を楽しむ行動。doomscrolling は悪いニュースを見続けて気分が沈む行動。見分け方：楽しみの一気見なら binge-watching、不安なニュースの見続けなら doomscrolling。

0716 □□□

The movie cost 200 million dollars to make, but it was a complete _____ at the box office.

① hit
② smash
③ flop
④ blockbuster

③ flop 大コケ；大失敗（する）

訳 その映画は制作に 2 億ドルかかったが、興行的には完全な大コケだった。

解説 制作費が巨額だった but「興行的に完全な～だった」と逆接でつながるので、「大コケ」の flop。hit / smash / blockbuster はどれも「大ヒット」で、but の前後で対比が成り立たない。

区別 **flop ⇔ a hit** a hit は「大当たり・ヒット作」で、flop の反対。a smash (hit) / a blockbuster も同じく大ヒット。見分け方：売れた・受けたなら hit、売れなかったなら flop。

0717 □□□

I went to the party only because of _____. I didn't want to miss anything my friends were doing.

① LOL
② DIY
③ FOMO
④ ASAP

③ FOMO 取り残される不安；見逃すことへの恐れ

訳 私はただ取り残されるのが不安でパーティーに行った。友達がしていることを何一つ見逃したくなかったのだ。

解説 「友達がしていることを何も見逃したくなかった」が理由なので、見逃すことへの不安＝ FOMO（Fear Of Missing Out）。LOL は「（笑）」、DIY は「自分で作ること」、ASAP は「できるだけ早く」で、パーティーに行った理由の名詞として意味が通らない。

注意 SNS と心理の話題で長文にも出うる語。反対の気持ちを JOMO（joy of missing out＝見逃す楽しさ）と言う。

0718 □□□

My friend sent me a really funny video, so I replied, "_____ That's hilarious!"

① BTW
② LOL
③ FYI
④ IDK

② LOL （笑）；大笑い（Laughing Out Loud の略）

訳 友達がすごく面白い動画を送ってくれたので、「（笑）最高に笑える！」と返信した。

解説 面白い動画に「最高に笑える！」と返しているので、笑いを表す LOL（Laughing Out Loud）。BTW は「ところで」、FYI は「参考までに」、IDK は「分からない」で、面白い動画への反応として意味が通らない。

注意 実際には声を出して笑っていなくても「（笑）」程度に軽く付ける。lol と小文字で書くことが多い。

0719 □□□

Instead of leaving the company, he started ———— quitting, doing only what his job description required.

① quick　② quiet
③ early　④ job

② quiet quitting

静かな退職（辞めはしないが、最低限の仕事しかしないこと）

訳 彼は会社を辞める代わりに、職務で求められることしかしない「静かな退職」を始めた。

解説 会社は辞めずに、職務記述書に書かれたことしかしない働き方なので quiet quitting。quick quitting / early quitting では「すぐ辞める・早く辞める」になり、Instead of leaving（辞める代わりに）と矛盾する。job quitting は「仕事を辞めること」で、やはり退職の意味になる。

注意 働き方を扱う長文で出る可能性がある時事語。work-life balance と一緒に覚えたい。

0720 □□□

Your outfit is totally on ———— today! You look amazing.

① point　② time
③ track　④ board

① on point 完璧な；（服装・メイクなどが）決まっている

訳 今日の服、完璧に決まってるね！　すごくすてきだよ。

解説 服装を「完璧に決まっている」とほめているので on point。on time は「時間どおりに」、on track は「順調に進んで」、on board は「乗船して・賛成して」で、どれも服装の見た目をほめる言葉にならない。

区別 **on point ⇔ to the point**　to the point は「（話が）要領を得た・簡潔で的確な」で、文章や発言の評価に使う標準的な表現。on point はくだけた言い方で、見た目やパフォーマンスの完璧さにも使える。

0721 □□□

My grandmother is 95 years old, but she's still alive and ————; she walks in the park every morning.

① running　② crying
③ sleeping　④ kicking

④ alive and kicking 元気いっぱいで；ぴんぴんして

訳 祖母は 95 歳だが、まだぴんぴんしていて、毎朝公園を散歩している。

解説 95 歳でも毎朝公園を歩くほど「ぴんぴんしている」ので alive and kicking。running（走っている）は意味は元気そうだが決まった形ではない。crying（泣いている）、sleeping（眠っている）は元気いっぱいの意味にならない。

区別 **alive and kicking ⇔ alive and well**　alive and well も「元気で・健在で」で意味はほぼ同じ。alive and kicking の方が「活発に動いている」元気さが強く、くだけた響き。どちらも人にも物事にも使える。

0722 □□□

A: Look at this picture of my new puppy. B: ＿＿＿＿ He's so cute!

① Ouch.　② Yuck.
③ Aww.　④ Oops.

③ Aww. わあ、かわいい；まあ（感動・同情）

訳 A：うちの新しい子犬の写真を見て。　B：わあ。すごくかわいい！

解説 子犬の写真を見て「すごくかわいい！」と続けるので Aww.。Ouch.（痛い）は痛みを感じたとき、Yuck.（気持ち悪い）は嫌な物を見たとき、Oops.（おっと）は小さな失敗をしたときの声で、かわいい物への反応にならない。

区別 **Aww. ⇔ Yuck.** Yuck. は「おえっ・気持ち悪い」と嫌悪を表す声。Aww. は「かわいい・すてき」と好感や同情を表す声。見分け方：かわいい物なら Aww.、嫌な物なら Yuck.。

0723 □□□

After I got sick, I had brain ＿＿＿＿ for weeks and couldn't concentrate on anything.

① drain　② fog
③ storm　④ wash

② brain fog 頭がぼんやりして働かない状態

訳 病気になった後、何週間も頭がぼんやりして、何にも集中できなかった。

解説 病気の後で何週間も集中できなかった＝頭がぼんやりした状態なので brain fog。brain drain は「頭脳流出」、brainstorm は「アイデアを出し合うこと」、brainwash は「洗脳する」で、個人の頭がぼんやりする状態を表さない。

区別 **brain fog ⇔ brain drain** brain drain は「頭脳流出（優秀な人材が国外に出て行くこと）」で、社会問題の言葉。brain fog は個人の頭がぼんやりする状態。どちらも brain ＋名詞の語だが意味は無関係。

0724 □□□

A: I fell off my bike and scraped my knee. It really hurts! B: Oh, it's just a small scratch. Don't be such a ＿＿＿＿.

① crybaby　② couch potato
③ early bird　④ know-it-all

① crybaby 泣き虫；すぐ文句を言う人

訳 A：自転車で転んで膝をすりむいたんだ。すごく痛い！　B：ただの小さな擦り傷じゃない。そんなに泣き言を言わないの。

解説 小さな擦り傷で大げさに痛がる相手に言うので crybaby（泣き虫・すぐ泣き言を言う人）。couch potato は「ソファでごろごろテレビを見てばかりの人」、early bird は「早起きの人」、know-it-all は「知ったかぶりをする人」で、痛がる場面に合わない。

区別 **crybaby ⇔ cry wolf** cry wolf は「うそをついて人騒がせをする」（オオカミ少年）。crybaby は「すぐ泣く・文句を言う人」。どちらも cry を含むが、うそかどうかが違う。cry wolf は動詞句、crybaby は名詞。

0725 □□□

A: You know a lot of good restaurants around here! B: Well, I'm a big ＿＿＿＿. I try a new place every weekend.

① picky eater　② foodie
③ couch potato　④ night owl

② foodie 食通；グルメな人

訳 A：この辺りのいいレストランをたくさん知っているね！　B：まあ、大の食べ歩き好きだからね。毎週末、新しい店を試しているんだ。

解説 いい店をたくさん知り、毎週新しい店を試すので foodie（食べるのが大好きな人）。picky eater は「好き嫌いの多い人」で、新しい店を次々に試す人とは逆。couch potato は「家でごろごろしている人」、night owl は「夜更かしの人」で、食べ歩きの話とつながらない。

区別 **foodie ⇔ gourmet** gourmet は料理やワインに詳しい「美食家」で、専門知識と高級感がある語。foodie はもっと気軽に「食べるのが好きで食べ歩く人」。gourmet は形容詞的にも使う（gourmet food＝高級料理）。

0726 □□□

A: I never said I'd pay for dinner. B: Don't ＿＿＿＿ me! I have your text message right here.

① gaslight　② gaslighting
③ to gaslight　④ gaslit

① gaslight
（人の記憶や感覚を否定して）自分がおかしいと思わせる

訳 A：夕食代を払うなんて一言も言ってないよ。　B：私の記憶違いみたいに言わないで！　ここに君のメッセージがあるんだから。

解説 否定の命令文は Don't ＋動詞の原形なので gaslight。gaslighting は動名詞・名詞、to gaslight は不定詞、gaslit は過去形・過去分詞で、Don't の直後には置けない。B は証拠のメッセージを示し、「私の記憶がおかしいと思わせないで」と言い返している。

区別 **gaslight ⇔ lie to ~** lie to ~ は単に「～にうそをつく」。gaslight ~ はうそや否定を繰り返して、相手に「自分の記憶や判断がおかしい」と思わせるところまで含む。見分け方：相手が自分を疑い始めるなら gaslight。

0727 □□□

Constantly telling someone that their memories are wrong until they doubt themselves is a type of ＿＿＿＿.

① gaslighted　② gaslight
③ gaslighting　④ ghosting

③ gaslighting
ガスライティング（相手に自分の記憶や判断を疑わせる心理的操作）

訳 相手が自分を疑うようになるまで「あなたの記憶は間違っている」と言い続けるのは、ガスライティングの一種だ。

解説 a type of の後ろには名詞が入り、「相手に自分の記憶を疑わせる心理的操作」は gaslighting。gaslight を名詞として使うと「ガス灯」になってしまう。gaslighted は過去形・過去分詞で名詞にならない。ghosting は「急に連絡を絶つこと」で、記憶を否定する行為ではない。

区別 **gaslighting ⇔ gaslight** gaslight は動詞（他動詞）で「（人）をガスライティングする」。gaslighting はその行為を表す名詞。文の主語・補語・前置詞の後ろなら gaslighting、述語動詞なら gaslight。

0728 □□□

I sent her five messages after our first date, but she never replied. I think I got ＿＿＿＿.

① to ghost　② ghosting
③ ghost　④ ghosted

④ ghost　（予告なく）急に連絡を絶つ；音信不通になる

訳 初デートの後に 5 回もメッセージを送ったのに、彼女から返事は一度もなかった。音信不通にされたんだと思う。

解説 「（相手に）連絡を絶たれる」は get ＋過去分詞の受け身で got ghosted。ghosting だと「私が（誰かを）無視している」に近くなり、返事が来なかった側の話と合わない。ghost は原形、to ghost は不定詞で、get の後ろに置いて受け身にならない。

区別 **ghost ⇔ stand A up**　stand A up は「（デートなどの約束で）A を待ちぼうけにさせる・すっぽかす」で、1 回の約束を破ること。ghost は連絡そのものを完全に絶って、関係から消えること。

0729 □□□

She stopped answering his calls and messages without any explanation. This kind of ＿＿＿＿ can be very hurtful.

① gaslighting　② ghosting
③ ghost　④ ghosted

② ghosting
ゴースティング（突然連絡を絶って消えること）

訳 彼女は何の説明もなく、彼からの電話にもメッセージにも応じなくなった。こういうゴースティングは人をひどく傷つけることがある。

解説 説明なしに連絡を絶つ行為を名詞で受けるので ghosting。gaslighting は「相手に自分の記憶を疑わせる心理的操作」で、黙って消える行為とは違う。ghost を名詞にすると「幽霊」になり、ghosted は過去形・過去分詞で this kind of の後ろに置けない。

区別 **ghosting ⇔ gaslighting**　gaslighting は相手の記憶や判断を否定して自分を疑わせる心理的操作。ghosting は何も言わずに連絡を絶つこと。前者は関わり続けて操る、後者は関わりを断つ、と方向が逆。

0730 □□□

A: We're going to the new ramen shop after school. Want to come? B: ＿＿＿＿ I'm starving.

① Get real.　② I feel down.
③ I'm stumped.　④ I'm down!

④ I'm down.　乗った；いいね、やろう（誘いに賛成）

訳 A：放課後に新しいラーメン屋に行くんだけど、来る？　B：行く行く！　お腹ぺこぺこなんだ。

解説 誘いに「お腹が空いている」と乗り気で答えているので I'm down!（いいね、乗った）。I feel down. は「気分が落ち込んでいる」で誘いへの返事にならない。I'm stumped. は「さっぱり分からない」と問題に詰まったときの言葉。Get real. は「現実を見ろ」とたしなめる言葉。

区別 **I'm down. ⇔ I feel down.**　I feel down. / I'm feeling down. は「気分が落ち込んでいる」。誘いへの返事の I'm down. は「乗った」。見分け方：誘いへの返事なら賛成、気分の話なら落ち込み。

0731 □□□

They didn't want a big party, so they had a _____ wedding with just their families.

① high-key　② low-key
③ flashy　④ crowded

② low-key ひそかに；実は

訳 二人は大きなパーティーを望まなかったので、家族だけの控えめな結婚式を挙げた。

解説 大きなパーティーを望まず家族だけで行ったので low-key（控えめな・地味な）。high-key はスラングで「はっきりと・堂々と」という副詞的な語で、結婚式を修飾する形容詞にならない。flashy は「派手な」、crowded は「混雑した」で、家族だけの式と逆。

区別 **low-key ⇔ high-key** high-key はスラングで「堂々と・はっきり言って」と、副詞的な low-key（ひそかに）の反対。形容詞の low-key（控えめな）の反対は flashy / showy（派手な）で、high-key ではない。

0732 □□□

A: Mom, can I stay out until midnight just this once? B: No. You have to be home by ten. _____

① Go figure.　② Period.
③ I'm game.　④ Fair enough.

② Period. 以上；異論は認めない（断言を強める）

訳 A：お母さん、今回だけ夜 12 時まで外にいてもいい？　B：だめ。10 時までに帰ってきなさい。以上。

解説 母親が「10 時までに帰りなさい」と反論を許さず言い切っているので Period.（以上、異論は認めない）。Go figure. は「分からないものだね」と理屈に合わないことに付ける言葉。I'm game. は「乗った」と誘いに応じる言葉。Fair enough. は「それはもっともだ」と相手に納得する言葉で、命令の後には合わない。

区別 **Period. ⇔ Full stop.** Full stop. はイギリス英語で同じ意味（イギリスでは文末のピリオドを full stop と呼ぶ）。Period. はアメリカ英語。どちらも文末に置いて断言を強める。

0733 □□□

I watched just one cooking video, and now _____ keeps recommending recipes to me every day.

① the clout　② the thread
③ the vibe　④ the algorithm

④ the algorithm
（SNS の）アルゴリズム（意志を持つかのように語る）

訳 料理の動画を 1 本見ただけなのに、今ではアルゴリズムが毎日レシピを勧めてくる。

解説 1 本見ただけでおすすめが続くのは、表示内容を選ぶ仕組みが好みを学習したからなので the algorithm。SNS では定冠詞を付けて擬人化して語る。the thread（一連の投稿）・the vibe（雰囲気）・the clout（影響力・注目）は、おすすめを表示する主体にならない。

注意 algorithm は情報・テクノロジーを扱う長文で頻出の語。

0734 □□□

A: How was your first day at the new office? B: Great! Everyone was friendly, and I got a really good _____ from the place.

① vibe　② mood
③ temper　④ spirit

① vibe 雰囲気；ノリ

訳 A：新しい職場の初日はどうだった？　B：最高だったよ！　みんな親切で、職場からすごくいい感じを受けたよ。

解説 get a good vibe from A で「A からいい感じを受ける」。vibe は人や場所が発する雰囲気を受け取るイメージ。mood は自分の「気分」で get a mood from A とは言わない。temper（かんしゃく・気性）・spirit（精神・元気）も場所から受ける印象を表さない。

区別 **vibe ⇔ atmosphere** どちらも「雰囲気」だが、atmosphere は書き言葉でも使う標準語で、場所全体の空気を客観的に述べる。vibe は口語で、人や場所から受ける主観的な「感じ・ノリ」。見分け方：論説文・説明文なら atmosphere、会話で直感的な印象を言うなら vibe。

0735 □□□

My little brother always makes _____ faces to make our baby sister laugh.

① goofy　② gloomy
③ grumpy　④ guilty

① goofy おばかな；おとぼけな

訳 弟はいつも、赤ちゃんの妹を笑わせるためにおどけた顔をする。

解説 赤ちゃんを笑わせるために作る顔なので「おどけた」の goofy。gloomy（暗い・陰気な）、grumpy（不機嫌な）、guilty（やましそうな）はどれも笑わせる目的と合わない。goofy は悪意のない、愛きょうのあるおかしさを表す。

区別 **goofy ⇔ stupid** stupid は「愚かな・ばかな」と相手を見下す強い言葉で、言われると傷つく。goofy は「おどけた・おとぼけな」と愛きょうのあるおかしさで、親しみを込めて言える。見分け方：笑って許せるおかしさなら goofy。

0736 □□□

The police couldn't arrest him because he had an _____ alibi: he was on a plane at the time of the crime.

① airborne　② airy
③ aired　④ airtight

④ airtight 完璧な；隙のない

訳 犯行時刻に彼は飛行機に乗っていたという完璧なアリバイがあったので、警察は彼を逮捕できなかった。

解説 犯行時刻に飛行機の中にいた＝崩しようのないアリバイなので airtight（隙のない）。airborne は「飛行中の・空気で運ばれる」で、飛行機の話からのひっかけ。airy は「風通しのよい・軽薄な」、aired は「放送された・空気にさらされた」で、アリバイの強さを表せない。

区別 **airtight ⇔ up in the air** up in the air は「（計画などが）未定で・宙に浮いて」。同じ air でも airtight は「隙がない・完璧」。見分け方：決まっていないなら up in the air。

0737 □□□

After she criticized the group online, someone _____ her, posting her home address on the Internet.

① doxed ② ghosted
③ blocked ④ followed

① dox （ネットで）他人の個人情報をさらす

訳 彼女がネット上でそのグループを批判した後、誰かが彼女の個人情報をさらし、自宅の住所をインターネットに投稿した。

解説 自宅の住所をネットに投稿した＝個人情報をさらしたので doxed。ghosted は「（急に）連絡を絶った」、blocked は「（SNS で）ブロックした」、followed は「フォローした」で、住所を公開する行為を表さない。

区別 **dox ⇔ hack ~** hack は「（システム・アカウント）に不正に侵入する」。dox は（集めた）個人情報をネットで公開すること。侵入しなくても、公開すれば dox になる。

0738 □□□

I went on three dates with him, and then I got _____. He just stopped answering my messages.

① ghosting ② ghost
③ ghosted ④ ghostly

③ get ghosted （相手から）急に音信不通にされる

訳 彼と 3 回デートした後、急に音信不通にされた。メッセージに全然返事をしなくなったのだ。

解説 「（急に）音信不通にされた」は受け身 get＋過去分詞の got ghosted。ghosting（-ing 形）では「自分が音信不通にする」側の意味になり、got の後ろでは不自然。ghost は原形・名詞、ghostly は「幽霊のような」という形容詞で、「された」の意味を表せない。

区別 **get ghosted ⇔ give up the ghost** give up the ghost は「（機械が）とうとう壊れる・（人が）息を引き取る」。get ghosted は「音信不通にされる」。同じ ghost でも意味は全く違う。

0739 □□□

Sorry I snapped at you. I skipped lunch, and I always get _____ when I don't eat.

① hungover ② hanged
③ hangry ④ hungrily

③ hangry お腹がすいてイライラしている

訳 きつい言い方をしてごめん。昼ご飯を抜いたんだけど、食べないといつもお腹がすいてイライラしちゃうんだ。

解説 食事を抜いて相手にきつく当たった＝空腹でイライラしたので hangry（hungry＋angry）。hungover は「二日酔いの」で食事を抜いた話と合わない。hanged は「絞首刑にされた」、hungrily は副詞「がつがつと」で get の後ろの補語にならない。

区別 **hangry ⇔ hungry** hungry は「お腹がすいた」だけ。hangry は空腹のせいで怒りっぽくなっている状態。見分け方：イライラ・八つ当たりの話が出れば hangry。

0740 □□□

If you book your flight now, you can lock _____ the low price before it goes up.

① in　② out
③ off　④ away

① lock in
（予定・計画を）確定させる；（関係に）落ち着く

訳 今飛行機を予約すれば、値上がりする前に安い価格を確定できる。

解説 値上がりする前に安い価格を「確定させる・固定する」ので lock in（中に閉じ込めて動かなくする）。lock out は「締め出す」で逆の意味。lock away は「（大切な物を）しまい込む」、lock off は価格の確定に使う句動詞ではない。

区別 **lock in ⇔ lock out** ~ lock out は「（人）を締め出す」。lock in は中に閉じ込めて動かなくする＝確定・固定。in と out で逆の動き。

0741 □□□

I only slept two hours last night, so sorry if I'm not all _____ today.

① over　② there
③ along　④ around

② not all there 頭が少しおかしい；頭が回っていない

訳 昨夜は 2 時間しか寝ていないので、今日ぼーっとしていたらごめんね。

解説 寝不足で頭がぼんやりしている状態は not all there（頭が全部そこにあるわけではない）。over（終わって）、along（一緒に）、around（周りに）は all と組んでも頭の状態を表す決まった言い方にならない。自分に使えば失礼にならない。

区別 **not all there ⇔ be all ears** be all ears は「熱心に聞いている」。同じ all を使うが、not all there は「頭がぼんやり」。

0742 □□□

I got so confused by all the side stories that I lost the _____ of his speech.

① threat　② thread
③ thrill　④ throat

② thread スレッド（連続した一連の投稿）

訳 脇道にそれた話が多すぎて、彼のスピーチの筋が分からなくなってしまった。

解説 「（話の）筋が分からなくなる」は lose the thread で、thread は「糸」から「話の筋」の意味。threat は「脅威」、thrill は「わくわくする感じ」、throat は「のど」で、つづりの似たひっかけ。どれも lose the ~ of his speech で「話についていけない」意味にならない。

区別 **thread ⇔ threat** threat は「脅し・脅威」（a threat to peace）。thread は「糸・筋・スレッド」。d と t の一字違いで、発音も [d] と [t] で違う。

0743 □□□

I watched short videos for six hours straight, and now I can't focus on anything. I think I have ＿＿＿＿.

① a brainstorm　② brain drain
③ brainrot　④ a brainwash

③ brainrot

（ショート動画の見すぎで）頭がばかになること；くだらないのにクセになるネットの動画

訳 6 時間ぶっ通しでショート動画を見ていたら、今は何にも集中できない。頭がばかになったみたいだ。

解説 ショート動画の見すぎで集中できない状態は brainrot（不可算なので a は付かない）。a brainstorm は「突然のひらめき」で、集中できないことと逆。brain drain は「頭脳流出（優秀な人材が国外に出ること）」で個人の状態ではない。brainwash は「洗脳する」という動詞で、a を付けて have の目的語にはしない。

区別 **brainrot ⇔ doomscrolling** doomscrolling は暗いニュースや SNS を延々とスクロールし続ける「行為」。brainrot はその結果の頭がぼんやりした状態や、くだらない動画そのもの。

0744 □□□

She chatted with 'Alex' for months, but when they finally met, she realized she had been ＿＿＿＿ — he had used someone else's photos.

① catcalled　② catnapped
③ copycatted　④ catfished

④ catfish

（ネットで）他人になりすまして人をだます人；なりすまし

訳 彼女は何か月も「アレックス」とチャットしていたが、ついに会ったとき、なりすましにだまされていたと気づいた。彼は他人の写真を使っていたのだ。

解説 他人の写真で別人になりすましてだますのが catfish で、受け身 be catfished で「なりすましにだまされる」。catcall は「（通りで）やじや口笛を浴びせる」。catnap は「うたた寝（する）」。copycat は「まねをする人」で、写真を使った正体の偽りとは結び付かない。

区別 **catfish ⇔ scammer** scammer はお金などをだまし取る詐欺師一般。catfish は「別人になりすます」ことが中心で、目的はお金とは限らない（恋愛感情を得たいだけの場合も）。

0745 □□□

Some people start arguments online just to ＿＿＿＿ clout and get more followers.

① lose　② owe
③ chase　④ borrow

③ clout （SNS での）影響力；人気

訳 ネットでわざと言い争いを始めるのは、ただ注目を集めてフォロワーを増やしたいからだという人もいる。

解説 SNS で「注目を追い求める」は chase clout が決まった言い方。lose clout は「影響力を失う」で、フォロワーを増やす目的と矛盾する。owe（借りがある）・borrow（借りる）は clout と組まない。clout chaser（目立ちたがり）という名詞形もセットで覚える。

区別 **clout ⇔ influence** influence は影響力一般で中立的な語。clout は「実際に物事を動かす力」で、SNS では目立ちたがりへの皮肉を含むことが多い。

0746 □□□

After eating three plates of pasta at the all-you-can-eat restaurant, I fell _____ a food coma and couldn't move.

① onto ② over
③ into ④ under

③ food coma 食べすぎた後の強い眠気・だるさ

訳 食べ放題のレストランでパスタを 3 皿食べたら、猛烈な眠気に襲われて動けなくなった。

解説 状態の中へ入るのは fall into ~（fall into a deep sleep / fall into a food coma）。onto は「（物の表面）の上へ」で状態には使わない。fall over は「つまずいて転ぶ」、fall under は「～に該当する・～の支配下に入る」で、眠気の状態に入る意味にならない。

区別 **food coma ⇔ hangover** hangover は飲みすぎた翌日の「二日酔い」。food coma は食べすぎた直後の眠気・だるさ。

0747 □□□

She started _____ ASMR channel last year, and now it has over a million subscribers.

① an ② a
③ any ④ much

① ASMR ASMR（音などで感じるゾクゾクする心地よさ）

訳 彼女は昨年 ASMR チャンネルを始め、今では登録者が 100 万人を超えている。

解説 ASMR は A を「エイ」と母音で読むので、不定冠詞は a ではなく an（an ASMR channel）。any は「どんな～でも・いくらかの」で、肯定文で「一つ始めた」の意味にはならない。much は不可算名詞に付く語で、channel（可算）には使えない。

区別 **ASMR ⇔ white noise** white noise は一定の雑音で周りの音を消し、集中や睡眠を助けるもの。ASMR はささやき声などの特定の音で、ぞわぞわする心地よさを感じること。

確認テスト7 口語・スラング｜日本語に合うように、空所に1語を書き込もう（答えは赤字）

0713 キャンセルカルチャーは行き過ぎだと考える人もいれば、責任追及だと言う人もいる。
Some people think cancel **culture** goes too far, while others call it accountability.

0714 来年億万長者になれると思うなんて、ちょっと現実離れしてるよ。
Thinking you can become a billionaire next year is a bit **delusional** .

0715 暗いニュースをずっとスクロールしていて、昨夜は眠れなかった。
I couldn't sleep last night because I was **doomscrolling** through the news.

0716 その映画は莫大な製作費がかかったのに、大コケだった。
The movie cost a fortune to make, but it was a total **flop** .

0717 ネットで友達のパーティーの写真を見て、取り残されたようで不安になった。
Seeing my friends' party photos online gave me serious **FOMO** .

0718 （笑）一日中シャツを裏返しに着てたなんて信じられない。
LOL , I can't believe you wore your shirt inside out all day.

0719 コロナ禍の後、辞める代わりに最低限しか働かない人が多く出てきた。
Instead of quitting, many workers started **quiet** quitting after the pandemic.

0720 今日のメイク、完璧に決まってるね。
Your makeup is totally on **point** today.

0721 手術の後、祖父はまたぴんぴんしている。
After his surgery, my grandpa is alive and **kicking** again.

0722 わあ、あの子猫がボールで遊んでる、かわいい！
Aww , look at that little kitten playing with the ball!

0723 3時間しか寝ていないので、今日は頭が全然働かない。
I only slept three hours, so I have terrible brain **fog** today.

0724 あの選手は何でもないことで審判に文句を言う。ほんと泣き虫だな。
That player argues with the referee over nothing, like a real **crybaby** .

0725 食通として、いつも新しいレストランを探しているんだ。
As a **foodie** , I'm always looking for new restaurants to try.

0726 ごまかさないで。夕食代を払うって送ってきたメッセージがあるんだから。
Don't **gaslight** me, because I have your text saying you'd pay for dinner.

0727 いつも「記憶違いだ」と言ってくる人がいたら、それは心理的操作かもしれない。
If someone always says you remember things wrong, it could be **gaslighting** .

0728 デートはうまくいったと思ったのに、彼は1週間連絡を無視している。
I thought our date went well, but he's been **ghosting** me for a week.

0729 3回デートした後に突然連絡を絶つのは、とても失礼だ。
Ghosting someone after three dates is really rude.

0730 今夜あの新しいラーメン屋に行くの？めっちゃ行く！
You're going to the new ramen place tonight? I'm so **down** !

0731 実はラブコメを見るのが大好きなんだ。誰にも言わないでね。
I **low-key** love watching romantic comedies, but don't tell anyone.

0732 ピザは世界最高の食べ物。以上。
Pizza is the best food in the world. **Period** .

0733 一度植物の話をしたら、アルゴリズムが植物の動画ばかり見せてくる。
I talked about plants once, and now the **algorithm** only shows me plant videos.

0734 このカフェ大好き。店全体がすごくいい雰囲気。
I love this cafe. The whole place is such a **vibe** .

0735 今朝シリアルを冷蔵庫に入れたら、姉におとぼけだと言われた。
I put the cereal in the fridge this morning, and my sister called me **goofy** .

0736 弁護士が隙のない主張をしたので、陪審員はすぐに納得した。
The lawyer presented an **airtight** case, so the jury quickly agreed.

0737 人の自宅住所をネットに載せてさらすのは重大な犯罪だ。
Posting someone's home address online to **dox** them is a serious crime.

0738 面接はうまくいったのに、その後会社から全く連絡が来なくなった。
I had a great interview, but I got **ghosted** by the company afterward.

0739 八つ当たりしてごめん。一日中何も食べてなくて、お腹がすいてイライラしてるんだ。
Sorry I snapped at you, I haven't eaten all day and I'm **hangry** .

0740 航空券が高くなる前に、旅行の日程を確定させよう。
Let's **lock** in the date for the trip before the flights get expensive.

0741 ごめん、今朝は頭が回ってないんだ。よく眠れなくて。
Sorry, I'm not **all** there this morning. I didn't sleep well.

0742 ミームの歴史についてのスレッド読んだ？すごく面白かった。
Did you read that **thread** about the history of memes? It was so interesting.

0743 ショート動画を5時間見続けて、完全に頭がばかになった。
I scrolled through short videos for five hours, and now I have total **brainrot** .

0744 ネットでは気をつけて。チャットの相手がなりすましかもしれないから。
Be careful online, because the person you're chatting with could be a **catfish** .

0745 彼は注目を集めてフォロワーを増やすためだけに、ネットで議論をふっかける。
He starts arguments online just to chase **clout** and get more followers.

0746 あの豪華な祝日のディナーの後、ソファで食後の眠気に負けてしまった。
After that huge holiday dinner, I fell into a food **coma** on the sofa.

0747 毎晩、眠りやすくするために ASMR の動画を聴いている。
I listen to **ASMR** videos every night to help me fall asleep.

索引 熟語（be・one's などを除いた最初の語のアルファベット順）→ 問題番号

A

abound in ~ 0215
be accountable for ~ 0296
Act your age. 0408
add on ~ 0006
Adversity makes strange bedfellows. 0594
airtight 0736
alive and kicking 0721
All the best to A. 0434
All's fair in love and war. 0538
an eager beaver 0669
An idle mind is the devil's workshop. 0595
an iron fist in a velvet glove 0693
an old hand (at ~) 0539
an open book 0506
an ugly duckling 0596
answer back 0007
answer to ~ 0038
Anything goes. 0387
Anything you say. 0435
be appreciative of ~ 0324
Are we square? 0463
arm A with B 0184
be armed with ~ 0325
as ~ as any ... 0328
as such 0346
as the crow flies 0564
as yet 0347
ask A in 0131
ask around 0023
ask for the moon 0642
ASMR 0747
aspire to ~ 0185
associate with ~ 0179
at (the) worst 0329
at a distance 0330
be at fault 0312
at intervals 0358
be at odds with ~ 0318
at short notice 0375
at sixes and sevens 0698
at the drop of a hat 0507
at the top of one's voice 0348
at will 0349
avail oneself of ~ 0260
be away 0024
Aww. 0722

B

back away 0020
back off 0010
a backseat driver 0559
a ballpark figure 0494
bang for the buck 0565
bear a grudge (against ~) 0270
bear down on ~ 0160
bear up 0056
bear witness to ~ 0216
a bed of roses 0581
behind the eight ball 0685
below the belt 0566
bestow A on B 0275
bet on ~ 0217
between ourselves 0377
a big fish in a small pond 0560
a bigwig 0636
bite one's tongue 0508
bite the dust 0509
black and blue 0597
blackball ~ 0694
(as) blind as a bat 0635
blow away ~ 0011
blow off ~ 0125
blue blood 0598
a bolt from the blue 0532
border on ~ 0276
brain fog 0723
brainrot 0743
break A of B 0249
break apart 0070
break the silence 0218
breathe down A's neck 0540
Brevity is the soul of wit. 0599
bring A around 0012
bring along ~ 0040
bring forth ~ 0161
bring off ~ 0057
brood over ~ 0261
brown-nose 0699
browned off 0712
brush off ~ 0071
build in ~ 0072
a bull in a china shop 0495
burden A with B 0186
burn up 0025
butterfingers 0670
by and by 0378
by definition 0331
by hook or by crook 0600
by leaps and bounds 0350
by sight 0379
by the same token 0367
by turns 0359

C

call forth ~ 0162
Can't argue with that. 0409
Can't you take a hint? 0415
cancel culture 0713
carry over ~ 0026
Cat got your tongue? 0567
A cat has nine lives. 0561
catch A out 0126
cater to ~ 0219
catfish 0744
a catnap 0582
characterize A as B 0220
Charity begins at home. 0510
cheat A out of B 0198
check into ~ 0003
check off ~ 0058
check over ~ 0027
check with ~ 0008
Chill out. 0410
chip in 0041
a chip off the old block 0496
clean out ~ 0042
Cleanliness is next to godliness. 0601
clear off ~ 0163
clear out 0043
Close, but no cigar. 0411
clout 0745
a cock-and-bull story 0681
(as) cold as stone 0697
color A's judgment 0602
color outside the lines 0695
colorful language 0643
come after ~ 0073
come apart 0044
come at ~ 0132
come down on ~ 0059
come home to ~ 0074
come in 0004
come in for ~ 0028
come out with ~ 0045
come to oneself 0221
come what may 0250
be comparable to ~ 0290
be compatible with ~ 0297
conceive of ~ 0222
condemn A for B 0187
confer A on B 0271
confess to ~ 0199
confide in ~ 0223
Consider it done. 0455
contend with ~ 0200
convict A of B 0224
cook the books 0644
count A in 0029
count A out 0060
count against ~ 0127
count down 0128

Count on it. 0420
count up ~ 0164
cross off ~ 0046
cross over 0133
cross the Rubicon 0603
crybaby 0724
culminate in ~ 0277
cut across ~ 0030
cut into ~ 0134
cut through ~ 0129
cut up ~ 0047

D

day after day 0332
deal out ~ 0130
deceive A into ~ing 0225
delight in ~ 0188
delusional 0714
despair of ~ 0262
be destined to do 0298
deviate from ~ 0263
be devoid of ~ 0309
die away 0061
die off 0075
differentiate A from B 0189
Discretion is the better part of valor. 0645
be disgusted with ~ 0320
dissuade A from ~ing 0201
be distinct from ~ 0299
do A in 0165
do justice to ~ 0226
do over ~ 0048
do the trick 0278
do up ~ 0005
do wonders (for ~) 0251
dog-ear 0671
dog-tired 0604
Don't judge a man until you've walked a mile in his shoes. 0511
Don't look a gift horse in the mouth. 0479
Don't make me laugh. 0449
Don't push your luck. 0421
doomscrolling 0715
down in the dumps 0480
dox 0737
draw the line (at ~) 0227
dress down 0076
dressed to the nines 0605
drink like a fish 0646
drive A to B 0180
drive out ~ 0013
drop behind 0031

E

Easy does it. 0388
Easy peasy. 0466
eat humble pie 0647
eat in 0077
eat into ~ 0135
elbow grease 0606
be eligible for ~ 0300
embark on ~ 0202
be empty of ~ 0316
endow A with B 0181
be endowed with ~ 0326
Enough is enough. 0412
Every man for himself. 0607
Every man has his price. 0608
except that ~ 0333
exempt A from B 0190
be exempt from ~ 0321
expel A from B 0203
eye candy 0686

F

fall in with ~ 0078
fall over 0049
fall to ~ 0079
fall under ~ 0062
far and wide 0368
a fat cat 0637
a feather in one's cap 0638
be few and far between 0313
fight like cats and dogs 0568
figure on ~ 0136
finger-licking good 0672
Fire away. 0430
fit out ~ 0137
flop 0716
a fly on the wall 0583
FOMO 0717
food coma 0746
foodie 0725
A fool and his money are soon parted. 0584
Fools rush in where angels fear to tread. 0569
for all I know 0380
For crying out loud! 0475
for one's part 0351
for want of ~ 0352
fork over ~ 0648
a Freudian slip 0639
full of beans 0609
be full of oneself 0322

G

gaslight 0726
gaslighting 0727
be generous with ~ 0323
get ~ over with 0009
Get a grip. 0450
get A's goat 0673
get back at ~ 0032
get behind 0033
get even with ~ 0228
get ghosted 0738
get nowhere 0229
get on like a house on fire 0649
Get out of here! 0431
Get real. 0436
get through to ~ 0014
get through with ~ 0050
get up to ~ 0051
ghost 0728
ghosting 0729
give A a big hand 0230
give A a hard time 0204
Give credit where credit is due. 0512
Give me five! 0460
give oneself up to ~ 0034
go against the grain 0541
go down in flames 0570
go down with ~ 0052
Go figure. 0437
go haywire 0571
go over to ~ 0080
go pear-shaped 0700
go together 0015
go unnoticed 0205
go up in smoke 0542
go up to ~ 0035
a gold mine 0533
(as) good as gold 0680
Good fences make good neighbors. 0543
a Good Samaritan 0562
goofy 0735
gray matter 0687
green around the gills 0701
a greenhorn 0585
grow apart 0063
grow into ~ 0016

H

hand ~ to A on a silver platter 0688
hand on ~ 0053
hang back 0081
hang over ~ 0082
hang together 0138
hangry 0739
a hard nut to crack 0497
have a finger in every pie 0674
have a frog in one's throat 0675
have a hand in ~ 0231
have a silver tongue 0650
have a whale of a time 0651
have bigger fish to fry 0652
have egg on one's face 0653
have the nerve to do 0232
Have we met before? 0389
have words with ~ 0206

head back 0083
head off ~ 0017
head out 0036
head up ~ 0084
hear A out 0018
heart-to-heart 0531
a Herculean task 0640
Here goes nothing. 0447
Hindsight is 20/20. 0513
hinge on ~ 0264
hint at ~ 0207
hit back 0037
hit out at ~ 0139
hold down ~ 0019
hold forth 0166
hold in ~ 0140
hold one's own 0272
hold one's tongue 0208
hold together 0054
hold with ~ 0085
be hooked on ~ 0291
horse around 0544
a horse of a different color 0682
How you doing? 0413

I

I feel out of place. 0400
I feel you. 0438
I have diarrhea. 0448
I was dozing off. 0422
I was spaced out. 0432
I wish! 0395
I, for one, ~. 0401
I'd better sit tight. 0402
I'm down. 0730
I'm game. 0439
I'm not one for ~. 0416
I'm on the mend. 0456
I'm sorry for your loss. 0390
I'm stumped. 0440
I'm toast. 0464
if anything 0360
if ever 0353
If the shoe fits, wear it. 0610
If you want something done right, do it yourself. 0545
Imitation is the sincerest form of flattery. 0546
be immersed in ~ 0301
be immune to ~ 0302
be in 0021
in a nutshell 0334
in consequence of ~ 0361
in defiance of ~ 0381
in due course 0354
in excess of ~ 0369
in keeping with ~ 0362
in order 0363
in order that ~ 0335
in seventh heaven 0611
in spite of oneself 0370
in the doghouse 0654
in the hands of ~ 0371
in the interests of ~ 0336
in the pink 0655
in the vicinity of ~ 0382
in the wake of ~ 0337
be indebted to A for B 0303
be indicative of ~ 0319
inflict A on B 0191
be innocent of ~ 0284
instruct A in B 0182
insure A against B 0252
intended to have done 0183
be intent on ~ 0304
iron out ~ 0001
A is to B what C is to D 0345
be it A or B 0376

J

jump through hoops 0612
Just a hunch. 0403

K

keep ~ in check 0209
keep a stiff upper lip 0656
keep early hours 0253
keep one's distance (from ~) 0233
keep one's head above water 0514
keep one's nose to the grindstone 0572
keep up with the Joneses 0613
Keep your friends close and your enemies closer. 0614
kick around ~ 0064
kill the goose that lays the golden eggs 0615
Knock it off. 0396
a know-it-all 0534

L

label A as B 0192
be laid up (with ~) 0055
a lame duck 0586
lay into ~ 0141
lead on ~ 0086
Learn to walk before you run. 0515
a lemon 0477
lest S (should) ~ 0364
let A in on ~ 0142
let on 0087
let the dust settle 0516
Let's call it even. 0423
be liable for ~ 0286
lie around 0088
lie low 0167
Lighten up. 0441
Lightning never strikes twice in the same place. 0547
like a deer in the headlights 0657
like water off a duck's back 0658
be lined with ~ 0314
A little bird told me. 0446
Live and let live. 0517
live down ~ 0168
load A with B 0193
lock in 0740
LOL 0718
a lone wolf 0535
Look alive! 0473
a loose cannon 0536
Loose lips sink ships. 0573
low-key 0731

M

make a beeline for ~ 0616
make a scene 0265
make amends (for ~) 0273
make an exception 0234
make away with ~ 0175
make believe (that) S V 0235
make headway 0266
Make it snappy. 0471
make little of ~ 0254
make over ~ 0065
make the bed 0210
marvel at ~ 0255
Measure twice, cut once. 0548
meat and potatoes 0689
mess with ~ 0089
be mindful of ~ 0292
Misery loves company. 0518
model A on B 0236
move over 0090
move the goalposts 0659
My lips are sealed. 0481

N

a nail-biter 0587
be native to ~ 0287
Necessity knows no law. 0519
neck of the woods 0617
a nest egg 0537
no less A than B 0365
be no picnic 0478
no spring chicken 0660
None of your beeswax. 0472
not all there 0741
not for all the tea in China 0702
not less than ~ 0338
Not too shabby. 0469
Now what? 0417
Now you're talking. 0391

O

of late 0383
be off 0039
off and on 0366
off duty 0339
off-color 0703
be on 0022
on a shoestring 0618
on and on 0340
on point 0720
on the ~ side 0372
on the increase 0341
on the strength of ~ 0385
One man's trash is another man's treasure. 0549
a one-trick pony 0683
open Pandora's box 0482
opt for ~ 0194
out of character 0373
out of print 0384

P

packed like sardines 0550
paint the town red 0520
a paper tiger 0684
par for the course 0551
part and parcel of ~ 0619
pay tribute to ~ 0237
A penny for your thoughts. 0425
a penny-pincher 0563
People who live in glass houses shouldn't throw stones. 0483
a perfect storm 0498
Period. 0732
pertain to ~ 0279
be pessimistic about ~ 0293
pick up after ~ 0091
pick up on ~ 0092
a piece of the pie 0499
a piggy bank 0588
play along (with ~) 0093
play cat and mouse (with A) 0620
play fair 0267
play one's cards right 0552
play out 0094
pop the question 0484
pour oil on troubled waters 0676
be preoccupied with ~ 0305
preside over ~ 0211
pressure A into ~ing 0195
prevail over ~ 0238
prey on ~ 0239
Procrastination is the thief of time. 0521
pull apart ~ 0143
pull back 0095
pull in 0066
pull out all the stops 0553
puppy love 0621
a purple patch 0711
purple prose 0704
push ahead (with ~) 0096
push around ~ 0097
push in 0176
push on 0169
put in for ~ 0144
put up at ~ 0098

Q

quarterback ~ 0705
quick on the draw 0661
(as) quiet as a mouse 0667
quiet quitting 0719

R

read into ~ 0145
read up on ~ 0099
a red-letter day 0589
be reminiscent of ~ 0317
be remote from ~ 0327
be renowned for ~ 0310
be representative of ~ 0306
reproach A for B 0256
restrain A from ~ing 0240
Rise and shine! 0467
be rooted in ~ 0294
ruffle A's feathers 0662
rule over ~ 0100
run a fever 0212
run around 0101
run behind 0102
run errands 0241
run high 0280
run in the family 0242
run on fumes 0690
run out on ~ 0170
run up against ~ 0103

S

a sacred cow 0668
Save it. 0442
saved by the bell 0574
Say when. 0397
Says who? 0457
scarcely ~ before ... 0342
Search me. 0414
sentence A to B 0196
be separate from ~ 0311
Serves you right. 0404
set forth ~ 0104
set one's heart on ~ 0243
set sail 0268
settle up 0146
Shoot! 0426
a sight for sore eyes 0590
sit around 0147
sit in on ~ 0148
sit on ~ 0149
sit out ~ 0105
sit through ~ 0106
a sitting duck 0591
be skeptical of ~ 0285
a slap on the wrist 0500
sleep off ~ 0171
sleep on ~ 0067
sleep through ~ 0150
a smart cookie 0592
smell of ~ 0244
Smooth seas do not make skillful sailors. 0622
a snake in the grass 0641
so ~ as to ... 0355
so to say 0343
Something like that. 0398
a sore loser 0501
sort through ~ 0151
Spare the rod and spoil the child. 0522
split hairs 0575
squeeze A for information 0706
stand down 0172
start off 0107
stay behind 0108
Stay in your lane. 0476
stay on 0109
stay out 0110
steal A's thunder 0523
step aside 0111
step back 0112
step forward 0152
step up to the plate 0623
stick around 0113
stick together 0114
Sticks and stones may break my bones, but words will never hurt me. 0624
stir up a hornet's nest 0677
stop and smell the roses 0663
stop over 0115
a storm in a teacup 0502
(as) stubborn as a mule 0579
Stupid is as stupid does. 0691
succumb to ~ 0257
sue A for B 0245
be supportive of ~ 0315
be susceptible to ~ 0295
swim against the tide 0554

T

take a fancy to ~ 0258
Take it or leave it. 0443
take leave of ~ 0269
take offense (at ~) 0246

take office 0247
take one's breath away 0213
take the cake 0678
take the floor 0283
talk a blue streak 0707
talk down to ~ 0116
talk the talk 0555
talk turkey 0692
a tall tale 0503
tamper with ~ 0282
tear apart ~ 0117
tear off ~ 0153
ten a penny 0708
be terrified of ~ 0288
testify to ~ 0274
Thanks, but no thanks. 0451
That figures. 0433
That's a given. 0444
That's a stretch. 0461
That's a tall order. 0399
That's a wrap. 0458
That's more like it. 0405
That's music to my ears. 0418
That's out of my hands. 0424
That's the ticket. 0470
That's the way the cookie crumbles. 0427
That's wishful thinking. 0428
the algorithm 0733
The best things in life are free. 0485
The customer is always right. 0486
The enemy of my enemy is my friend. 0487
the gray market 0709
the Midas touch 0664
The only constant is change. 0524
The only way out is through. 0665
The pot calling the kettle black. 0488
The proof of the pudding is in the eating. 0489
the salt of the earth 0625
the same ~ as ... 0374
The truth will out. 0576
the whole nine yards 0626
the writing on the wall 0627
There's a time and a place for everything. 0525
There's more than one way to skin a cat. 0556
think ahead 0118
Think before you speak. 0526
This too shall pass. 0490
a thorn in one's side 0593
thread 0742
throw A a curveball 0628
throw caution to the wind(s) 0629
throw in ~ 0119
throw off ~ 0120
throw together ~ 0154
tickled pink 0666
tie down ~ 0155
tie in with ~ 0173
time after time 0356
to be on the safe side 0357
be tolerant of ~ 0307
tongue in cheek 0630
top dog 0577
Tough luck. 0392
triumph over ~ 0197
a Trojan horse 0504
try one's hand at ~ 0259
two-faced 0557

U

United we stand, divided we fall. 0527
until the cows come home 0631
be up 0002
up and down 0344
up to par 0528
upwards of ~ 0386

V

vibe 0734

W

wait out ~ 0156
wake up to ~ 0121
warm to ~ 0174
be wary of ~ 0289
wash down ~ 0177
wash off ~ 0157
Waste not, want not. 0491
waste one's breath 0281
wear on 0178
wear thin 0122
be weary of ~ 0308
What a bummer. 0462
What a nuisance! 0452
What gives? 0468
What will be, will be. 0492
What's the catch? 0393
Whatever floats your boat. 0474
When the going gets tough, the tough get going. 0632
Where there's life, there's hope. 0529
Where was I? 0394
(as) white as a sheet 0580
Will do. 0429
wipe off ~ 0123
A wise man keeps away from danger. 0505
work at ~ 0068
work off ~ 0158
work through ~ 0124
worth one's weight in gold 0633
wrestle with ~ 0248
write in 0159
write up ~ 0069

X

X-ray vision 0710

Y

yearn for ~ 0214
yellow journalism 0634
yellow-bellied 0696
Yikes. 0445
You can catch more flies with honey than with vinegar. 0578
You can't make an omelet without breaking eggs. 0558
You crack me up. 0453
You name it. 0406
You only live once. 0493
You scratch my back and I'll scratch yours. 0530
You'll live. 0465
You're breaking up. 0407
You're telling me. 0419
Youth is wasted on the young. 0679
Yuck! 0454
Yum! 0459

原田英語の英熟語・イディオム問題集　Vol.4 発展編（MASTER）

747 問（4 択）＋ 747 問（書き込み式）

2026 年 11 月　初版

著者・発行：原田英語　https://www.haradaeigo.com/eijukugo/

この PDF は個人の学習・学校の授業で自由に印刷して使えます。無断での転載・再配布・販売はできません。

問題・例文・解説はすべてオリジナルです。誤りを見つけたら、サイトからお知らせください。